このたびはOUTLANDER PHEVをお買い上げいただきありがとうございます。

J09200101344

この取扱説明書は,お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また,お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので,ご使用前に必ずお読みください。

安全に関する表示

● 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

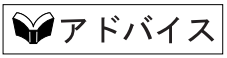
記載事項を守らないと，死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

記載事項を守らないと，傷害や事故につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示されています）

その他の表示

● お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。



お車のために守っていただきたいこと。
知っておくと便利なこと。

タイプ別装備

グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

● 取扱説明書は車の中に保管してください。
● 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
● お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

・装備仕様の変更などにより，本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は，担当営業スタッフにお問い合わせください。

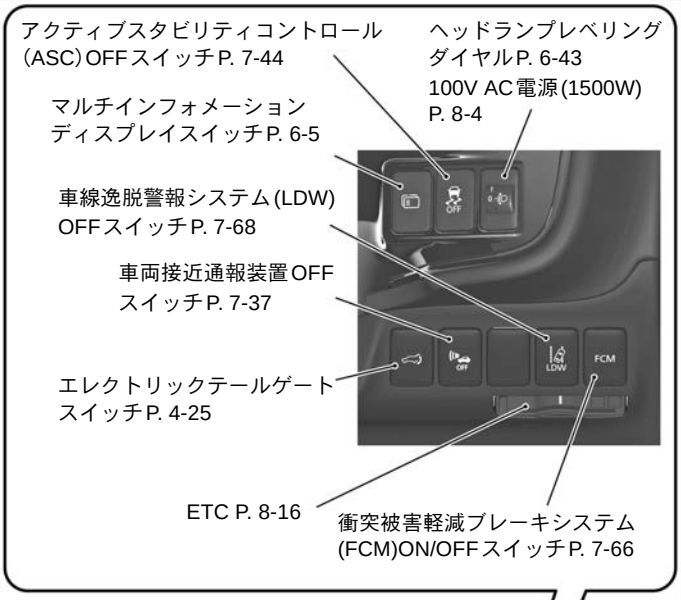
目次

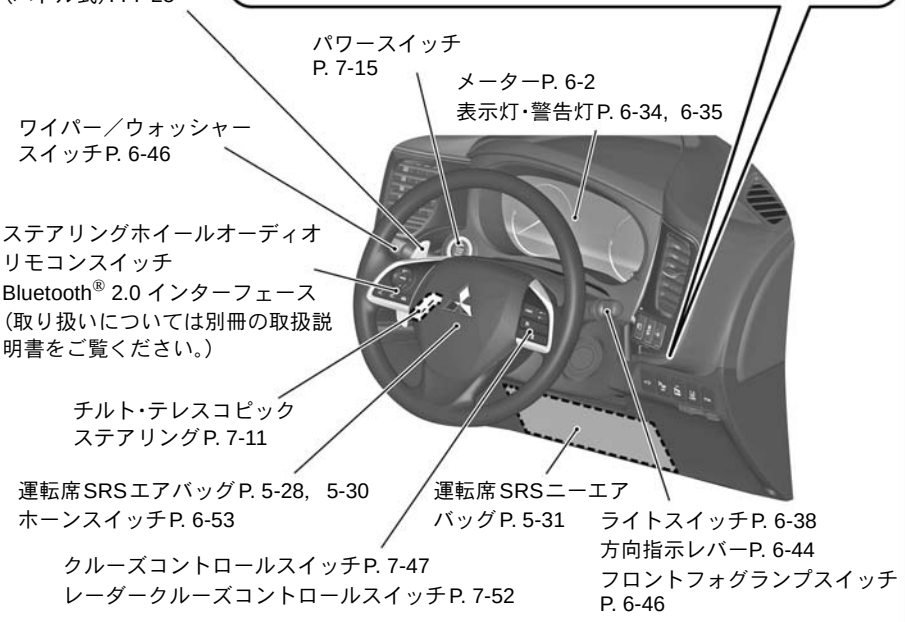
絵で見る目次	1
プラグインハイブリッドEVシステムについて	2
充電	3
各部の開閉	4
安全装備	5
メーター・スイッチ	6
運転装置	7
室内装備	8
エアコン	9
オーディオ	10
簡単な整備・車のお手入れ	11
寒冷時の取り扱い	12
もしものときの処置	13
サービスデータ	14
さくいん	15

ハンドルまわり

J00100801015

1



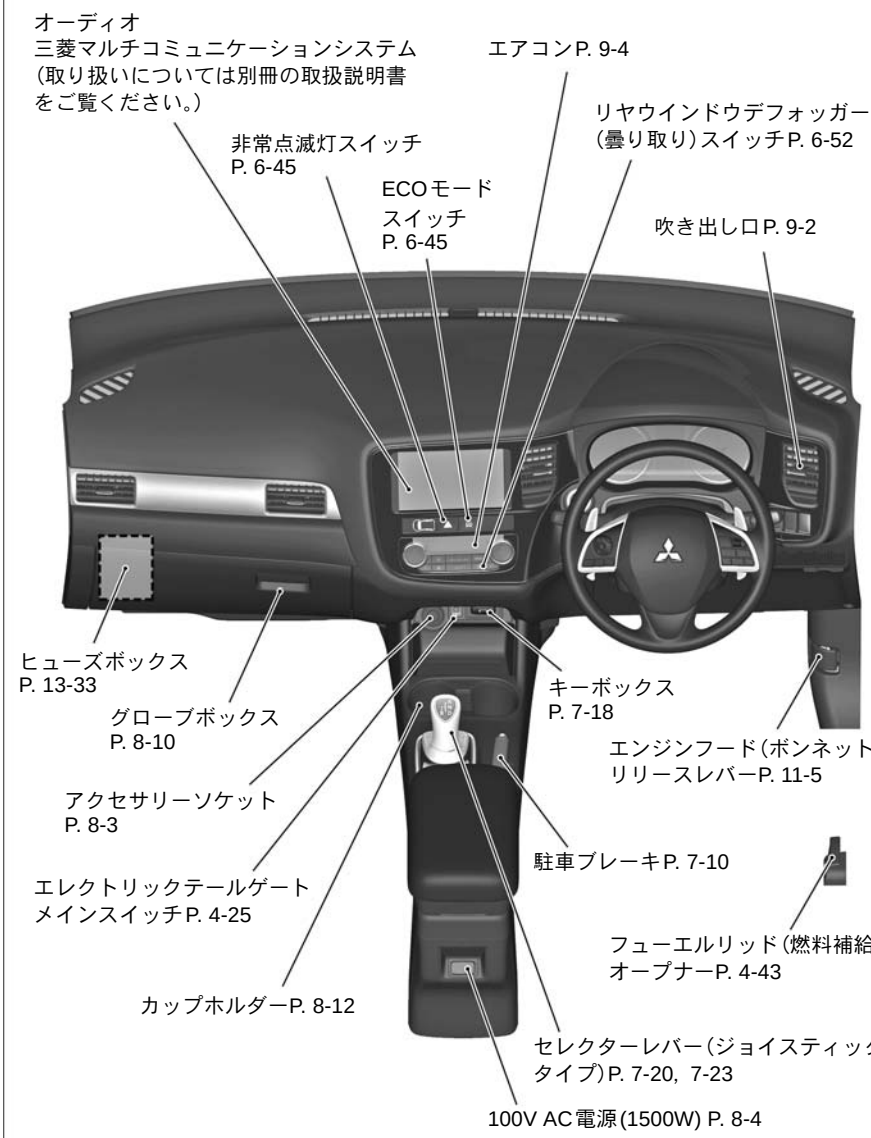


・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

TAF000740

計器盤まわり

J00100101917



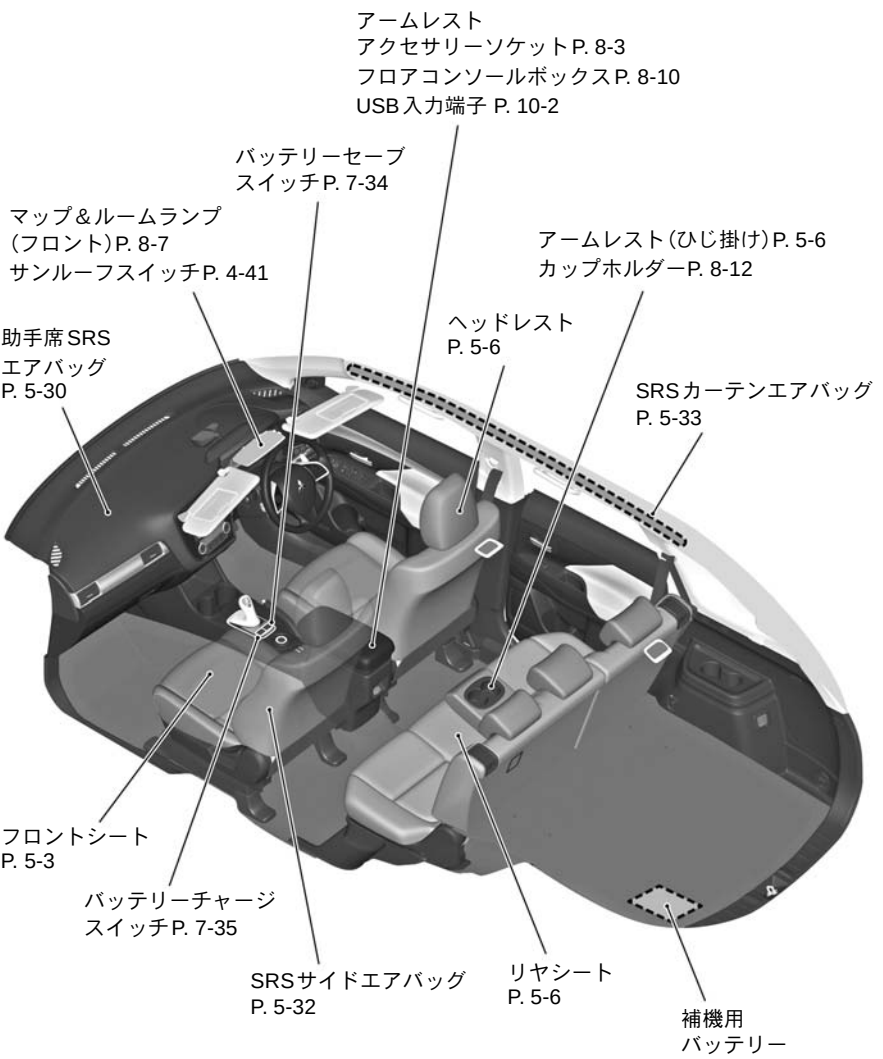
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

TAF000708

室内

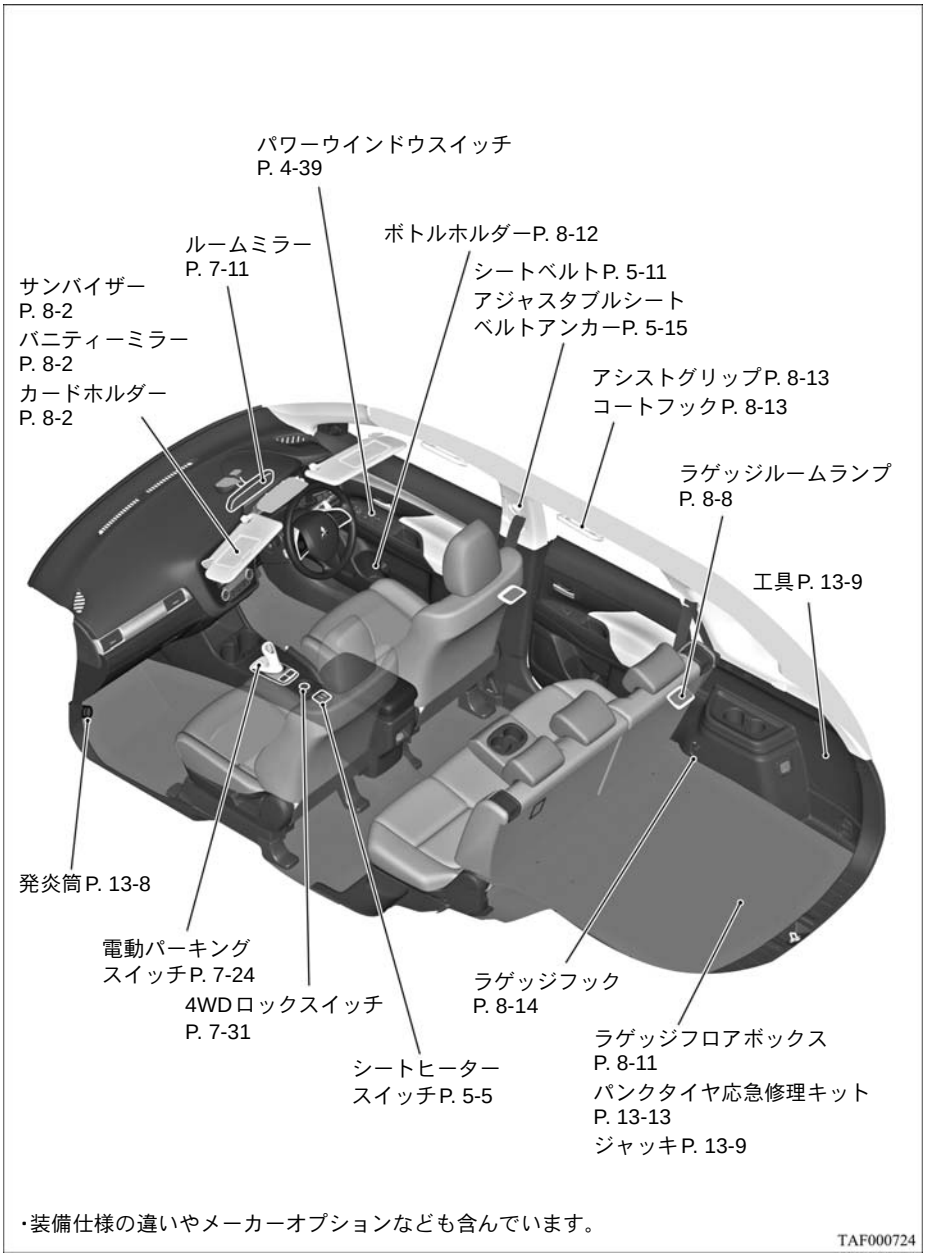
J00100301791

1



・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

TAF000711



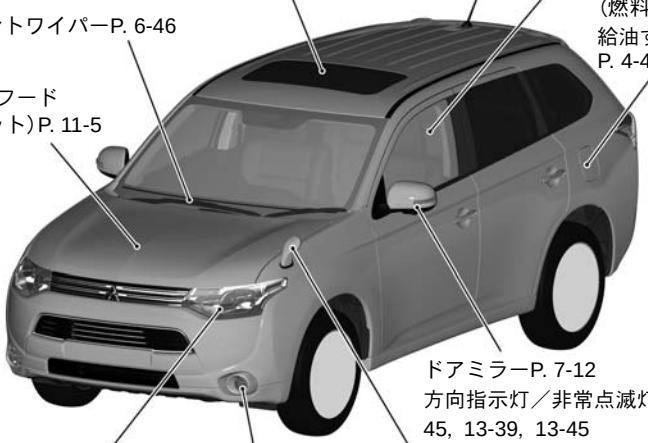
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

TAF000724

外まわり

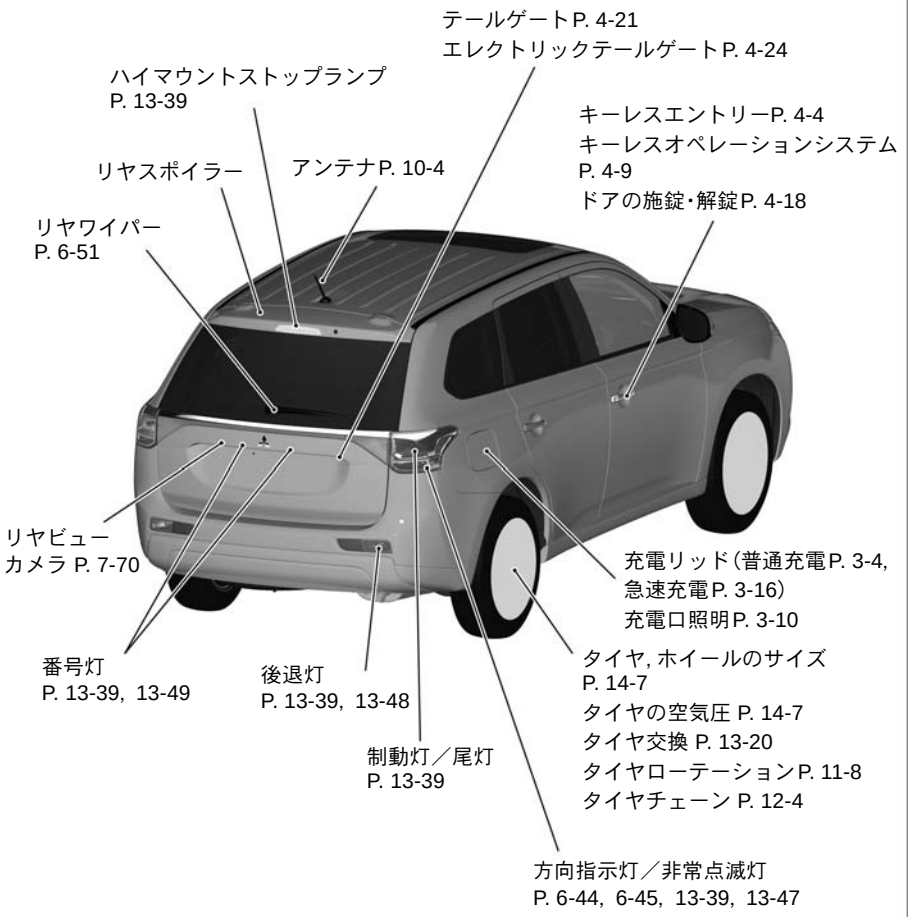
J00100402005

1



・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

TAF000753



・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

TAF000737

MEMO

プラグインハイブリッドEVシステムについて

主な特長 2- 2
駆動用バッテリーについて 2- 5
EV航続可能距離について 2- 6
車両接近通報装置について 2- 6
万一, 事故が起きたときは 2- 7
点検･整備をするときは 2- 9
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの
医療用電気機器を使用している方は 2- 11
極寒時の注意事項と対処方法 2- 12

主な特長

J02200100016

- 駆動用バッテリーに蓄えられた電気を使用して，バッテリー残量に応じて*1EV走行モードで電気自動車として走行します。
  駆動用バッテリー残量が減少したときや走行状況に応じて，EV 走行モードからエンジンを併用するシリーズ走行モードやパラレル走行モードに自動制御*2します。

*1: 駆動用バッテリーに残量がある場合は，積極的にEV走行モードになります。
走行可能距離は，駆動用バッテリー残量や車速，エアコンの使用状況によって変わります。

*2: バッテリーセーブスイッチを使用することで，EV 走行モードに切り換わるタイミングを調整できます。
→「バッテリーセーブスイッチ」P. 7-34

- 高性能モーターの採用により，走行中の騒音・振動を大幅に抑えるとともに力強く加速します。
- 回生ブレーキを採用し，アクセルオフ時に自動的に駆動用バッテリーを充電します。
- AC 200V*1またはAC 100V*2のEV充電用コンセントから充電することができます。

*1: AC 200V普通充電ケーブル使用時

*2: AC 100V普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

- CHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器による充電が可能です（タイプ別装備）。CHAdeMO とは，日本が主導し国際標準化を進めている電気自動車用急速充電規格です。

EV走行モードとは...

- 駆動用バッテリーに蓄えられた電気を使用してモーターのみで走行するモードです。ただし，駆動用バッテリー残量や車速，エアコンの使用状況により，EV 走行モードが解除されるのでつぎの点に注意してください。
  - インフォメーション画面でEV航続可能距離を確認してください。
    →「EV航続可能距離／総合航続可能距離表示」P. 6-14
  - 急加速，急減速を避け，なるべく控えめな速度で運転することを心がけてください。急加速，急減速を繰り返すと駆動用バッテリー残量が早く減少し，EV走行可能距離が極端に短くなります。

シリーズ走行モードとは...

- 駆動用バッテリー残量が減少した場合や急加速時，上り坂など力強い走りを必要とするときに，エンジン発電した電力を使用し，モーターのみで走行するモードです。

パラレル走行モードとは...

- エンジンの効率が良くなる高速走行時に，エンジンの駆動力を利用して，モーターがアシストしながら走行するモードです。

各走行モードでのモーターとエンジンの役割

	モーター	エンジン	走行状況
EV走行モード	駆動	停止	市街地走行や通勤など
シリーズ走行モード	駆動	発電	力強い加速 山道などの上り坂
パラレル走行モード	駆動	前輪駆動＋発電	高速走行

回生ブレーキとは...

- エンジン車のエンジンブレーキのように，走行中アクセルペダルから足を離したとき，またはブレーキペダルを踏んだときに，モーターを発電機として使用して運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。
  この変換時にブレーキ力が発生し，変換された電気エネルギーは駆動用バッテリーに充電されます。
- ブレーキペダルを踏み込んだとき，回生ブレーキの効きが強くなります。また，セレクトポジションを Ⓓ→Ⓑ にすると回生ブレーキの効きが強くなります。
  走行状況に合わせて，セレクターレバーを Ⓑ に操作してください。
- プラグインハイブリッドEVシステムに異常があるとき，またはABSやASCが作動しているとき，回生ブレーキの働きは制限されます。このとき，フットブレーキは働きます。

ガソリンエンジン作動について

J02201100013

- EV走行モードで走行していても, つぎの場合，自動で EV 走行モードが解除され，シリーズ走行モードまたはパラレル走行モードに切り換わることがあります。
  - プラグインハイブリッドEVシステムが高温または低温のとき
  - 急加速をしたとき
  - エアコンを使用しているとき
  - 上り坂や高速道路などでアクセルペダルを大きく踏み込んでいるとき
  - 外気温が低いとき
  - 長期間給油していないとき
  - 駆動用バッテリー残量が減少したとき

  上記のほかにも EV 走行モードが解除され，ガソリンエンジンを併用した走行に切り換わることがあります。
- 停車中でもつぎの場合，自動でエンジンが作動することがあります。
  - 駆動用バッテリー残量が減少したとき
  - プラグインハイブリッドEVシステムが高温または低温のとき
  - エアコンを使用したとき
  - お車を長期間使用していなかったとき
  - エンジンが長期間作動していなかったとき

燃料（ガソリン）の補給について

J02201200014

この車は，外部からの充電により蓄えた電気を使用して走行することができますが，シリーズ走行モードまたはパラレル走行モードで走行するためには燃料（ガソリン）の補給も不可欠です。燃料計を確認し，残量が 少ない場合は，燃料を補給してください。

→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-43

→「給油するときは」P. 4-44

→「燃料残量表示画面」P. 6-10

⚠注意

- お車の使用状況によっては燃料タンク内の燃料が消費されず長期間滞留し，燃料の品質が低下することがあります。エンジンや燃料系の部品に影響をおよぼす可能性があるため，つぎのことを守ってください。
  - 3ヶ月に一度はバッテリーチャージスイッチを押してエンジンを始動する。→「バッテリーチャージスイッチ」P. 7-35
  - 6ヶ月ごとに20L以上（6ヶ月間の給油量が合計20L以上になるように）燃料補給を行う。
- お車をお使いにならなかった等，燃料の残量が多く給油できないときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

駆動用バッテリーについて

J02200200017

駆動用バッテリーとは...

モーターおよびエアコンを作動させるバッテリーです。
この車には駆動用バッテリーの他に照明，ワイパーなどを作動させる補機用バッテリーも搭載しています。

- この車には，密閉式のリチウムイオン高電圧電池が搭載されています。リチウムイオン電池は，不適切な方法で処分すると，重度のやけどや感電により重大な傷害または死亡につながるおそれがあるだけでなく，環境汚染につながります。
- リチウムイオン電池には，つぎの特性があります。よくお読みいただき，注意して取り扱いください。

特性

- 一般的なリチウムイオン電池と同様に時間の経過や使用状況に伴い，バッテリー容量が低下し，これに伴い航続可能距離が短くなります。
  使用年月や使用条件により徐々に容量が低下します。
  特に，急な加減速の繰り返し，頻繁な急速充電の実施，酷暑地での使用，高温での車両保管などの場合は低下の割合が大きくなります。
- 外気温により性能が変化することがあります。特に低温時は常温時に比べて，航続可能距離が短くなり，充電時間が長くなります。
- 使用しなくても徐々に放電しバッテリー残量が減っていきます。
- 充電前にバッテリー残量を使い切る必要はありません。

取り扱いの注意点

- 長期間お車を使用されない場合は，3ヶ月ごとに駆動用バッテリー残量表示の目盛を確認してください。
  目盛が0の場合は，目盛が表示されるまで充電するか，パワースイッチの電源モードをONにして自動で始動したエンジンが停止するのを待ってからパワースイッチの電源モードを OFF にしてください。
- 駆動用バッテリーの回収を行っていますので，廃車するときは必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。

EV航続可能距離について

J02200300018

- エアコンは駆動用バッテリーの電力を消費するため, 過度に使用するとEV航続可能距離が短くなります。
  冷やしすぎや暖めすぎにならないように，風量をこまめに絞り，さらに設定温度を控えめに調整してください。
- 充電量が同じでも走行状況によってEV 航続可能距離は変化します。高速走行や山道の登坂は，通常よりも駆動用バッテリーの電力を消費するため, EV航続可能距離が短くなります。
- 道路状況に合わせてセレクターレバーをⒷに操作し，回生ブレーキを上手に使用して，駆動用バッテリーを充電すれば EV 航続距離を延ばすことができます。

車両接近通報装置について

J02200400019

- 車速が約 35km/h 以下でエンジンが作動していないとき，通報音で歩行者などに車両の接近などを知らせる装置です。
  →「車両接近通報装置」P. 7-37
- 車両接近通報装置が鳴っていても，歩行者には特に注意してください。歩行者は車両の接近や発進に気付かずに，事故が発生して重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

万一，事故が起きたときは

J02200500010

事故などにより車体に衝撃を受けたときに，プラグインハイブリッドEVシステムの作動を停止する場合があります。
この場合，プラグインハイブリッドEVシステムを再起動できなくなりますので三菱自動車販売会社へご連絡ください。
緊急処置が必要となるような事故が発生した場合は，エンジン車と同様の処置をしてください。また，重大な傷害または死亡につながるおそれのある重度のやけどや感電を防止するため，つぎのことに注意してください。

⚠警告

- 続発事故を防ぐため，走行可能な場合は，車両を現場付近の路肩など安全な場所に移動してください。
  また，可能な場合はつぎの処置を行い，緊急隊員が到着するまで交通のじゃまにならない場所で待機してください。
  - 輪止めをする。
  - セレクトポジションをⓅにする。
  - 駐車ブレーキをかける。
  - 窓，ドアおよびテールゲートを開ける。
  - パワースイッチの電源モードを OFF にする。
  - 非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示をする。
  - 意図しないスイッチ操作（パワースイッチへの接触など）によるシステム起動や事故などの影響による予期しないシステム起動の可能性を低減させるため，キーレスオペレーションキーは車両から離れた場所（車外）に保管する。
- モーターや駆動用バッテリーなどの高電圧の配線ならびにそのコネクター，他の高電圧部位に触れないでください。車両の内部または外部から露出した電線が見える場合は，感電するおそれがあります。高電圧部位については，「主な高電圧部位」を参照してください。→P. 2-9

⚠警告

- 駆動用バッテリー液の漏れ，車体や駆動用バッテリーの損傷は火災の原因となります。漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず消防に通報してください。
  車内または車外に液体の漏れが見つかったときは，火気を近づけないでください。また，絶対に触れないでください。
  駆動用バッテリー液が皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。
- ブレーキ液の漏れがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  漏れが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- 車両が損傷し，車両が安全であることを確認できない場合は，車両に触れないでください。車両から離れ，三菱自動車販売会社に連絡し，事故車がプラグインハイブリッド車であることを伝えてください。
- 駆動用バッテリーの消火には多量の水が継続的に必要となります。万一，車両火災が発生したときは，自分で消火しようとせず，できるだけ早く車両から離れて，消防に通報してください。
  不適切な消火器の使用，小量の水での消火は重大な傷害または感電死につながるおそれがあります。
- 避難する際，有毒ガスや可燃性ガスが室内にこもらないよう，また乗員救助や消火作業を容易にするため，可能であれば窓やドア，テールゲートを開けてください。
- 他の車両火災の場合と同様に，車両から出る煙，蒸気，ガスは有毒である可能性があるため，吸わないでください。風上の高い場所に移動し，消防が来るまで交通のじゃまにならない場所で待機してください。
- 駆動用バッテリー付近から液体の漏れ，火花，煙，火炎，ゴボゴボ音，シューシュー音，またはパーンという音がする場合はバッテリー火災のおそれがあります。すぐに消防に通報してください。

⚠警告

- 車両または駆動用バッテリーが損傷している場合は，有毒ガスや可燃性ガスが発生して発火するおそれがあります。事故後しばらく時間が経過してからガスが発生することもあるため，注意してください。
- けん引される場合は，必ず4輪とも持ち上げて搬送してください。後輪が接地した状態でけん引すると，モーターが発電して火災の原因となります。
  →「けん引」P. 13-29
- 損傷しているお車を自分で修理しようとしないでください。三菱自動車販売会社に修理を依頼してください。
- ボデー修理や塗装の補修が必要なときは，駆動用バッテリーやインバーター，配線などの高電圧部品の取り外しが必要になるため，三菱自動車販売会社にご連絡ください。駆動用バッテリーが塗装ブースで高温にさらされると，バッテリー容量が低下します。また，駆動用バッテリーが損傷している場合，訓練されていない方が整備作業を行うと危険です。

アドバイス

- つぎの場合は自動的に高電圧遮断システムが作動し，高電圧システムが働かなくなることがあります。
  - 強い衝撃を車両に受けたとき
  - プラグインハイブリッドEVシステムが故障しているとき
- 高電圧遮断システムが作動しているとき，READY（走行可能）表示灯は消灯しています。→「表示灯・警告灯」P. 6-23
- 高電圧遮断システムが作動した場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

点検・整備をするときは

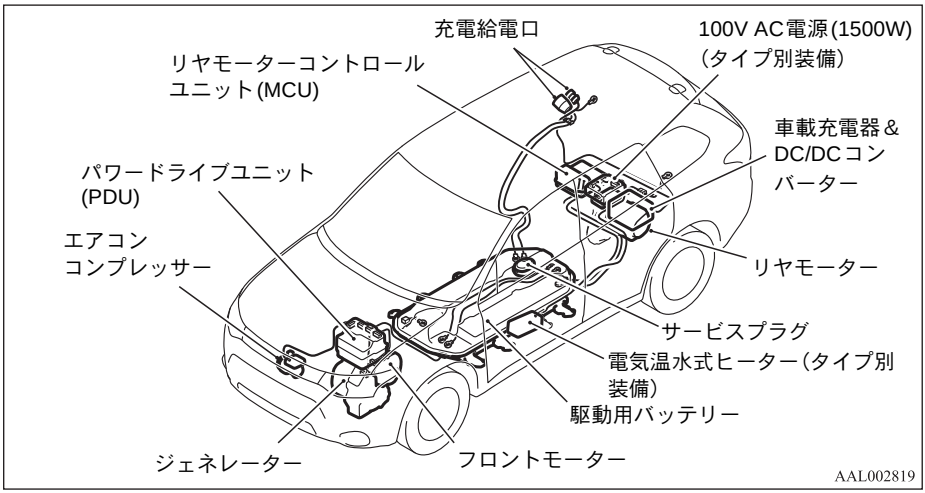
J02200700012

点検・整備をするときは，以下のことに注意して作業してください。

⚠警告

- 点検•整備をするときは，必ず車両から充電ガンを取り外し，パワースイッチの電源モードがOFFになっていることを確認してから行ってください。
- エンジンルーム内では高電圧部位に触れないでください。高電圧を発生する部品および高電圧の配線（オレンジ色）ならびにそのコネクターの取り外し，分解などは絶対に行わないでください。また，普通充電ケーブル，普通充電ガン，プラグ，コンセントの分解は絶対に行わないでください。感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  これらの部位には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので，ラベルの指示にしたがってください。必要な整備については，三菱自動車販売会社へ依頼してください。
- リヤシートの足元にあるサービスプラグには，絶対にさわらないでください。サービスプラグは車両を修理するときなどに，三菱自動車販売会社で駆動用バッテリーの高電圧をしゃ断するためのものです。
  取り扱いを誤ると感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

主な高電圧部位



⚠警告

- プラグインハイブリッドEVシステムは，最大で300Vの直流高電圧が使用されるため，システム起動中や起動後，車両が止まったときに高温になることがあります。車両に貼り付けらているラベルにしたがい，高電圧と高温に注意してください。
- 駆動用バッテリーおよび関連部品には電圧がかかっており，常に駆動用バッテリーは満充電の状態であると考えてください。
- READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき，および充電ランプが点灯•点滅しているときは，高電圧システムが作動しているため，絶対に整備作業を行わないでください。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は

J02200800013

⚠警告

- 走行中はリヤシートの足元に身体を近づけたり，荷室に乗らないでください。また，走行中は荷室に医療用電気機器を使用している方を乗せないでください。医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 充電作業をする前に，充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
  →「普通充電のしかた（AC 200Vコンセントまたは AC 100Vコンセントでの充電方法）」P. 3-4
  →「急速充電のしかた（急速充電器での充電方法）」P. 3-16
- 普通充電をするときは，充電中つぎのことをお守りください。
  - 充電ガンやコントロールボックスに近づかないでください。
  - 車内にとどまらないでください。
  - 物を取るときなどに，荷室を含めた車内に入り込まないでください。

  →「普通充電のしかた（AC 200Vコンセントまたは AC 100Vコンセントでの充電方法）」P. 3-4

極寒時の注意事項と対処方法

J02200600011

- 外気温が約-15°C以下のときは，つぎのような現象となる場合がありますので，それぞれの対処方法を行ってください。
- 外気温が約-25°C以下では，駆動用バッテリーが凍結して，充電やプラグインハイブリッドEVシステムの起動ができない場合があります。

外気温目安	現象		対処方法
約-15°C以下	起動, 走行に関して	モーター出力が制限され, 動力性能が低下する場合があります。 このとき走行制限モード表示*1が点灯する場合があります。	● 周りの車両と同程度の速度が出せる場合は走行を続けてください。 ● 周りの車両と同程度の速度が出せない場合は, 安全な場所へ停止し充電するか, 安全に十分注意して走行してください。
		回生ブレーキ力が低下する場合があります。	減速するときは, ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電, 電池に関して	充電時間が延びる場合があります。 また, 満充電にならない場合があります。	走行後すぐなど, 駆動用バッテリーが冷える前に充電してください。
約-25°C以下	起動, 走行に関して	モーター出力が制限され, 動力性能が低下する場合があります。 このとき走行制限モード表示*1が点灯する場合があります。	● 周りの車両と同程度の速度が出せる場合は走行を続けてください。 ● 周りの車両と同程度の速度が出せない場合は, 安全な場所へ停止し充電するか, 安全に十分注意して走行してください。
		回生ブレーキ力が低下または無くなる場合があります。	減速するときは, ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電, 電池に関して	充電ができない場合があります。	走行後すぐなど, 駆動用バッテリーが冷える前に充電してください。

外気温目安	現象		対処方法
約-30°C以下	起動, 走行に関して	READY（走行可能）表示灯*2が点灯せず, プラグインハイブリッドEVシステムが起動しない場合があります。	日中, 気温が上がるのを待つなどして, 駆動用バッテリー周辺温度が上がってから, 起動してください。
		回生ブレーキ力が低下または無くなる場合があります。	減速するときは, ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電, 電池に関して	充電ができない場合があります。	日中, 気温が上がるのを待つなどして, 駆動用バッテリー周辺温度が上がってから, 充電してください。

*1：→「走行制限モード表示」P. 6-31　走行制限モード表示の点灯は，お車の故障を示すものではありません。

*2：→「READY（走行可能）表示灯」P. 6-35

MEMO

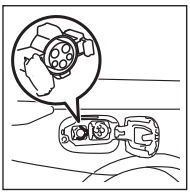
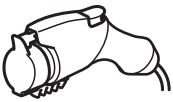
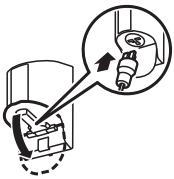
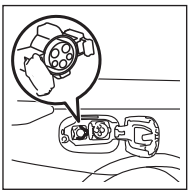
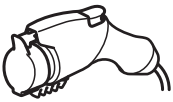
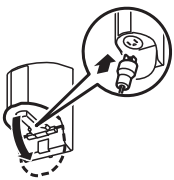
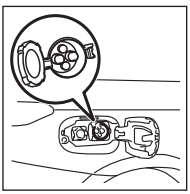
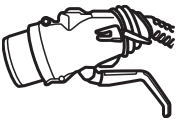
充電

充電 3- 2
バッテリーについて 3- 3
充電について 3- 3
充電トラブルシューティングガイド 3- 20
三菱リモートコントロール 3- 23

充電

J01802100077

駆動用バッテリーを充電するには以下の方法があります。

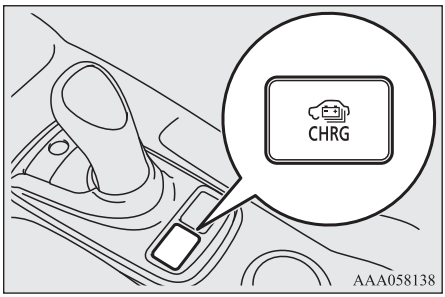
種類	充電給電口	充電ガン	電源	充電時間*1	参照
普通充電 (AC 200V)				約4時間	P. 3-4
普通充電 (AC 100V)*2 タイプ別装備				約13時間	P. 3-4
急速充電 タイプ別装備				約30分*3 (満充電の80％まで)	P. 3-16

*1: 充電時間はバッテリーの状態，車両の使用環境，急速充電器の仕様によって異なります。

*2: AC 100V 用の普通充電ケーブルは，標準装備されておりません。必要なときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。

*3: 急速充電器の出力が50kW仕様の場合の充電時間です。

または，走行中および停車中にバッテリーチャージスイッチの操作で駆動用バッテリーを満充電近くまで充電することができます。→「バッテリーチャージスイッチ」P. 7-35



バッテリーについて

J01800100057

お車にはモーター（パワーユニット）およびエアコンを作動させる駆動用バッテリーとプラグインハイブリッド EV システムの起動，照明，ワイパーなどを作動させる補機用バッテリーの 2 種類が搭載されています。本章では駆動用バッテリーの充電について説明します。

アドバイス

- 補機用バッテリーは READY（走行可能）表示灯の点灯中または駆動用バッテリーの充電中に自動的に充電されます。
- 補機用バッテリーがバッテリー上がりを起こしているときは，プラグインハイブリッドEVシステムを起動できません。また，充電もできません。→「補機用バッテリーが上がったときは！」P. 13-24

充電について

J01800200133

普通充電は AC 200V*1 または AC 100V*2 のEV充電用コンセントを電源として，車載の普通充電ケーブルを使用して行います。

急速充電（タイプ別装備）は，CHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器で行います。

（CHAdeMO とは，日本が主導し国際標準化を進めている電気自動車用急速充電規格です。）

なお，普通充電は，公共用および家庭用に市販された充電ケーブル付き普通充電器を使用して行うことも可能です。ただし，これらの充電器には，この車の充電に対応していないものや，車載の普通充電ケーブルとは充電時間が異なるものがある可能性がありますので，各充電器のマニュアルおよび仕様をご確認の上，ご使用ください。

*1: AC 200V普通充電ケーブル使用時

*2: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

⚠警告

- **AC 200V•AC 100V いずれの場合も，20A 以上の専用分岐回路に接続されたEV 充電用コンセントを使用してください。**
  また，電源回路には漏電遮断器を設置し，コンセントにはアース接続を施してください。EV充電用以外のコンセントを使用した場合，または専用の電源回路を使わない場合は配線の異常過熱，ブレーカーによる電気回路の遮断，他の電気機器への悪影響などが発生することがあります。
- **設置場所が屋外，または雨水などで濡れる可能性がある場合には，防水処理されたEV充電用コンセントを使用してください。**

⚠警告

- 雨や雪の日でも充電はできます。ただし，感電を防止するためつぎのことに注意してください。
  - 充電給電口，充電ガン，コンセント，プラグを濡れた手でさわらない。
  - 充電給電口，充電ガン，コンセント，プラグの端子部が濡れないように接続する。
  - 大雨，大雪，強風，雷などの悪天候のときや，今後悪天候が予想されるときは，屋外での充電は行わない。
- 充電給電口や充電ガンに水が入ると漏電の原因となり，火災，感電のおそれがあります。充電リッドおよび中ブタを空けたままにしたり，充電ケーブルを屋外に放置しないようご注意ください。
- 充電中にコンセントの接続部分が雪に埋もれてしまったときは，先にコンセントにつながっている手元スイッチまたはブレーカーを切ってから，雪を除去してプラグを抜いてください。
  充電中に車両が雪に埋もれてしまった場合も雪を除去してから，充電ガンを抜いてください。
- 外出先で普通充電をする場合，普通充電器の一部は，この車両に対応していないことがあります。使用する前に，この車両に対応していることを普通充電器の管理者または充電器メーカーにお問い合わせください。また，充電作業は充電器本体に表示された操作手順にしたがって行ってください。

アドバイス

- 駆動用バッテリーの容量を維持するため，つぎのことをおすすめします。
  - 2週間に1回程度は，普通充電で満充電にする。
  - 満充電付近で充電を繰り返さない。
  - できるだけ普通充電で充電する。
- 普通充電ガンと急速充電ガン（タイプ別装備）を同時に差し込まないでください。同時に差し込むと普通充電ができない場合があります。
- 充電中に停電が発生したときは，電気の復旧とともに充電も自動的に再開されます。

普通充電のしかた（AC 200V コンセント*1 またはAC 100V コンセント*2での充電方法）

J01801200127

*1: AC 200V普通充電ケーブル使用時

*2: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

⚠警告

- 安全のため，充電はお子さまや不慣れな方だけで行わないでください。また，充電ガンを幼児の手の届くところで使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は，充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は，充電中につぎのことをお守りください。
  - 充電ガンやコントロールボックスに近づかないでください。
  - 車内にとどまらないでください。
  - 物を取るときなどに，ラゲッジルームを含めた車内に入り込まないでください。
- 普通充電ケーブルを束ねたり，巻き付けた状態で充電しないでください。普通充電ケーブルが過熱し発火の原因となります。
- 充電前に，充電給電口および充電ガンにほこりなどの異物が入っていないことを確認してください。
  このとき充電給電口に手を触れないようにしてください。
  ほこりなどの異物が入り込んでいる場合は，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 充電ガンと充電給電口を接続する際，接続部に水やほこりなどの異物が入らないようにしてください。
  水やほこりなどの異物が入ったまま接続すると火災，感電の原因となります。接続部に強く水などがかかるおそれのあるときは充電しないでください。

⚠警告

- 充電機器を取り扱うときはつぎの点に注意してください。火災，感電，ショートの原因となります。
  - 普通充電ケーブルを抜き差しするときは，ケーブル部を引っ張って抜かないでください。プラグ部を持って抜いてください。
  - 普通充電ガン，コントロールボックス，プラグは水の中につけないでください。
- 感電など充電中の事故を防ぐため，つぎのことをお守りください。
  - 普通充電ケーブルは，必ずこの車両用のものを使用する。
  - 防水処置のされているコンセントを使用する。
  - ボデーカバーをかけたまま充電しない。
  - 濡れた手でプラグの抜き差しをしない。
  - 落雷のおそれがある場合には充電を行わない。
- 普通充電ケーブルやプラグが損傷していたり，異物が入り接続できない場合は，無理に接続しないでください。
- プラグや充電ケーブル，コントロールボックスに異常な発熱を感じたらすぐに使用を中止してください。使用中表面が暖かくなることがありますが故障ではありません。
- いつもと違う臭いがしたり，車両から煙が出ているときは，すみやかに充電を中止してください。
- 周囲が囲まれた換気の悪い場所で充電しないでください。また補機用バッテリーに火気を近づけないでください。
  充電の際に補機用バッテリーから発生する可燃性ガスが建物内などに充満して，爆発するおそれがあります。
  やむを得ず充電するときは，換気を十分に行ってください。
- 充電中，パワースイッチの電源モードがOFFでも，エンジンルーム内の冷却ファンが自動的に作動することがあります。
  充電中は，冷却ファンに手を近づけないでください。

⚠注意

- 発電機などAC 200VまたはAC 100V コンセント以外の電源から充電を行わないでください。故障の原因となります。

アドバイス

- 普通充電ガンや普通充電給電口に異物が入り接続ができなくなったときは，無理に接続せずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。無理に接続しようとすると，充電装置と車両が破損するおそれがあります。
- 充電中は盗難などを防ぐため，必ずドアを施錠してください。

◆ 普通充電ケーブル

J01801800107

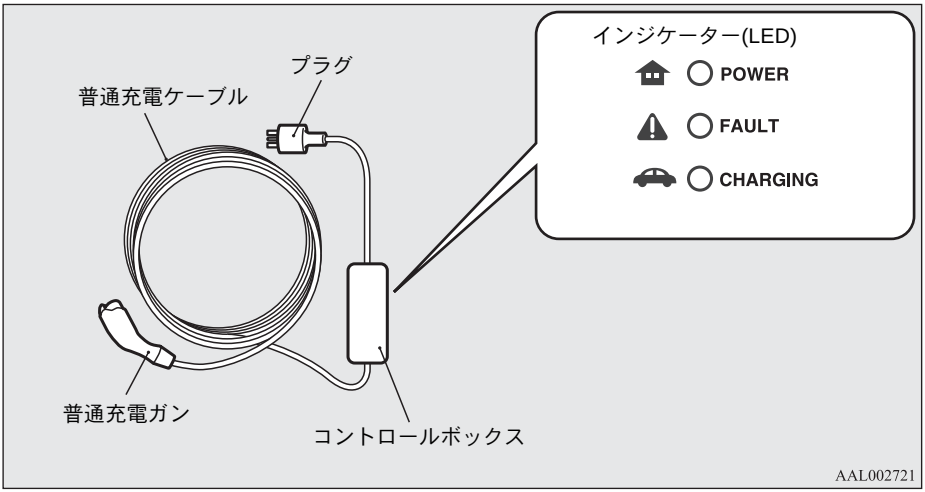
付属の袋に普通充電ケーブルが入っています。

- AC 200V普通充電ケーブル5m

つぎの普通充電ケーブルが必要なときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。

- AC 200V普通充電ケーブル10m
- AC 100V普通充電ケーブル5m

普通充電ケーブルには，コントロールボックスが装備されています。



インジケーターは以下の状況で点灯，点滅します。

○：点灯　◎：点滅　●：消灯

POWER	FAULT	CHARGING	作動状態
○	○	○	普通充電ケーブルのプラグをコンセントに接続するたびに，作動確認のため，すべてのインジケーターが約0.5秒点灯します。
○	●	●	作動確認が完了した後，普通充電ケーブルを充電口に接続していないか，充電口に接続していても充電が行われていないことを示します。
○	●	○	駆動用バッテリーが充電されています。
○	●	◎	充電が終了したことを示します。

POWER	FAULT	CHARGING	異常検知時作動状態 および必要な対応
○	◎	●	漏電しているか，普通充電ケーブルが故障しています。すぐに使用を中止して，三菱自動車販売会社にご連絡ください。
○	○	●	普通充電ケーブルが故障しています。すぐに使用を中止して，三菱自動車販売会社にご連絡ください。
●	●	●	コンセントが通電していないか，普通充電ケーブルが故障しています。 コンセントに電源がきているにもかかわらず，プラグをコンセントに接続してもインジケーターが点灯しないときは，すぐに使用を中止して，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

⚠警告

- コントロールボックスの POWER と CHARGING インジケーターが点灯しないとき，または充電中に FAULT インジケーターが点滅または点灯したときは，すぐに普通充電ケーブルを取り外し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 普通充電ケーブルの改造・分解はしないでください。火災，感電，けがの原因となります。
- 普通充電ケーブルは普通充電ガンのキャップを必ず取り付け，水で濡れたりほこりが入らない場所に保管してください。普通充電ガンやプラグの金属端子部に水やほこりなどの異物が入ると火災，故障の原因となります。
  また，針金や工具などの金属が接触すると，火災，感電，故障の原因となります。
- 普通充電ケーブル，普通充電給電口，普通充電ガン，プラグ，コンセントに損傷，腐食，さびがある場合，またプラグを挿してグラグラするような劣化したコンセントでは充電しないでください。火災，感電，ショートの原因になります。
- 普通充電ケーブルを取り扱うときはつぎの点に注意してください。
  ケーブルの損傷から，火災，感電，ショートの原因となります。
  - 落としたり，強い衝撃を与えない。
  - 無理に引っ張らない。
  - ねじらない。
  - 引きずらない。
  - 上にものを載せない。
  - ストーブなどの熱器具に近づけない。

アドバイス

- 普通充電ケーブルをこの車両以外に使用しないでください。
- 普通充電ケーブルは，日本国内のEV充電用 AC 200V コンセント *1 または EV 充電用AC 100Vコンセント *2 専用です。
- プラグをコンセントに差し込んだとき，作動確認のためコントロールボックスのすべてのインジケーターが一瞬点灯し，その後に POWER インジケーターと CHARGING インジケーターが点灯し続けます。
- 充電が完了したとき，コントロールボックスの CHARGING インジケーターが点滅します。なお，コンセントがつながっている間は POWER インジケーターが点灯し続けます。

*1: AC 200V普通充電ケーブル使用時

*2: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

◆ コントロールボックスの取り扱い

J01802000063

⚠警告

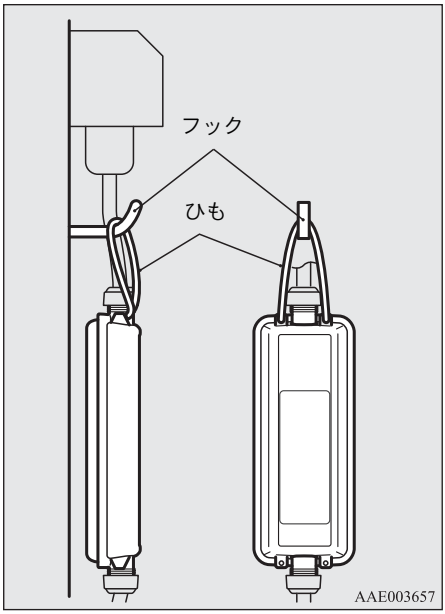
● コントロールボックスを取り扱うときはつぎの点に注意してください。コントロールボックスの損傷から火災，感電，けがの原因となります。
- 改造・分解はしない。
- 水の中につけない。
- 強い衝撃を与えたり，落としたりしない。

⚠注意

● ケーブルやコントロールボックスに足を引っ掛けるなどして強い力が加わると，コンセントおよびプラグが破損するおそれがありますので，注意してください。

アドバイス

● コントロールボックスにひもを通して，フックに吊り下げることができます。
● フックを使用する際は，普通充電ケーブルの重さ（約4kg）に耐えられるものを使用してください。



◆ 普通充電ケーブルのお手入れ

J01801900010

1. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
3. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠警告

- **お手入れの際は，必ずプラグおよび普通充電ガンをコンセントから抜いてください。また，濡れた手で抜き差ししないでください。感電の原因となります。**
- **普通充電ガンおよびプラグの金属端子部には水や中性洗剤を付けないようにしてください。水などが付いたままで使用すると火災，感電の原因となります。**

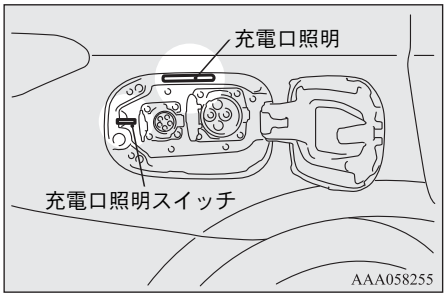
⚠注意

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないください。変形，変色，故障の原因になります。また，各種クリーナ類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますので，よくご確認のうえ使用してください。

◆ 充電口照明

J01804600021

充電口照明は，充電リッドを開けると点灯します。



充電口照明を再度点灯させたいときは，充電口照明スイッチを押してください。

アドバイス

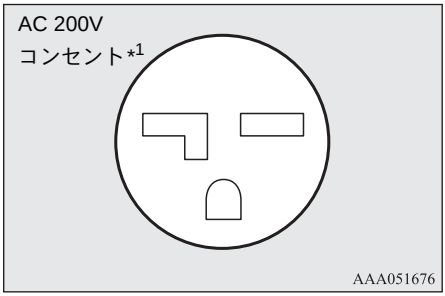
- 充電口照明が消灯するまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 充電口照明は，セレクトポジションが Ⓟ以外のとき，充電リッドを開けても点灯しません。
- 充電口照明が消灯している時，三菱リモートコントロールを操作すると充電口照明が点灯することがあります。

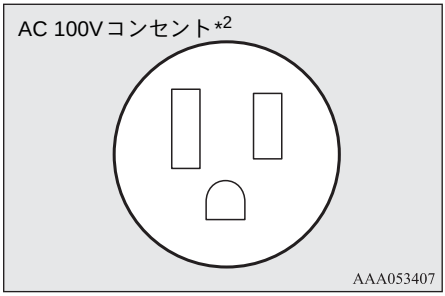
◆ 充電するときは

J01801700092

⚠警告

- **コンセントはつぎの種類のもののみ対応しています。つぎの種類以外のコンセントおよび，専用回路ではないコンセントには，絶対に接続しないでください。**
  AC 200Vコンセント*1：
  日本配線システム工業会規格 JWDS-0033
  EV充電用コンセント20A 250V
  AC 100Vコンセント*2：
  日本配線システム工業会規格 JWDS-0033
  EV充電用コンセント15A 125V





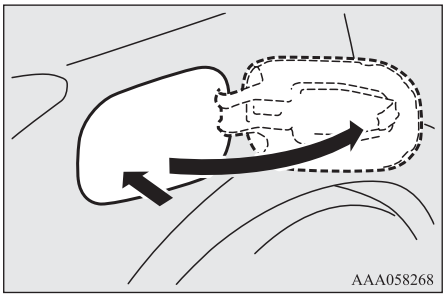
*1: AC 200V普通充電ケーブル使用時

*2: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

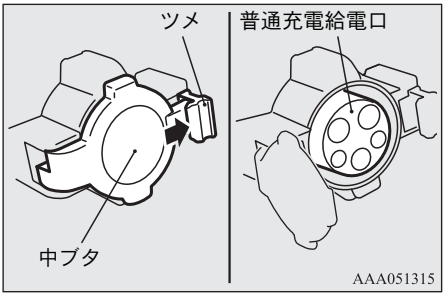
⚠注意

- コンセントは地上 1m 前後に設置されたものを使用してください。コンセントの接地位置が低い場合，コントロールボックスが地面に接し，水没や踏みつけてしまうなど，トラブルの原因となります。

1. 駐車ブレーキを確実にかけ，電動パーキングスイッチを押して，セレクトポジションをⓅにします。
2. ライトなどの電装品を停止して，パワースイッチの電源モードを OFF にします。
3. 充電リッドの後方をカチッと音がするまで押して充電リッドを開けます。



4. ツメを押して中ブタを開けます。



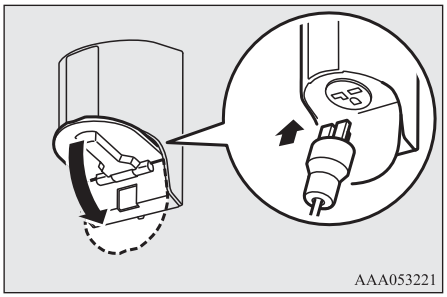
⚠警告

- **普通充電給電口の中ブタおよびリッドを開けたまま長時間放置しないでください。普通充電給電口に水やほこりなどが入ると漏電の原因となり，火災，感電の原因となります。**
- **普通充電給電口および普通充電ガンの金属端子部に手を触れないでください。感電，故障の原因となります。**

アドバイス

- 普通充電給電口には排水用の穴があります。この穴が詰まったりして普通充電給電口内に水が溜まったときは，充電を行わずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- 普通充電給電口が凍結したときは，ヘアドライヤーなどで解凍してください。凍結したまま普通充電ガンを無理に接続しようとすると，故障の原因になります。

5. 普通充電ケーブルのプラグをコンセントに確実に差し込み，コンセントのふたロック機構でプラグをロックします。

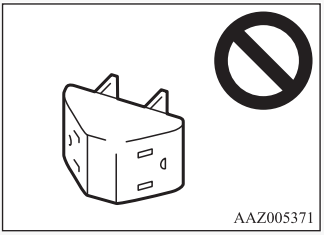


⚠警告

- **使用する前にコンセントにプラグが根元までしっかり差し込まれていることを確認してください。根元まで十分に差し込まれていない状態で充電を続けると異常発熱して火災の原因になるおそれがあります。**
- **AC 200V•AC 100V いずれの場合も，20A 以上の専用分岐回路に接続されたEV充電用コンセントを使用してください。**
  また，電源回路には漏電遮断器を設置し，コンセントにはアース接続を施してください。EV充電用以外のコンセントを使用した場合，または専用の電源回路を使わない場合は配線の異常過熱，ブレーカーによる電気回路の遮断，他の電気機器への悪影響などが発生することがあります。
- **設置場所が屋外，または雨水などで濡れる可能性がある場合には，防水処理されたEV充電用コンセントを使用してください。**

⚠警告

● **普通充電ケーブルの先にプラグアダプターなどを取り付けて他の器具と併用したり，延長コードを使用すると，コンセントが異常発熱して火災の原因になるおそれがあります。**

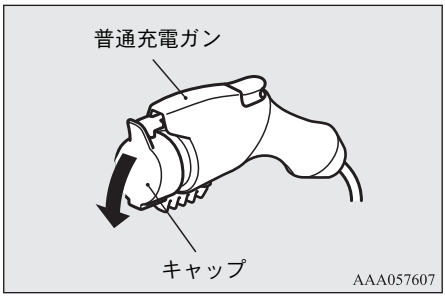


アドバイス

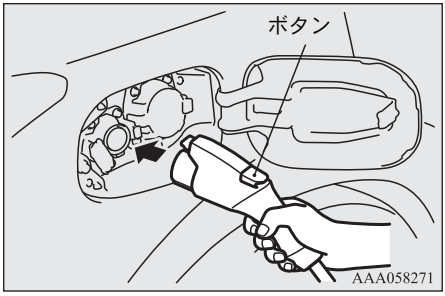
- AC 100V コンセント * にはプラグを差し込んだあと，時計回りに回して固定するタイプのものがありますが，これは屋外に設置される庭園灯•看板灯や，屋外で使用される電動工具への給電などを意図して設置されたものであり，頻繁な抜き差し使用を行う電気自動車の充電用としては耐久性が充分でない場合があります。こうしたコンセントを充電用に使用すると，大電流通電時にいちじるしく温度が上昇し，危険な状態になる場合がありますので，使用しないでください。
- つぎの場所に設置されているコンセントは使用する前に，この車両に対応しているか確認してください。
  - 自宅やマンションなどに設置されているコンセント
  - 一般の駐車場や車庫に設置されているコンセント

*: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

6. 普通充電ガンのキャップを取り外し，普通充電ガンおよび普通充電給電口の先端部にほこりなど異物が付いていないことを確認します。

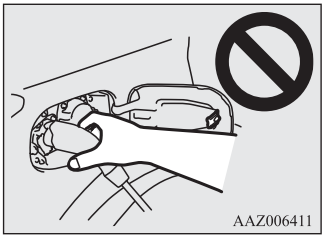


7. 図のように普通充電ガンの下部を握り，ボタンを押さずにカチッと音がするまで差し込みます。



⚠注意

- 普通充電ガンの頭部を握らないでください。
- リッドの内側の突起物に気をつけてください。

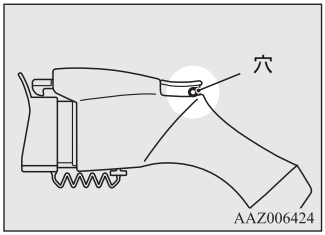


⚠注意

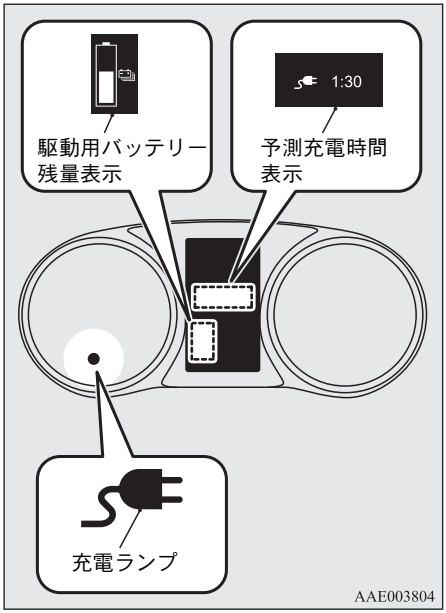
● 充電中は普通充電ガンに無理な力を加えないでください。普通充電ガンや普通充電給電口が破損して，充電ができなくなる可能性があります。

アドバイス

● 普通充電ガンを短時間に何度も抜き差ししないでください。充電が開始されない場合があります。
● 普通充電ガンを普通充電給電口に差し込んで，パワースイッチの電源モードをONにしても，走行可能状態になりません。
● 充電中にパワースイッチの電源モードがONの状態のときに電源モードをOFFにしたい場合は，セレクトポジションがⓅにあることを確認し，ブレーキペダルから足を離してパワースイッチの電源モードをOFFにしてください。ブレーキペダルを踏んだ状態では，パワースイッチの電源モードをOFFにすることはできません。
● 充電中に普通充電ガンの穴に南京錠をつけることで，普通充電ガンの盗難防止ができます。南京錠は三菱自動車販売会社へお問い合わせください。



8. メーター内の充電ランプが点灯していることを確認します。



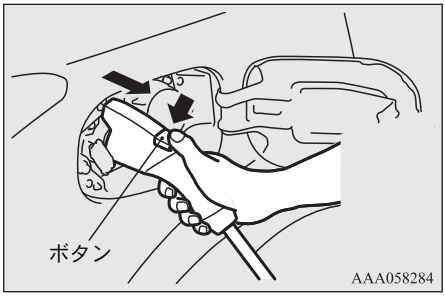
充電ランプが点灯しない場合は，充電が開始されていません。

普通充電給電口およびプラグが正しく接続されているか確認しながら，再度手順5.からやり直してください。

アドバイス

● 充電ランプは，充電ガンを充電給電口に差し込むと点滅し，充電が開始されると点灯に切り替わります。
● 充電中に駆動用バッテリーの充電量や予測充電時間を確認したい場合は，いずれかのドアを開けるかマルチインフォメーションディスプレイスイッチを操作するとマルチインフォメーションディスプレイに駆動用バッテリー残量表示と予測充電時間表示が点灯し，確認することができます。
また，予測充電時間表示は残り時間が1時間未満になったとき，--:--表示に切り換わりますが，故障ではありません。

9. 充電ランプが消灯したら充電は完了です。図のように普通充電ガンの下部を握り，ボタンを押しながら引き抜き，普通充電ガンのキャップを取り付けます。



⚠注意

- 充電が終わった後は，必ず普通充電ガンが普通充電給電口から取り外されていることを確認してください。普通充電ガンが根元まで差されておらずロックがかかっていない場合，パワースイッチを操作すると走行可能状態にできるため，車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 充電を途中で中止することもできます。この場合も，ボタンを押しながら普通充電ガンを引き抜きます。

10. 中ブタを閉じてから，充電リッドの後方をカチッと音がするまで押して充電リッドを閉じます。

アドバイス

- 中ブタを閉めずにリッドを閉めると，中ブタの破損や充電リッドが傷付くおそれがありますので確実に閉じてください。

11. 普通充電ケーブルのプラグをコンセントから引き抜きます。

12. 普通充電ケーブルを付属の袋に入れて保管します。

⚠警告

- **充電が終わった後は普通充電給電口の中ブタおよびリッドを確実に閉めてください。**
  また，普通充電給電口，中ブタおよび普通充電ガンに水やほこりが入らないように注意してください。
  水やほこりなどが入ると漏電の原因となり，火災，感電の原因となります。
- **充電が終わった後は，必ずプラグをコンセントから抜いてください。**
  プラグをコンセントに付けたままにしておくと，水の浸入やいたずらなどにより漏電，感電の原因となります。

急速充電のしかた（急速充電器での充電方法）

タイプ別装備

J01801300115

⚠警告

- 必ず，CHAdeMO 規格に準拠し，CHAdeMO 協議会の認証を受けた急速充電器を使用してください。それ以外の急速充電器を使用すると火災，故障の原因となります。
- 急速充電器の操作は，各急速充電器のマニュアルにしたがって正しく行ってください。
  無理な操作を行うと故障の原因となります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は，充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 充電前に，急速充電給電口および急速充電ガンにほこりなどの異物が入っていないことを確認してください。
  このとき急速充電給電口に手を触れないようにしてください。
- 急速充電ガンと急速充電給電口を接続する際，接続部に水やほこりなどの異物が入らないようにしてください。
  水やほこりなどの異物が入ったまま接続すると火災，感電の原因となります。
  接続部に強く水などがかかるおそれのあるときは充電しないでください。
- 充電中は，急速充電ガンをむりやり外そうとしたり，ゆすったりしないでください。火災，感電，故障の原因となります。
- 充電中，パワースイッチの電源モードが OFF でも，エンジンルーム内の冷却ファンが自動的に作動することがあります。
  充電中は，冷却ファンに手を近づけないでください。

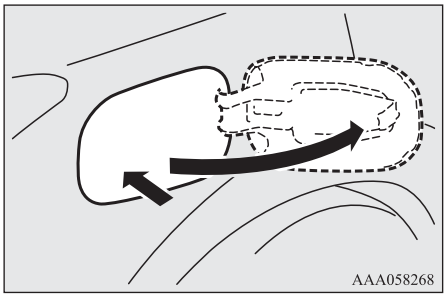
アドバイス

- 充電中にパワースイッチの電源モードを ON にすると充電が停止します。

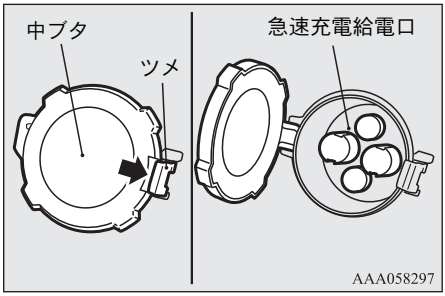
アドバイス

- 充電中には急速充電ガン，ケーブルが車体よりはみ出すため，体に引っ掛けたり，隣の車両に接触しないように注意してください。
- 急速充電給電口の中ブタを開けたまま長時間放置しないでください。急速充電給電口にほこりなどの異物が入り，充電ができなくなるおそれがあります。
- 急速充電ガンや急速充電給電口に異物が入り接続ができなくなったときは，無理に接続せずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。無理に接続しようとすると，充電装置と車両が破損するおそれがあります。
- 充電中は盗難などを防ぐため，必ずドアを施錠してください。

1. 駐車ブレーキを確実にかけ，電動パーキングスイッチを押して，セレクターポジションを Ⓟ にします。
2. ライトなどの電装品を停止して，パワースイッチの電源モードを OFF にします。
3. 充電リッドの後方をカチッと音がするまで押して開けます。



4. ツメを押して中ブタを開けます。



⚠警告

● 急速充電給電口および急速充電ガンの金属端子部に手を触れないでください。感電，故障の原因となります。

アドバイス

- 急速充電給電口には排水用の穴があります。この穴が詰まったりして急速充電給電口内に水が溜まったときは，充電を行わずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- 急速充電給電口が凍結したときは，ヘアドライヤーなどで解凍してください。凍結したまま急速充電ガンを無理に接続しようとすると，故障の原因になります。

5. 急速充電給電口に急速充電ガンを取り付け，充電を開始します。
取り付け方，取り外し方については，各急速充電器のマニュアルにしたがってください。

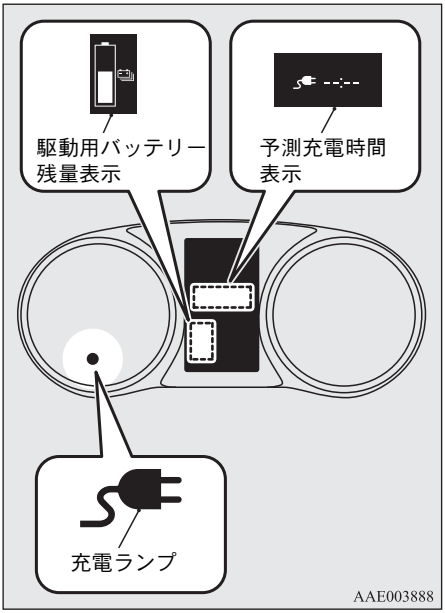
⚠注意

- 急速充電ガンを差し込むときは，急速充電給電口に対してまっすぐに根元まで差し込んでください。急速充電ガンが根元まで差し込まれないまま充電を開始すると，駆動用バッテリーが充電されなかったり，充電機器が破損するおそれがあります。
- 充電中は急速充電ガンがロックされ取り外すことができません。無理に急速充電ガンを外そうとすると急速充電ガンが破損する可能性がありますので，充電中は急速充電ガンに触らないようにしてください。途中で充電を止めるときは，急速充電器の表示手順に従って充電を停止して，充電が中止されたことを確認してから急速充電ガンを取り外してください。

アドバイス

- パワースイッチの電源モードをOFFにしてすぐに充電を開始すると，充電が開始されない場合があります。パワースイッチの電源モードをOFFにした場合，しばらくしてから充電を開始してください。

6. メーター内の充電ランプが点灯していることを確認します。



充電ランプが点灯しない場合は，充電が開始されていません。
急速充電器のマニュアルにしたがってください。

アドバイス

- 充電ランプは，急速充電ガンを急速充電給電口に差し込むと点滅し，充電が開始されると点灯に切り替わります。
- 充電中に駆動用バッテリーの充電量を確認したい場合は，いずれかのドアを開けるかマルチインフォメーションディスプレイスイッチを操作するとマルチインフォメーションディスプレイに駆動用バッテリー残量表示が点灯し，確認することができます。
  また，予測充電時間も点灯しますが急速充電の場合，充電時間は約 30 分であり，予測充電時間表示は残り時間が 1 時間未満の場合，--:--が表示されるため，残り時間を確認することはできません。

アドバイス

- 充電中は，車体から作動音がすることがあります。
  これは駆動用バッテリー冷却システムが作動したためで異常ではありません。
- 駆動用バッテリー冷却システムはエアコンシステムの一部を利用するため，自動的にエアコンコンプレッサーが作動します。
  急速充電後車体下が濡れていても，透明でサラサラしていればエアコンの除湿水であり異常ではありません。

7. 充電ランプが消灯したら充電は完了です。充電は下記の条件で終了します。

- ほぼ満充電になったとき。
- 充電時間が60分を経過したとき。
- 急速充電器側で充電停止操作を行ったとき。
- 急速充電器側に設定されている停止条件 （充電量•充電時間）となったとき。

各急速充電器のマニュアルにしたがって，急速充電ガンを取り外します。

⚠注意

- 充電が終わった後は急速充電ガンを取り付けたまま放置しないでください。
  誤ってケーブルに足を引っかけて転倒したり，いたずらにより急速充電給電口を破損するおそれがあります。
- 急速充電ガンを落下させるとケガをしたり，車両や急速充電コネクター，急速充電給電口を破損したりするおそれがありますので，十分注意してください。
- 充電が終わった後は，必ず急速充電ガンが急速充電給電口から取り外されていることを確認してください。急速充電ガンが根元まで差されておらずロックがかかっていない場合，パワースイッチを操作すると走行可能状態にできるため，車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 急速充電は満充電付近になると充電される速度が遅くなります。つぎに待っている人がいるときは，必要な量で充電を停止し，つぎの方にゆずってあげてください。
- 充電終了後は，充電器の前に車両を駐車したままにせず，すみやかに車両を移動してください。
- 急速充電は，充電量が100％になる前に充電が完了します。これはCHAdeMO規格の仕様であり，故障ではありません。

8. 中ブタを閉じてから，充電リッドの後方をカチッと音がするまで押して充電リッドを閉じます。

⚠警告

- **充電が終わった後は急速充電給電口の中ブタおよびリッドを確実に閉めてください。**
  また，急速充電給電口，中ブタおよび急速充電ガンに水やほこりが入らないように注意してください。
  水やほこりなどが入ると火災，感電，ショートの原因となります。

アドバイス

- 急速充電ガンを急速充電給電口に接続したままで，パワースイッチの電源モードをONにしても，プラグインハイブリッドEVシステムの起動はできません。
  起動させる前に，必ず急速充電ガンを外してください。
- 充電が終わった後，急速充電給電口の中ブタを閉めずにリッドを閉めると，中ブタの破損や充電リッドが傷付くおそれがありますので確実に閉じてください。

充電トラブルシューティングガイド

J01804400074

症状	原因	対処法
充電が開始されない。	パワースイッチの電源モードがONになっている。	充電前に, パワースイッチの電源モードをOFFにしてください。
	駆動用バッテリーがすでに満充電になっている。	駆動用バッテリーがすでに満充電になっているときは, 充電が行われません。
	駆動用バッテリーの温度が極端に低い。	駆動用バッテリーの温度が極端に低いと充電が行われません。→「極寒時の注意事項と対処方法」P. 2-12
	補機用バッテリーがあがっている。	プラグインハイブリッドEVシステムが起動できないため, 駆動用バッテリーが充電できません。補機用バッテリーを充電してください。→「補機用バッテリーが上がったときは！」P. 13-24
	車両または充電ケーブルに異常がある。	車両または充電ケーブルに異常がある可能性があります。メーター内のプラグインハイブリッドEVシステム警告灯が点灯してないか確認してください。→「プラグインハイブリッドEVシステム警告灯」P. 6-36 また, コントロールボックスのインジケーターが異常を示していないか確認してください。→「普通充電ケーブル」P. 3-6 警告が表示された場合は, すぐに充電を中止し三菱自動車販売会社に連絡してください。

症状	原因	対処法
普通充電が開始されない。	コンセントまで電力がきていない。	停電していたり, 漏電遮断機が作動していないか確認してください。なお, 電源にタイマー機能がついている場合, 電源に設定されている時間帯までは, コンセントに電力が供給されないものもあります。 コントロールボックスのPOWERインジケーターが点灯しているか確認してください。
	充電ガンが正しく接続されていない。	普通充電ガンが正しく接続されているか確認してください。
	充電ガンを短時間に何度も抜き差しした。	一度充電ガンを取り外し, しばらく待ってからもう一度充電開始操作を行ってください。
	他の車種の普通充電ケーブルを使用している。	この車両専用の普通充電ケーブルを使用してください。
	この車両に対応していない普通充電器を使用している。	この車両に対応した普通充電器であるか管理者または充電器メーカーにお問い合わせください。また, 充電作業は充電器本体に表示された操作手順にしたがって行ってください。
普通充電が途中で止まってしまう。	コンセントまで電力がきていない。	充電中に漏電遮断器が作動したり, 停電が起きたりした可能性があります。この場合, 電力が復帰すると自動的に充電も再開されます。
	普通充電ケーブルが抜けてしまっている。	普通充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	充電ガンのボタンが押されている。	充電ガンのボタンがしばらく押されたままになっていると, 充電が停止します。 もう一度充電開始操作を行ってください。
	駆動用バッテリーの温度が極端に低い。	駆動用バッテリーの温度が極端に低いと充電が行われません。→「極寒時の注意事項と対処方法」P. 2-12
	普通充電のタイマーで終了している。	普通充電器本体には, 一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあり, この時間が経過した場合は充電が停止されます。さらに充電したいときは, 一度充電ガンを取り外し, もう一度充電開始操作を行ってください。

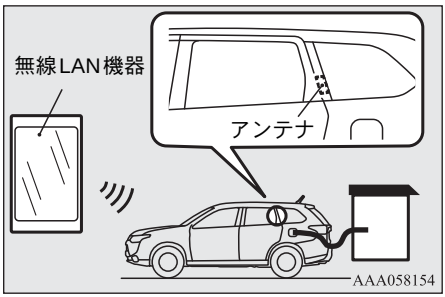
症状	原因	対処法
急速充電が開始されない。	充電ガンが正しく接続されていない。	急速充電ガンが正しく接続されているか確認してください。
	急速充電器のセルフチェック機能でNGになってしまった。	車両が故障している可能性があります。ただちに充電を停止して, 三菱自動車販売会社にご連絡ください。
	急速充電器の電源がOFFになっている。	急速充電器の電源をONにしてください。
急速充電が途中で止まってしまう。	急速充電のタイマーで終了している。	急速充電器本体には, 一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあり, この時間が経過した場合は充電が停止されます。さらに充電したいときは, 各急速充電器のマニュアルにしたがって一度急速充電ガンを取り外し, もう一度充電開始操作を行ってください。
	充電時間が60分経過した。	急速充電の時間は最大で60分に設定しているため, 60分が経過した場合は自動的に充電を停止します。さらに充電したいときは, 各急速充電器のマニュアルにしたがって一度急速充電ガンを取り外し, もう一度充電開始操作を行ってください。
	急速充電器の電源がOFFになってしまった。	急速充電器の電源をONにしてください。

三菱リモートコントロール

タイプ別装備

J01804700019

三菱リモートコントロールは車両と無線LAN機器（IEEE802.11b に準拠し，iOS, Android に対応した機器）などを接続し，車両を遠隔操作するシステムで，主につぎの遠隔操作を行うことができます。

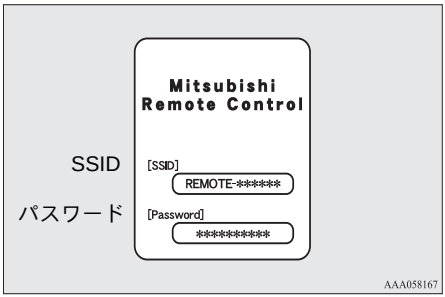


- タイマー充電
  普通充電ケーブル接続状態で，充電開始時間または充電終了時間を指定しておくと，その時間に充電を行います。
- プレ空調
  あらかじめ予約した時刻に空調を作動させて，乗車前に車室内の快適性向上，または視界確保を容易にする機能です。

アドバイス

- 電気温水式ヒーター非装着車は，暖房と視界確保の予約機能はありません。冷房のみ予約することができます。

三菱リモートコントロールで車両と通信するためには，無線LAN に対応した機器が必要です。
また，無線LAN 機器と車両を接続するためには，SSID*とパスワードが必要です。SSIDとパスワードは，お車のご購入時にキーに付属しています。



*: SSIDとは，IEEE 802.11シリーズの無線LANにおけるアクセスポイントの識別子で，無線LAN機器に表示されます。

三菱リモートコントロールの操作方法については三菱自動車ホームページ（下記URL）をご参照ください。
http://www.mitsubishi-motors.co.jp/special/app/outlander-phev/index.html

⚠警告

- **車内にお子さまや介護を必要とされる方，ペットなどがいるときは使用しないでください。プレ空調を設定しても，システムの自動停止などの理由で車内が高温または低温になることがあります。炎天下では車内の温度は急速に上昇し，熱中症や脱水症状になるおそれがあります。また，外気温が低い場合は，車内の温度は急速に下がることがあります。最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。**
- **この製品は外国の電波法には準じておりません。日本国内でご使用ください。**
  This product is for the use only in JAPAN.

⚠警告

● タイマー充電作動中やプレ空調作動中は，エンジンルーム内のクーリングファンが自動的に作動することがあります。充電中はクーリングファンに手を近づけないでください。

⚠注意

● ボデーカバーを掛けた状態でタイマー充電，プレ空調等は使用しないでください。

アドバイス

● 無線 LAN 機器を使用するときは，つぎの点に注意してください。
- 通信速度，通信距離は無線 LAN 機器や電波環境，障害物，駐車環境などの周囲条件によって異なります。
- 電波の性質上，通信距離が離れるにしたがって通信速度が低下する傾向があります。より快適にお使いいただくために，車両と無線 LAN 機器は近い距離で使用してください。
- 電子レンジなどの産業科学医療機器を使用中，無線 LAN 機器の通信速度，通信距離が低下する場合があるため，無線 LAN 機器と産業科学医療機器は離して使用してください。
- 無線 LAN 機器と Bluetooth® (BLUETOOTH SIG,INC. の登録商標) 機器を同時に使用した場合，それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があるため，無線 LAN 機器と Bluetooth® 機器は離して使用してください。

● つぎのような周囲の環境や状況のときは，車両と通信することができない場合や正しく作動しなかったり，不安定な作動となる場合があります。あらかじめ通信可能かどうか確認して使用してください。
- 車両と無線 LAN 機器がコンクリートや金属などの壁でさえぎられているとき
- 車両が駐車場で車高の高い車両に囲まれている場合
- 近くに TV 塔や変電所，放送局，空港など強い電波を発する設備があるとき

アドバイス

- 無線 LAN 機器の近くに携帯電話や無線機などの通信機器やパソコンなどの電化製品があるとき
- 無線 LAN 機器が金属性のものに接したり，覆われているとき
- 無線 LAN 機器の電池が消耗しているとき

● また，三菱リモートコントロールは，つぎのようなときも使用できません。
- 無線 LAN 機器の電源が OFF になっているとき。
- 三菱リモートコントロールのアプリケーションがインストールされていないとき
- 三菱リモートコントロールのアプリケーションが起動していないとき
- 無線 LAN 機器が車両と登録，または接続されていないとき
- 無線 LAN 通信エリア圏外にいるとき
- 無線 LAN 機器が他の無線 LAN 機器と接続中のとき
- 無線 LAN 機器が故障，もしくは電池が切れているとき

● 充電施設によっては，時間帯によって電源を ON/OFF するタイマー機能を持つものがあります。タイマー機能付充電施設で充電を行う場合は，充電施設の電源が ON になっている時間内でタイマー充電時間を設定してください。

● 駆動用バッテリーに蓄えられた電力を使用して，自動で補機用バッテリーへ定期的に充電します。

● プレ空調作動中や駆動用バッテリー作動中は冷却ファンやエアコンコンプレッサーが作動し音が聞こえることがありますが，異常ではありません。

● プレ空調は，車両のエアコンのスイッチの設定とは関係なく，無線 LAN 機器で選択したモードに基づいた専用モードで作動します。

● つぎの場合はプレ空調で得られる効果が小さくなったり，プレ空調作動後に駆動用バッテリーの残量が低下することがあります。
- 外気温が非常に高いとき
- 日射が強いとき
- 外気温が非常に低いとき

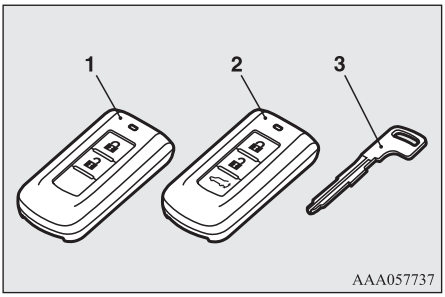
● 充電中にプレ空調を開始したときは，満充電までの時間が延びたり，駆動用バッテリーの残量が少なくなります。

各部の開閉

キー 4- 2
キーナンバープレート 4- 3
イモビライザー（盗難防止装置） 4- 3
キーレスエントリー 4- 4
キーレスオペレーションシステム 4- 9
ドア 4- 18
センタードアロック 4- 20
チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置） 4- 21
テールゲート 4- 21
セキュリティーアラーム 4- 33
パワーウインドウ 4- 39
サンルーフ 4- 41
フューエルリッド（燃料補給口） 4- 43
給油するときは 4- 44

キー

J00400101457



1- キーレスオペレーションキー
2- キーレスオペレーションキー（エレクトリックテールゲート付き車）
3- エマージェンシーキー

⚠警告

● **航空機内にキーを持ち込むときは，機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され，航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。**
かばんなどに入れて持ち込むときも，簡単にスイッチが押されないようにしてください。

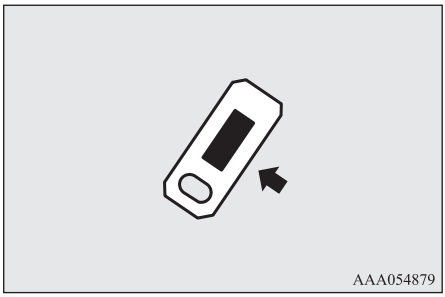
アドバイス

● キー（除く，エマージェンシーキー）は信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，つぎの点をお守りください。
- ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
- 分解，改造をしない
- キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
- 水にぬらさない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
- オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
- 携帯電話や無線機，高周波医療機器など強い電波を発する機器の近くに置かない
- 超音波洗浄器などで洗浄しない

● 電池交換のとき以外はキーを不用意に分解しないでください。分解，改造したキーを使用することは法律で禁止されています。
また，必ず日本国内でご使用ください。
● 万一，キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。

キーナンバープレート

J00433700010



キーナンバーがキーナンバープレートに打刻してあります。万一，キーを紛失した場合，キーナンバーを三菱自動車販売会社にご連絡ください。新しいキーを作ることができます。

アドバイス

- キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所に，キーとは別に大切に保管してください。

イモビライザー（盗難防止装置）

J00400200451

イモビライザー（盗難防止装置）は，車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキー以外ではプラグインハイブリッド EV システムが起動できないようにした装置です。

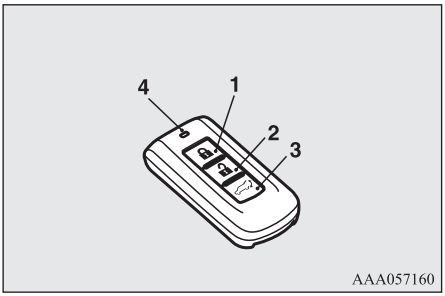
アドバイス

- 周囲の環境や条件により，車がキーからの信号を受信できずプラグインハイブリッド EV システムが起動できないことがあります。
  プラグインハイブリッド EV システムが起動できないときは，「キーレスオペレーションシステム」項をお読みになって原因を取り除くか，三菱自動車販売会社にご連絡ください。
  →「キーレスオペレーションシステム」P. 4-9
- キーを紛失したときや，新しいキーを作りたいときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。同じ車両で最大4個まで登録できます。このとき残りのすべてのキーとお車を三菱自動車販売会社へお持ちください。

キーレスエントリー

J00400301387

リモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠，およびドアミラーを操作することができます。



1- LOCKスイッチ
2- UNLOCKスイッチ
3- エレクトリックテールゲートスイッチ（タイプ別装備）
4- 作動表示灯

ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- UNLOCK スイッチを押すと車幅灯が約30秒点灯します。
  詳しくは「ウェルカムライト」をお読みください。→P. 6-41
- リモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠すると，ドアミラーは自動格納・自動復帰します。
  詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P. 7-12

アドバイス

- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はスイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時：非常点滅灯が1回点滅
解錠時：ルームランプが約 15 秒間点灯し，非常点滅灯が2回点滅

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。
    詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ドアミラーの格納・復帰

LOCK スイッチを押して施錠するとドアミラーが自動で格納します。
UNLOCKスイッチを押して解錠するとドアミラーは元の位置に戻ります。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 運転席ドアを閉め，パワースイッチの電源モードをONまたはACCにすると自動復帰する。
    また，電源モードをOFFにした後，運転席ドアを開くと自動格納する。
  - 走行スピードが30 km/hになると自動復帰する。
  - 格納スイッチ以外での操作をできなくする。

アドバイス

- リモコンスイッチは車から約 1m 以内で作動します。
  近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
- リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  つぎの個数まで作ることができます。
  - キーレスオペレーションキー：4個まで
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

  電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-7

運転席ドア限定アンロック機能

J00432800030

運転席以外のドアからの不正侵入を防止するため，キーレスエントリー機能，またはキーレスオペレーション機能で解錠されるドアを運転席のみに限定することができます。
この機能をありにした場合，キーレスオペレーションキーの UNLOCK スイッチ，または運転席ドアのスイッチを続けて 2 回押すことにより，すべてのドアおよびテールゲートを解錠することが可能です。

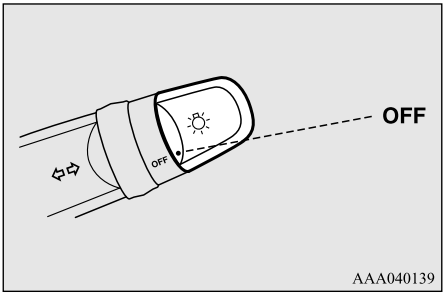
工場出荷時は，UNLOCKスイッチ，または運転席ドアスイッチを1回押すと，すべてのドアおよびテールゲートが解錠する設定になっています。
設定を変更するときは「運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた」の手順にしたがって操作してください。
→P. 4-6
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で設定を変更することができます。
詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

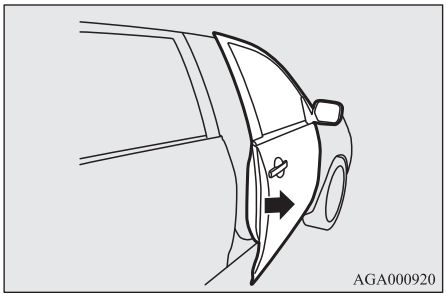
◆ 運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた

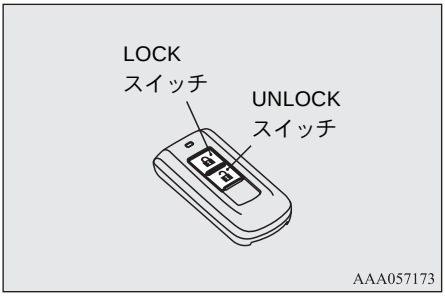
J00432900073

設定を変更するときは，つぎの手順にしたがって操作してください。

1. パワースイッチの電源モードを OFF にします。
2. ライトスイッチをOFF位置にして，運転席ドアを開いたままにします。
3. LOCKスイッチを押し続けます。
4. 約4秒経過後に，UNLOCKスイッチを押し続けます。
5. LOCKスイッチを離したあとにUNLOCKスイッチを離します。
（3.～5.の操作は10秒以内に行ってください。）







6. 設定状態をブザーの回数によって確認します。

ブザーの回数	運転席ドア限定アンロック機能の設定状態
1回 （機能なし）	●UNLOCKスイッチを1回押すとすべてのドアおよびテールゲートを解錠する ●運転席ドア, 助手席ドアのスイッチを押す, またはテールゲートのOPENスイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠する （工場出荷状態）
2回 （機能あり）	●UNLOCKスイッチまたは運転席ドアのスイッチを1回押すと運転席ドアのみ解錠し, 続けて2回押すとすべてのドアおよびテールゲートを解錠する

やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。

アドバイス

- 運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかたがわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

電池交換のしかた

J00415100285

電池交換をする前に部屋のドアノブ等の金属部分に触れて，身体の静電気を除去してください。

⚠警告

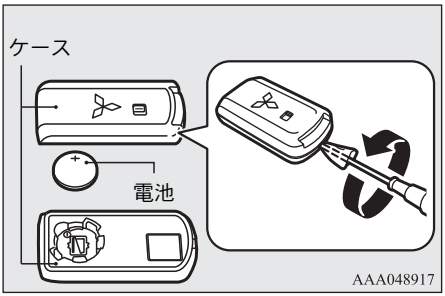
- **電池および取り外した部品は，誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。**

アドバイス

- 電池交換をする際は，キーを破損するおそれがあるため，三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。
- キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，内部の金属部分や回路に触れないでください。また水やゴミを付着させないでください。
- 電池は三菱自動車販売会社，時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

使用電池：CR2032

1. エマージェンシーキーを取り外します。
   →「エマージェンシーキー」P. 4-17
2. 三菱マークを上にして，先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを開きます。



3. 新しい電池は＋極を上にして取り付けます。
4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

キーレスオペレーションシステム

J00407400579

キーレスオペレーションキーを携帯するだけで，ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やパワースイッチの操作ができるシステムです。

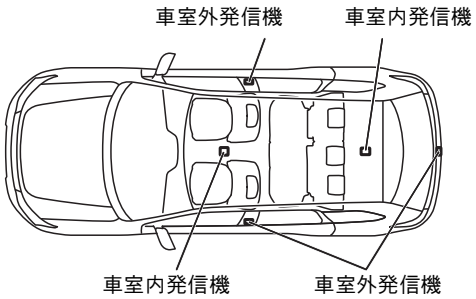
→「キーレスエントリー」P. 4-4

→「パワースイッチ」P. 7-15

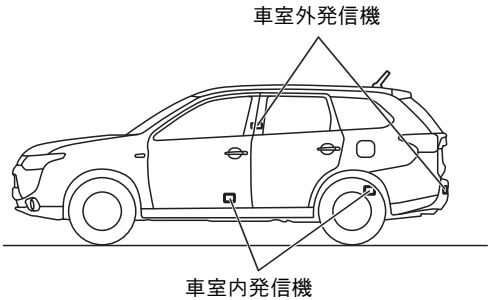
キーレスオペレーションキーは必ず運転者が携帯してください。ドアおよびテールゲートの施錠・解錠やプラグインハイブリッドEVシステムの起動など車を操作するために必要ですので，車から離れるときは必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。

⚠警告

- **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用している方は，車室外発信機・車室内発信機から約 22 cm 以内に近づかないようにしてください。キーレスオペレーションシステムに使用している電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。**



AAM010613



AAM010626

⚠警告

● 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用している方は，キーレスオペレーションシステムに使用している電波による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してからご使用ください。電波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

キーレスオペレーションシステムでできる操作をつぎのように変更することができます。ただし，キーレスオペレーションキーはキーレスエントリーのリモコンスイッチとして使用できます。

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

- ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作のみできるようにする
- プラグインハイブリッドEVシステムの起動操作のみできるようにする
- キーレスオペレーションシステムを働かないようにする。

キーレスオペレーションシステムでできる操作を変更した場合，作動している発信機はつぎの通りです。

- ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作のみ：すべての発信機
- プラグインハイブリッドEVシステムの起動操作のみ：車室内発信機

アドバイス

● キーレスオペレーションキーは微弱な電波を使用しています。
つぎのような場合，正しく作動しなかったり，不安定な作動となることがあります。
- 近くにＴＶ塔や変電所，放送局，空港など強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やパソコンなどの電化製品と一緒に携帯しているとき
- キーレスオペレーションキーが金属製のものに接したり，覆われているとき
- 他のイモビライザー用キーと重なっている，または近いとき
- 近くでキーレスエントリーを使用しているとき
- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき
- 強い電波，ノイズのある場所に置いたとき

このようなときはエマージェンシーキーを使用してドアの開閉を行ってください。
→「キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」P. 4-17
また，プラグインハイブリッド EV システムの起動はキーレスオペレーションキーをキーボックスに差し込んで行ってください。
→「パワースイッチ」P. 7-15

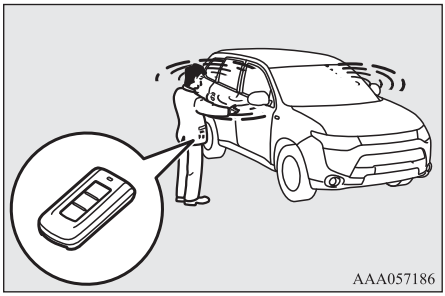
● キーレスオペレーションキーは，車両との通信のために常時受信動作をしているため，キーレスオペレーションキーの使用に関係なく常に電池を消耗しています。使用状況にもよりますが，電池の寿命は約 1 年 ~3 年です。電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
→「電池交換のしかた」P. 4-7

● キーレスオペレーションキーは，常時受信動作をしているため，強い電波の受信は電池の消耗につながります。テレビ，パソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

キーレスオペレーションシステムの作動範囲について

J00407500554

キーレスオペレーションキーを携帯してキーレスオペレーションシステムの作動範囲内に入り，ドアまたはテールゲートのスイッチを押すとIDコードの照合を行います。
車両とキーレスオペレーションキーのIDコードが一致した場合のみ，ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やパワースイッチの操作が可能になります。

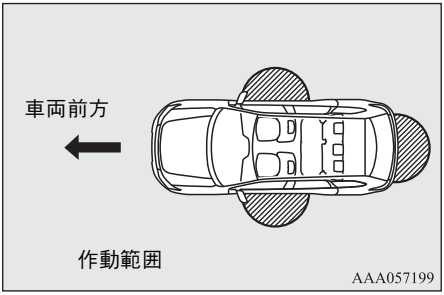


アドバイス

- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているときや，強い電波またはノイズのある場所などでは，作動範囲が狭くなったり，不安定な作動となることがあります。

◆ ドアおよびテールゲートを施錠・解錠するときの作動範囲

作動範囲はフロントドアおよびテールゲートのハンドルから周囲約 70 cm 以内です。



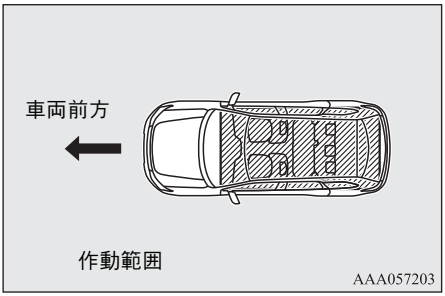
アドバイス

- キーレスオペレーションキーを検知したドアまたはテールゲートの操作でのみ施錠・解錠ができます。
- キーレスオペレーションキーがフロントドア，ドアガラス，テールゲートのすぐ近くにあるときは作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが運転席ドアまたはテールゲートのハンドルから周囲約 70 cm 以内でも，地面の近くや高い場所にあるときは，作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあれば，キーレスオペレーションキーを携帯していない人でも，運転席ドアまたはテールゲートの操作で施錠・解錠ができます。

◆ プラグインハイブリッド EV システムを起動する，電源モードを切り換えるときの作動範囲

J00407600311

作動範囲は車室内です。



アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあっても，グローブボックスなどの小物入れやインストルメントパネル周辺，ドアポケットまたはラゲッジルームなどにあるときは，プラグインハイブリッド EV システムの起動ができないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが車外にあっても，ドアやドアガラスのすぐ近くにあるときは，プラグインハイブリッド EV システムの起動または電源モードの切り換えができることがあります。

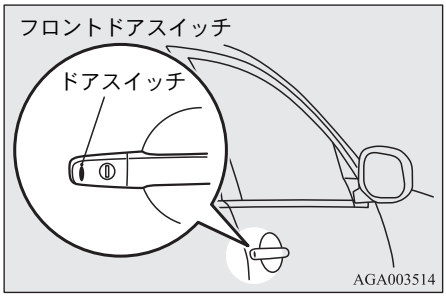
キーレスオペレーション機能を使って操作するときは

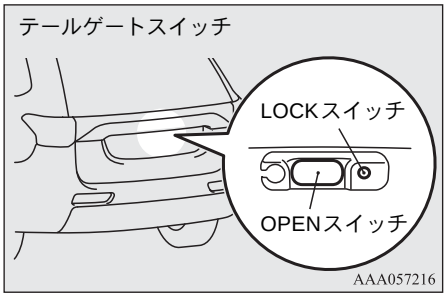
J00407700527

◆ ドアおよびテールゲートの施錠／解錠

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内でフロントドアスイッチを押す，またはテールゲートスイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠または解錠します。
フロントドアスイッチまたはテールゲートの OPEN スイッチを押して解錠した後，約30秒以内にドアまたはテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。つぎの項も合わせてお読みください。

→「ドア」P. 4-18
→「センタードアロック」P. 4-20
→「テールゲート」P. 4-21





アドバイス

- ドアスイッチまたはテールゲートのLOCK スイッチで施錠／解錠すると，ドアミラーは自動格納／自動復帰します。詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P. 7-12
- つぎのようなときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。
  - 車内にキーレスオペレーションキーがあるとき
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
  - 電源モードがOFF以外のとき
- 運転席ドア限定アンロック機能を使って，運転席ドアスイッチで解錠するドアを運転席のみに限定することができます。この機能を使いたいときは「運転席ドア限定アンロック機能の設定のしかた」をお読みください。→P. 4-6
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-33
- 施錠の確認をテールゲートでしたいときは，施錠後約 3 秒以内にテールゲートのOPEN スイッチを押してください。施錠後約 3 秒以上過ぎてOPEN スイッチを押すと，ドアおよびテールゲートは解錠されます。
- 施錠の確認ができる時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- 解錠した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はスイッチがDOOR 位置，または中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時: 非常点滅灯が1回点滅し，車外ブザーが1回鳴る

解錠時: ルームランプが約 15 秒点灯し，非常点滅灯が2回点滅し，車外ブザーが2回鳴る

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）およびブザーを働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。
    詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
    また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

警告表示について

J00433800037

項目	警告表示	ブザーの鳴りかた	原因および処置	備考
キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構	表示します 	車内ブザー1回 車外ブザー断続的	駐車中, かつパワースイッチの電源モードがOFF以外のとき, いずれかのドアを開けてキーレスオペレーションキーを車内から持ち出した後ドアを閉めると警告します。キーが車外に持ち出されていないか確認してください。	・ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出すと, キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構は働きません。 ・ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出したとき, キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構を働かせることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。 ・プラグインハイブリッドEVシステムが起動できる範囲内でキーレスオペレーションキーを携帯していても, 周囲の環境または電波状態などにより, キーレスオペレーションキーと車両のIDコードの照合ができなかったときは, 警告が作動することがあります。 ・100V AC電源(1500W)を使用中は, 使用する電気製品によっては, 発生するノイズによりキーレスオペレーションキー持ち出し監視機構が正常に働かなくなる場合があります。

項目	警告表示	ブザーの鳴りかた	原因および処置	備考
キー閉じ込め防止機構	表示します 	車内ブザー 1回 車外ブザー 断続的に 約3秒	電源モードがOFFのとき, 車内にキーレスオペレーションキーを置いたまますべてのドアおよびテールゲートを閉め, ドアスイッチおよびテールゲートのLOCKスイッチを押して施錠しようとすると警告し, ドアおよびテールゲートの施錠ができません。キーを持って車から降りてください。	必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。車内にキーレスオペレーションキーを置いたままでも, 周囲の環境または電波状態などにより, 施錠されることがあります。
半ドア防止機構	表示します 	車内ブザー 1回 車外ブザー 断続的に 約3秒	電源モードがOFFのとき, いずれかのドアまたはテールゲートを完全に閉めずにドアスイッチおよびテールゲートのLOCK スイッチを押して施錠しようとすると警告し, ドアおよびテールゲートの施錠ができません。ドアまたはテールゲートが完全に閉まっているか確認してください。	—
電源モードOFF切り換え忘れ防止機構	表示します 	車内ブザー 1回 車外ブザー 断続的に 約3秒	電源モードがOFF以外のとき, すべてのドアおよびテールゲートを閉め, ドアスイッチおよびテールゲートスイッチを押して施錠しようとすると警告し, ドアおよびテールゲートの施錠ができません。電源モードをOFFにしてください。	—

項目	警告表示	ブザーの鳴りかた	原因および処置	備考
キーレスオペレーションキーの電池切れ	表示します	車内ブザー1回	キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき警告します。できるだけ早くキーレスオペレーションキーの電池を交換してください。	・電池交換をする際は, キーを破損するおそれがあるため, 三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。 ・お客様自身で電池交換をする場合は, “電池交換のしかた” をよく読んでから行ってください。→「電池交換のしかた」P. 4-7
キーレスオペレーションシステムの異常	表示します	車内ブザー1回	システムに何らかの異常があります。警告灯が点灯したときは, 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。	—
キー抜き忘れ監視機構	表示します	車内ブザー約1分 車外ブザー約3秒	電源モードがOFFのとき, キーボックスにキーレスオペレーションキーを差したまま運転席ドアを開くと警告し, キーの抜き忘れを知らせます。キーボックスからキーを抜いてください。	—
イモビライザーの異常	表示します	車内ブザー	イモビライザー(盗難防止装置)に何らかの異常があります。IDコードが車両と一致したキーレスオペレーションキーを携帯している, およびキーレスオペレーションキーが作動範囲内にあることを確認してください。	一旦電源モードをOFFに戻し, 警告表示が消えないときは, 最寄の三菱自動車販売会社へご連絡ください。

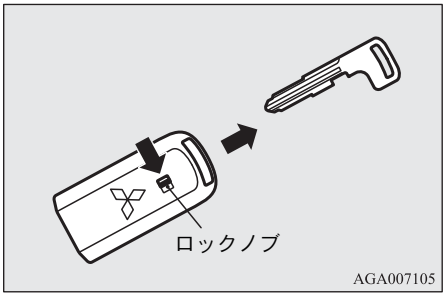
キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは

J00407900633

◆ エマージェンシーキー

エマージェンシーキーはキーレスオペレーションキーに内蔵されています。
キーレスオペレーションキーの電池切れやバッテリー上がりなどによりキーレスオペレーション機能が使用できないとき，ドアの施錠・解錠操作をすることができます。

ロックノブを矢印の方向に押しながら，キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り外します。



アドバイス

- エマージェンシーキーは緊急を要する場合のみご使用ください。
  キーレスオペレーションキーの電池が切れたときなどはできるだけ早く電池交換をして，キーレスオペレーションキーとして使用するようにしてください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-7
- エマージェンシーキーを使用した後は，必ずキーレスオペレーションキーに戻しておいてください。

ドアの施錠・解錠

エマージェンシーキーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

「ドア」も合わせてお読みください。→P. 4-18

ドア

J00400400600

⚠警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
  法的にも義務付けられています。
  お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  また車内に貴重品を置いたままにしないでください。
- 運転席ドアのキーを使って施錠・解錠したときは，運転席ドアのみ施錠・解錠します。
- 走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。
  半ドアのときは，メーター内のマルチインフォメーションディスプレイ内の画面に半ドア警告を表示します。
  確実に閉まっていないと，走行中にドアが開いて乗員が車外に放り出されるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のため運転席ドアのキーまたはロックノブを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

車外から施錠・解錠するときは（運転席ドア）

J00404400884

◆ キーを使って施錠・解錠するときは

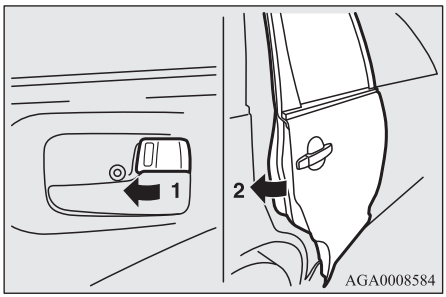
キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

アドバイス

- エマージェンシーキーを使って運転席ドアを施錠・解錠することができます。
  →「エマージェンシーキー」P. 4-17
- キーを使って施錠・解錠したときは，運転席ドアのみ施錠・解錠します。

◆ キーを使わずに施錠するときは（助手席，後席ドア）

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアを閉じます。



◆ パワースイッチ切り忘れ警告ブザー

J00413300052

パワースイッチの電源モードが ON のままで，運転席ドアを開くとパワースイッチ切り忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，パワースイッチの切り忘れを知らせます。

◆ 電動パーキングスイッチ押し忘れ警告ブザー

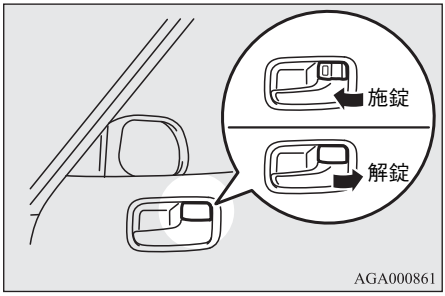
J00415600017

停車中，セレクトポジションがⓅ以外で運転席ドアを開くとブザーが鳴り，パーキングスイッチの押し忘れを知らせます。

車内から施錠・解錠するときは

J00404600815

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。



◆ オーバーライド機構

運転席ドアはロックノブを車両前方に倒したままでも，室内側のドアハンドルを引くとドアを開けることができます。

アドバイス

- すべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠するときは，センタードアロック，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能の操作で施錠・解錠してください。
  →「センタードアロック」P. 4-20
  →「キーレスエントリー」P. 4-4
  →「キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P. 4-12

センタードアロック

J00400501086

つぎの操作ですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

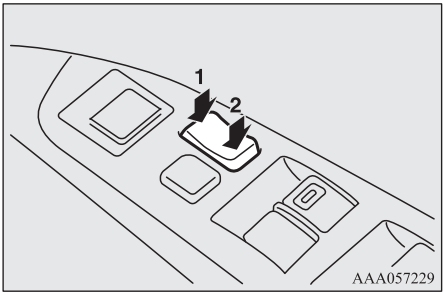
アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のためセンタードアロックスイッチを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

ロックノブを使って施錠・解錠するときは

J00412200041

センタードアロックスイッチ（1）側を押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，（2）側を押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。



パワースイッチを使って解錠するときは

J00411000114

パワースイッチを使って解錠する機能を設定することができます。これらの機能は工場出荷時は「解錠しない」に設定されています。「解錠する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

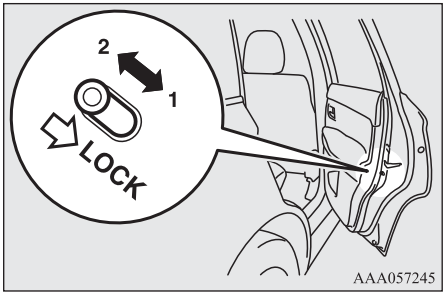
◆ 解錠するときは

パワースイッチの電源モードをOFFにするとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）

J00400600657

レバーを施錠側（1）にしてドアを閉めると，ドアのロックノブの位置に関係なく，車内からはドアが開けられなくなります。
安全上，お子さまを乗せるときにご使用ください。



1- 施錠
2- 解錠

ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

アドバイス

- 万一の場合など車内からドアを開けたいときは，ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。

テールゲート

J00401100864

⚠警告

- **走行前に必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。**
- **ラゲッジルームは人が乗る構造になっておりません。お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。**

⚠注意

- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。
  排気熱によりやけどをするおそれがあります。

テールゲートの施錠・解錠

J00411900041

センタードアロックまたはキーレスオペレーションシステムの操作で，テールゲートの施錠・解錠をすることができます。
詳しくは，つぎの項をお読みください。
→「センタードアロック」P. 4-20
→「キーレスオペレーションシステム」P. 4-9
→「キーレスエントリー」P. 4-4

除く，エレクトリックテールゲートの操作

J00408100078

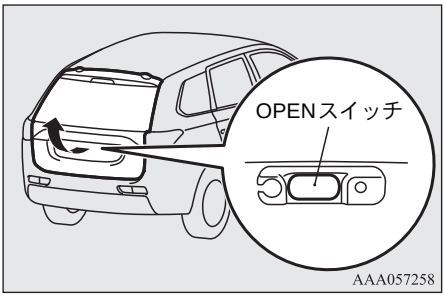
⚠警告

- **テールゲートを開閉するときは，まわりに人がいないことを確認し，頭をぶつけたり，手や首などをはさまないように注意してください。**

4

◆ 車外から開けるときは

解錠後，OPEN スイッチを押してテールゲートを持ち上げます。



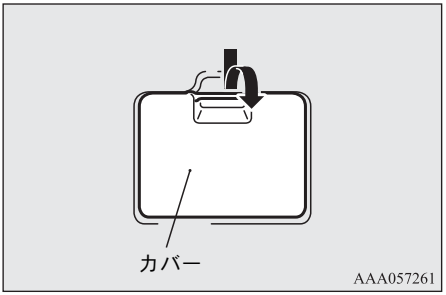
アドバイス

- OPEN スイッチを押した後すぐに開けないと，テールゲートは持ち上がりません。その場合はもう一度 OPEN スイッチを押してテールゲートを持ち上げます。
- バッテリーが上がったり，または外しているときは，テールゲートを開けることはできません。

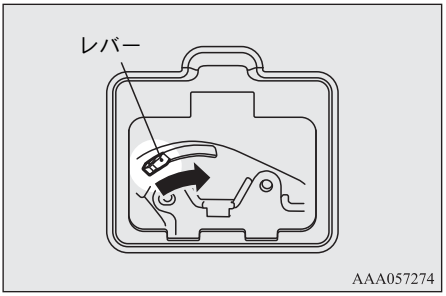
◆ 車内から開けるときは

車内からもテールゲートを開けることができます。
バッテリー上がりなどで車外から開けられなくなったときにご使用ください。

1. 車内からインサイドリリースレバーのカバーを外します。



2. インサイドリリースレバーを矢印の方向に下げます。



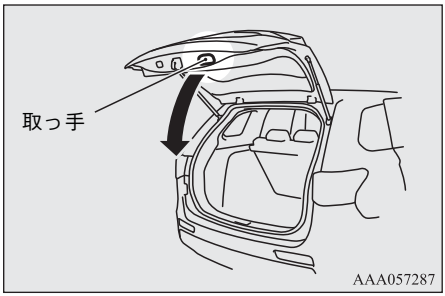
3. テールゲートを押しながら開けます。

⚠注意

- **通常はインサイドリリースレバーのカバーは閉じておいてください。カバーが開いたままだと荷物などがレバーに当たり，テールゲートが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。**

◆ 閉めるときは

テールゲートの取っ手に手をかけてテールゲートを途中まで引き下げた後，取っ手から手を離してテールゲートを軽く押しつけます。

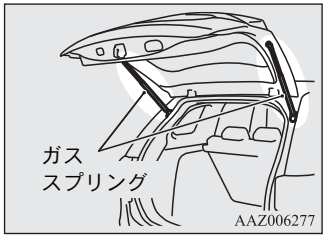


⚠注意

- テールゲートの取っ手に手をかけたまま直接テールゲートを閉じないでください。手や腕をはさみ，けがをするおそれがあります。
- テールゲートを閉じた後は，必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。



損傷や作動不良を防止するため，つぎのことをお守りください。

- ガススプリングに手をかけてテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

エレクトリックテールゲートの操作

J00408200095

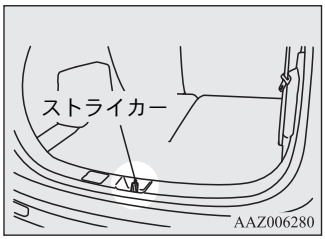
◆ エレクトリックテールゲートの開閉

⚠警告

- **安全のため，エレクトリックテールゲートの開閉操作はお子さまでなく大人が行ってください。**
- **エレクトリックテールゲートを開閉するときは，まわりに人がいないことを確認し，手や指などをはさまないように注意してください。**
  また，エレクトリックテールゲートが完全に開いたことを確認してから荷物を出し入れしてください。

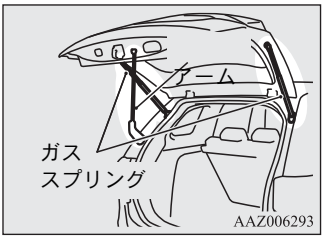
⚠注意

- エレクトリックテールゲートを閉じた後は，必ずエレクトリックテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エレクトリックテールゲートを閉めるときは，ストライカー付近に異物がないことを確認してください。
  異物が入るとエレクトリックテールゲートが正常に閉まらなくなるおそれがあります。



⚠注意

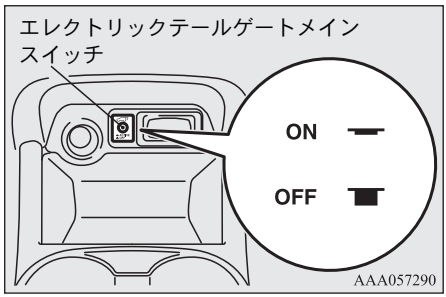
- エレクトリックテールゲートには，三菱自動車純正品以外のアクセサリーなどを取り付けないでください。種類によっては重みがかかり，落下防止機構が作動することがあります。
  →「落下防止機構」P. 4-29
  また，三菱自動車純正品でも種類によっては取り付けられない場合があります。
  詳しくは，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- エレクトリックテールゲートを開閉するときは，エレクトリックテールゲートのアーム付近に手をかけないようにしてください。手や指などをはさみ，けがをするおそれがあります。
- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，エレクトリックテールゲートのアーム付近に頭をぶつけないようにしてください。けがをするおそれがあります。
- エレクトリックテールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。
  損傷や作動不良を防ぐため，つぎのことをお守りください。
  - ガススプリングに手をかけてエレクトリックテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
  - ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
  - ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
  - ガススプリングに物をかけないでください。



◆ 自動操作

J00408300168

インストルメントパネルにあるエレクトリックテールゲートメインスイッチがONのときに，キーレスオペレーションキーのエレクトリックテールゲートスイッチ，運転席側エレクトリックテールゲートスイッチまたはエレクトリックテールゲート内側のクローズスイッチを使ってエレクトリックテールゲートを開閉することができます。
また，カスタマイズ（機能の設定変更）により，エレクトリックテールゲートのOPEN スイッチを使ってエレクトリックテールゲートを開けることができます。
→「キーレスオペレーションキーのエレクトリックテールゲートスイッチを使って開閉するときは」P. 4-27
→「運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを使って開閉するときは」P. 4-27
→「クローズスイッチを使って閉じるときは」P. 4-28
→「エレクトリックテールゲートのOPENスイッチを使って開けるときは」P. 4-28



⚠警告

**● 開閉作動中にエレクトリックテールゲートメインスイッチをOFFにしたときは，作動が停止して手動操作に切り換わります。
このとき，エレクトリックテールゲートの位置によっては急に開閉することがあります。**

⚠注意

● 開閉作動中にエレクトリックテールゲートに無理な力をかけないでください。故障の原因となります。
● 開閉作動中にプラグインハイブリッドEV システムを起動しないでください。急開閉防止機構が働き，エレクトリックテールゲートが小刻みに止まりながら動くことがあります。

アドバイス

● POWER DOORスイッチがOFFのときにキーレスオペレーションキーのエレクトリックテールゲートスイッチ，運転席側エレクトリックテールゲートスイッチまたはエレクトリックテールゲート内側のクローズスイッチを使って操作をすると，警報ブザーが4回鳴り，エレクトリックテールゲートが開閉できないことを知らせます。
● つぎのようなときは，エレクトリックテールゲートが正常に作動しないことがあります。
- 車が大きく傾いた状態で駐車しているとき
- 風の強いとき
- エレクトリックテールゲートに積雪があるとき

● 開閉作動を交互に連続操作すると保護回路が働いて手動操作に切り換わります。
● 開閉作動中や全閉直後にエレクトリックテールゲートのOPEN スイッチを押すとエレクトリックテールゲートが作動している方向と反対方向に作動します。

アドバイス

- エレクトリックテールゲートを自動で全開にしたときや，開閉作動中にセレクターレバーをⓅ以外に入れたとき，警報ブザーが約 10 秒間鳴り続け，エレクトリックテールゲートが開いていることを知らせます。
- エレクトリックテールゲートが開いている状態でバッテリーやヒューズを交換した場合は，自動では閉まらなくなります。その場合は，手動でエレクトリックテールゲートを閉めてください。

作動条件

エレクトリックテールゲートはつぎの条件がそろったときに自動で開けることができます。

［キーレスオペレーションキーを使って］

- パワースイッチの電源モードが　OFF のとき
- エレクトリックテールゲートが全閉のとき
- エレクトリックテールゲートが解錠されているとき

［運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを使って］

- パワースイッチの電源モードが ON でセレクターレバーがⓅのとき
- エレクトリックテールゲートが全閉のとき
- エレクトリックテールゲートが解錠されているとき

[エレクトリックテールゲートのOPENスイッチを使って]

この機能は工場出荷時は「作動しない」に設定されています。
「作動する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

- エレクトリックテールゲートが施錠されていて，キーレスオペレーションキーがエレクトリックテールゲートのハンドルから周囲約 70cm 以内にあるとき
- エレクトリックテールゲートが解錠されているとき

エレクトリックテールゲートはつぎの条件がそろったときに自動で閉めることができます。

［キーレスオペレーションキーを使って］

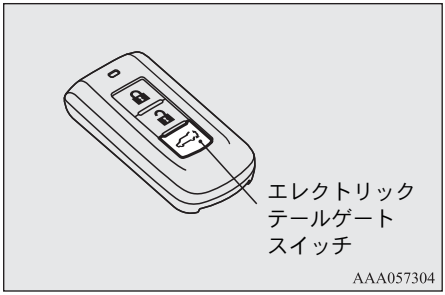
- パワースイッチの電源モードが　OFF のとき
- エレクトリックテールゲートが全開のとき
- 人や荷物などがセンサーに触れていないとき

［運転席側エレクトリックテールゲートスイッチまたはクローズスイッチを使って］

- パワースイッチの電源モードが ON でセレクターレバーがⓅのとき
- エレクトリックテールゲートが全開のとき
- 人や荷物などがセンサーに触れていないとき

キーレスオペレーションキーのエレクトリックテールゲートスイッチを使って開閉するときは

ドアおよびエレクトリックテールゲートを解錠した後，キーレスオペレーションキーのエレクトリックテールゲートスイッチを押して，エレクトリックテールゲートを開閉することができます。



エレクトリックテールゲートスイッチを続けて2回押すと警報ブザーが鳴り，非常点滅灯が 2 回点滅してエレクトリックテールゲートが作動します。
エレクトリックテールゲートの作動はつぎの通りです。

- 閉まっているとき：警報ブザーが 4 回鳴り，全開します。
- 開いているとき：警報ブザーが 3 回鳴り，全閉します。

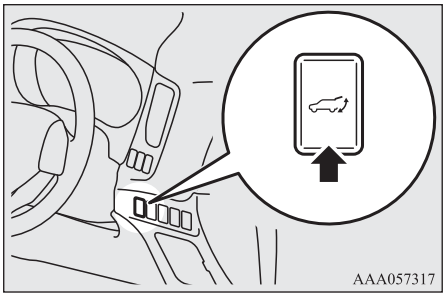
開閉作動中，エレクトリックテールゲートスイッチを 1 回押すと警報ブザーが 1 回鳴り，エレクトリックテールゲートが作動している方向と反対方向に作動します。

アドバイス

- 3 回以上続けてエレクトリックテールゲートスイッチを押すと，正常に開閉作動しないことがあります。
  このようなときは，しばらくしてから再度エレクトリックテールゲートスイッチを続けて2回押してください。

運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを使って開閉するときは

運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを押して，エレクトリックテールゲートを開閉することができます。



運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを約 1 秒以上押すと警報ブザーが鳴り，非常点滅灯が 2 回点滅してエレクトリックテールゲートが作動します。
エレクトリックテールゲートの作動はつぎの通りです。

- 閉まっているとき：警報ブザーが 4 回鳴り，全開します。
- 開いているとき：警報ブザーが 3 回鳴り，全閉します。

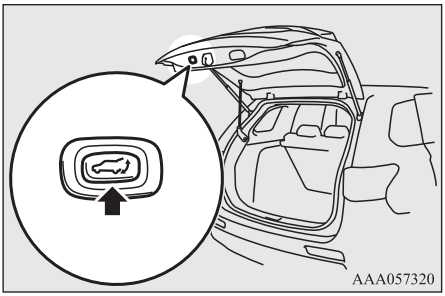
開閉作動中，運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを 1 回押すと警報ブザーが1回鳴り，エレクトリックテールゲートが作動している方向と反対方向に作動します。

⚠警告

- **エレクトリックテールゲートを開閉するときは，周囲の安全や車両の後方および上方に十分なスペースがあることを確認し，頭をぶつけたり，手や指などをはさまないように注意してください。**

クローズスイッチを使って閉じるときは

エレクトリックテールゲート内側のクローズスイッチを押して，エレクトリックテールゲートを閉じることができます。



エレクトリックテールゲート内側のクローズスイッチを押すと警報ブザーが 3 回鳴り, 非常点滅灯が2回点滅してエレクトリックテールゲートが閉まります。
閉じている途中でクローズスイッチを 1 回押すと警報ブザーが 1 回鳴り，エレクトリックテールゲートが開きます。

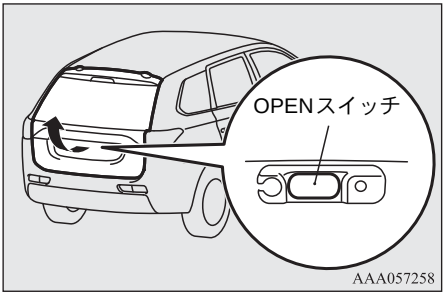
アドバイス

- エレクトリックテールゲートが開く方向に作動している途中で再度クローズスイッチを 1 回押すと警報ブザーが 1 回鳴り，エレクトリックテールゲートが閉じます。

エレクトリックテールゲートの OPEN スイッチを使って開けるときは

この機能は工場出荷時は「作動しない」に設定されています。
「作動する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

エレクトリックテールゲートが施錠されていても，キーレスオペレーションキーが作動範囲にあれば，エレクトリックテールゲートの OPEN スイッチを押して，エレクトリックテールゲートを自動で開けることができます。
また，エレクトリックテールゲートが解錠されていれば OPEN スイッチを押すと自動で開きます。



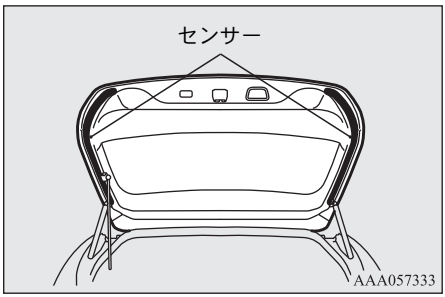
エレクトリックテールゲートの OPEN スイッチを押すと警報ブザーが4回鳴り, 非常点滅灯が 2 回点滅してエレクトリックテールゲートが開きます。

⚠注意

- エレクトリックテールゲートを開けるときは，まわりに人がいないことを確認してください。

セーフティー機構

自動開閉中，エレクトリックテールゲートに人や荷物などをはさんだ場合，またはエレクトリックテールゲートの両側にあるセンサーに人や荷物などが触れた場合は，安全のため自動的にエレクトリックテールゲートが，動いている方向と反対の方向に動きます。このとき警報ブザーが1回鳴ります。



⚠注意

- はさまれた物の形状や，はさまれ方によってはセーフティー機構が働かないことがあります。手，身体または物などをはさまないように注意してください。
- エレクトリックテールゲートを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。手や指などをはさまないように注意してください。
- エレクトリックテールゲートを手動で閉めるときは，セーフティー機構が働かないようになっています。手や指などをはさまないように注意してください。
- 連続してセーフティー機構が働いた場合は，手動操作に切り換わることがあります。このとき，エレクトリックテールゲートの位置によっては急に開閉することがありますので注意してください。
  手動操作に切り換わった場合は，エレクトリックテールゲートを一度全開または全閉すれば元通りに自動操作ができるようになります。

アドバイス

- 環境や使用条件により，人や物などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 荷物を出し入れするときやリヤガラスを清掃するときなどは，センサーを傷つけないようにしてください。自動で閉められなくなります。

落下防止機構

エレクトリックテールゲートを自動で開けたとき，積雪などの重みによるエレクトリックテールゲートの落下を感知すると，自動的にエレクトリックテールゲートが閉まります。
落下防止機構が作動しているときは警報ブザーが鳴り続けます。

アドバイス

- エレクトリックテールゲートに積雪等がある場合は，エレクトリックテールゲートを作動させる前に積雪などを取り除いてください。
- エレクトリックテールゲートには，三菱自動車純正品以外のアクセサリーなどを取り付けないでください。種類によっては重みがかかり，落下防止機構が作動することがあります。
  また，三菱自動車純正品でも種類によっては取り付けられない場合があります。詳しくは，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- エレクトリックテールゲートを自動で全開した後すぐに手動で閉めようとすると，落下防止機構が作動することがあります。

急開閉防止機構

エレクトリックテールゲートの自動開閉中にエンジンを始動すると，バッテリーの電圧不足により手動操作に切り換わり，エレクトリックテールゲートが小刻みに止まりながら動くことがあります。これは，エレクトリックテールゲートが急に開閉することを防止するためであり，一度全閉または全開して約10秒後に自動操作ができるようになります。

⚠注意

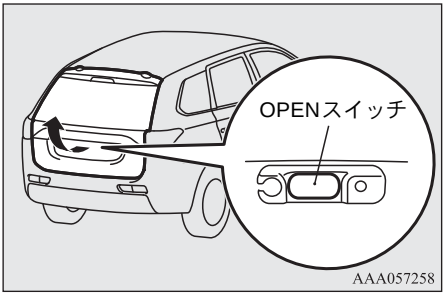
- 急開閉防止機構が作動しているときは，セーフティー機構が働かないようになっています。手や指などをはさまないように注意してください。

◆ 手動操作

J00408400068

車外から開けるときは

解錠後，OPEN スイッチを押してテールゲートを持ち上げます。



⚠注意

- エレクトリックテールゲートを開けるときは，まわりに人がいないことを確認してください。

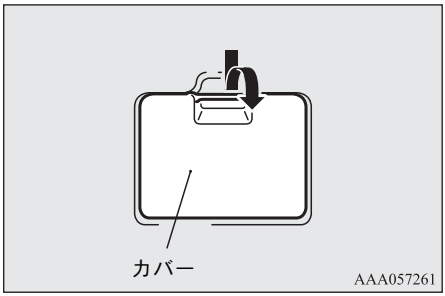
アドバイス

- OPEN スイッチを押した後すぐに開けないと，エレクトリックテールゲートは持ち上がりません。
  その場合はもう一度 OPEN スイッチを押してエレクトリックテールゲートを持ち上げます。
- バッテリーが上がったり，または外しているときは，エレクトリックテールゲートを開けることはできません。

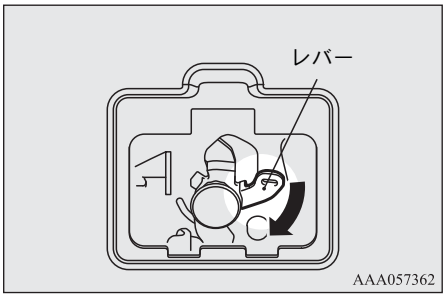
車内から開けるときは

車内からもエレクトリックテールゲートを開けることができます。
バッテリー上がりなどで車外から開けられなくなったときにご使用ください。

1. 車内からインサイドリリースレバーのカバーを外します。



2. インサイドリリースレバーを矢印の方向に下げます。



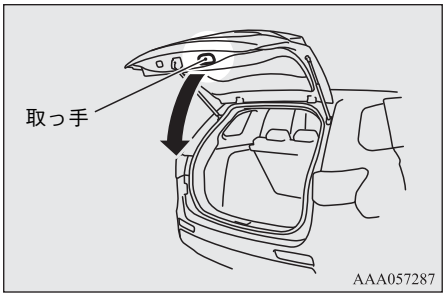
3. エレクトリックテールゲートを押しながら開けます。

⚠注意

- 通常はインサイドリリースレバーのカバーは閉じておいてください。カバーが開いたままだと荷物などがレバーに当たり，エレクトリックテールゲートが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

エレクトリックテールゲートの取っ手に手をかけてエレクトリックテールゲートを途中まで引き下げた後，取っ手から手を離してエレクトリックテールゲートを軽く押しつけます。



⚠注意

- エレクトリックテールゲートの取っ手に手をかけたまま直接エレクトリックテールゲートを閉じないでください。手や腕をはさみ，けがをするおそれがあります。
- エレクトリックテールゲートを手動で閉めるときは，セーフティー機構が働かないようになっています。手や指などをはさまないように注意してください。

テールゲートイージークローザー

J00407300129

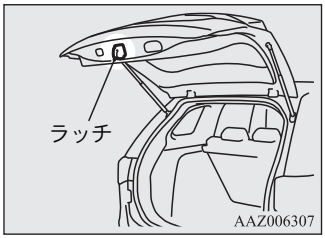
テールゲートイージークローザーはエレクトリックテールゲートを閉めるのを補助する装置です。
エレクトリックテールゲートを半ドアの位置まで閉めると自動的にエレクトリックテールゲートが閉まります。

⚠警告

● 半ドアの位置から自動的にエレクトリックテールゲートが閉まるため，手や指などをはさまないように注意してください。テールゲートイージークローザー作動中に手や指などをはさみそうになったときは，エレクトリックテールゲートの OPEN スイッチを押してください。エレクトリックテールゲートが半ドアの位置まで戻ります。

⚠注意

● エレクトリックテールゲート内側のラッチに触れないでください。テールゲートイージークローザーが作動して指などをはさむおそれがあります。



アドバイス

● エレクトリックテールゲートメインスイッチが OFF のときでもテールゲートイージークローザーは作動します。

アドバイス

● OPEN スイッチを連続で押すと保護回路が働いてテールゲートイージークローザーが一時的に作動しなくなることがあります。
このようなときはしばらくしてから（約1分後）押してください。

セキュリティーアラーム

J00401201077

セキュリティーアラームは，車両内への不正侵入防止のため，キーレスエントリーまたは，キーレスオペレーション機能で解錠せずにドアやテールゲートを開けたとき，またはエンジンフードを開けたときに警報を作動させ，周囲に異常を知らせるシステムです。

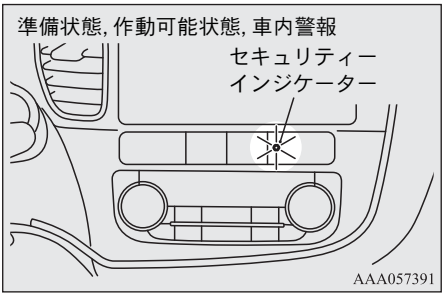
工場出荷時は，セキュリティーアラームが「作動しない」に設定されています。設定を変更するときは「セキュリティーアラームの設定変更のしかた」の手順にしたがって操作してください。→P. 4-34
また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

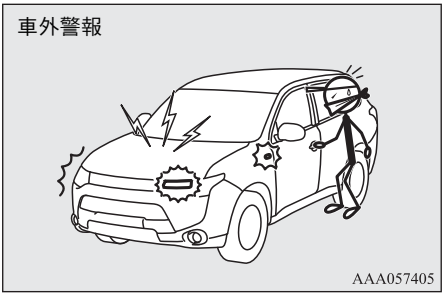
アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやセンタードアロックスイッチを使って）すべてのドアおよびテールゲートを施錠したときは，このシステムは働きません。
- 三菱自動車純正品以外の部品を装着すると，セキュリティーアラームに影響をおよぼすおそれがあります。

システムの基本状態

セキュリティーアラームにはシステム準備状態，システム作動可能状態，警報作動，システム作動解除の4つの状態があります。
それぞれの状態に応じて，ブザー，セキュリティーインジケーター，非常点滅灯またはホーンがつぎの通り作動します。





◆ システム準備状態：約20秒間

（ブザーが断続的に鳴り，セキュリティーアラームインジケーターが点滅する）

キーレスエントリーの LOCK スイッチを押す，またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびテールゲートを施錠した後，システム作動可能状態になるまでの準備時間です。
車内に荷物を忘れたり，ドアガラスを閉め忘れたのに気がついて，一時的にキーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わずにドアを開けたとき

に警報しないよう，この状態を設定しています。

◆ システム作動可能状態

（ブザーは停止し，セキュリティーインジケーターの点灯時間が短くなり，点滅し続ける）

システム準備状態が過ぎると，システム作動可能状態になります。
作動可能状態のとき，不正にドアなどが開けられると警報が作動し，周囲に異常を知らせます。

◆ 警報作動

車内警報（約10秒間）：
ブザーが鳴り，車内に異常を知らせます。
車外警報（約30秒間）：
非常点滅灯が点滅し，ホーンが鳴り，周囲に異常を知らせます。
→「警報作動」P. 4-37

アドバイス

- 警報が停止した後も警報作動する状況が繰り返されると，車外警報が再び作動します。

◆ システム作動解除

システム準備状態，システム作動可能状態のときにシステムの作動を解除することができます。
また，警報が作動しているときも警報作動を解除することができます。
→「システム作動の解除のしかた」P. 4-37
→「警報作動の解除のしかた」P. 4-38

アドバイス

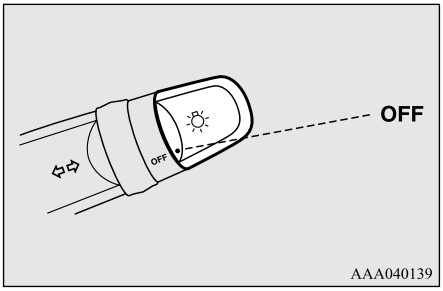
- 他の人にお車を貸されるときや，セキュリティーアラームの作動について知らない人が運転されるときは，セキュリティーアラームについて十分ご説明いただくか，セキュリティーアラームを「作動しない」に設定してください。セキュリティーアラームについて知らない人が誤って解錠すると，警報が作動し，周囲への迷惑となります。

セキュリティーアラームの設定変更のしかた

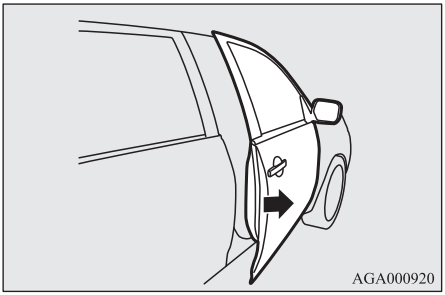
J00402701079

セキュリティーアラームの設定を「作動する」または「作動しない」のいずれかに変更することができます。つぎの手順にしたがって設定を変更してください。

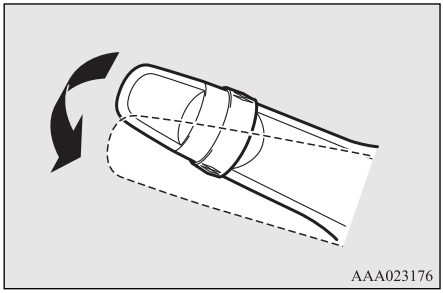
1. パワースイッチの電源モードを OFF にします。
2. ライトスイッチをOFF位置にして，運転席ドアを開いたままにします。



AAA040139

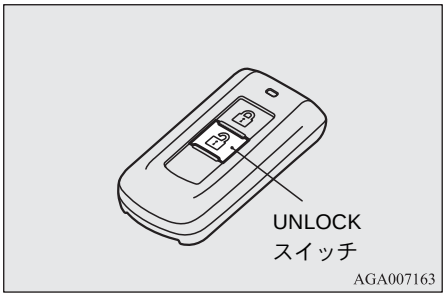

AGA000920

3. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたまま保持します。
（電源モードが OFF のため，ウォッシャー液は出ません。）



4. 約 10 秒経過するとブザーが鳴りますが，フロントワイパー・ウォッシャースイッチは手前に引いたまま保持してください。
（フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離すと，設定変更モードが無効になります。
やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。）

5. ブザーが鳴り止んだら，フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたままキーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押してセキュリティーアラームの設定状態を選択します。
設定状態は UNLOCK スイッチを押すごとに切り換わり，ブザーの回数によって確認できます。



ブザーの回数	セキュリティーアラームの設定状態
1回	警報作動しない
2回	警報作動する

6. つぎのいずれかの操作でシステム設定変更モードが終了します。
- フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離す
- 運転席ドアを閉じる
- ライトスイッチを OFF 位置以外にする
- 設定を変更しないまま約 30 秒経過する
- 電源モードを ON にする

アドバイス

● セキュリティーアラームの設定変更がわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

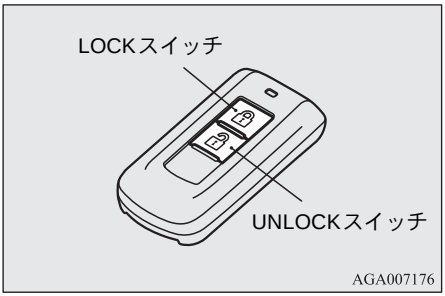
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定した場合も，万一のため，車を離れるときは車内に貴重品を置いたままにしないでください。

セキュリティーアラームのセットのしかた

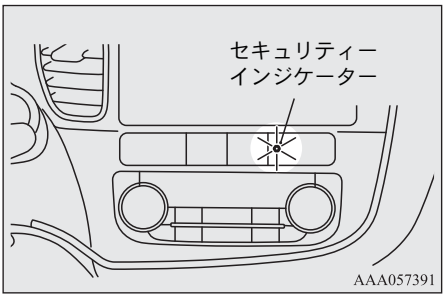
J00402800969

4

あらかじめセキュリティーアラームを「作動する」に設定した後，つぎの手順でシステム作動可能状態にセットします。



1. 電源モードをOFFにします。
2. 車両から出てすべてのドア，テールゲートおよびエンジンフードを閉じます。
3. キーレスエントリーのLOCKスイッチを押す，またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
   キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能による施錠操作で，システム準備状態になります。このとき確認のためのブザーが断続的に鳴り，セキュリティーインジケーターが点滅します。



アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやセンタードアロックスイッチを使って）すべてのドアおよびテールゲートを施錠したときは，システム準備状態になりません。
- エンジンフードが開いているときは，セキュリティーインジケーターが点灯し，システム作動可能状態になりません。
  エンジンフードを閉めるとシステム準備状態になり，約20秒後にシステム作動可能状態になります。

4. 約20秒後，ブザーが止まり，セキュリティーインジケーターの点滅速度が遅くなり始めたらシステム作動可能状態です。システム作動可能状態中は，セキュリティーインジケーターは点滅し続けます。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態，またはドアガラスが開いた状態でもセキュリティーアラームは作動します。警報の思わぬ作動を防ぐため，車内に人が乗っている状態ではシステム作動可能状態にしないでください。

システム作動の解除のしかた

J00402900827

システム準備状態またはシステム作動可能状態のときに，つぎの方法でシステム作動を解除することができます。

- キーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押す
- 電源モードをONまたはACCにする
- システム準備状態のとき，いずれかのドア，テールゲートを開ける
- キーレスオペレーションキーを携帯し，ドアスイッチまたはテールゲートのOPENスイッチで解錠する

アドバイス

- システム準備状態のときにエンジンフードを開けるとシステム準備状態が中断し，エンジンフードを閉めるとシステム準備状態に戻ります。
- システム準備状態のときにバッテリー端子を外すと記憶は消去されます。
- キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチは4個まで登録できます。
  登録済みのリモコンスイッチであれば，セットしたリモコンスイッチと別のリモコンスイッチを使ってもシステムを解除することができます。
  リモコンスイッチの追加登録については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

アドバイス

- キーレスエントリーの作動距離は約 1 mです。正しい距離でスイッチを押しても施錠，解錠およびセキュリティーアラームのセット，解除ができないときには電池の消耗が考えられます。新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-7
- UNLOCKスイッチまたはドアスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。このときもシステム準備状態になります。
  UNLOCKスイッチまたはドアスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

警報作動

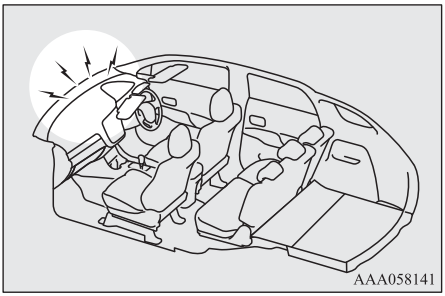
J00403001082

システム作動可能状態のときに，キーレスエントリーの操作またはキーレスオペレーション機能で解錠せずに，いずれかのドア，テールゲートまたはエンジンフードを開けると警報作動します。

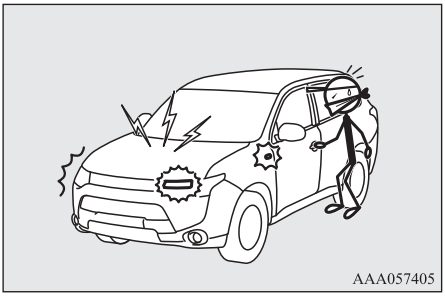
1. 車内警報が約10秒間作動します。

アドバイス

- システム作動可能状態のときにエンジンフードを開けると車内警報は作動せず，すぐに車外警報が作動します。
- 車内警報の時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。



2. 車外警報が約30秒間作動します。
   非常点滅灯が点滅し，ホーンが断続的に鳴ります。



3. 警報が停止した後も警報作動する状況が繰り返されると，車外警報が再び作動します。

警報作動の解除のしかた

J00403100709

つぎの方法で警報作動を止めることができます。

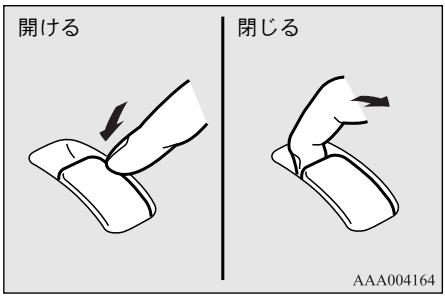
- キーレスエントリーの LOCK または UNLOCK スイッチを押す
  〔LOCKスイッチを押したとき，すべてのドアおよびテールゲートが閉じていれば施錠し，再びシステム準備状態になります〕
- 電源モードをONまたはACCにする
- キーレスオペレーションキーを携帯し，キーレスオペレーション機能でドアおよびテールゲートを施錠または解錠する

アドバイス

- 車内警報中にドアまたはテールゲートを閉じても警報作動は解除されません。
- 電源モードをONにしたときブザーが4回鳴り，セキュリティーインジケーターが4回点滅したときは，駐車中に警報が作動したことを示しています。
  盗難にあっていないかお車の中を確認してください。
- バッテリーを外しても警報作動の記憶は消去されません。
  一時的にバッテリーを外して警報作動しないようにしても，バッテリーを再び接続するとすぐに警報し，周囲に異常を知らせます。

パワーウインドウ

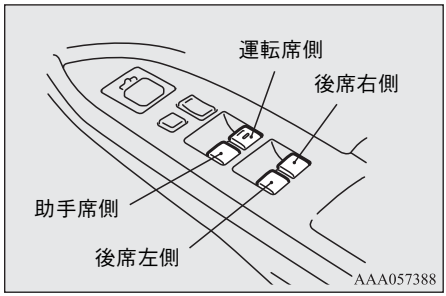
J00401500943



⚠警告

- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

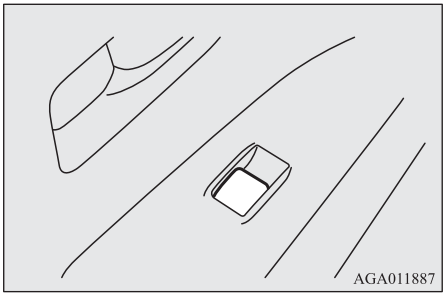
運転席スイッチ



運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。
パワースイッチの電源モードが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。

運転席ドアガラスは，運転席側のスイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを反対方向に操作します。

助手席,後席スイッチ



電源モードが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。
後席ドアガラスは全開しません。

タイマー機構

J00405200818

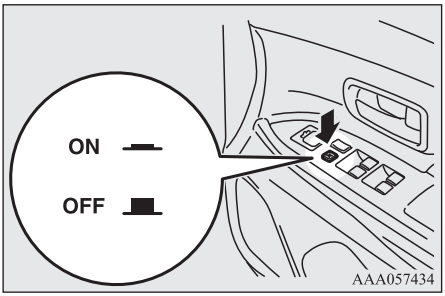
運転席ドアガラス

電源モードをACCまたはOFFにした後でも約30秒間はドアガラスを開閉することができます。この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約30秒間ドアガラスの開閉ができます。ただし，運転席ドアを閉めるとドアガラスの開閉操作はできなくなります。

ロックスイッチ

J00404300809

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。
助手席，後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。



4

アドバイス

- ロックスイッチがONのときは，運転席スイッチでは運転席ドアガラスのみ開閉することができます。

セーフティー機構

J00403200667

運転席ドアガラス

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

⚠注意

- ドアガラスを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。
- 電源モードが ON のときパワーウインドウスイッチを引き上げている間は，セーフティー機構は働きません。
  手や首をはさまないように注意してください。
- 手や首などをはさんで故意にセーフティー機構を働かせないでください。
  万一，手や首をはさんだ場合，重大な事故につながるおそれがあります。

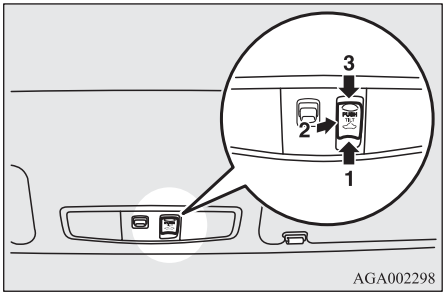
アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- バッテリーを外したとき，またはパワーウインドウのヒューズを外したときは，セーフティー機構が働かなくなります。また，運転席ドアガラスが自動的に完全に開かなくなったり，閉じなくなったりします。
  この場合は，つぎの操作をすれば正常に戻ります。
  運転席ドアガラスが完全に閉じるまで，繰り返し運転席スイッチを引き上げてください。つぎに，いったんスイッチから手を離し，再度約1秒間スイッチを引き上げて保持してください。

サンルーフ

タイプ別装備

J00401800513



開けるときは

パワースイッチの電源モードが ON のとき，スイッチを（1）の方向に押すと自動的に開きます。
途中で止めたいときは，スイッチを（2）の方向に押すか，または（3）の方向に押します。

アドバイス

● サンルーフは全開の手前で一時停止します。
再度スイッチを押すと完全に開きます。

閉めるときは

電源モードがONのとき，スイッチを（3）の方向に押すと全閉します。
途中で止めたいときは，スイッチを（2）の方向に押すか，または（1）の方向に押します。

チルトアップするときは（サンルーフの後端を上げる）

電源モードがONのとき，スイッチを（2）の方向に押すとサンルーフの後端が上がります。（チルトアップ）
スイッチを（3）の方向に押すとサンルーフが閉じます。（チルトダウン）

タイマー機構

J00408600174

電源モードをACCもしくはOFFにした後でも約30秒間はサンルーフを開閉することができます。
この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約 30 秒間サンルーフを開閉できます。ただし，いったん運転席ドアを閉めるとサンルーフの開閉はできなくなります。

セーフティー機構

J00403500400

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にサンルーフが数 cm 開きます。サンルーフが開いた後スイッチでサンルーフを閉めることができます。
5 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，サンルーフが正常に閉まらなくなります。
このようなときは，つぎの手順でサンルーフの初期化を行ってください。

1. サンルーフを数cm開きます。
2. チルトアップスイッチを約 10 秒間押し続けます。
3. サンルーフが自動的にチルトアップの位置まで小刻みに動きます。
4. サンルーフが自動的にチルトアップの位置で停止したら初期化は完了です。

初期化を行っても，サンルーフが正常に戻らないときは三菱自動車販売会社へ相談してください。

アドバイス

● 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。

⚠警告

● **サンルーフを閉じるときは，安全のため同乗者がサンルーフから手や顔を出していないことを確認してください。**
● **安全のためサンルーフの操作はお子さまではなく大人が行ってください。**
車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首などをはさむおそれがあります。
● **走行中はサンルーフ開口部から手や顔，荷物などを絶対に出さないでください。**

⚠注意

● サンルーフを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

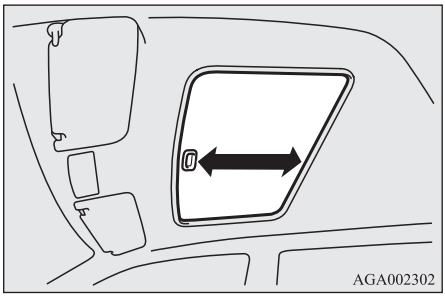
アドバイス

● サンルーフを自動で開けると，全開前にいったん作動を停止します。
この位置で走行すると全開状態に比べて風切音が小さくなります。
● 降雪時，厳寒時は凍結することがありますので開閉操作は行わないでください。故障の原因となります。
● サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
● サンルーフが全開または全閉した後はスイッチを押し続けないでください。
● サンルーフスイッチを押してもサンルーフが動かないときは，すぐにスイッチから手を離しサンルーフに何かはさまれていないか確かめてください。何もはさまれていないのにサンルーフが動かないときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
● スキーキャリアまたはルーフキャリアを装着しているとき，チルトアップすると種類によってはキャリアと当たる場合がありますので気をつけて操作してください。
● 車から離れるときや洗車時にはサンルーフが完全に閉じていることを確認してください。
● サンルーフ開口部周囲のウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスが付くとサンルーフとの密着が悪くなります。ワックスがけを行うときは気をつけてください。
● 雨が降った後や洗車後に開けるときは，車内に水が入るおそれがありますのでサンルーフの水を拭き取ってください。
● サンルーフの開閉は補機用バッテリー上がりを防ぐため，READY（走行可能）表示灯を点灯させてから行ってください。

サンシェードを開閉するときは

J00403600108

手動で開閉することができます。



⚠注意

- 開閉するときは，指をはさまれないように注意してください。

アドバイス

- サンシェードはサンルーフを開けるとき連動して開きます。
- サンシェードは必ずチルトダウンしてから閉めてください。
- サンルーフが開いた状態でサンシェードのみ閉じることはできません。

フューエルリッド（燃料補給口）

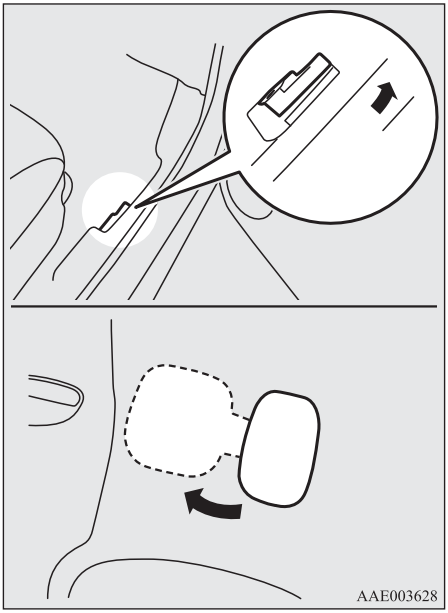
J00402300720

フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。
充電給電口の操作方法については「充電するときは」をお読みください。
→「充電するときは」P. 3-11

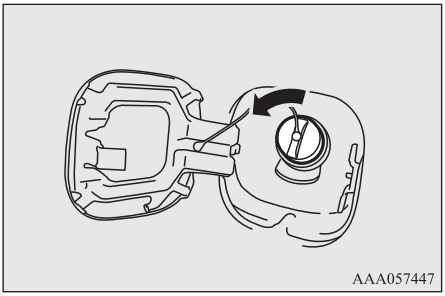
開けるときは

J00405000731

1. 運転席右下のレバーを引き上げてリッド（補給口）を開けます。

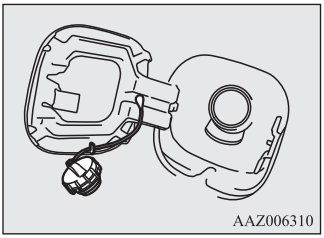


2. フューエルキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。



アドバイス

● フューエルキャップのひもをリッド裏側のフックにかけてキャップを固定することができます。



● 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
→「燃料の量と種類」P. 14-2

閉めるときは

J00405100295

1. フューエルキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。
2. フューエルリッドを手で軽く押して閉めます。

給油するときは

J00415400028

給油するときは，つぎの内容をしっかり読んでから給油を行ってください。

⚠警告

● 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずパワースイッチの電源モードをOFFにしてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
● フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
● リッド（補給口）の開閉，フューエルキャップの取り付け，取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
● 給油と充電を同時に行わないでください。充電に伴う動作で静電気を帯びた場合，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
● 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。
● フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。急激に回すと，燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
● 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
● 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。

⚠警告

- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 三菱自動車純正以外のフューエルキャップは使用しないでください。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。
- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

⚠注意

- お車の使用状況によっては燃料タンク内の燃料が消費されず長期間滞留し，燃料の品質が低下することがあります。エンジンや燃料系の部品に影響をおよぼす可能性があるため，つぎのことを守ってください。
  - 3ヶ月に一度はバッテリーチャージスイッチを押してエンジンを始動する。
    →「バッテリーチャージスイッチ」P. 7-35
  - 6ヶ月ごとに20L以上（6ヶ月間の給油量が合計20L以上になるように）燃料補給を行う。
- お車をお使いにならなかった等，燃料の残量が多く給油できないときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

MEMO

安全装備

シート
- シートアレンジ 5- 2
- シート調整 5- 3
- フロントシート 5- 3
- リヤシート 5- 6
- ヘッドレスト 5- 6
- 荷室の作り方 5- 8
- フラットシートの作り方 5- 10

シートベルト
- シートベルト 5- 11
- プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト . . . 5- 18

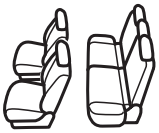
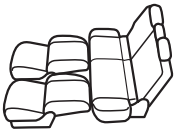
チャイルドシート
- チャイルドシート 5- 19

SRSエアバッグ
- SRSエアバッグ 5- 28

シートアレンジ

J00500100637

お好みに合わせて，つぎのようなシートアレンジをすることができます。

通常の使い方		 AGM000168
フラットシート → P. 5-10		 AGM000285
荷室の作り方	リヤシートの 折りたたみ →P. 5-8	AAM008704

シート調整

J00500200449

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- **シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。**
- **シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。**
- **シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。**

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- フロントシートの背もたれを調整するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。

フロントシート

J00500300714

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

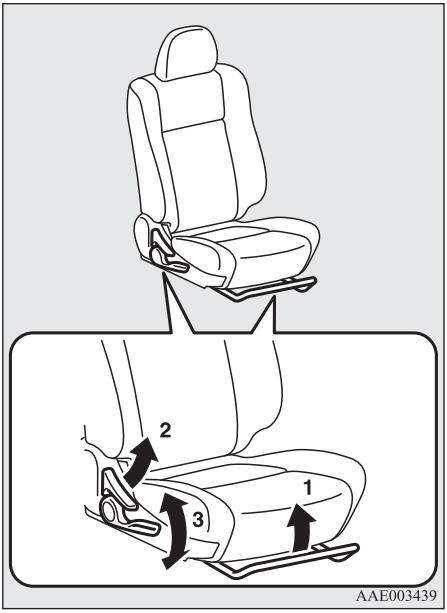
⚠警告

- **背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。**
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

調整のしかた

J00514700038

◆ 手動式



1- 前後調整
レバーを引き上げたまま調整します。
2- 背もたれの角度調整
レバーを引き上げたまま調整します。
3- 高さ調整
レバーを繰り返し操作して調整します。

◆ 電動式 タイプ別装備

1- 前後調整
スイッチを前後に操作して調整します。
2- 背もたれの角度調整
スイッチの上部を前後に操作して調整します。
3- 高さ調整
スイッチの前後部を上下に操作して調整します。
スイッチ全体を操作するとシート全体が動きます。

アドバイス

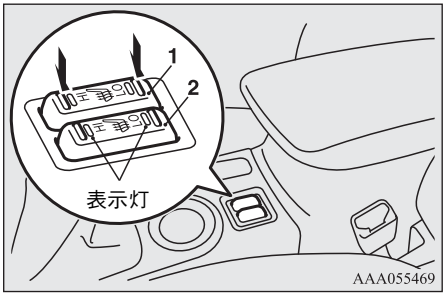
- 電動式シートの調整は補機用バッテリー上がりを防ぐため，READY（走行可能）表示灯を点灯させてから行ってください。

フロントシートヒーター

タイプ別装備

J00501300447

パワースイッチの電源モードが ON のときにスイッチを LO または HI にするとヒーターが作動し，スイッチ内の表示灯が点灯します。



1	- 運転席用スイッチ
2	- 助手席用スイッチ
HI	- 急速暖房
LO	- 通常暖房
OFF（中立）	- 暖房停止

⚠注意

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときの連続使用は補機用バッテリーが上がる原因になります。
- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特につぎのような方は注意してください。
  - 乳幼児，お子さま，お年寄，病気の方，身体の不自由な方
  - 皮膚の弱い方
  - 疲労の激しい方
  - 飲酒した方およびねむけをさそう薬を飲んだ方（かぜ薬など）
- 重い荷物をシートの上に置いたり，針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- 毛布や座ぶとんなど保温性のよいものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。

⚠注意

- シートを手入れするとき，ベンジン，ガソリン，およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷原因となります。
- 水，ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

アドバイス

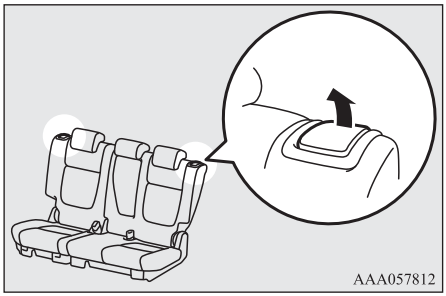
- スイッチのHI 側は消費電力が大きいのでシートが適温に暖められたら LO または OFF にしてください。

リヤシート

J00501400204

調整のしかた

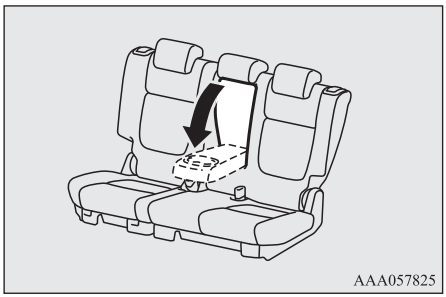
レバーを引き上げたまま，背もたれの角度を調整します。



アームレスト（ひじ掛け）

J00501800208

手前に倒して使用します。
元に戻すときは，背もたれと同じ面になるまで後ろに押しつけます。



アドバイス

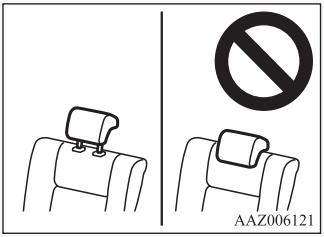
- アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。
- アームレストを倒すとカップホルダー（リヤシート用）があります。
  →「カップホルダー」P. 8-12

ヘッドレスト

J00503400787

⚠警告

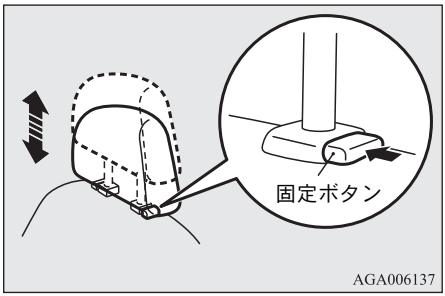
- ヘッドレストは走行前に必ず取り付けてください。
  ヘッドレストを取り外したままで走行すると，万一，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ヘッドレストの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - ヘッドレストを正しい位置に調整する。
  - 背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。
- リヤシートに座る場合は，ヘッドレストを下げた状態で走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ずヘッドレストを固定できる高さまで引き上げてください。



上下調整

J00532400167

ヘッドレストの中央部ができるだけ耳の高さになるように調整します。
耳の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。
上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。



取り外すときは

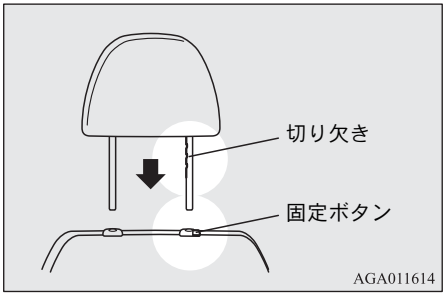
J00508900107

固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。

取り付けるときは

J00509000424

切り欠きのあるヘッドレストステーが固定ボタン側になるように，固定ボタンを押しながら差し込みます。



⚠注意

- 前後の向きを間違えて取り付けると，ヘッドレストは固定できません。
- ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。

荷室の作り方

J00503500401

リヤシートを折りたたんで荷室を作ることができます。

⚠警告

● **走行中に荷室に人が乗ったり，お子さまを遊ばせないでください。**
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

5

⚠注意

● 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。
後方が確認できなくなったり，急ブレーキをかけたときなどに荷物が前方に飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

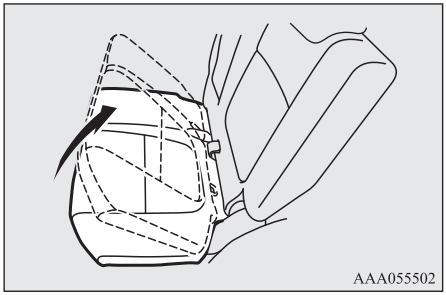
アドバイス

● シートの折りたたみは片側づつ操作できます。

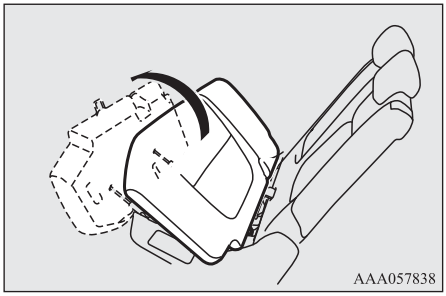
折りたたむときは

J00507600341

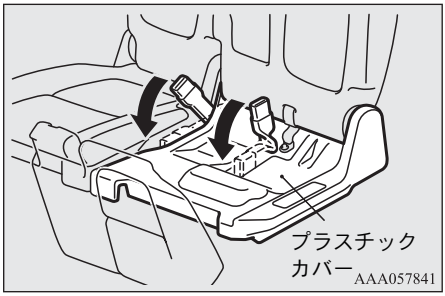
1. ヘッドレストを一番下の位置まで下げます。
→「ヘッドレスト：上下調整」P. 5-7
2. 中央席用シートベルトを格納します。
→「分離格納式シートベルト」P. 5-15
→「リヤシートベルトの格納のしかた」P. 5-17
3. シートクッションの前部を引き上げます。



4. シートクッションを前方へ跳ね上げます。



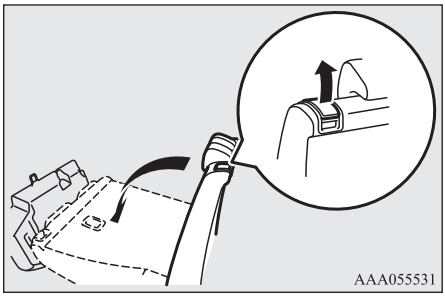
5. シートベルトのバックルを前に倒します。



⚠注意

- プラスチックカバーの上に乗ったり，荷物を乗せないでください。カバーが破損するおそれがあります。

6. レバーを引き上げて，背もたれを前に倒します。

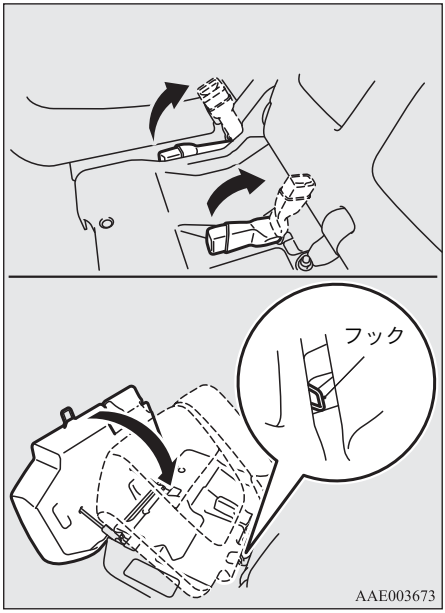


⚠注意

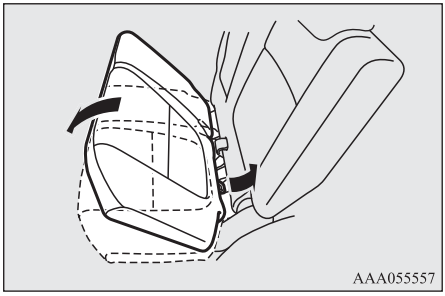
- 折りたたんだシートクッションの上に人や荷物などを乗せないでください。シートの取り付け金具が変形し，シートが車両に固定できなくなるおそれがあります。

◆ 戻すときは

1. 背もたれを確実に固定するまで起こします。
2. シートベルトのバックルを持ち上げながら，シートクッションをゆっくりと下ろします。フックが図に示す位置にあることを確認します。



3. シートクッションを確実に固定するまで押し下げます。



4. シートベルトのバックルがシートクッションの上にあることを確認してください。

フラットシートの作り方

J00504500596

シートを倒して大きな空間を作ることができます。

⚠警告

● フラットにした状態で人や荷物を乗せて走行しないでください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，重大な傷害を受けたり，荷物が飛び出して重大な事故につながるおそれがあります。

5

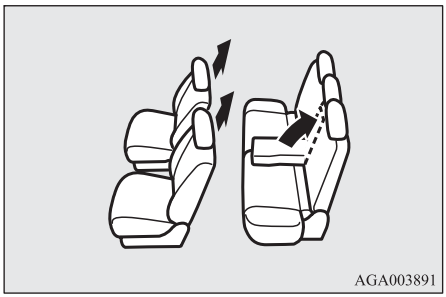
⚠注意

● フラットにするときは，必ず車を安全な場所に止めてから行ってください。
● フラットにする操作は必ず大人が行ってください。
お子さまが操作すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
● フラットにしたときは，シートの上を歩き回らないでください。シートから足を踏み外すと危険です。必ずシートの中央を踏んで，ゆっくり移動してください。

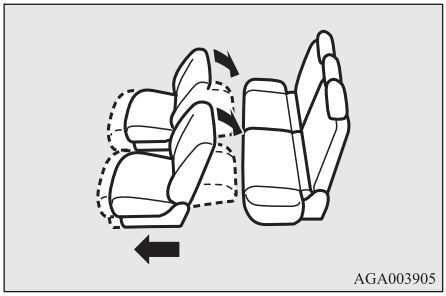
アドバイス

● フラットにしたときは，背もたれ上部に飛び乗ったり，強い衝撃を与えないでください。シートが損傷することがあります。

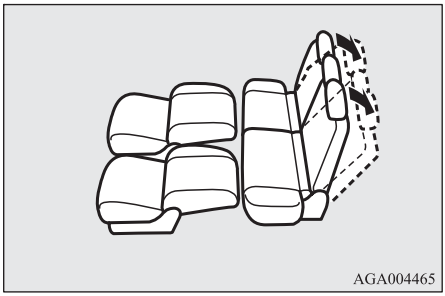
1. フロントシートのヘッドレストを取り外し，リヤシートのアームレストを起こします。
→「ヘッドレスト:取り外すときは」P. 5-7
→「アームレスト」P. 5-6



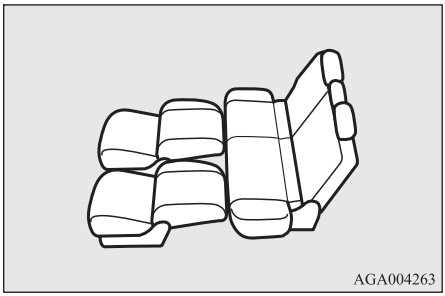
2. フロントシートを前方へいっぱいまで移動させ，背もたれを倒します。
→「調整のしかた」P. 5-4



3. リヤシートの背もたれを倒します。
→「調整のしかた」P. 5-6



4. これでフラットシートの完成です。
戻すときは逆の手順で行います。



シートベルト

J00505100661

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

⚠警告

- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P. 5-3
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは，大人の体格に合わせて設計されています。シートベルトを着けたとき肩部のベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。→「チャイルドシート」P. 5-19

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J00505200239

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

- ベルトをすばやく引き出すことにより，ベルトがロックするか確認できます。

◆ 着用するときは

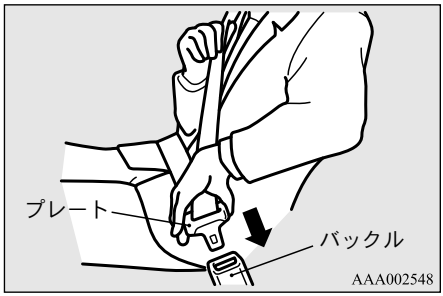
J00507800170

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

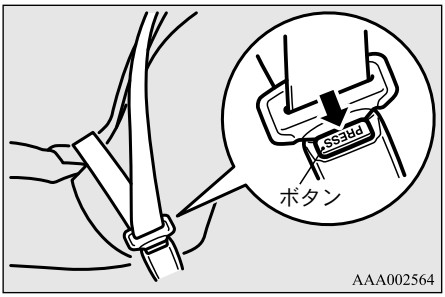


3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

◆ 外すときは

J00507900344

プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。



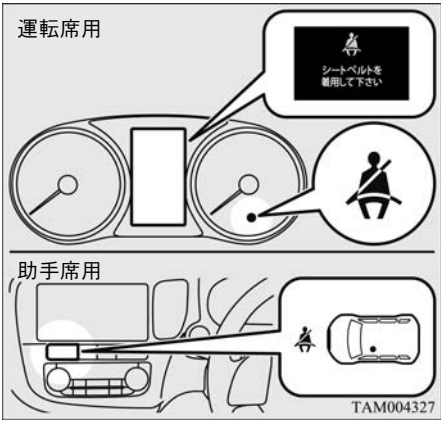
⚠警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

シートベルト非着用警告システム

J00514800039

◆ 運転席・助手席用



シートベルトを着用しないままパワースイッチの電源モードをONにすると，警告灯が点灯し，約6秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用せずにそのまま走行すると（約8km/h以上），約90秒間警告灯の点滅とブザーでシートベルトの着用を促します。また，同時にマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告が表示されます。
警告灯の点滅とブザーでの警告は，シートベルトを着用するまで繰り返します。

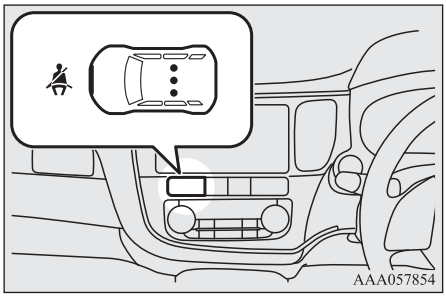
⚠警告

- 警告灯の上にステッカーなどを貼ったりしないでください。

アドバイス

- 助手席用の警告は，助手席に組み込まれた乗員検知センサーが助手席に掛かる重量を検知したときに作動します。助手席に荷物などを置くと，センサーが重量を検知して，警報が作動することがあります。

◆ リヤシート用



シートベルトを着用しないままパワースイッチの電源モードをONにすると，警告灯が約30秒間点灯し，シートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用せずにそのまま走行すると（約8km/h以上），さらに約30秒間警告灯が点灯しシートベルトの着用を促します。

⚠警告

- 警告灯の上にステッカーなどを貼ったりしないでください。

アドバイス

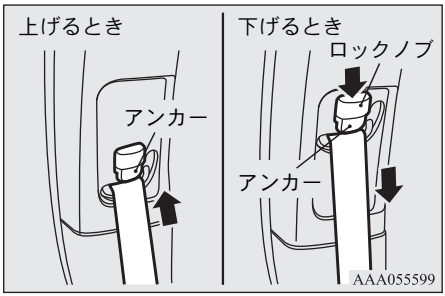
- 警告灯はリヤシートの乗員がいなくても点灯します。
- 走行中にシートベルトを外したときは，ブザーが鳴って約30秒間警告灯が点灯します。このとき，シートベルトが着用されていない席の警告灯も同時に点灯します。

ベルトが首，顔に当たるときは（アジャスタブルシートベルトアンカー）

J00514900014

フロントシート

肩部ベルトの高さを調整することができます。
ベルトが首，顔に当たったり，肩から外れて腕にかかってしまうときに調整してください。
上げるときはアンカーをそのまま押し上げ，下げるときはロックノブを押したままアンカーを下げます。
調整後はアンカーが固定されていることを確認します。



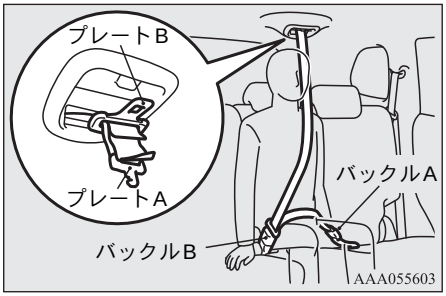
⚠警告

● アンカーを調整するときは，肩部ベルトが首に当たらず，肩の中央に十分かかるように調整してください。また，調整後はアンカーが確実に固定されていることを確認してください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮できず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

分離格納式シートベルト

J00513400113

リヤシート中央席のシートベルトは分離格納式となっています。
ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。



アドバイス

● ベルトをすばやく引き出すことにより，ベルトがロックするか確認できます。

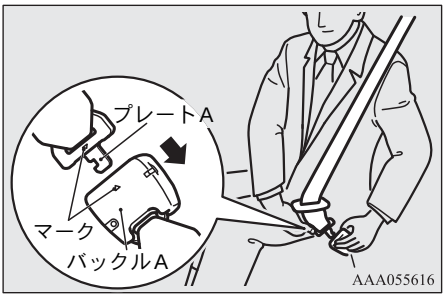
◆ 着用するときは

1. バックルAを背もたれのポケットから引き出します。
2. プレート A を持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

● シートベルトがロックして引き出せないときは，ベルトを強く引いてから一度ベルトをゆるめて，再度ゆっくりと引き出してください。

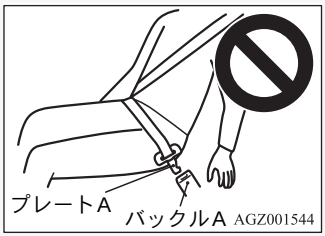
3. ベルトがねじれていないか確認した後，プレート A とバックル A のマークを合わせてカチッと音がするまではめ込みます。



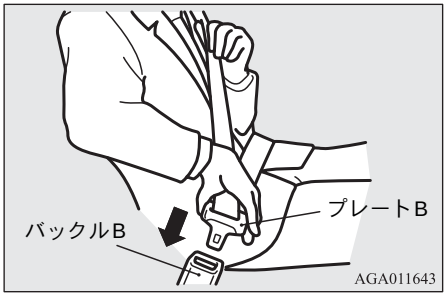
5

⚠警告

● シートベルトを使用するときは、必ずプレート A がバックル A に差し込まれた状態にしてください。結合しない状態で使用すると、シートベルトが十分な効果を発揮できず、命にかかわる重大な障害を受けるおそれがあります。



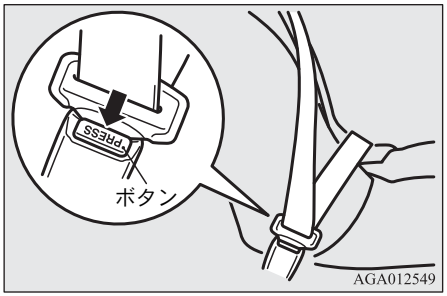
4. プレート B をバックル B にカチッと音がするまではめ込みます。



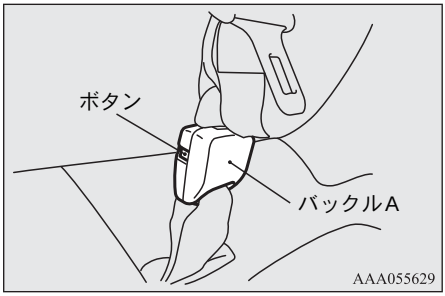
5. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

◆ 外すときは

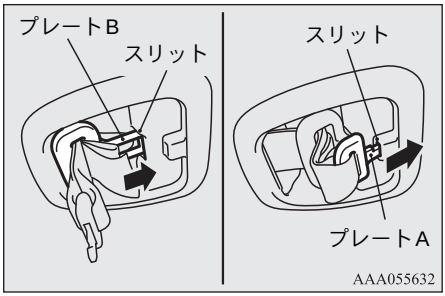
1. プレート B を持って、バックル B のボタンを押します。



2. 先の細いもの（キーなど）を使ってバックル A のボタンを押し、シートベルトとバックルを分離します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。



3. シートベルトがすべて巻き取られたら，プレート B を上側のスリットへ、プレート A を下側のスリットへ差し込みます。



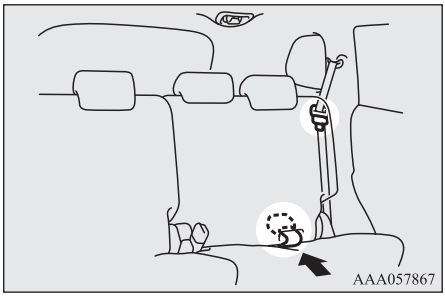
4. バックルBを背もたれのポケットに格納します。

リヤシートベルトの格納のしかた

J00505400231

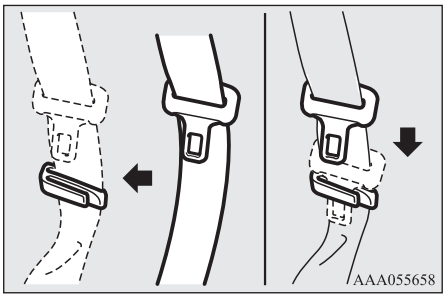
シートベルトを使用しないときは，プレートとバックルを図のように格納してください。

格納場所



プレートの格納方法

ホルダーの前側と後ろ側の切り込みに格納します。
後ろ側の切り込みにベルト部を通した後，前側の切り込みにプレートを差し込みます。



プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505701097

プリテンショナー付シートベルトは，運転席，助手席およびリヤシートの左右に装備されています。

プリテンショナー機構

プリテンショナー機構は，パワースイッチの電源モードが ON のときに乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方および側方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P. 5-3
    →「リヤシート」P. 5-6
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P. 5-11
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオ等の取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

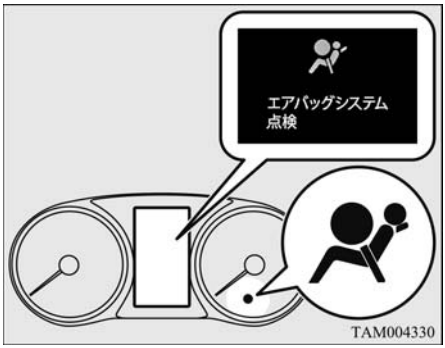
- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを着用していなくても，前方および側方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

フォースリミッター機構

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00510000381



システムに異常があると点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。
正常なときパワースイッチの電源モードをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，警告灯は点灯したままとなります。

⚠警告

- **警告灯がつぎのようになったときは，衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。**
  - **パワースイッチの電源モードをONにしても警告灯が点灯しない，または警告灯が点灯したまま**
  - **走行中に警告灯が点灯する**

チャイルドシート

J00506001156

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは，チャイルドシートをお使いください。
チャイルドシートには主に乳児用（ベビーシート），幼児用（チャイルドシート），学童用（ジュニアシート）の3種類があります。車の仕様やお子さまの体格に合わせて適切なチャイルドシートをお選びください。
取り付け方法はチャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがってください。

⚠警告

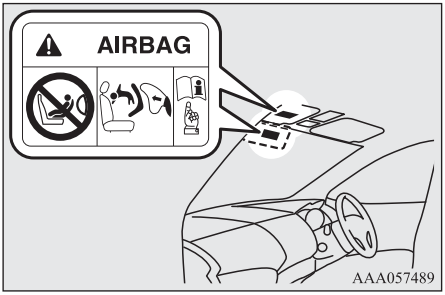
- **6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。**
- **チャイルドシートはリヤシートに装着してご使用ください。**

⚠注意

- 取り付けたチャイルドシートの前にあるシートを調整するときは，チャイルドシートと干渉しないように注意してください。
- 後方へシートを移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

助手席へのチャイルドシート取り付け時の注意

J00515000038



5

⚠警告

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられてお子さまが死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にし，前向き装着のチャイルドシートを取り付けてください。

ISO FIX 対応*チャイルドシート

J00506100730

チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーが装備された座席専用のチャイルドシートです。専用バーおよびアンカーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。
*この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーを標準装備しています。

◆ シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表（ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよび テザーアンカーでの取り付け）

下の表から，チャイルドシートを選択してください。

質量グループ（お子さまの体重）		サイズ等級	固定具	車両ISO FIX位置
				リヤシート左右席
キャリコット		F	ISO/L1	X
		G	ISO/L2	X
0	10㎏まで	E	ISO/R1	X
0+	13㎏まで	E	ISO/R1	IL[*1]
		D	ISO/R2	X
		C	ISO/R3	X
I	9～18㎏	D	ISO/R2	X
		C	ISO/R3	X
		B	ISO/F2	IUF
		B1	ISO/F2X	IUF, IL[*2]
		A	ISO/F3	IUF
II	15～25㎏			X
III	22～36㎏			X

サイズ等級の説明

サイズ等級	固定具	お子さまの大きさ	使用の向き	形状, 大きさ
A	ISO/F3	幼児	前	全高
B	ISO/F2	幼児	前	低型
B1	ISO/F2X	幼児	前	低型
C	ISO/R3	幼児	後ろ	大型
D	ISO/R2	幼児	後ろ	小型
E	ISO/R1	乳児	後ろ	—
F	ISO/L1	乳児	左	キャリコット
G	ISO/L2	乳児	右	キャリコット

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときは，ヘッドレストを取り外してください。
- チャイルドシートを取り付けるときは，背もたれの角度を一番倒した位置から4段前の位置に調整してください。

記号の説明

- IUF: 国連の安全基準UN-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）ISO FIX対応の前向きチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- IL: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

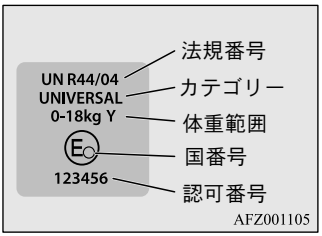
三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	UN NO.
IL*1	MZ525277（チャイルドシート本体） MZ525276（ベースシート）	E1-04301146
IL*2	MZ525280	E1-04301133

アドバイス

● UN-R44に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。



除く，ISO FIX対応チャイルドシート

J00506200887

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。

◆ シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表（シートベルト使用による取り付け）

下の表から，装着位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

質量グループ（お子さまの体重）		助手席	リヤシート	
			左右席	中央席
0	10kgまで	X	U	X
0+	13kgまで	X	U, L[*1]	X
I	9～18kg	L[*2]	U, L[*2]	X
II	15～25kg	L[*3]	U, L[*3]	X
III	22～36kg	L[*3]	U, L[*3]	X

前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける場合は，助手席を後方へ移動してください。

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときは，ヘッドレストを取り外してください。

記号の説明

- U: 国連の安全基準 UN-R44 に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- L: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

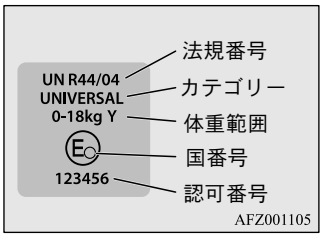
三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	UN NO.
L[*1]	MZ525277	E1-04301146
L[*2]	MZ525280	E1-04301133
L[*3]	MZ525270	E1-04301169

アドバイス

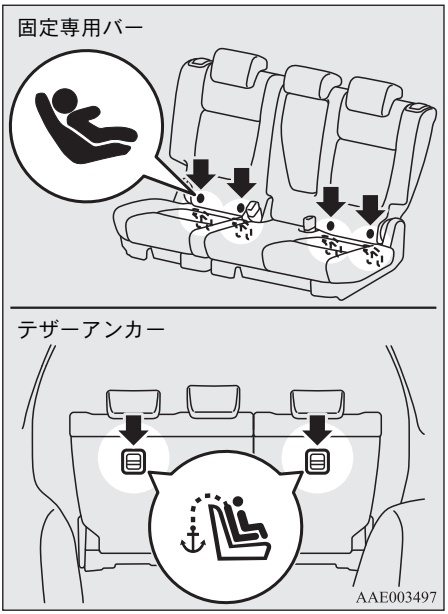
● UN-R44に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。



ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方

J00506300918

固定専用バーはリヤシートクッションと背もたれの間に，テザーアンカーは背もたれの背面に，それぞれ装備されています。



⚠警告

- **固定専用バーおよびテザーアンカーはチャイルドシートを固定するために装備されています。その他の装備品の固定には使用しないでください。**

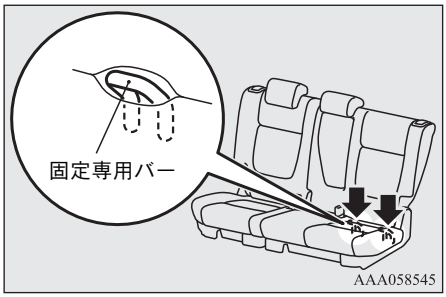
◆ 取り付けるときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。

⚠警告

- **チャイルドシートを取り付けるときは，固定専用バーおよびテザーアンカー周辺に異物がないこと，シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。**
- **チャイルドシートが取り付けられているときは，シートの調整はしないでください。**

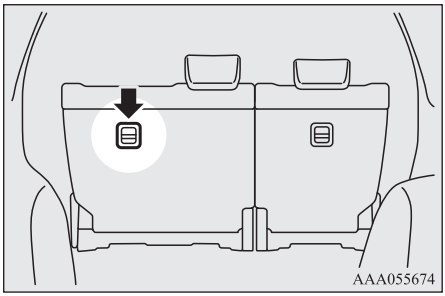
1. チャイルドシートを取り付けたい側のヘッドレストを取り外します。
   →「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-7
2. リヤシートクッションと背もたれのすきまを手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。



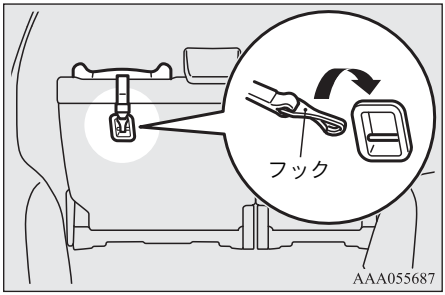
3. 背もたれを一番後ろへ倒した後，チャイルドシートを固定専用バーに取り付けます。
   取り付けた後は，背もたれを前に4段起こしてください。

トップテザー付きチャイルドシートの場合は，手順4から6を行ってください。
トップテザーが無いチャイルドシートの場合は，手順6を行ってください。

4. 背もたれの背面にあるテザーアンカーの位置を確認します。



5. テザーベルトのフックをテザーアンカーに掛け，テザーベルトを締めて確実に固定します。



アドバイス

- テザーベルトのフックが掛けづらいときは，フックを横にすると掛けやすくなります。

6. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

シートベルトでの取り付け方

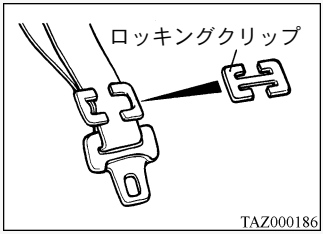
J00506501122

つぎの手順で確実に取り付けてください。

1. チャイルドシートを取り付けたい席に置き，ヘッドレストを取り外します。
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-7
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。

⚠警告

- **チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。**
必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。



3. 固定後は，チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認してください。

SRSエアバッグ

J00506601211

パワースイッチの電源モードが ON のとき，乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに膨らみ，シートベルトの働きを補って，乗員への衝撃をやわらげる装置です。
SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。

運転席，助手席SRSエアバッグ

強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

運転席SRSニーエアバッグ

強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ，運転者の脚部を受け止めることで姿勢を制御し，身体全体の保護効果を高める装置です。

SRSサイドエアバッグ

強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者または助手席同乗者の胸などの上体への衝撃をやわらげる装置です。

SRSカーテンエアバッグ

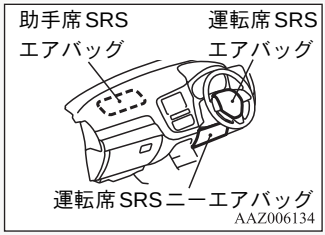
強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者および同乗者の主に頭部への衝撃をやわらげる装置です。

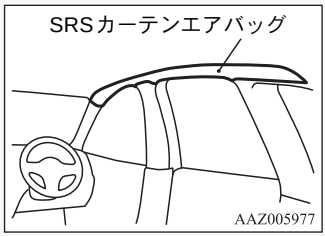
⚠警告

- SRS エアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRSエアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRS エアバッグは非常に強い力で膨らむため，SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車しているとSRSエアバッグにより死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

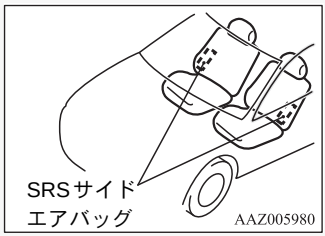
⚠警告

● SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せず死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。





● SRS サイドエアバッグ付き車は，SRSエアバッグが収納されている部分に生地のやぶれ，縫いほつれなどがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せず死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。



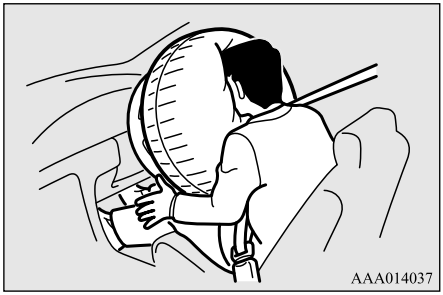
アドバイス

● SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
● SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
● 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので運転席，助手席SRSエアバッグおよびSRSサイドエアバッグは視界を妨げません。
● SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
● 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席SRSエアバッグ

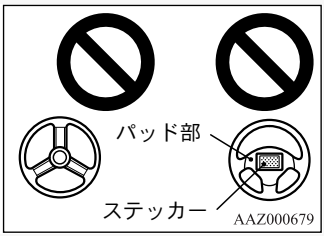
J00506700648

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。



⚠警告

- ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなかったり，誤って作動し，重大な傷害を受けるおそれがあります。

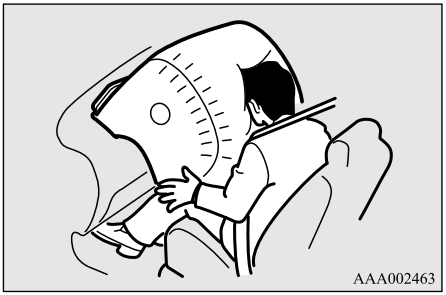


- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
  SRSエアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席SRSエアバッグ

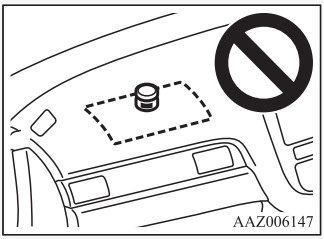
J00506801200

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。



⚠警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり，前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
  また，インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。



⚠警告

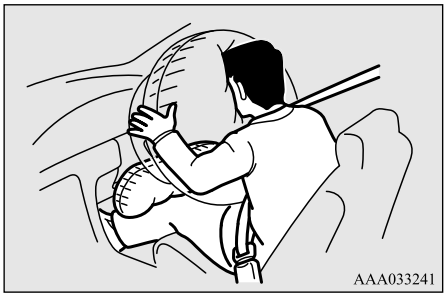
- お子さまを乗せるときには，リヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをリヤシートに取り付けてお乗せください。正しい姿勢でシートに座っていないと，SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまが死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。
  →「チャイルドシート」P. 5-19
- 助手席同乗者はインストルメントパネルに手や足を乗せたり，シートの前端に座って顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際, SRS エアバッグにより死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

運転席SRSニーエアバッグ

J00512900140

運転席SRSニーエアバッグはハンドル下のインストルメントパネルの中に装備されています。



⚠警告

- ハンドル下のインストルメントパネルにステッカーなどを貼ったり，アクセサリーを取り付けたりしないでください。
  SRS ニーエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらのものが飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSサイドエアバッグ

J00507000462

SRS サイドエアバッグは運転席，助手席各シートの背もたれの中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。
また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

⚠警告

● フロントシート背もたれの SRS サイドエアバッグ格納部に手，足，顔を近づけたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
また，お子さまなどにリヤシートからフロントシートの背もたれを抱えたような姿勢はさせないでください。
SRS サイドエアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

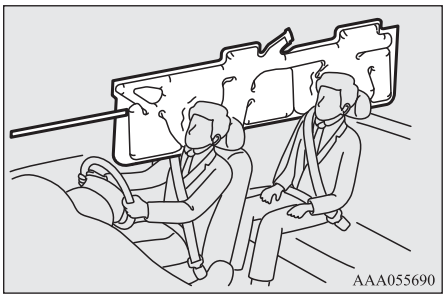
⚠警告

● 三菱自動車純正のSRSサイドエアバッグ専用シートカバー以外は使用しないでください。
取り付けるときはシートカバーに添付の取扱説明書にしたがい確実に取り付けてください。
また，シートのSRSサイドエアバッグが収納されている付近にカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり，ステッカーなどを貼らないでください。
SRS サイドエアバッグが膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグ

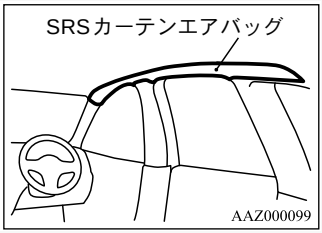
J00507500467

SRS カーテンエアバッグはフロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。



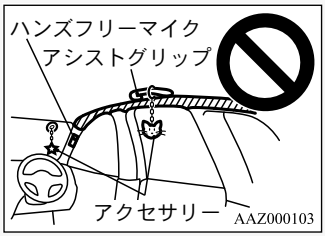
⚠警告

● フロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の SRS カーテンエアバッグ収納部に近づいたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
SRS カーテンエアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには注意してください。



⚠警告

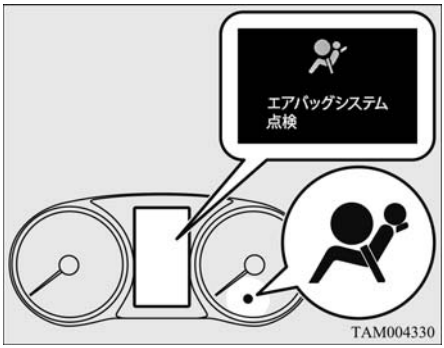
- 前面ガラス，側面ガラス，フロントピラー，リヤピラー，ルーフサイド部およびアシストグリップなどのSRSカーテンエアバッグ展開部周辺にステッカー等を貼りつけたり，アクセサリーやハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。
  SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。



- 荷物を積むときは，側面ガラス付近に積まないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告

J00507301068



システムに異常があると点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。
正常なときパワースイッチの電源モードをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，警告灯は点灯したままとなります。

⚠警告

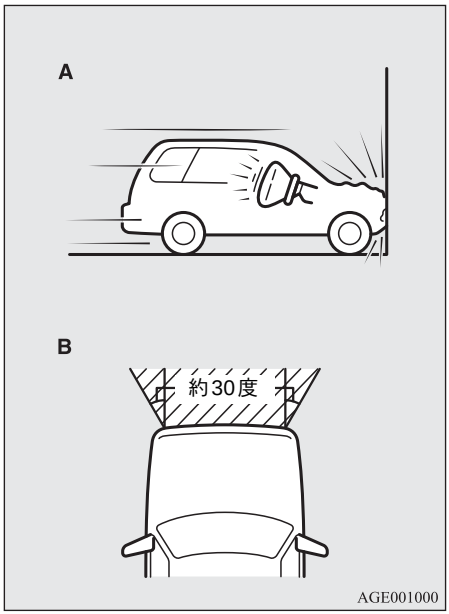
- 警告灯がつぎのようになったときは，衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - パワースイッチの電源モードをONにしても警告灯が点灯しない，または警告灯が点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する

運転席 SRS エアバッグ，助手席 SRS エアバッグおよび運転席 SRS ニーエアバッグの作動条件

J00506900578

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。



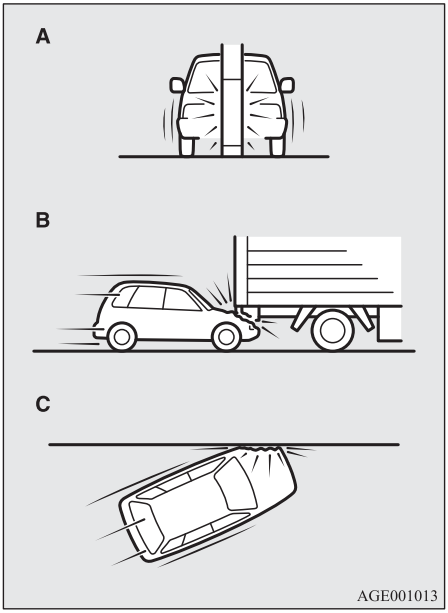
A- 約25km/h 以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき
B- 車両の前方左右約30 度以内の方向から強い衝撃（Aと同等）を受けたとき

アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，SRS エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

◆ 作動しないことがあるとき

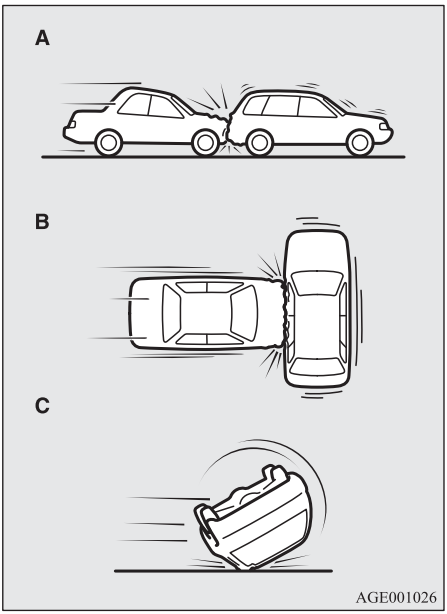
衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによって SRS エアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさと SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。



A- 電柱や立木など狭い範囲に衝突したとき
B- トラックなどの荷台へ潜り込んだとき
C- 斜め前方から衝突したとき

◆ 作動しないとき

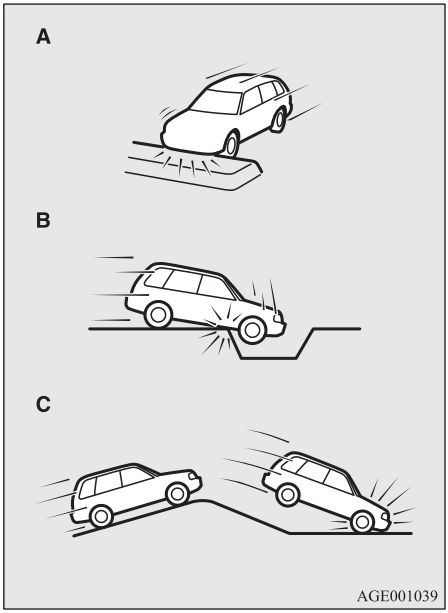
SRS エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動した SRS エアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。



A- 追突されたとき
B- 側面から衝突されたとき
C- 横転，転覆したとき

◆ 作動することがあるとき

走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。



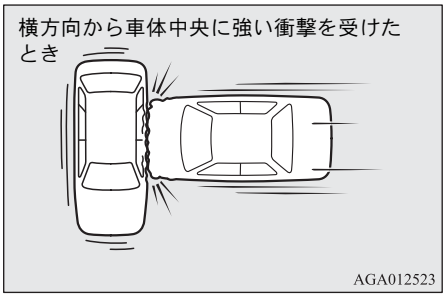
A- 中央分離帯や縁石などに衝突したとき
B- 深い穴や溝に落ちたとき
C- ジャンプして地面にぶつかったとき

SRS サイドエアバッグ，SRS カーテンエアバッグの作動条件

J00507100317

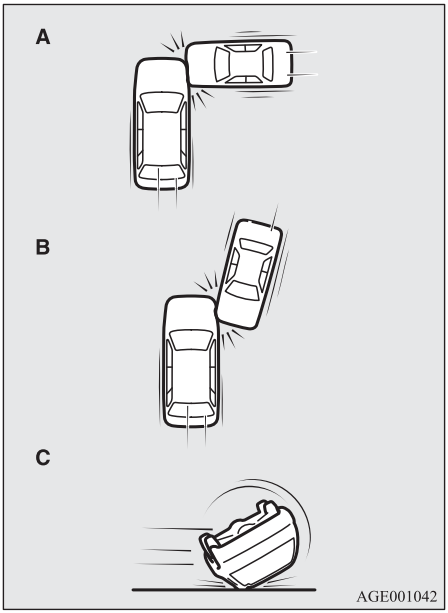
◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

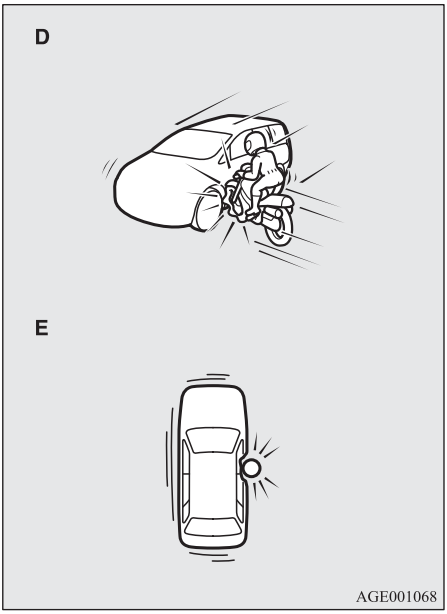


◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両側面が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグは作動しないことがありま す。車両の変形や損傷の大きさとSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグの作動は必ずしも一 致しません。



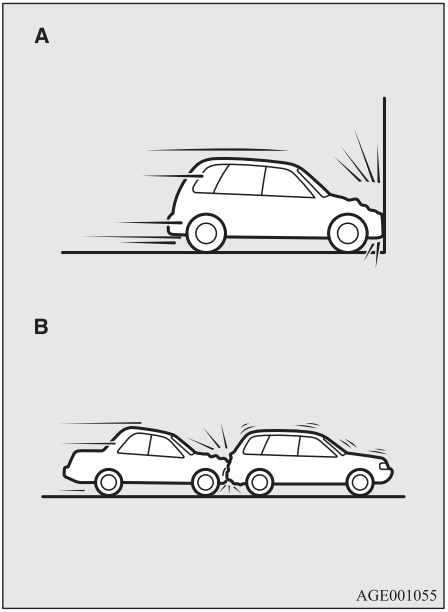
A- 客室部以外の側面に衝撃を受けたとき
B- 斜め側方から衝撃を受けたとき
C- 横転や転覆したとき



D- 側面にバイクが衝突したとき
E- 電柱などに衝突したとき

◆ 作動しないとき

SRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSサイドエアバッグおよび SRS カーテンエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。



A- 正面衝突したとき
B- 追突されたとき

取り扱い上の注意

J00507400831

⚠警告

- つぎの修理または部品の取り付けをするときは，SRS エアバッグに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
  - 運転席SRSエアバッグ，助手席SRSエアバッグ：
    ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付け，および車両前部の修理
  - 運転席SRSニーエアバッグ：
    ハンドル下インストルメントパネル，およびその付近の修理
  - SRSサイドエアバッグ：
    前席シート，センターピラーおよびその付近の修理，前席シート表皮の張り替え
  - SRSカーテンエアバッグ：
    フロントピラー，センターピラー，リヤピラー，ルーフサイド部，およびその付近の修理
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- つぎのSRSエアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - ステアリングパッド
  - インストルメントパネル上部
  - ハンドル下インストルメントパネル
  - フロントピラー
  - センターピラー
  - リヤピラー
  - ルーフサイド部

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って，SRS エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

イベントデータレコーダー (EDR) について

J00512600075

本車両は，SRS エアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。
当該コンピューターは，当システムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに，衝突のときや衝突に近い状態のときにおいて車両の速度やブレーキペダルの状態などのデータを記録・蓄積するEDRを備えています。

EDR は，一般的なデータレコーダーとは異なり，会話などの音声や映像は記録しません。
三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，EDR に記録されたデータを，車両衝突安全性能の向上などを目的として取得・利用することがあります。

なお，三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，取得したデータをつぎの場合を除き，第三者へ提示することはありません。

- 車両の該当データ記録時の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など，法的強制力のある要請に基づく場合
- 使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

メーター・スイッチ

メーター

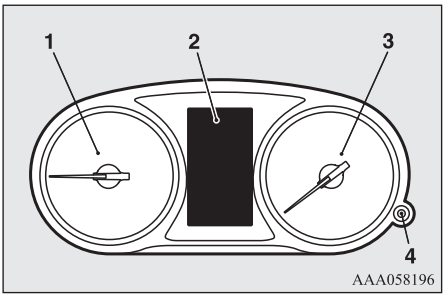
メーター 6- 2
マルチインフォメーションディスプレイ 6- 3
表示灯･警告灯･インフォメーション画面表示一覧 6- 23
表示灯 6- 34
警告灯 6- 35
インフォメーション画面表示 6- 37

スイッチ

ライトスイッチ 6- 38
ヘッドライトレベリング 6- 43
方向指示レバー 6- 44
非常点滅灯スイッチ 6- 45
ECOモードスイッチ 6- 45
フロントフォグランプスイッチ 6- 46
ワイパー／ウォッシャースイッチ 6- 46
リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチ 6- 52
ホーンスイッチ 6- 53

メーター

J00600101000



1- パワーメーター →P. 6-2
2- マルチインフォメーションディスプレイ→ P. 6-3
インフォメーション画面表示一覧 → P. 6-23
3- スピードメーター
走行速度を表示します
4- メーター照度調整ボタン→P. 6-3

パワーメーター

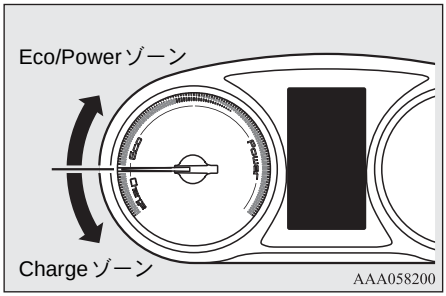
J00616900048

Eco/Power ゾーン

走行中のモーターとエンジンの総出力を示します。

Chargeゾーン

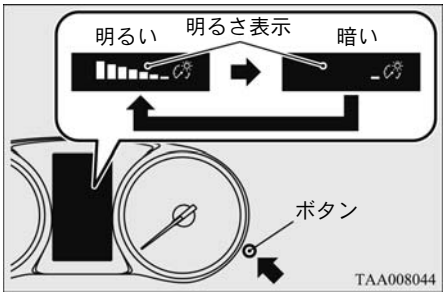
回生ブレーキで発生した電気エネルギーの充電電力を示します。
振れる量が大きいほど，電気エネルギーを多く充電しています。



メーター照度調整

J00606600547

ボタンを押すたびに音が鳴り，メーターの明るさを変えることができます。



アドバイス

- 車幅灯の点灯・消灯に応じてそれぞれ8段階ずつ調整することができます。
- ライトスイッチがOFF以外の位置にあるときは，車外の明るさに応じてメーターの照明が自動的に調整した明るさに切り換わります。
- パワースイッチの電源モードをOFFにしても，メーターの明るさの状態を記憶しています。
- 車幅灯点灯時にボタンを約 2 秒以上押すと，照明の明るさが一番明るい状態に変わります。
  もう一度ボタンを約2秒以上押すと，元の明るさに戻ります。

マルチインフォメーションディスプレイ

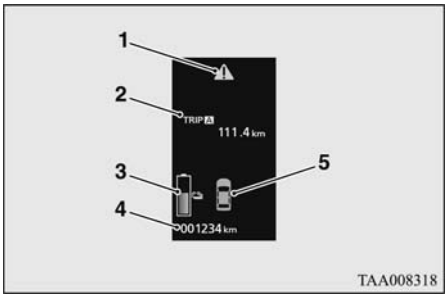
J00607100480

マルチインフォメーションディスプレイは各種警告，オドメーター，トリップメーター，平均燃費，EV航続可能距離，総合航続可能距離，EVHV 走行比率，エネルギーフローなどを表示します。

画面表示

J00619600088

パワースイッチの電源モードがACCもしくはOFFの状態での表示

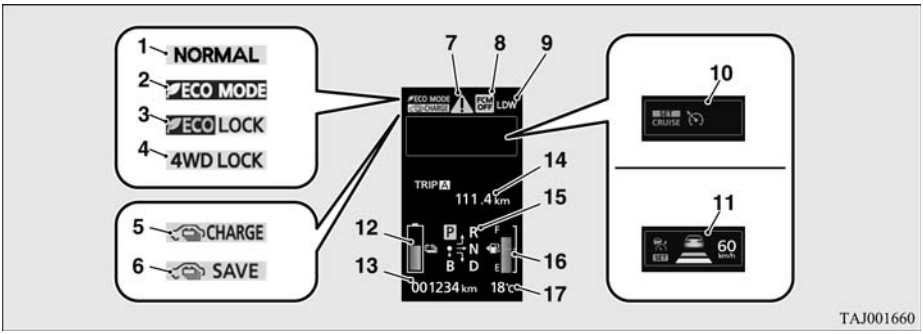


1- ⚠マーク表示画面
→P. 6-9
2- インフォメーション画面
→P. 6-6
割り込み表示画面
→P. 6-9
3- 駆動用バッテリー残量表示画面
→P. 6-10
4- オドメーター（積算距離計）
走行した総距離を表示します。
5- 半ドア警告表示
→P. 6-10

アドバイス

- 駆動用バッテリー残量表示画面は，充電中にいずれかのドアまたはテールゲートを開けると表示されます。
  →「充電するときは」P. 3-11

パワースイッチの電源モードがONの状態での表示



1- NORMAL表示画面
ECOモードスイッチおよび4WDロックスイッチがOFFのときに表示されます。

2- ECOモード表示画面
ECOモードスイッチがON，4WDロックスイッチがOFFのときに表示されます。

3- ECO LOCK表示画面
ECOモードスイッチおよび4WDロックスイッチがONのときに表示されます。

4- 4WD LOCK表示画面
ECOモードスイッチがOFF，4WDロックスイッチがONのときに表示されます。
→「ECOモードスイッチ」P. 6-45
→「4WDロックスイッチ」P. 7-31

5- バッテリーチャージモード表示画面→P. 7-35

6- バッテリーセーブモード表示画面→P. 7-34

7- ⚠マーク表示画面→P. 6-9

8- 衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM)OFF表示画面 タイプ別装備 →P. 7-62

9- 車線逸脱警報システム(LDW)表示画面 タイプ別装備 →P. 7-67

10- クルーズコントロール表示画面 タイプ別装備 →P. 7-47

11- レーダークルーズコントロールシステム(ACC)表示画面 タイプ別装備 →P. 7-52

12- 駆動用バッテリー残量表示画面→P. 6-10

13- オドメーター（積算距離計）
走行した総距離を表示します。

14- インフォメーション画面→P. 6-8
割り込み表示画面→P. 6-9

15- セレクトポジション表示画面→P. 7-22

16- 燃料残量表示画面→P. 6-10

17- 外気温表示画面→P. 6-11

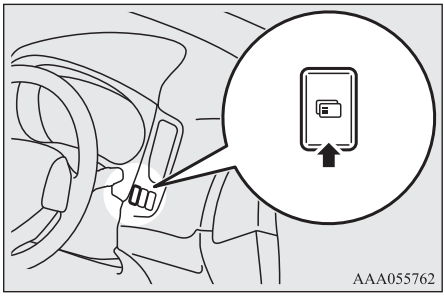
アドバイス

● 燃費単位，温度単位や表示言語などの設定を変更することができます。
→「機能設定画面」P. 6-16

マルチインフォメーション ディスプレイスイッチ

J00607200335

マルチインフォメーションディスプレイスイッチを操作するたびに音が鳴り，マルチインフォメーションディスプレイの表示を切り換えることができます。
また，マルチインフォメーションディスプレイに表示される言語，および単位をマルチインフォメーションディスプレイスイッチで操作することにより変更することができます。



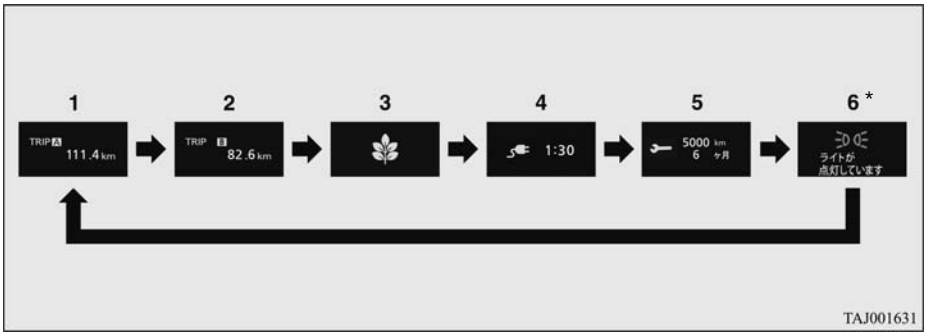
インフォメーション画面

J00607400311

◆ パワースイッチの電源モードがOFFのとき

J00623400029

マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押すごとにつぎの順で表示画面が切り換わります。



*: 警告表示があるとき

1- トリップメーター（区間距離計）A →P. 6-11

2- トリップメーター（区間距離計）B →P. 6-11

3- ECOスコア →P. 6-16

4- 予測充電時間表示→「充電するときは」P. 3-11

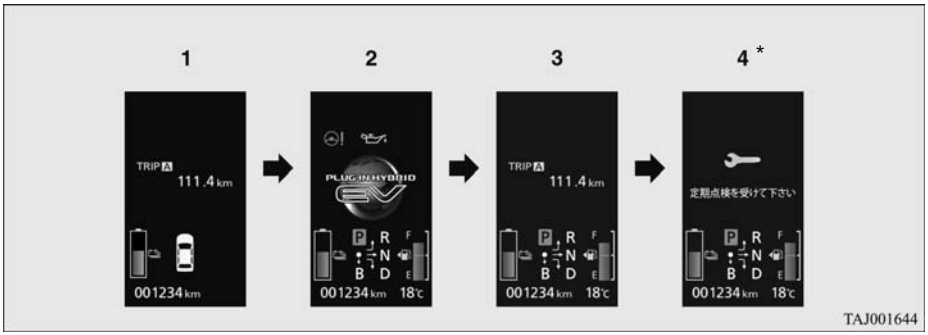
5- サービスリマインダー →P. 6-12

6- 警告表示画面の再表示 →P. 6-9

◆ パワースイッチの電源モードをOFFからONにしたとき

J00623500020

パワースイッチの電源モードを OFF から ON にすると，つぎの順で表示画面が切り換わります。



*: 定期点検時期がきているとき

1- 電源モードOFF時画面

2- システムチェック画面 → P. 6-13

3- 電源モードON時画面

4- サービスリマインダー → P. 6-12

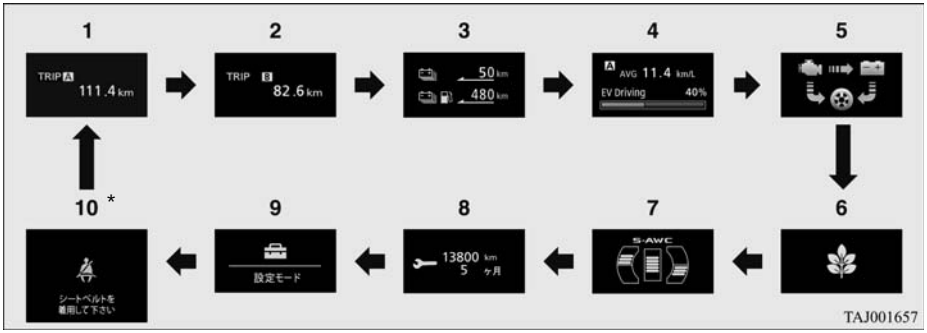
アドバイス

● お客様の装備によりシステムチェック画面は異なります。

◆ パワースイッチの電源モードがONのとき

J00623600021

マルチインフォメーションメータースイッチを軽く押すごとにつぎの順で表示画面が切り換わります。



*: 警告表示があるとき

1- トリップメーター（区間距離計）A →P. 6-11
2- トリップメーター（区間距離計）B →P. 6-11
3- EV航続可能距離表示／総合航続可能距離表示→P. 6-14
4- 平均燃費表示・EVHV走行比率表示
→平均燃費表示P. 6-14
→EVHV走行比率表示P. 6-14
5- エネルギーフロー表示→P. 6-15
6- ECOスコア →P. 6-16
7- S-AWC作動表示→P. 7-32
8- サービスリマインダー →P. 6-12
9- 機能設定画面→P. 6-16
10- 警告表示画面の再表示→P. 6-9

アドバイス

- サービスリマインダーは運転中にマルチインフォメーションディスプレイスイッチで操作しても表示されません。必ず安全な場所に車を止めてから操作してください。
- 機能設定画面は運転中にマルチインフォメーションディスプレイスイッチで操作しても表示されません。必ず安全な場所に車を止め，駐車ブレーキを確実にかけ，電動パーキングスイッチを押しセレクトポジションをPにしてから操作してください。
→「機能設定画面」P. 6-16
- 各システムの異常などお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴って表示画面が切り換わります。
→「割り込み表示画面」P. 6-9

割り込み表示画面

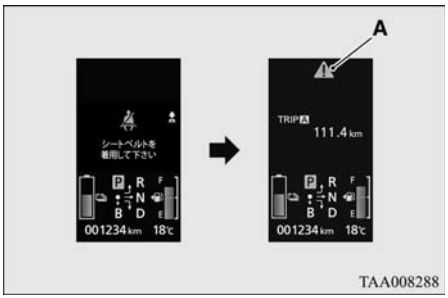
J00608300317

◆ 警告表示

各システムの異常などお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴ってインフォメーション画面が警告表示画面に切り換わります。
警告一覧を参照して必要な処置を行ってください。
→「警告表示一覧」P. 6-24
警告表示の要因が解除されると，警告表示は自動的に消えます。

警告表示する前の画面表示に戻すときは

警告表示の要因が解消されなくても，警告表示する前の画面表示に戻すことができます。
マルチインフォメーションディスプレイスイッチを押すと警告表示する前の画面に切り換わり，⚠マーク (A) を表示します。



アドバイス

- 画面右上に⬇または⬇⬇マークが表示されている警告表示画面を切り換えることができます。切り換えたいときはつぎの通りマルチインフォメーションディスプレイスイッチを押します。
  - ⬇：軽く押します。
  - ⬇⬇：約2秒以上押します。

◆ 警告表示画面の再表示

⚠マーク(A)が表示されているときに，マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く数回押すと，いったん切り換えた警告表示画面を再表示することができます。

◆ その他の割り込み表示

各システムの作動状態をインフォメーション画面に表示します。
詳しくは警告一覧表示の該当ページをお読みください。
→「その他割り込み表示」P. 6-31

⚠マーク表示画面

J00608000239

マルチインフォメーションディスプレイスイッチを押して警告表示画面を切り換えると表示されます。
もしくは表示されている以外に警告がある場合にも表示します。
警告表示の要因が解消されると，⚠マークは自動的に消えます。

アドバイス

- ⚠マークが表示されているときにインフォメーション画面に警告表示画面を再表示することができます。
  →「インフォメーション画面P. 6-6

半ドア警告表示

J00607800298

いずれかのドアおよびテールゲートが完全に閉められていないときに開いているドアまたはテールゲートを表示します。半ドアのまま車速が約 8km/h 以上になるとブザーが 4 回鳴り，半ドアを知らせます。

⚠注意

● 走行する前に，警告表示が消灯していることを確認してください。

駆動用バッテリー残量表示画面

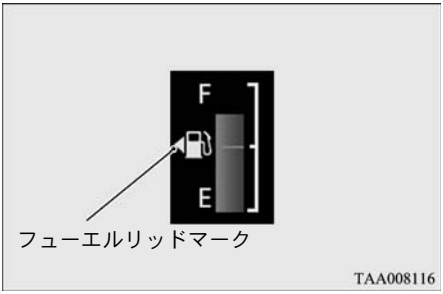
J00622800013

駆動用バッテリーの残量を表示します。

燃料残量表示画面

J00608600381

燃料の残量を表示します。



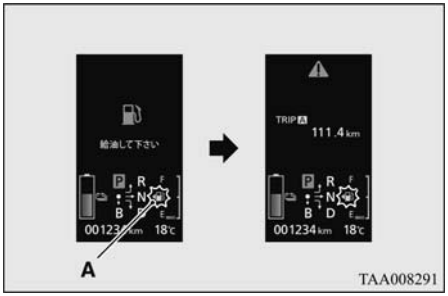
F- 満タンです。
E- 燃料を補給してください。

アドバイス

● 燃料補給後，表示が安定するまで少し時間がかかります。
● パワースイッチの電源モードが ON のまま燃料を補給すると，正しい燃料残量が表示できません。
● フューエルリッドマークは，フューエルリッド（燃料補給口）が車体の左側についていることを示しています。

◆ 燃料残量警告表示

燃料が約7L以下になると，燃料残量表示の（⛽）マーク（A）がゆっくり（1秒間に約1回）点滅します。
さらに燃料が約 5L以下になると，燃料残量表示の（⛽）マーク（A）が早く点滅（1秒間に約2 回）します。警告表示が出たら早めに燃料を補給してください。
→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-43
→「燃料の量と種類」P. 14-2



⚠注意

● 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告表示が出たら早めに燃料を補給してください。

アドバイス

● 坂道やカーブなどでは，タンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないことがあります。

外気温表示画面

J00608500234

車外温度を表示します。

アドバイス

● 表示単位をお好みの設定（°C または °F）に変更することができます。
→「温度単位の変更」P. 6-19
● 走行条件などにより，実際の車外温度と異なった表示をすることがあります。

トリップメーター（区間距離計）

J00607500077

2点間の走行距離を表示します。
＜トリップメーターA, トリップメーターBの使用例＞
トリップメーターAで自宅を出発してからの距離を測りながら，トリップメーターBで途中の経由地からの距離を測ることができます。

◆ リセットするときは

表示を 0 に戻すときはマルチインフォメーションディスプレイスイッチを約 2 秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。
＜例＞
トリップメーターAが表示されていれば，トリップメーターAだけリセットされます。

アドバイス

● トリップメーターA，Bともに9999.9kmまで計測することができます。
9999.9kmを超えると0.0kmに戻ります。
● 補機用バッテリーの端子を外すと，トリップメーターA，Bとも記憶が消去され，表示が0.0kmに戻ります。

サービスリマインダー

J00609800410

次回点検までの残り走行距離または月数を知らせます。

◆ 表示のしかた

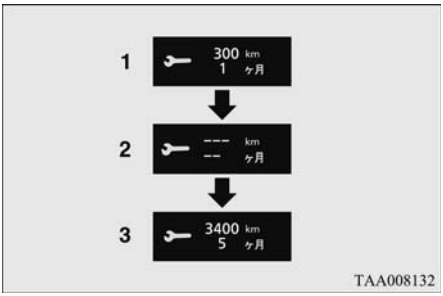
1. 次回点検までの残り走行距離または月数を表示します。

アドバイス

- 距離は 100km 単位，月数（期間）は1ヶ月単位で減少します。
- 新車 6ヶ月点検を過ぎると，月数（期間）のみを表示します。

2. 点検時期が近づいたことを“---”を表示して知らせます。
   このときパワースイッチの電源モードを OFF から ON にするとインフォメーション画面に警告表示が数秒間表示されます。

3. 三菱自動車販売会社で点検を受けると，次回点検までの残り走行距離または残り月数を表示します。



アドバイス

- サービスリマインダーの設定を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ リセットするときは

パワースイッチの電源モードがOFFのときに，“---”表示をリセットすることができます。リセットするとつぎの定期点検までの時期を表示し，電源モードを OFF からONにしたときに表示されていた「定期点検」は表示されなくなります。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く数回押して，インフォメーション画面をサービスリマインダー表示画面に切り換えます。

2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して🔧を点滅表示させます。(点滅中，約 10 秒間何も操作しないともとの表示画面に戻ります。)

3. 点滅中にマルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押すと“---”が“CLEAR”表示に変わります。その後，つぎの定期点検までの時期を表示します。

⚠注意

- 定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
  事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。

アドバイス

- “---”表示後，一定距離および一定期間が経過すると自動的にリセットされてつぎの定期点検までの時期を表示します。
- 誤ってリセットした場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

システムチェック画面

J00619900049

パワースイッチの電源モードを ON にすると約 4 秒間システムチェック画面を表示します。異常がなければ電源モードON時画面を表示します。
異常があるときは警告表示画面に切り換わります。
→「警告表示一覧」P. 6-24

アドバイス

- お客様の装備によりシステムチェック画面表示は異なります。

EV航続可能距離表示／総合航続可能距離表示

J00620000066

おおよその航続可能距離（あと何kmまたは何miles走行できるか）を表示します。

（上段）EV航続可能距離表示：
駆動用バッテリーの現在の残量で走行できる距離
（下段）総合航続可能距離表示：
駆動用バッテリーの現在の残量と燃料残量で走行できる距離

アドバイス

- 航続可能な距離は，道路状況，運転のしかたなどにより変動しますので表示された値はあくまでも参考としてご利用ください。また，補機用バッテリーの端子を外したときは，それまでとは異なった値が表示されることがあります。
- 駆動用バッテリーを充電したり，燃料を補給すると航続可能距離が更新されます。ただし，充電量や給油量が少ないと正しい数値が表示されませんので，充電するときや給油するときはできるだけ満充電，満タンにしてください。
- 非常に急な坂道で停車した場合，まれに航続可能距離の値が変動することがあります。これは坂道でタンク内の燃料が移動したためで，故障ではありません。
- 単位表示をお好みの設定（kmまたはmiles）に変更することができます。
  →「機能設定画面」P. 6-16
- EV航続可能距離が約1km（約1miles）未満になると，EV 航続可能距離表示は“---”を表示します。
- 総合航続可能距離が約50km（約30miles）以下になると，総合航続可能距離表示は“---”を表示します。

平均燃費表示

J00620200055

リセットしてから現在までの総走行距離における燃費を表示します。
リセットモードにはマニュアルリセットモードとオートリセットモードの 2 種類があります。
→「平均燃費のリセットモードの変更」P. 6-17
平均燃費表示設定の変更方法は「機能設定画面」をお読みください。→ P. 6-16

アドバイス

- 平均燃費が測定できないとき，または99.9km/L以上のときは，“---”を表示します。
- 平均燃費は走行状態（道路状況，運転のしかたなど）により変化します。実際の燃費と表示燃費が異なることがありますので，あくまでも参考としてご利用ください。
- 補機用バッテリーの端子を外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均燃費表示の記憶は消去されます。
- 単位表示をお好みの設定｛L/100km，mpg（US），mpg（UK）または km/L｝に変更することができます。
  →「機能設定画面」P. 6-16

EVHV走行比率表示

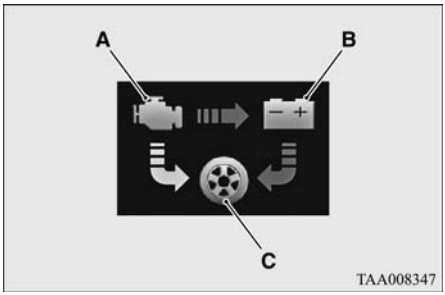
J00622900014

電気で走行した距離とエンジンを併用して走行した距離の割合を表示します。
電気で走行した比率は，バーグラフ（青色）とパーセントで表示します。

エネルギーフロー表示

J00623000012

エネルギーの流れを表示します。



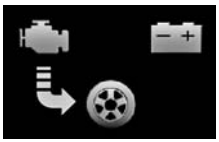
A：エンジン
B：駆動用バッテリー
C：タイヤ

青矢印：電気エネルギーの流れ
橙矢印：その他エネルギーの流れ

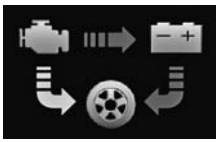
◆ エネルギーフローの表示（例）

電気エネルギーで走行しているとき

燃料（ガソリン）のエネルギーで走行しているとき



電気と燃料（ガソリン）の両方で走行しているとき



駆動用バッテリーに充電しているとき

エネルギーの流れがないとき

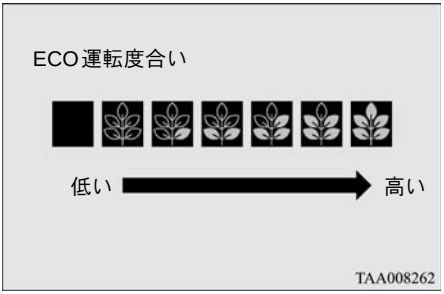
ECOスコア

J00622500023

ECO運転の度合いをリーフの枚数で表示します。

[パワースイッチの電源モードがONの時]
過去，数分間の度合いを表示します。

[パワースイッチの電源モードを OFF にした時]
パワースイッチの電源モードを ON から OFF にするまでの総合結果を表示します。



機能設定画面

J00620400060

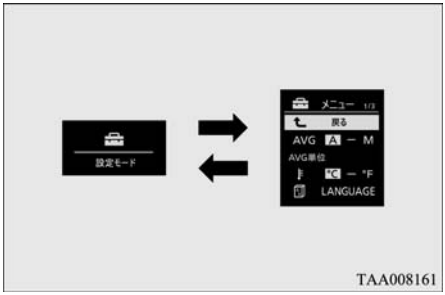
「表示言語」，「温度単位」，「燃費単位」，「平均燃費のリセット方法」などをお好みの設定に変更することができます。
つぎの手順にしたがって操作してください。

1. 安全な場所に停車します。
   ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，電動パーキングスイッチを押しセレクトポジションを(P)にします。
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く数回押してインフォメーション画面を機能設定画面に切り換えます。
   →「インフォメーション画面」P. 6-8

アドバイス

- 安全のため停車してから操作してください。
  走行中にマルチインフォメーションディスプレイスイッチを押しても機能設定画面は表示されません。

3. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。



アドバイス

- メニュー画面を機能設定画面に戻すときは再度マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押します。
- メニュー画面を表示した後，何も操作をしないで約30秒以上放置すると機能設定画面に戻ります。

4. メニュー画面で変更したい項目を選択し，お好みの設定に変更します。
詳しい操作方法についてはつぎの項をお読みください。

→「平均燃費のリセットモードの変更」P. 6-17
→「燃費表示単位の変更」P. 6-18
→「温度単位の変更」P. 6-19
→「表示言語の変更」P. 6-19
→「言語協調の変更」P. 6-20
→「操作音の設定」P. 6-21
→｛「休憩して下さい」表示が出るまでの時間の変更｝P. 6-21
→「方向指示音の変更」P. 6-22
→「出荷時の設定に戻す」P. 6-22

◆ 平均燃費のリセットモードの変更

J00620600075

平均燃費表示のモード条件を「オートリセットモード」または「マニュアルリセットモード」に切り換えることができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
→「機能設定画面」P. 6-16
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して AVG A — M 「AVG（平均燃費設定）」を選択します。
3. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押すと，A（オートリセットモード）→M（マニュアルリセットモード）またはM→A と切り換わり選択したモード条件に設定が変更されます。

マニュアルリセットモード

- 平均燃費を表示しているときに，マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示をリセットします。

オートリセットモード

- 平均燃費を表示しているときに，マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示をリセットします。
- パワースイッチの電源モードが約 4時間以上ACCまたはOFFの状態のとき，平均燃費表示を自動でリセットします。

アドバイス

- 平均燃費表示は，オートリセットモードまたはマニュアルリセットモードのモード毎にリセットされます。
  ＜例＞
  マニュアルリセットモードのときにリセット操作をした場合，マニュアルリセットモードの平均燃費表示はリセットされますが，オートリセットモードの平均燃費表示はリセットされません。
- 補機用バッテリーの端子を外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均燃費表示の記憶は消去されます。

◆ 燃費表示単位の変更

J00620700063

燃費の表示単位を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P. 6-16
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して AVG単位「AVG単位（燃料表示単位設定）」を選択します。
3. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して，「AVG単位」を表示します。
4. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して希望の表示を選択します。
5. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押すと選択した単位に設定が変更されます。

アドバイス

- 平均燃費，航続可能距離の表示単位は切り換わりますが指針（スピードメーター），オドメーター（積算距離計），トリップメーター（区間距離計）の単位は切り換わりません。
- 補機用バッテリーの端子を外すと単位設定の記憶は消去され，自動的にkm/Lに設定されます。

選択した燃費単位に合わせて，つぎの組み合わせで距離の単位も切り換わります。

燃費	距離（航続可能距離）
km/L	km
L/100km	km
mpg（US）	mile（s）
mpg（UK）	mile（s）

◆ 温度単位の変更

J00620800064

温度の表示単位を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P. 6-16
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して °C – °F 「(温度単位設定）」を選択します。
3. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押すと，°C→°F または °F→°C と切り換わり選択した温度単位に設定が変更されます。

アドバイス

- エアコンパネルの設定温度表示灯の値は，マルチインフォメーションディスプレイの温度単位に連動して切り換わります。
  ただし，エアコンの設定温度表示灯には “°C” または “°F” は表示されません。
- 三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) のエアコン情報画面に表示される温度の値は，マルチインフォメーションディスプレイの温度単位に連動して切り換わります。
  ただし，エアコンの情報画面には “°C” または “°F” は表示されません。（三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車）
- 補機用バッテリーの端子を外すと単位設定の記憶は消去され，自動的に °C に設定されます。

◆ 表示言語の変更

J00620900065

マルチインフォメーションディスプレイに表示する言語を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P. 6-16
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して LANGUAGE 「LANGUAGE（言語設定）」を選択します。
3. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して，「LANGUAGE」を表示します。
4. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して，希望の言語を選択します。
5. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押すと選択した言語に設定が変更されます。

アドバイス

- 補機用バッテリーの端子を外すと言語設定の記憶は消去され，自動的に日本語に設定されます。
- 言語設定で “---” を選択すると警告表示や割り込み表示のときに警告メッセージを表示しません。

◆ 言語協調の設定

J00623800023

三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) や Bluetooth® 2.0 インターフェースで使用する言語を，マルチインフォメーションディスプレイの表示言語と同じ言語へ自動的に切り換わるように設定することができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P. 6-16
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して A － M「(言語協調)」を選択します。
3. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押すと，A（言語協調する）→M（言語協調しない）または M→A と切り換わり選択した条件に設定が変更されます。

アドバイス

- 補機用バッテリーの端子を外すと操作音設定の記憶は消去され，自動的にA（言語協調する）に設定されます。
- 言語協調の設定によって，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) や Bluetooth® 2.0 インターフェースで使用される言語は，つぎのように切り換わります。
  - A が選択されているとき，マルチインフォメーションディスプレイの表示言語と同じ言語へ自動的に変更されます。
  - M が選択されているとき，マルチインフォメーションディスプレイの表示言語と同じ言語に変更されません。

アドバイス

- ディスプレイオーディオ - タッチパネル付き AM/FM ラジオ & CD プレイヤー - 付き車は，言語協調の設定を A にしても，ディスプレイオーディオの言語は変更されません。

◆ 操作音の設定

J00621000047

マルチインフォメーションディスプレイスイッチ，メーター照度調整ボタンの操作音を鳴らなくすることができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P. 6-16
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して ON – OFF 「(操作音の設定）」を選択します。
3. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押すと，ON（操作音あり）→OFF（操作音なし）またはOFF→ONと切り換わり選択した条件に設定が変更されます。

アドバイス

- 補機用バッテリーの端子を外すと操作音設定の記憶は消去され，自動的にON（操作音あり）に設定されます。
- 操作音の設定はマルチインフォメーションディスプレイスイッチ，メーター照度調整ボタンの操作音を消すだけのもので警告表示などの音を消すことはできません。

◆「休憩して下さい」表示が出るまでの時間の変更

J00621100051

表示が出るまでの時間を変更することができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P. 6-16
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して アラーム「アラーム（休憩時間の設定）」を選択します。
3. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して「アラーム」を表示します。
4. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して，表示が出るまでの時間を選択します。
5. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押すと選択した時間に設定が変更されます。

アドバイス

- 補機用バッテリーの端子を外すと設定の記憶は消去され，自動的にOFFに設定されます。
- パワースイッチの電源モードをOFFにすると運転時間はリセットされます。

◆ 方向指示音の変更

J00621200049

方向指示器の音色を変更することができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P. 6-16
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して 1 − 2 「(方向指示音の変更)」を選択します。
3. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押すと，1（方向指示音1）→2（方向指示音2）または2→1と切り換わり選択した方向指示音に設定が変更されます。

◆ 出荷時の設定に戻す

J00621400054

各種機能設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定画面」P. 6-16
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押して リセット「リセット（工場出荷時の設定に戻す）」を選択します。
3. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約5秒以上）押すと，ブザーが鳴りすべての機能設定が工場出荷時の設定に戻ります。

アドバイス

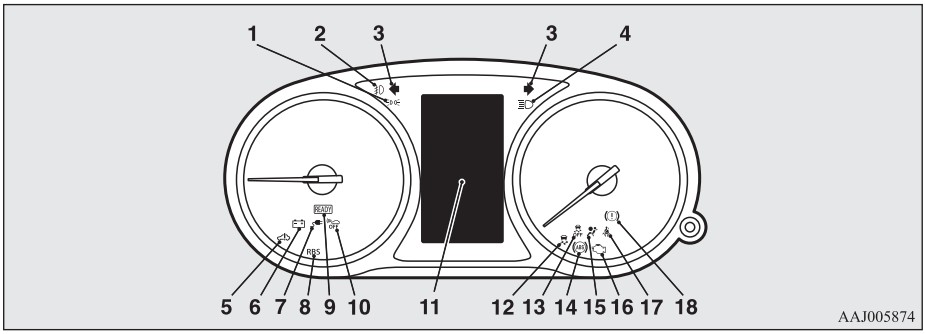
● 工場出荷時の設定はつぎの通りです
- 平均燃費のリセットモード：A（オートリセット）
- 燃費表示単位：km/L
- 温度単位：°C（摂氏）
- 表示言語：日本語
- 言語協調：A（言語協調する）
- 操作音：ON（操作音あり）
- 「休憩して下さい」表示：OFF
- 方向指示音：1

表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧

J00601501317

表示灯・警告灯一覧

J00609900509



1- 車幅灯表示灯 → P. 6-34
2- フロントフォグランプ表示灯 タイプ別装備 → P. 6-34
3- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯 → P. 6-34
4- ヘッドライト上向き表示灯 → P. 6-34
5- プラグインハイブリッドEVシステム警告灯 →P. 6-36
6- 補機用バッテリー充電警告灯 →P. 6-36
7- 充電ランプ →P. 6-35
8- RBS（回生ブレーキシステム）警告灯 →P. 6-36
9- READY（走行可能）表示灯 →P. 6-35
10- 車両接近通報装置OFF表示灯 →P. 7-37
11- インフォメーション画面表示一覧 → P. 6-24
12- アクティブスタビリティコントロール(ASC)作動表示灯 → P. 7-46
13- アクティブスタビリティコントロール(ASC)OFF表示灯 → P. 7-46
14- ABS警告灯 → P. 7-42
15- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 → P. 5-18, 5-34
16- エンジン警告灯 → P. 6-36
17- シートベルト非着用警告灯 → P. 5-14
18- ブレーキ警告灯 → P. 6-35

インフォメーション画面表示一覧

J00609400155

ランプ類の消し忘れなどお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴ってつぎの画面に切り換わります。該当ページを参照して必要な処置を行ってください。
警告表示の要因が解消されると，警告表示は自動的に消えます。
→「警告表示一覧」P. 6-24
→「その他の割り込み表示」P. 6-31

アドバイス

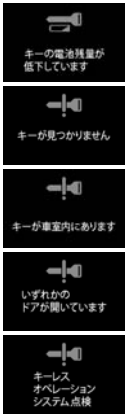
● つぎのようなとき，まれに数秒間，警告ブザーとともにインフォメーション画面に警告を表示することがあります。
これは，強い電磁波，ノイズなどを受けたことによって起こるもので，機能上の問題はありません。
・違法無線や電線の火花，レーダー施設などの非常に強い電磁波を受けたとき
・車載電気機器（後付け品含む）の作動時に発生する異常電圧や静電気の放電などがあったとき
ただし，何回も警告表示したときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ 警告表示一覧

J00610000395

画面	要因	処置（参照先）
	● プラグインハイブリッドEVシステムに何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
	● プラグインハイブリッドEVシステムに何らかの異常が発生しています。	● ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。
	● パーキングロックユニットに何らかの異常が発生し，駐車ブレーキをかけないとプラグインハイブリッドEVシステムを停止できない状態です。	● 安全で平坦な場所に駐車ブレーキをかけて停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。 →「電動パーキングスイッチ」P. 7-24
	● 充電コネクターに充電ガンが接続されているとき，パワースイッチの電源モードをONにしようとしています。	● 充電コネクターから充電ガンを取り外してから電源モードを操作してください。

画面	要因	処置(参照先)
	●システム異常(漏電検知)のため充電が中断されました。	●漏電しているか, 普通充電ケーブルが故障しています。すぐに使用を中止して, 三菱自動車販売会社にご連絡ください。
	●充電ケーブルの接続不良または停電により充電が中断されました。	●充電ケーブルを正しく接続してください。 →「充電のしかた」P. 3-4(普通充電), 3-16(急速充電) ●停電により充電が中断されたときは, 電気の復旧とともに充電も自動的に再開されます。
	●電動パワーステアリングの制御装置に何らかの異常が発生しています。	●できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「電動パワーステアリング警告表示」P. 7-44
	●いずれかのドアおよびテールゲートが完全に閉められていません。 開いているドアが表示されています。	●ドアおよびテールゲートを閉めてください。 →「半ドア警告表示」P. 6-10
	●イモビライザー(盗難防止装置)に何らかの異常が発生しています。	●一旦, パワースイッチの電源モードをOFFに戻し, 再度プラグインハイブリッドEVシステムを起動してください。 警告表示が消えないときは, 最寄りの三菱自動車販売会社へご連絡ください。
	●電源システムに何らかの異常が発生しています。	●ただちに安全な場所に停車し, 最寄りの三菱自動車販売会社へご連絡ください。
	●パワースイッチの電源モードがOFF以外の状態のときに運転席ドアが開いています。	●電源モードをOFFにしてください。 →「電源モードOFF戻し忘れ防止機構」 P. 7-17
	●パワースイッチの電源モードがOFF以外の状態のときに, すべてのドアおよびテールゲートを施錠しようとしています。	●電源モードをOFFにしてください。 →「電源モードOFF切り換え忘れ防止機構」 P. 7-17

画面	要因	処置（参照先）
	●キーレスオペレーションシステムに何らかの異常が発生しています。	→「警告表示について」P. 4-14
	●キーレスオペレーションキーが検知できません。	●キーボックスにキーレスオペレーションキーを差し込んでください。 →「キーレスオペレーションキーが正常に作動しないとき(電池切れなど)にプラグインハイブリッドEVシステムを起動するときは」P. 7-18
	●キーボックスからキーレスオペレーションキーを抜き忘れています。	●キーボックスからキーレスオペレーションキーを抜いてください。 →「キー抜き忘れ監視機構」7-18
	●ライト類を消し忘れています。	→「ヘッドライトオートカット機能（自動消灯）」P. 6-40
	●駐車ブレーキをかけたまま走行しています。	●駐車ブレーキを解除してください。 →「ブレーキ警告表示」P. 6-37

画面	要因	処置(参照先)
	●ブレーキ液が不足しています。 ●ブレーキ装置に何らかの異常が発生しています。	●ただちに安全な場所に停車し,最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。 →「ブレーキ警告表示」P. 6-37
	●ブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込むと,ブレーキ警告灯が点灯し警告ブザーが鳴るとともに,この警告が表示されることがあります。	●ブレーキ操作をやめて数秒後にこの警告が消え,ブレーキ警告灯が消灯し警告ブザーが鳴り止めば,異常ではありません。
	●RBS(回生ブレーキ)が使用できない状態です。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
	●ABSに何らかの異常が発生しています。	●急ブレーキや高速走行を避け,車を安全な場所に停車して処置を行ってください。 →「ABS警告」P. 7-42
	●エンジンフード(ボンネット)が開いています。	●エンジンフード(ボンネット)を閉めてください。 →「エンジンフード(ボンネット)」P. 11-5
	●エンジンがオーバーヒートしています。	●安全な場所に停車し処置を行ってください。 →「オーバーヒートしたときは!」P. 13-27
	●運転席のシートベルトを着用しないままパワースイッチの電源モードをONにしています。	●シートベルトを着用してください。 →「シートベルト非着用警告システム」P. 5-14
	●燃料系統に何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
	●燃料の残量が少なくなっています。	●早めに燃料を補給してください。 →「燃料残量警告表示」P. 6-10
	●エンジンオイルの循環系統に何らかの異常が発生しています。	●ただちに安全な場所に停車し,三菱自動車販売会社へご連絡ください。 →「油圧警告表示」P. 6-38

画面	要因	処置（参照先）
	●SRSエアバッグまたはプリテンショナー機構に何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告」P. 5-19, 5-34
	●アクティブスタビリティコントロール（ASC）に何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「ASC警告表示」P. 7-46
	●ヒルスタートアシストシステムに何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「ヒルスタートアシスト」P. 7-39
	●車外温度が0 °C（32 °F）以下になっています。	●路面の凍結に注意して走行してください。 ●警告表示が出ていなくても路面が凍結している場合がありますので走行には気をつけてください。
	●レーダークルーズコントロールシステム（ACC）が先行車の接近を感知しています。	●ブレーキを踏むなどして適切な車間距離を保持してください。 →「レーダークルーズコントロールシステム（ACC）：接近警報」P. 7-54
	●衝突被害軽減ブレーキシステム（FCM）が追突の危険を感知しています。	●ブレーキを踏むなど衝突を回避する操作を行ってください。 →「衝突被害軽減ブレーキシステム（FCM）：前方衝突警報機能」P. 7-63
	●レーダークルーズコントロールシステム（ACC）が先行車の停止を感知し自車を停車していますが，まもなくブレーキ制御が解除されます。	●速やかにブレーキを踏んでください。 →「レーダークルーズコントロールシステム（ACC）」P. 7-52

画面	要因	処置(参照先)
	●レーダークルーズコントロールシステム(ACC)の制御が自動停止し, スタンバイ状態になっています。	→「レーダークルーズコントロールシステム(ACC):使い方」P. 7-55
	●制御開始の条件が満たされていないため, レーダークルーズコントロールシステム(ACC)の制御を開始できない状態です。	
	●車速が制御範囲を超えているため, レーダークルーズコントロールシステム(ACC)の制御を開始できない状態です。	
	●先行車を検出していないため, レーダークルーズコントロールシステム(ACC)の制御を開始できない状態です。	
	●センサーの汚れの付着など, レーダークルーズコントロールシステム(ACC)が一時的に使用できない状態です。	
	●レーダークルーズコントロールシステム(ACC)に何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「レーダークルーズコントロールシステム(ACC)」P. 7-52
	●衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM)に何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM):前方衝突被害軽減ブレーキ」P. 7-64
	●衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM)の前方衝突被害軽減ブレーキが作動しました。	→「衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM):前方衝突被害軽減ブレーキ」P. 7-64
	●センサーの汚れの付着など, 衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM)が一時的に使用できない状態です。	

画面	要因	処置（参照先）
	● 車線逸脱警報システム(LDW)が車線の逸脱を感知しています。	→「車線逸脱警報システム(LDW)」P. 7-67
	● カメラが高温になったため, 車線逸脱警報システム(LDW)が一時的に使用できない状態です。	
	● 車線逸脱警報システム(LDW)に何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「車線逸脱警報システム(LDW)」P. 7-67

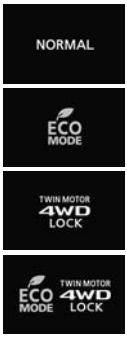
6

◆ その他の割り込み表示

J00610200371

画面	要因	処置(参照先)
	●プラグインハイブリッドEVシステム起動時にセレクトポジションがⓅ以外にあるか, ブレーキペダルが踏まれずにパワースイッチが押されています。	●プラグインハイブリッドEVシステムを起動させるときは, 電動パーキングスイッチを押してセレクトポジションをⓅにし, ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押してください。 →「プラグインハイブリッドEVシステムの起動のしかた」P. 7-18
	●プラグインハイブリッドEVシステムが高温もしくは低温になってるため, 安全装置が働いて走行出力を制限します。	●お客様に処置いただくことはありません。プラグインハイブリッドEVシステムが平常温度に戻ると走行出力の制限は解除されます。
	●長期間燃料が1回に約15L以上給油されていないと, エンジンや燃料系部品のメンテナンスのため, エンジンが自動的に始動されます。 エンジンが始動しているときは, 駆動用バッテリーを充電している状態になります。	●燃料タンク内に燃料が長期間滞留している場合などお車の使用状況によっては, 頻繁に表示されることがありますので, 15L以上給油してください。警告は表示されなくなります。 ●メンテナンスのためにエンジンがかかっているとき, マルチインフォメーションディスプレイ内にバッテリーチャージモード表示画面(CHARGE)が表示されます。

各システムの作動状態をインフォメーション画面に表示します。
詳しくは各システムの該当ページをお読みください。

画面	システムの作動状態	参照先
	●駆動用バッテリーの充電が完了したとき	→「充電について」P. 3-3
	●ECOモードスイッチ, 4WDロックスイッチでモードを変更したとき	→「ECOモードスイッチ」P. 6-45 →「4WDロックスイッチ」P. 7-31 →「ECOモードスイッチをONにしたときは」P. 7-32
	●ナビゲーション作動中, 案内ポイントなどが近づいたとき	→「ナビ情報表示」P. 6-34
	●バッテリーセーブスイッチをONにしたとき	→「バッテリーセーブスイッチ」P. 7-34
	●バッテリーチャージスイッチをONにしたとき	→「バッテリーチャージスイッチ」P. 7-35
 	●衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM)をONにしたとき, または警報タイミングを変更したとき	→「衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM):FCM ON/OFFスイッチ」P. 7-66
	●衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM)をOFFにしたとき	

定期点検の時期をお知らせします。

画面	処置
	三菱自動車販売会社で点検を受けてください。詳しくは「サービスリマインダーについて」P. 6-12をお読みください。

休憩時間を設定することができます。

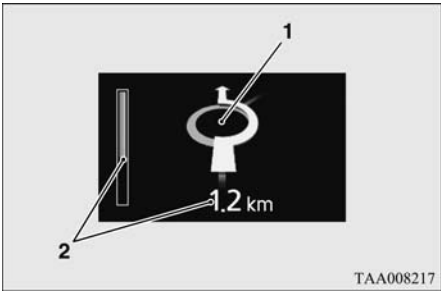
画面	処置
	安全な場所に停車し, プラグインハイブリッドEVシステムを停止して休憩してください。 長距離走行の途中で休憩をとるための, 目安としてご使用ください。運転を開始してから表示がでるまでの時間を設定することができます。 →{「休憩して下さい」表示が出るまでの時間の変更}P. 6-21 設定した時間が経過すると, 表示とブザーで知らせます。その後休憩しないまま運転を続けると, 約5分ごとにブザーが鳴り, 休憩をとるようにうながします。 ● つぎの場合は, 運転した時間がリセットされ, もとの表示画面に戻ります。その後, 再び設定した時間が経過すると表示とブザーで休憩をとるようにうながします。 •3回目のブザーが鳴る •パワースイッチの電源モードをOFFにする •マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く(約2秒以上)押し続ける

◆ ナビ情報表示

J00622600011

三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車

目的地が設定されルート案内が開始されているとき，道路分岐や目的地などの案内ポイントが近づくと，つぎのようなナビゲーションの一部の情報を表示します。



1- 案内表示
進行方向や案内地を表示します。

2- 残り距離表示
案内表示された地点までの距離を表示します。

アドバイス

- 別冊の「三菱マルチコミュニケーションシステム」取扱説明書を合わせてご覧ください。

表示灯

J00601600180

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700413

つぎの場合に点滅します。

- 方向指示レバーを操作し，方向指示灯を作動させたとき。
→「方向指示レバー」P. 6-44
- 非常点滅灯スイッチを押し，非常点滅灯を作動させたとき。
→「非常点滅灯スイッチ」P. 6-45
- 走行中に急ブレーキを踏んで，自動的に非常点滅灯が作動したとき。
→「緊急制動信号システム」P. 7-38

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800081

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

フロントフォグランプ表示灯

タイプ別装備

J00601900330

フロントフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

車幅灯表示灯

J00602100238

車幅灯を点灯させると表示灯が点灯します。

READY（走行可能）表示灯

J00617200035

プラグインハイブリッド EV システムが起動するまで READY（走行可能）表示灯は点滅します。プラグインハイブリッド EV システムが正常に起動し，走行が可能な状態になると点滅から点灯に変わります。
→「プラグインハイブリッド EV システムの起動のしかた」P. 7-18

充電ランプ

J00617300023

普通充電ケーブルまたは急速充電ケーブルが接続されると点滅します。
その後，充電が開始されると点灯に切り換わり，充電が完了すると消灯します。

警告灯

J00602500115

ブレーキ警告灯（ブレーキ警告ブザー）

J00602601113

パワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，つぎのようなときに点灯します。
走行する前に，必ず警告灯が消えていることを確認してください。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキシステムに異常があるとき

マルチインフォメーションディスプレイにも警告表示します。→「ブレーキ警告表示」P. 6-37

◆ブレーキ警告ブザー

ブレーキの負圧が不足するとブザーが鳴り，ブレーキの効きが悪くなるおそれがあることを運転者に知らせます。

⚠警告

- つぎの場合はブレーキの効きが非常に悪くなるおそれがありますので，ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
  - ブレーキ警告灯が点灯し，ブレーキ警告ブザーが鳴っている。
  - パワースイッチの電源モードを ON にした直後にブレーキ警告灯が点灯しない。
  - 駐車ブレーキをかけているときパワースイッチの電源モードが ON の位置でもブレーキ警告灯が点灯しない。
  - 駐車ブレーキを解除してもブレーキ警告灯が消灯しない。

アドバイス

● ブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込むと，ブレーキ警告灯が点灯し，警告ブザーが鳴ります。また，マルチインフォメーションディスプレイにも警告表示します。→「ブレーキ警告表示」P. 6-37
ブレーキ操作をやめて数秒後に警告灯が消灯し，警告ブザーが鳴り止めば異常ではありません。

エンジン警告灯

J00602700885

エンジン制御システムに異常があると点灯または点滅します。
正常なときはパワースイッチの電源モードをONにすると点灯し，プラグインハイブリッドEV システムを起動すると消灯します。

⚠注意

● プラグインハイブリッドEVシステム起動中に点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

補機用バッテリー充電警告灯

J00602800365

補機用バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。
正常なときはパワースイッチの電源モードをONにすると点灯し，プラグインハイブリッドEV システムを起動すると消灯します。

⚠注意

● プラグインハイブリッドEVシステム起動中に点灯したときは，必ずつぎのことをお守りください。
- ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- 補機用バッテリーに充電しないでください。

プラグインハイブリッドEVシステム警告灯

J00629100015

プラグインハイブリッドEVシステムに異常があると点灯します。
→「点検・整備をするときは」P. 2-9
正常なときはパワースイッチの電源モードをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

● プラグインハイブリッドEVシステム起動後に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

RBS（回生ブレーキ）警告灯

J00629200016

プラグインハイブリッドEVシステム起動中，回生ブレーキシステムが使用できない状態になると点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイにも警告表示します。
正常なときはパワースイッチの電源モードをONにすると点灯し，プラグインハイブリッドEV システムが起動すると消灯します。

⚠注意

● プラグインハイブリッドEVシステム起動中に点灯したときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

インフォメーション画面表示

J00608900052

ブレーキ警告表示

J00609000294

駐車ブレーキをかけたまま走行すると警告表示します。また，メーター内の警告灯は駐車ブレーキをかけているだけで点灯します。→「ブレーキ警告灯」P. 6-35

⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。
  警告表示がでたときは駐車ブレーキを解除してください。

アドバイス

- 駐車ブレーキをかけたまま車速が 8km/h 以上になるとブザーが鳴り，解除忘れを知らせます。

パワースイッチの電源モードが ON のときにブレーキ液が不足している，またはブレーキシステムに異常があると警告表示します。
また，メーター内の警告灯も点灯します。→「ブレーキ警告灯」P. 6-35

⚠注意

- 走行中，警告表示したまま消灯しないときはブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので，ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。

⚠注意

- ブレーキ警告表示がブレーキ警告灯，ABS 警告灯と同時に警告表示したときは，ブレーキ力の配分機能も作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。急ブレーキや高速走行を避け，ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，回生ブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
    このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。
- ブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込むと，ブレーキ警告灯が点灯し警告ブザーが鳴るとともに，この警告が表示されることがあります。ブレーキ操作をやめて数秒後にこの警告が消え，ブレーキ警告灯が消灯し警告ブザーが鳴り止めば，異常ではありません。

油圧警告表示

J00609300239

プラグインハイブリッド EV システム起動中，エンジンオイルの圧力が低下すると警告表示します。

⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても警告表示したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- 警告表示したときは，ただちに安全な場所に停車しプラグインハイブリッドEVシステムを止め，エンジンオイルの量を点検してください。
  （点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。）
- エンジンオイル量が正常で警告表示したときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- 油圧警告表示はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

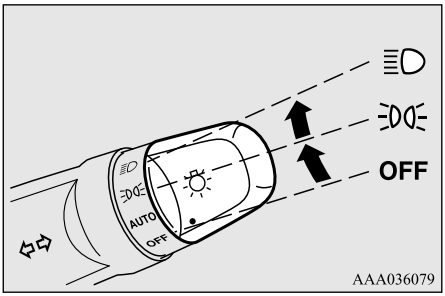
ライトスイッチ

J00604001108

手動で使うときは

パワースイッチの電源モードの状態に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の〇印のランプが点灯します。

ツマミの位置	≣D	≣DD≣
ヘッドライト	〇	—
車幅灯	〇	〇
尾灯	〇	〇
番号灯	〇	〇
計器類照明灯，ダウンライト	〇	〇

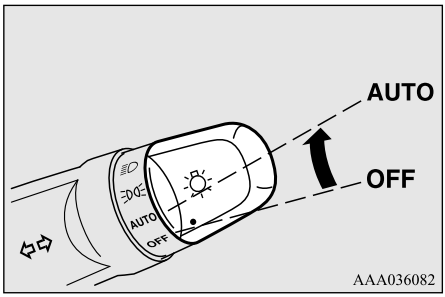


アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

自動で使うときは（オートライトコントロール）

パワースイッチの電源モードが ON のときに使用できます。レバー先端のツマミを AUTO 位置にすると，車外の明るさに応じてヘッドライト，車幅灯，尾灯，番号灯などが自動的に点灯・消灯します。電源モードを OFF にすると自動的に消灯します。

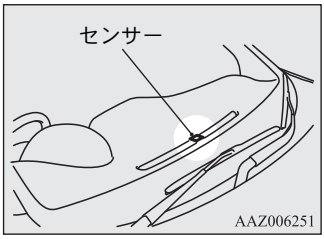


アドバイス

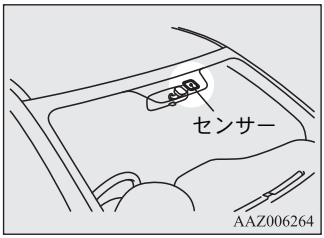
- 自動点灯センサーの感度を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- フロントフォグランプ付き車は, AUTOの位置でフロントフォグランプが点灯しているとき，パワースイッチの電源モードを OFF にすると，フロントフォグランプも自動消灯します。

アドバイス

- 除く，レインセンサー付き車は自動点灯・消灯装置のセンサーの上には物を置いたり，ガラスクリーナーなど吹きかけないでください。
  センサーが車外の明るさを検知できなくなり，ライトが自動に点灯・消灯しなくなるおそれがあります。



- レインセンサー付き車は，フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってセンサーを覆わないでください。
  センサーが車外の明るさを検知できなくなり，ライトが自動に点灯・消灯しなくなるおそれがあります。



  フロントガラスの交換・センサー付近のガラス補修をするときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- AUTOの位置で点灯・消灯しないときは，手動スイッチを操作し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト *1 オートカット機能（自動消灯）

J00606000987

*1 ヘッドライトやフォグランプなどの車外照明

- ライトスイッチが≣Dまたは≣DEの位置でも，パワースイッチの電源モードをOFFにし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
- ライトスイッチが≣Dまたは≣DEの位置でも，パワースイッチの電源モードをOFFにし，運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

◆ 降車後，照明として利用するときは

降車後も約 3 分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチをOFFにし，パワースイッチの電源モードをOFFにします。
2. ライトスイッチを≣Dの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを≣DE位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）
- 運転席から降車するときパワースイッチの電源モードがOFFのときはライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，OFF 以外のときは電源モードOFF戻し忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

3. 約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - ライトスイッチが≣DE位置でも降車後照明として利用できるようにする。
  - ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ライト消し忘れブザー

J00606100353

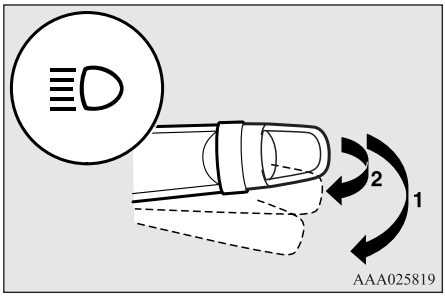
ライトスイッチが≣Dまたは≣DEの位置のままでパワースイッチの電源モードをOFF にして運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチをOFFにする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200484

レバーを（1）まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを（2）まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。



アドバイス

- ライトスイッチがOFF位置でも，レバーを（2）まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≣Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

ウェルカムライト

J00618800256

ライトスイッチがOFFまたはAUTOの位置のとき，キーレスオペレーションキーのUNLOCKスイッチを押すと，車幅灯が約30秒間点灯します。除く，LDW付き車は，車外が暗いときのみ点灯します。

アドバイス

- ウェルカムライトが作動中に，つぎの操作を行うとウェルカムライトが停止します。
  - キーレスオペレーションキーのLOCKスイッチを押したとき
  - ライトスイッチを≣DOまたは≣Dの位置にしたとき
  - パワースイッチの電源モードをONの状態にしたとき
- つぎの通り機能を変更することができます。
  - ヘッドライト（ロービーム）の点灯を追加する。
  - ウェルカムライトを働かなくする。

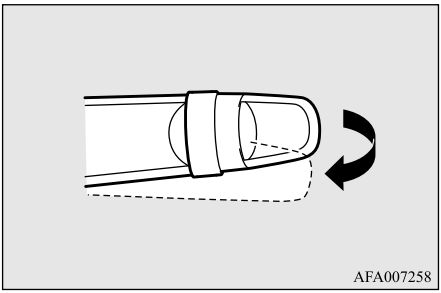
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

カミングホームライト

J00618900244

パワースイッチの電源モードをOFFにした後，約30秒間ヘッドライト(ロービーム)を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチをOFFまたはAUTOの位置にします。
2. 電源モードをOFFにします。
3. 電源モードをOFFにしてから約60秒以内に，方向指示レバーを手前に引きます。



4. ヘッドライト(ロービーム)が約30秒間点灯します。消灯した後，再度約30秒間点灯させたい場合は，電源モードをOFFにしてから約60秒以内のときは，レバーを手前に引いてください。また，約60秒以上のときは，手順1から操作してください。

アドバイス

● カミングホームライトが作動中に，つぎの操作を行うとカミングホームライトが停止します。
- レバーを手前に引いたとき
- ライトスイッチを または の位置にしたとき
- パワースイッチの電源モードをONの状態にしたとき

アドバイス

● つぎの機能を変更することができます。
- ヘッドライトの点灯時間を調整する。
- カミングホームライトを働かなくする。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ヘッドライトレベリング

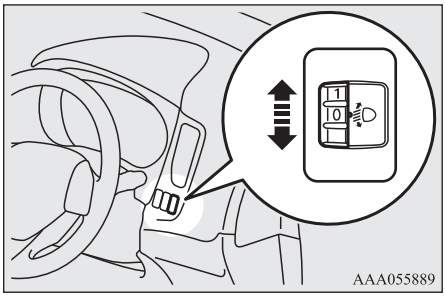
J00604100955

ヘッドライトレベリングダイヤル

J00610300095

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。



乗員の人数や荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
人や荷物を降ろした後は，必ずダイヤルを“0”の位置に戻してください。

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

乗員やラゲッジルームの積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時 運転席+助手席乗車時	0
	全席乗車時	1
	全席乗車時+ラゲッジルーム最大積載時	2
	運転席乗車時+ラゲッジルーム最大積載時	3

アドバイス

- 車検などで光軸調整をするときは，ダイヤルを“0”の位置（光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

ヘッドライトオートレベリング

J00610400201

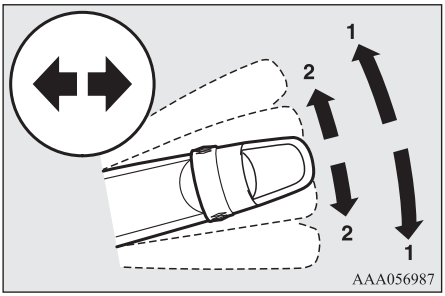
ディスチャージヘッドライト付き車

乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて，ヘッドライトの照らす方向（光軸）を自動的に調整する装置です。
パワースイッチの電源モードが ON のときにヘッドライトが点灯すると，停車時にヘッドライトの光軸を自動的に調整します。

方向指示レバー

J00604201025

パワースイッチの電源モードが ON のときにレバーを（1）まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを（2）まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。また，レバーを（2）まで軽く操作し，すぐ離すと 3 回，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。



1- 方向指示
2- 車線変更

アドバイス

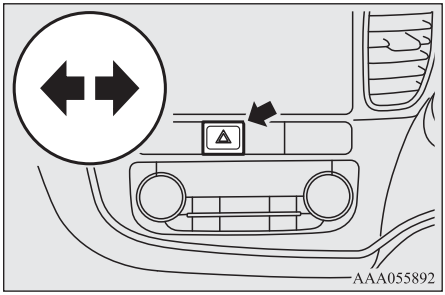
- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- つぎの機能を変更することができます。
  - パワースイッチの電源モードがONまたはACCのときにレバーを操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯を点滅させる。
  - 車線変更時，方向指示灯の3回点滅機能を働かなくする。
  - 車線変更時，方向指示灯の3回点滅機能のレバー操作時間を調整する。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- 方向指示器の音色を変更することができます。
  →「方向指示音の変更」P. 6-22

非常点滅灯スイッチ

J00604300797

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



アドバイス

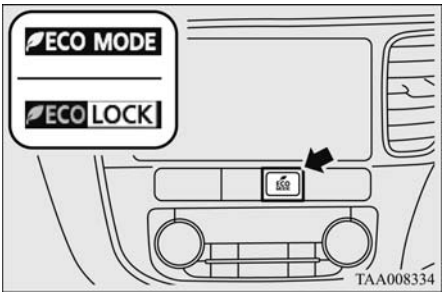
- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長時間使用すると補機用バッテリーが上がり，プラグインハイブリッドEV システムの起動ができなくなることがあります。
- スイッチを押して非常点滅灯を点滅させているときは，緊急制動信号システムは作動しません。
  →「緊急制動信号システム」P. 7-38

ECOモードスイッチ

J00622300021

ECOモードは，プラグインハイブリッドEVシステム，エアコンを自動制御することでエコドライブをサポートするシステムです。
→「左右独立温度コントロール式フルオートエアコン」P. 9-4

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときに，ECOモードスイッチを押すとECO モードが作動します。もう一度スイッチを押すと ECO モードが停止します。
ECOモード作動中，マルチインフォメーションディスプレイ内にECOモード表示が表示されます。



アドバイス

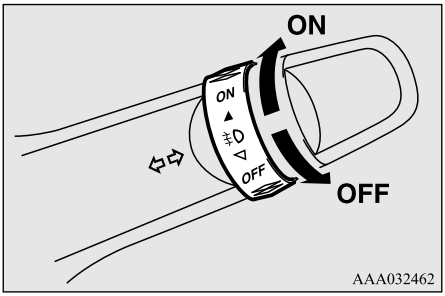
- パワースイッチの電源モードをOFFにしても，ECOモードスイッチの状態を記憶しています。
- ECOモード作動時でもエアコンのみ通常制御にすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

フロントフォグランプスイッチ

タイプ別装備

J00604500555

霧の出ているとき，雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。
ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときにノブを上に回すと，フロントフォグランプが点灯し，メーター内の表示灯も点灯します。消灯するときはノブを下に回します。



アドバイス

- ヘッドライトと尾灯が消灯すると，フロントフォグランプも自動消灯します。
  再度点灯させたいときは，ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときに，もう一度ノブを上に回します。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604801050

⚠注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
  →「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-7
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪などによりワイパーブレードが途中で止まったときは，ワイパースイッチを OFF にしてもモーターに電流が流れておりパワースイッチの電源モードをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めて電源モードを OFF にし，ワイパーブレードが作動できるように積雪などを取り除いてください。

フロントワイパースイッチ

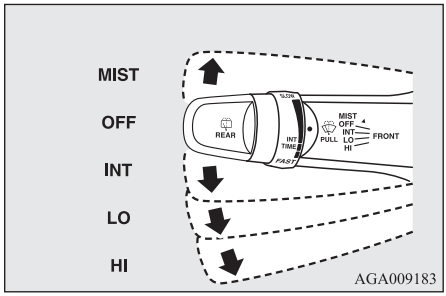
J00615400349

アドバイス

● 後方の視界を確保するため，フロントワイパーが作動中にセレクターレバーをⓇに入れると，リヤワイパーが自動的に数回作動します。
→「リヤワイパー / ウォッシャースイッチ」P. 6-51

◆ 除く，レインセンサー付き車

パワースイッチの電源モードが ON またはACCのときに使用できます。



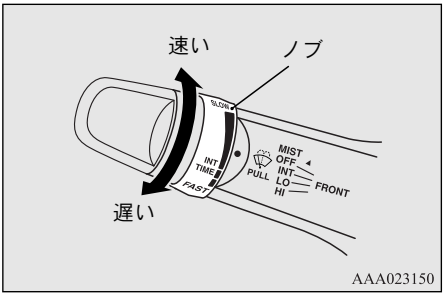
MIST	1回作動（ワイパーミスト機能）
OFF	停止
INT	間けつ作動（車速感応） 車速に応じてワイパーが間けつ作動します。 車速が速くなると間けつ時間が短くなります。
LO	低速作動
HI	高速作動

アドバイス

● 車速感応の機能を働かなくすることができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

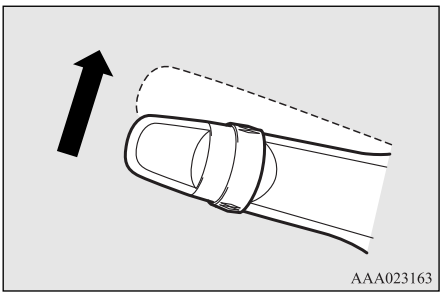
間けつ時間の調整のしかた

レバーがINT（間けつ作動）位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。



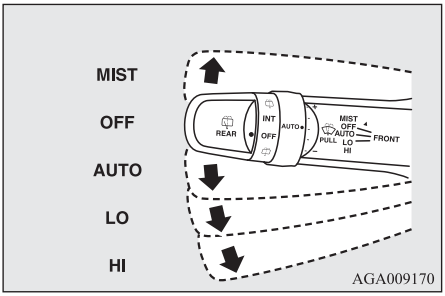
ワイパーミスト機能

レバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーをMIST位置に上げている間はワイパーが連続作動します。



◆ レインセンサー付き車

パワースイッチの電源モードが ON または ACC のときに使用できます。



6

MIST　1回作動
（ワイパーミスト機能）
OFF　停止
AUTO　自動作動（雨滴感応）
雨の程度に応じて，自動的にワイパーが作動します。
LO　低速作動
HI　高速作動

アドバイス

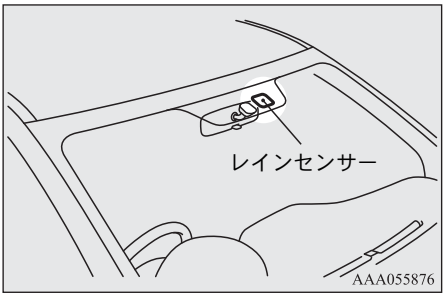
- つぎの機能を変更することができます。
  - 自動作動（雨滴感応）を間欠作動（車速感応）に 変更する。
  - 自動作動（雨滴感応）を間欠作動（除く車速感応）に変更する。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

レインセンサー

パワースイッチの電源モードが ON のときに使用できます。レバーを AUTO の位置にすると，雨の程度（雪やその他の液体，ほこりなどを含む）をレインセンサーが感知し，ワイパーが自動作動します。

ただし，つぎのような場合，フロントガラスに傷がついたり，ワイパーブレードを傷めるおそれがありますので，レバーを OFF の位置にしてください。

- 晴れた日が続き，フロントガラスが汚れているとき
- 空気が乾燥し，フロントガラスが汚れているとき



⚠注意

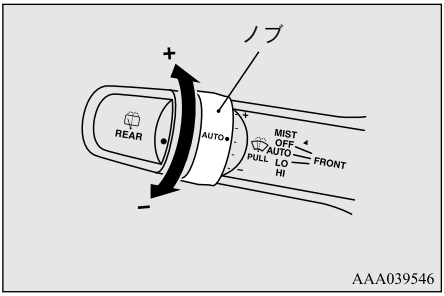
- パワースイッチの電源モードが ON の位置で，レバーが AUTO の位置のとき，つぎのような場合，ワイパーが自動作動することがあります。
  手や指をはさむと，けがをしたり，ワイパーを損傷するおそれがありますので電源モードを OFF にするか，レバーを OFF にして，レインセンサーを停止するよう注意してください。
  - フロントガラス掃除の際，レインセンサーをフロントガラス越しに触れたとき。
  - フロントガラス掃除の際，レインセンサーをフロントガラス越しに拭いたとき。
  - 自動洗車機を使用するとき。
  - フロントガラスに衝撃を与えたとき。
  - レインセンサーに衝撃を与えたとき。

アドバイス

- ワイパーのゴム部分を保護するため，プラグインハイブリッド EV システム起動後，車両を止めた状態で，外気温が低いとき（約 0°C 以下のとき）ワイパーは作動しません。
- フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってセンサーを覆わないでください。また，フロントガラスにコーティングをしないでください。センサーが雨を検知できなくなり，ワイパーが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- つぎのような場合は，レインセンサーの故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - 雨の程度が変化しているにもかかわらず，ワイパーが一定間隔作動しているとき。
  - 雨が降っているにもかかわらず，ワイパーが 動 かないとき。
- レインセンサー上部のウインドウガラスに虫や異物などが付着したり，ウインドウガラスが凍結しているときは，ワイパーが自動的に作動することがあります。
  ワイパーでフロントガラスの付着物を取り除けないときは，ワイパーが自動的に停止します。ワイパーを作動させたいときは，レバーをLOまたはHIの位置にしてください。
  また，強い直射日光や電磁波などの原因によってもワイパーが自動的に作動することがあります。ワイパーを停止させたいときは，レバーをOFFの位置にしてください。
- フロントガラスの交換・センサー付近のガラス補修をするときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

雨滴感応の調整のしかた

レバーが AUTO の位置のときに，ノブを回すとレインセンサーの感度を調整できます。

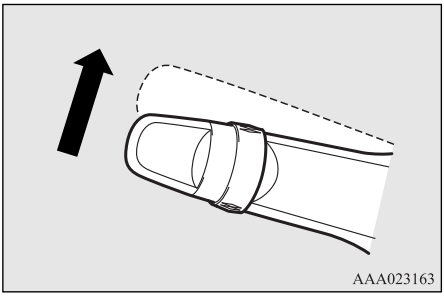


AAA039546

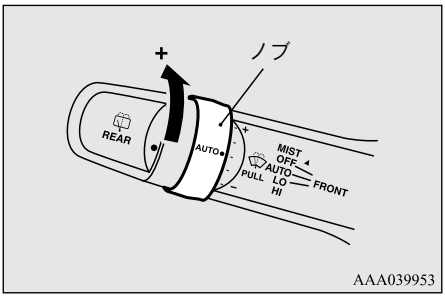
+ 高感度（雨に反応しやすい）
- 低感度（雨に反応しにくい）

ワイパーミスト機能

つぎのようにレバーまたは，ノブを操作するとワイパーが 1 回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。
パワースイッチの電源モードが ON または ACC のときにレバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが 1 回だけ作動します。
レバーを MIST 位置に上げている間はワイパーが連続作動します。


AAA023163

電源モードがON のとき, レバーをAUTO の位置にして，ノブを + 側に回すとワイパーが1 回作動します。



フロントウォッシャースイッチ

J00604900865

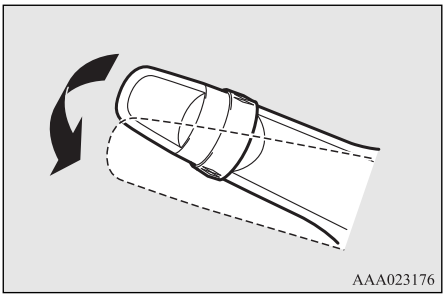
パワースイッチの電源モードが ON またはACCのときに使用できます。

レバーを手前に引いている間，ウォッシャー液が噴射します。

ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。さらに約6秒後にワイパーがもう1回作動します。

また，レバーを手前に引いてすぐに離すと，自動的にウォッシャー液を数回に分けて噴射しながらワイパーが数回作動します。（インテリジェントウォッシャー）さらに約6秒後にワイパーがもう1回作動します。

ワイパー作動中にレバー操作すると，インテリジェントウォッシャーは停止します。



アドバイス

- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でパワースイッチの電源モードをON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- つぎの機能を変更することができます。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにする。
  - インテリジェントウォッシャーを働かなくする。
  - 約 6 秒後にワイパーがもう 1 回作動する機能を働かなくする。

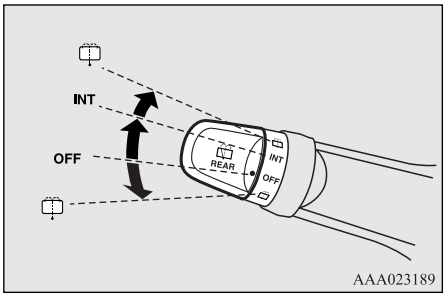
  詳しくは三菱販売会社にご相談ください。

  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ

J00605000993

パワースイッチの電源モードが ON またはACCのときに使用できます。



レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

INT　間けつ作動
数回作動し，その後約8秒おきに作動

OFF　停止

この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

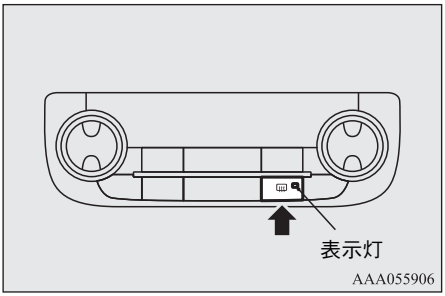
- フロントワイパーまたはリヤワイパーが作動中にセレクターレバーをⓇに入れると，リヤワイパーが自動的に数回作動します。（自動作動モード）
  リヤワイパーは自動的に作動した後，レバー先端のツマミがOFF位置にあれば停止し，INT位置にあれば間けつ作動に戻ります。
  また，リヤワイパーが INT 位置で作動中にセレクターレバーをⓇに入れるときだけ 自動作動モードが作動するように変更すること ができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ワイパーを作動させずウォッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミをの位置に回した状態でパワースイッチの電源モードをONまたはACCにするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- レバー先端のツマミがOFF位置にあるとき，約1秒以内にINT位置に2回繰り返し回してINT位置で止めると，リヤワイパーが連続作動します。（連続作動モード）
  ツマミをOFFの位置にすると連続作動は止まります。
- つぎの機能を変更することができます。
  - ワイパーの間けつ作動時間を調整する。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させない。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

J00605500725

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
パワースイッチの電源モードが ON のときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。
もう一度押すとスイッチが切れます。
スイッチを押すたびに音が鳴ります。



デフォッガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができます。
→「ヒーテッドドアミラー」P. 7-14

アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに使用しないでください。補機用バッテリーが上がり，プラグインハイブリッド EV システムの起動ができなくなることがあります。
- この装置は補機用バッテリーの消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。長時間使用すると，補機用バッテリーの電圧が低下し，プラグインハイブリッド EV システムの起動ができなくなることがあります。
  万一，スイッチを切り忘れても約 15 分~20 分後に自動的に切れます。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。

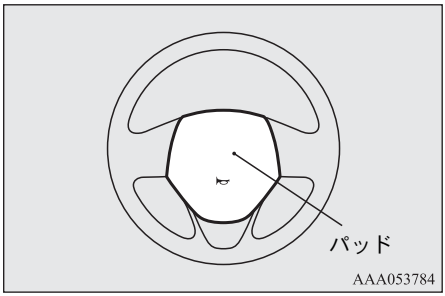
アドバイス

- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。
- リヤウィンドデフォッガが自動的に作動するように設定することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ホーンスイッチ

J00605600609

ハンドルのパッドを押すとホーン（警音器）が鳴ります。



MEMO

運転装置

安全なドライブのために. 7- 2
駐車ブレーキ. 7- 10
チルト•テレスコピックステアリング. 7- 11
ルームミラー. 7- 11
ドアミラー 7- 12
サイドアンダーミラー 7- 15
パワースイッチ. 7- 15
プラグインハイブリッドEVシステムの起動のしかた 7- 18
セレクターレバー(ジョイスティックタイプ) 7- 20
セレクトポジション表示灯. 7- 22
電動パーキングスイッチ. 7- 24
回生レベルセレクター(パドル式) 7- 25
運転のしかた. 7- 26
S-AWC 7- 30
4WD車の上手な運転. 7- 33
4WD車取り扱い上の注意 7- 33
バッテリーセーブスイッチ. 7- 34
バッテリーチャージスイッチ 7- 35
車両接近通報装置 7- 37
緊急制動信号システム 7- 38
ヒルスタートアシスト 7- 39
ブレーキアシスト 7- 40
アンチロックブレーキシステム(ABS) 7- 41
電動パワーステアリング(EPS). 7- 43
アクティブスタビリティコントロール(ASC) 7- 44
クルーズコントロール(自動定速走行装置) 7- 47
レーダークルーズコントロールシステム(ACC) 7- 52
衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM) 7- 62
車線逸脱警報システム(LDW) 7- 67
リヤビューカメラ 7- 70
サイドビューカメラ 7- 74

安全なドライブのために

J00723600022

お車を運転の際に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

出発前は

J00723700023

◆ 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

● 強い直射日光などにより車内が高温になると容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

◆ 運転席の足元付近を点検

● 出発前に運転席の足元付近を点検し，空き缶などの動きやすい物を放置しないでください。
ブレーキペダルやアクセルペダルの下に物が挟まると，ペダル操作ができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

● フロアマットはペダルに引っかからないよう，車に合ったものを正しく敷いてください。→「フロアマット」P. 8-14
正しく敷かないと，ペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
- ずれないよう固定クリップなどで確実に固定する。
- ペダルをおおわない。
- 重ねて敷かない。
- アクセルペダルの下に敷かない。

◆ フロントガラス前部の雪，落ち葉などは取り除く

● フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪，落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
そのままにしておくと，車内の換気が十分にできずガラスが曇り，視界が悪くなるおそれがあります。

走行するときは

J00723800037

◆ 発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車を後退させるときは目で後方を確認してください。
  バックミラーでは確認できない死角があります。

◆ 雨天時や水たまりを走行するときは

- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
  特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
  ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは…

- 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

◆ 冠水した道路を走行しない

- 冠水した道路を走行すると，プラグインハイブリッドEVシステムが停止するだけでなく，漏電やショートなど故障の原因になります。
  やむをえず冠水した道路を走行し，水に浸ってしまったときは，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ 下り坂では回生ブレーキを併用

- ぬれた道路や凍結した道路での急激な回生ブレーキは避けてください。
  スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  坂の勾配に応じて必ず回生ブレーキを併用してください。

●駆動用バッテリーの充電量が満充電に近いときまたは駆動用バッテリーの温度が低いときは回生ブレーキの効きが弱くなることがあります。このようなときはスピードを控えて走行してください。

回生ブレーキとは…

●エンジン車のエンジンブレーキのように，走行中アクセルペダルから足を離したとき，またはブレーキを踏んだときに，モーターを発電機として使用して運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。
この変換時にブレーキ力が発生し，変換された電気エネルギーは駆動用バッテリーに充電されます。
●ブレーキペダルを踏み込んだとき，回生ブレーキの効きが強くなります。
●プラグインハイブリッドEVシステムに異常があるとき，またはABSやASCが作動しているとき，回生ブレーキの働きは制限されます。このとき，フットブレーキは働きます。

◆ 段差などを通過するときは

●できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
またつぎのような場合，車体，バンパー，マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
- 駐車場の出入り口
- 路肩や車止めのある場所
- 勾配の急な場所
- わだちのある道路

走行中に異常に気づいたら

J00723900038

◆ 走行中にREADY（走行可能）表示灯が消灯したときは

走行中にREADY（走行可能）表示灯が消灯したときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの点に注意して車を安全な場所に止めてください。

●ブレーキ倍力装置が働かなくなることがあり，その場合，ブレーキの効きが非常に悪くなりますので，通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
ブレーキペダルから足を離し，再び踏み直すと，ブレーキの効きがさらに悪くなります。
●万一，スピードが落ちないときは，駐車ブレーキを慎重にかけてください。このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けてください。
●パワーステアリング装置が働かなくなることがあり，その場合，ハンドルが 非常に重くなります。

◆ 走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。
● つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

◆ 警告灯が点灯または点滅したときやマルチインフォメーションディスプレイ内に警告表示されたときは

● 警告灯が点灯または点滅したときやマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示されたときは安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
→「インフォメーション画面表示一覧」P. 6-24
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P. 13-2
点灯または点滅もしくは表示したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，プラグインハイブリッドEVシステムなどを損傷するおそれがあります。

◆ 車体床下に強い衝撃を受けたときは

● 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
駆動用バッテリー液の漏れ，車体や駆動用バッテリーの損傷は火災の原因となります。漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず消防に通報してください。
● 車内または車外に液体の漏れが見つかったときは，火気を近づけないでください。また，絶対に触れないでください。
駆動用バッテリー液が皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。
● ブレーキ液の漏れがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社へご連絡ください。

駐停車するときは

J00724000023

◆ 燃えやすいものの近くには車を止めない

● 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。

◆ 仮眠するときは必ずREADY（走行可能）表示灯が消灯した状態にする

- プラグインハイブリッドEVシステムが起動中, 駆動用バッテリーの残量低下によりエンジンが始動することがあります。排気ガスが車内に侵入して，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- 無意識にセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

◆ 坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，パーキングスイッチを押してください。さらに輪止めをすると効果があります。
  輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
  輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。
  無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 雪が積もった場所や降雪時にはエンジンをかけたままにしない

- エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

◆ 長時間 READY（走行可能）表示灯が点灯したままでの停車は避ける

- 長く停車するときは，パワースイッチを押し，READY（走行可能）表示灯が消灯したことを確認してください。
  READY（走行可能）表示灯が点灯したままにしておくと，航続可能距離が短くなります。
- 無意識にセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。

◆ 車から離れるときは必ずプラグインハイブリッド EV システムを停止する

- 駆動用バッテリーの残量低下などにより，エンジンが急に始動するおそれがあります。

経済的な運転をするために

J00724100024

◆ 無駄な荷物を載せない

● 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

◆ 発進，加速はスムーズに

● 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

◆ 速度はできるだけ一定に

● 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

◆ タイヤの空気圧は定期的にチェック

● タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧の点検•調整」P. 11-9
→「タイヤの空気圧」P. 14-7

◆ 駐車時はパワースイッチをOFFに

● READY（走行可能）表示灯が点灯したまま長い間駐車すると，航続可能距離が短くなります。

お子さまを乗せるときは

J00724200025

◆ お子さまはリヤシートに座らせる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置に触れて，重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
  - 必ずシートベルトを着用する
    →「シートベルト」P. 5-11
  - シートを一番後ろの位置にする
  - シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる

◆ 窓から手や顔を出させない

- 窓から手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

◆ 車から離れるときはお子さまも一緒に

- お子さまだけを車内に残さないでください。
  炎天下での車内は高温となり，熱射病などのおそれがあります。

こんなことにも注意

J00724300039

◆ 洗車をするときは

- 洗車のときはパワースイッチをOFFにしてください。
- 駆動用バッテリーを充電しながら洗車をしないでください。
  火災，感電の原因となります。
- 洗車をする前には，充電リッドおよび中ブタが確実に閉まっていることを確認してください。
  リッドが開いていると充電装置に水がかかり，火災，感電の原因となります。

◆ 運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者はハンズフリー以外の携帯電話を使用しないでください。使用すると，周囲の状況に対する注意がおろそかになり，思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中，運転者がハンズフリー以外の携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

◆ ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

● ブレーキペダルに常に足をのせて運転すると，ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

◆ ハンドルをいっぱいに回した状態を長く続けない

● ハンドル操作力が重くなることがあります。
→「電動パワーステアリング(EPS)」P. 7-43

◆ 車を移動するときは必ずREADY（走行可能）表示灯を点灯させる

● READY（走行可能）表示灯が点灯していないと，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずプラグインハイブリッド EV システムを起動させて，READY（走行可能）表示灯を点灯させてください。

◆ アクセサリー取り付け時の注意

● ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。

◆ 違法改造はしない

● 国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると，違法改造になることがあります。
また，三菱自動車純正以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。

◆ 電装品や無線機などの注意

● 電装品や無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でない場合，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ READY（走行可能）表示灯を点灯させたままジャッキアップしない

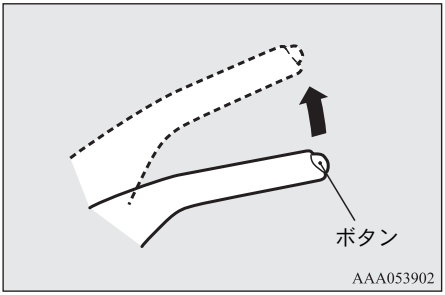
● READY（走行可能）表示灯を点灯させたままジャッキアップすると，ジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。
また，高電圧部位に触れないでください。→「点検・整備をするときは」P. 2-9

駐車ブレーキ

J00700101131

かけるときは

ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。
メーター内のブレーキ警告灯が点灯していることを確認してください。



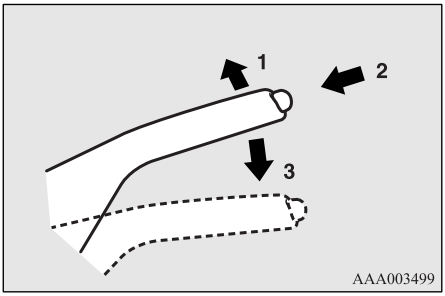
⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，パーキングスイッチを押してください。→「パーキングスイッチ」P. 7-24
- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。また駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

1. ブレーキペダルを踏んだまま，レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

アドバイス

- 駐車ブレーキが完全に解除されていない状態で運転すると，メーター内に警告が表示されます。

警告灯

警告表示

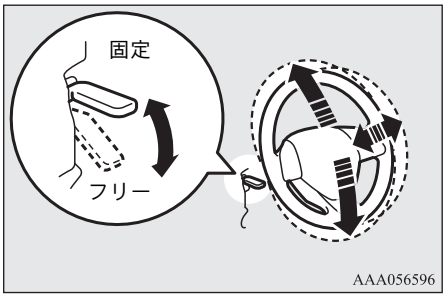
チルト・テレスコピックステアリング

J00700200483

⚠注意

● 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ，ハンドルを前後，上下に動かして調整します。
レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。
調整後はハンドルを前後，上下に動かして固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり，思わぬ事故につながるおそれがあります。



ルームミラー

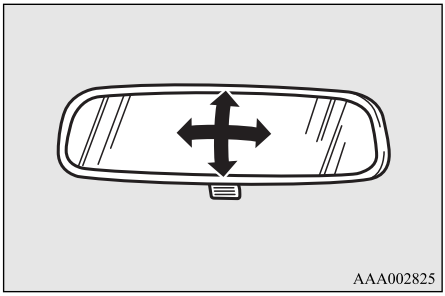
J00700300543

⚠注意

● 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

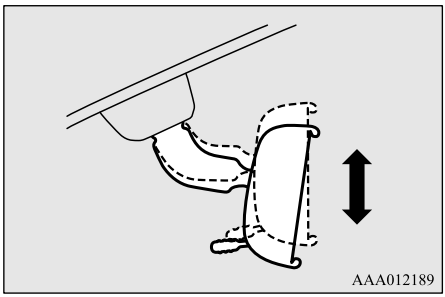
ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。



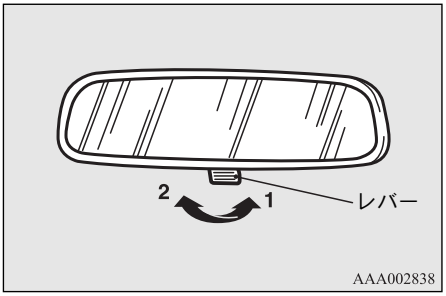
ミラーの上下位置調整

ミラーの本体を上下方向に動かして調整します。



防眩切り換え

レバーを動かしてミラーの位置を切り換えることができます。



1- 通常はレバーを前方に押した状態で使用します。
2- 後続車のライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

ドアミラー

J00700500910

ミラーの角度調整

J00718200147

⚠注意

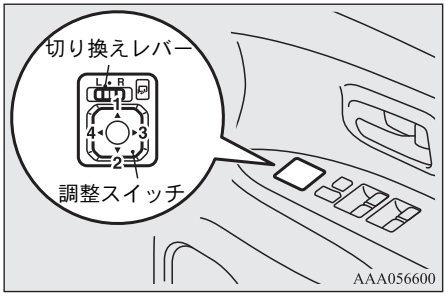
- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
  凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

パワースイッチの電源モードが ON またはACCの状態のときに調整できます。

1. 切り換えレバーを調整したい側の位置に動かします。
   L:左側ミラーの調整
   R:右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。



ドアミラーの格納・復帰

J00718300135

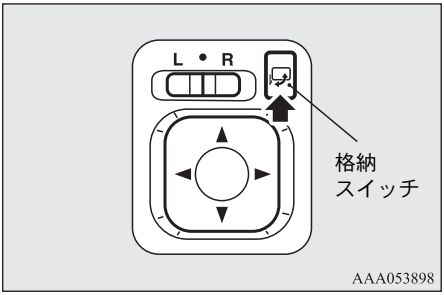
⚠注意

● ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 格納スイッチによるミラーの格納・復帰

J00718400295

パワースイッチの電源モードが ON またはACCの状態のときに操作できます。
格納スイッチを押すとミラーが格納されます。
もう一度押すともとの位置に戻ります。
電源モードを OFF の状態にした後でも，約30秒間はミラーを格納・復帰することができます。



⚠注意

● ミラーは手で格納することも復帰することもできますが，格納スイッチの操作で格納したミラーは手で戻さず，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
格納スイッチで格納したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり，走行中の振動および風の影響などでミラーが動き，後方の確認ができなくなります。

アドバイス

● ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
● 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

◆ 格納スイッチの操作以外によるミラーの格納・復帰

J00718400309

キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチまたはキーレスオペレーション機能を使ってすべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠するとミラーが自動格納・自動復帰します。

アドバイス

● つぎの機能を変更することができます。
- 運転席ドアを閉め，パワースイッチの電源モードをONまたはACCにすると自動復帰する。
  また，電源モードをOFFにした後，運転席ドアを開くと自動格納する。
- 走行スピードが30 km/hになると自動復帰する。
- 格納スイッチ以外での操作をできなくする。

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ヒーテッドドアミラー

J00706800449

パワースイッチの電源モードが ON のときにリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと，ドアミラー内部のヒーターが作動し，ミラーの曇りを取ることができます。
ヒーターは約 20 分後に自動的に切れます。
→「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P. 6-52

アドバイス

● READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに使用しないでください。補機用バッテリーが上がり，プラグインハイブリッド EV システムの起動ができなくなることがあります。

アドバイス

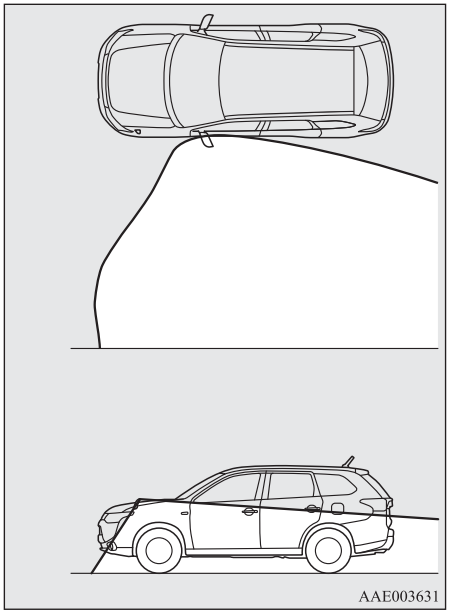
● この装置は補機用バッテリーの消費電力が大きいので曇りが 取れたら停止させてください。
長時間使うと補機用バッテリーの電圧が低下し，プラグインハイブリッドEVシステムの起動ができなくなることがあります。

サイドアンダーミラー

タイプ別装備

J00700600214

発進時またはごく低速時に助手席側の車両側面を確認するときに使用します。



⚠注意

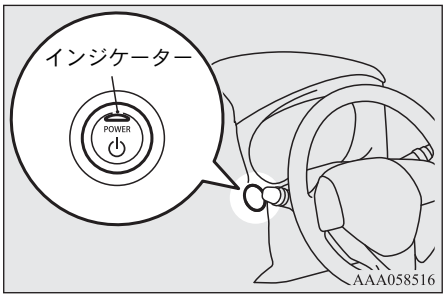
- 後方の確認はルームミラー，ドアミラーで行ってください。
- 車の直前，後方および左斜め前方は運転席からでは十分に確認しにくい箇所です。駐車場などで前進または後退を行うときはミラーだけにたよらず，一度車から降りて周りの状況をよく確認して車を動かしてください。
- 信号待ちなどで一旦停止したときでも周りの状況に注意し，安全を十分に確認してから発進してください。

パワースイッチ

J00700800971

車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキーレスオペレーションキー以外ではプラグインハイブリッド EV システムを起動できません。（イモビライザー機能）

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，プラグインハイブリッドEVシステムが起動できます。



⚠警告

- **パワースイッチ上のインジケーターが橙色に点滅したときは，絶対に走行しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。ただちに三菱自動車販売会社へご連絡ください。**

⚠注意

- パワースイッチに引っかかりがあるときは，パワースイッチの操作をせず，ただちに三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- パワースイッチは奥まで確実に押してください。押し方が不十分な場合は，電源モードの切り換えやプラグインハイブリッド EV システムの起動ができない場合があります。確実に操作すれば，パワースイッチを押し続ける必要はありません。

パワースイッチの電源モードと働き

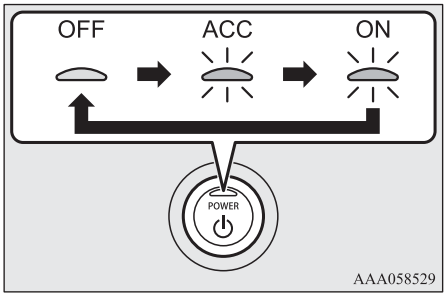
J00727100025

OFF	スイッチ上のインジケーターは消灯します。パーキングスイッチを押していないときはOFFになりません。
ACC	READY（走行可能）表示灯が消灯しているときでもオーディオ, アクセサリーソケットなどが使用できるモードです。 スイッチ上のインジケーターが橙色に点灯します。
ON	すべての電装品が働くモードです。 スイッチ上のインジケーターが青色に点灯します。 プラグインハイブリッドEVシステム起動中は消灯します。

電源モードの切り換え方

J00727200026

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと，電源モードが「OFF」→「ACC」→「ON」→「OFF」の順に切り換わります。



アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯したままオーディオなどの電気製品を使用したり，電源モードを長時間ACC またはONのままにしておくと，補機用バッテリー上がりを起こし，プラグインハイブリッド EV システムの起動ができなくなります。
- 補機用バッテリーを外しても電源モードの状態は記憶されます。補機用バッテリーを再接続したときは，電源が絶たれる前の電源モードの状態に戻ります。修理などでバッテリーを外すときは，必ず電源モードをOFFにしてから行ってください。
  補機用バッテリー上がりのときに，補機用バッテリーが上がる前の電源モードの状態がわからない場合は十分注意をしてください。
- キーレスオペレーションキーが車室内にないと電源モードをOFFからACC，またはONに切り換えることはできません。
  →「プラグインハイブリッドEVシステムを起動する，電 源モードを切り換えるときの作動範囲」P. 4-12

◆ 電源モードOFF切り換え忘れ防止機構

J00727300014

電源モードがOFF以外のとき，すべてのドアおよびテールゲートを閉め，ドアスイッチおよびテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，警告表示と約3秒間のブザーで警告し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

◆ 電源モードOFF戻し忘れ防止機構

J00727400028

プラグインハイブリッド EV システムが起動していない，かつ電源モードが OFF 以外のとき，運転席ドアを開くと警告ブザーが断続的に鳴り，電源モードが OFF に切り換えられていないことを知らせます。

◆ パワースイッチ切り忘れ警告ブザー

J00729100016

パワースイッチの電源モードが ON のままで，運転席ドアを開くとパワースイッチ切り忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，パワースイッチの切り忘れを知らせます。

ACC電源オートカット機能

J00713800180

パワースイッチの電源モードが ACC のままで約 30分経過すると，オーディオなど ACC の位置で作動する装備の電源を自動的にカットする機能です。
ACCの位置からパワースイッチを操作すると，再び電源が入ります。

アドバイス

- つぎの通り機能を変更することができます。
  - 電源カットするまでの時間を約 60 分間に変更する。
  - 電源カットの機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはディスプレイオーディオ付き車は，画面の操作で 調整することができます。詳しくは別冊 の取扱説明書をご覧ください。

プラグインハイブリッドEVシステムの起動のしかた

J00700901692

⚠注意

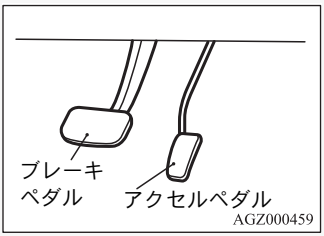
● READY（走行可能）表示灯が点灯中にプラグインハイブリッドEVシステム警告灯が点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
→「プラグインハイブリッドEVシステム警告灯」P. 6-36

プラグインハイブリッドEVシステムの起動

1. 充電ケーブルが車両に接続されていないことを確認します。
2. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-3
3. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを右足で踏みながら，パワースイッチを押すと，メーター内の READY（走行可能）表示灯が点滅し，プラグインハイブリッド EV システムを起動します。
5. READY（走行可能）表示灯が点滅から点灯に変わると，プラグインハイブリッドEVシステムの起動は完了し，走行が可能となります。

⚠警告

● **アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。**
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



⚠注意

● セレクターレバーを操作した位置で保持したままパワースイッチを押さないでください。

アドバイス

● ブレーキペダルはメーター内の READY（走行可能）表示灯が点灯するまで踏み続けてください。
● エンジンが停止していても走行できます。
● どの電源モードのときでもプラグインハイブリッドEVシステムが起動できます。
● READY（走行可能）表示灯が点灯しない場合は，セレクトポジション表示灯を確認してください。セレクトポジション表示灯がⓅでないときはパーキングスイッチを押してⓅにしてください。
● READY（走行可能）表示灯が点灯しない場合は，パワースイッチをいったん OFF にし，しばらくしてからパワースイッチを押してプラグインハイブリッド EV システムを起動してください。

プラグインハイブリッドEVシステムの停止

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. パーキングスイッチを押してから，パワースイッチを押してプラグインハイブリッドEVシステムを停止します。
→「パーキングスイッチ」P. 7-24

アドバイス

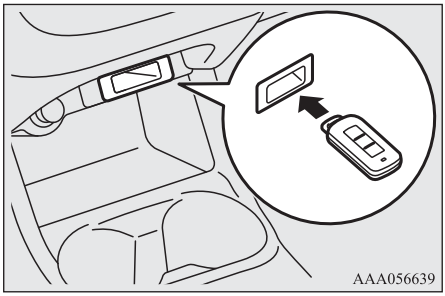
- 緊急時以外は走行中にパワースイッチを操作しないでください。万一，走行中にプラグインハイブリッド EV システムを緊急停止したい場合は，パワースイッチを3秒以上押し続けるか，素早く3回以上押してください。プラグインハイブリッド EV システムが停止し，電源モードがACC になり，極低速時にⓅになります。
- 車両停車時にⓅ以外でパワースイッチを押すと，自動でⓅになりプラグインハイブリッドEVシステムが停止し，電源モードがOFFになります。
- パーキングロックが異常なときはマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告が表示されます。この警告が表示されたときは，駐車ブレーキをかけてからパワースイッチを押さないと，プラグインハイブリッドEVシステムを停止できません。平坦な場所で駐車ブレーキをかけて駐車してください。
三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠警告

● 緊急を要する場合以外は走行中にプラグインハイブリッドEVシステムを停止しないでください。ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

キーレスオペレーションキーが正常に作動しないとき（電池切れなど）にプラグインハイブリッド EV システムを起動するときは

キーボックスにキーレスオペレーションキーを差し込みます。プラグインハイブリッドEVシステムの起動，電源モードの切り換えが可能になります。
プラグインハイブリッド EV システムを起動後または電源モードの切り換え後は，キーボックスからキーレスオペレーションキーを抜いてください。



アドバイス

- キーに接している金属や他のキーを取り除いてからキーボックスにキーレスオペレーションキーを差し込んでください。車がキーからの信号を受信できずプラグインハイブリッド EV システムの起動や電源モードの切り換えができないことがあります。
- キーボックスにキーレスオペレーションキー以外のものを入れないでください。破損したり，正常に作動しなくなるおそれがあります。

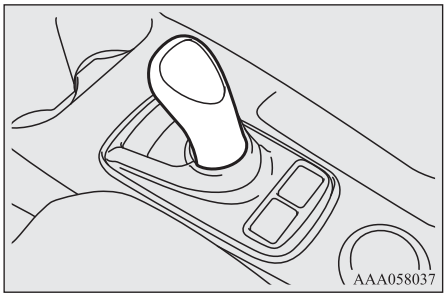
◆ キー抜き忘れ監視機構

パワースイッチの電源モードがOFFのとき，キーボックスにキーレスオペレーションキーを差したまま運転席ドアを開くと，警告表示と約3秒間のブザーで警告し，キーの抜き忘れを知らせます。

セレクターレバー（ジョイスティックタイプ）

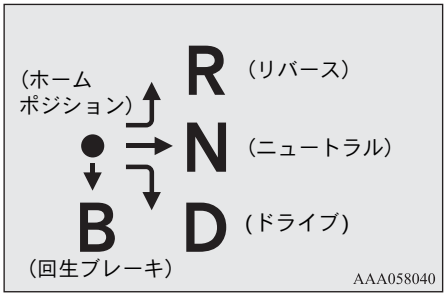
J00719400045

「安全なドライブのために：走行するときは」も合わせてお読みください。→P. 7-3
「セレクトポジション表示灯」も合わせてお読みください。→P. 7-22



セレクターレバーの動かし方

J00719500046



セレクターレバーはゆっくりと確実につぎの方法で操作します。

●(ホームポジション)から Ⓓ または Ⓡ へはそのまま操作します。

●（ホームポジション）から Ⓝ へは操作後しばらく保持します。

●（ホームポジション）から Ⓑ へは Ⓓ のときのみ操作できます。

●（ホームポジション）から Ⓑ へ操作すると回生力が1段階大きくなります。Ⓑ へ

もう一度操作すると最大の回生力となります。
セレクターレバーを Dに操作すると Dに戻ります。

アドバイス

- 素早く Bへの操作を 2 回したときは回生力が最大にならないことがあります。

セレクターレバーを操作した後は常にもとの位置に戻ります。

⚠警告

- **セレクターレバーを操作してセレクトポジションを DまたはRにするときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，車両の故障の原因になります。**
- **セレクターレバーのノブは三菱自動車純正品以外のノブには交換しないでください。またセレクターレバーにものをぶら下げないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

- レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 付き車はレーダークルーズコントロールシステム (ACC) の起動中に回生ブレーキの操作ができません。
- レバーの操作後は必ず表示灯でセレクトポジションを確認してください。
- つぎの操作をしたときはブザーが鳴り，セレクトポジションが自動的に Nに切り換わることがあります。
  - 走行中にパーキングスイッチを押したとき
  - 前進しているときにセレクターレバーを Rに操作したとき
  - 後退しているときにセレクターレバーを Dに操作したとき
  - セレクトポジションが Rのときにセレクターレバーを Bに操作したとき

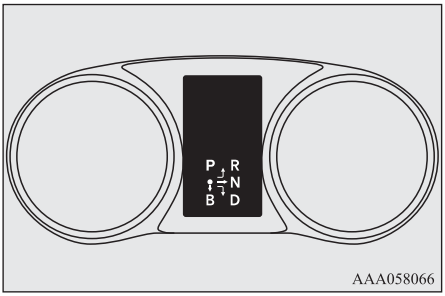
アドバイス

- つぎの操作をしたときはブザーが鳴り，セレクトポジションの切り換えを無効にします。
  - ブレーキペダルを踏まずに Pからセレクターレバーを操作したとき
  - セレクトポジションが Pまたは Nのときにセレクターレバーを Bに操作したとき
  - 充電ケーブルを接続した状態でセレクターレバーを操作したとき
- セレクターレバーを操作してそのセレクトポジションに約15秒以上保持したときはブザーが鳴ります。
  元の位置に戻せばブザーは止まります。
- メーター内のREADY（走行可能）表示灯が点灯しているとき，停車中と超低速時にセレクトポジションが P以外で，運転席のドアを開けるとブザーが鳴ります。
  ドアを閉めるか，セレクトポジションを Pにすればブザーは止まります。

セレクトポジション表示灯

J00728800016

セレクターレバー操作の位置をメーター内に表示します。
回生ブレーキを選択しているときはⒷの表示部に回生力を表示します。



セレクトポジションの働き

J00728900017

P	(パーキング) 駐車およびプラグインハイブリッド EV システムを起動するとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてパーキングスイッチを押してください。
R	(リバース) 後退させるとき	Ⓡに入れるとブザーが鳴り, Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N	(ニュートラル) 中立	動力が発生しません。 また，車輪も固定されません。
D	(ドライブ) 通常走行	通常走行するときに使います。
B	(回生ブレーキ) 急な下り坂走行	回生ブレーキを強めるときに使います。 2段階まで調整できます。 →「セレクトレバーの動かし方」P. 7-20

⚠警告

- **ぬれた道路や凍結した道路では急激な回生ブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。**

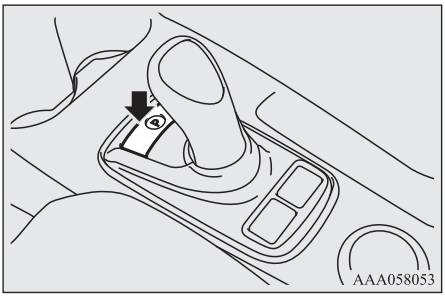
⚠注意

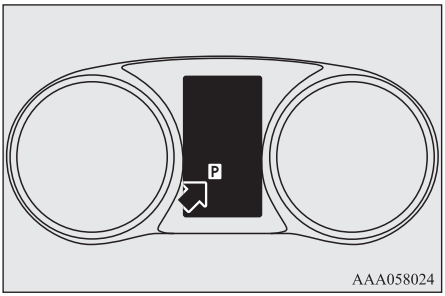
- 駆動用バッテリーが満充電に近いときまたは駆動用バッテリーの温度が低いときは回生ブレーキの効きが弱くなることがあります。このようなときはスピードを控えて走行してください。

電動パーキングスイッチ

J00728000018

駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてパーキングスイッチを押してください。車輪が固定されます。スイッチ上のインジケーターが点灯（緑色）し，メーター内のインフォメーション画面にセレクトポジション表示灯Ⓟが点灯します。



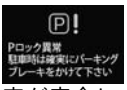


⚠注意

- パーキングスイッチとセレクターレバーの操作を短時間に繰り返し行うと，システム保護のため一定時間Ⓟから，またはⓅへの切り換えができなくなります。そのときは時間をおいてから操作してください。

⚠注意

- パーキングロックが異常なときはマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告が表示されます。
  平坦な場所で駐車ブレーキをかけて駐車してください。
  三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



- 車が完全に止まらないうちにパーキングスイッチを押すと，急停止してけがをするおそれがあります。また，車両の故障の原因になります。
- パーキングスイッチ周辺に物を置かないでください。突然，セレクトポジションがⓅやⓃになり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- パーキングスイッチ付近にジュースなどをこぼさないようにしてください。パーキングスイッチが押したまま戻らなくなるおそれがあります。

アドバイス

- Ⓟから，またはⓅへの切り換え時にはパーキングロックの作動音および振動が発生しますが異常ではありません。

パーキングスイッチ押し忘れ警告ブザー

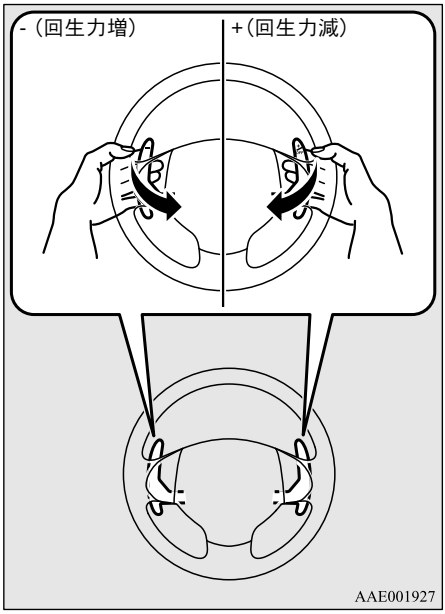
停車中，セレクトポジションがⓅ以外で運転席ドアを開くとブザーが鳴り，パーキングスイッチの押し忘れを知らせます。

回生レベルセレクター（パドル式）

タイプ別装備

J00728100019

回生レベルセレクターは，走行中アクセルペダルから足を離したときの回生力を，ステアリングの手を添えたまま素早く変更することができます。
回生レベルセレクターを手前に引くことで，回生ブレーキの効き（駆動用バッテリーに充電する電気エネルギー量）を，カーブの手前や下り坂などの走行状況に合わせて調整できます。
回生力は，B0（回生力小）からB5（回生力大）の6段階に切り換わります。



⚠注意

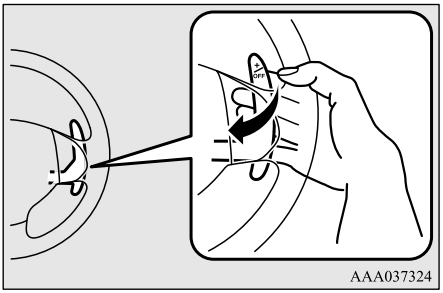
- 滑りやすい路面では回生力が大きいとタイヤがスリップするおそれがありますので，常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。
- 左右の回生レベルセレクターを同時に操作すると，回生力が変わらないことがあります。

アドバイス

- 回生レベルセレクターを連続して操作すると連続して切り換わります。
- 回生力の小さいB0, B1を選択しているときにクルーズコントロールを使用すると回生力がB2に戻ります。
- クルーズコントロールが作動中は回生力の小さい B0，B1 は選択できません。ブザーが鳴ります。
- レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 付き車はレーダークルーズコントロールシステム (ACC) の起動中に回生ブレーキの操作ができません。ブザーが鳴ります。

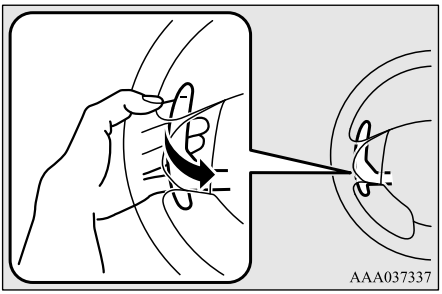
回生力を小さくするときは

回生レベルセレクターの＋ (UP) 側を引くごとに 1 段ずつ回生力が小さくなります。



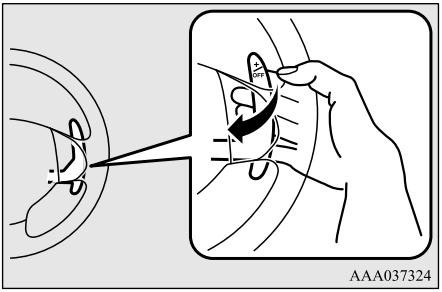
回生力を大きくするときは

回生レベルセレクターのー (DOWN) 側を引くごとに 1 段ずつ回生力が大きくなります。



Ⓓの回生力(B2)に戻すときは

回生レベルセレクターの＋ (UP) 側を約2秒以上手前に引くと, Ⓓに戻ります。



運転のしかた

J00719900024

⚠注意

- 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは，セレクトポジションをⓇにしたことを忘れてしまうことがあります。
  後退した後は，すぐにⓇからⓃに戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
  ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。
- 切り返しなどでⒹからⓇ, ⓇからⒹと何度もセレクターレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
- 車が完全に止まらないうちにパーキングスイッチを押したりセレクターレバーをⓇに操作すると，車両の故障の原因になります。

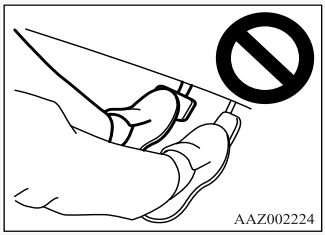
発進

J00720000038

1. READY（走行可能）表示灯が点灯していることを確認します。
2. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

● ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。



⚠注意

● セレクトポジションを(P), (N)以外（前進または後退の位置）にするとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。

クリープ現象とは…

● セレクトポジションを(P), (N)以外にすると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出す現象。

3. セレクターレバーを前進は(D)，後退は(R)に操作します。

⚠警告

● セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● 坂道でセレクトポジションが(P)のとき，セレクターレバーを操作するとパーキングロックの解除音および振動が大きく発生しますが異常ではありません。

4. セレクトポジションをメーター内のインフォメーション画面の表示で確認します。
5. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
6. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認してから，駐車ブレーキを解除して発進します。

走行

J00720100068

⚠警告

- **走行中はセレクトポジションをⓃにしないでください。回生ブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，車両の故障の原因になります。**

◆ 通常走行

セレクトポジションをⒹにして走行します。
アクセルペダルとブレーキペダルの操作だけで加速，減速を行います。

◆ 急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。

◆ 上り坂走行

アクセルペダルをゆっくり踏み込み，スピードを調節します。

◆ 下り坂走行

長い下り坂や急な下り坂など回生ブレーキを強めたい場合は，坂道の程度やスピードに応じてセレクターレバーをⒷに操作します。

長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあり危険です。必ず回生ブレーキを併用してください。
回生レベルセレクター付き車は回生レベルセレクターを手前に引くことで回生ブレーキが6段階に切り換わります。
→「回生レベルセレクター（パドル式）」P. 7-25

⚠注意

- 駆動用バッテリーが満充電に近いときまたは駆動用バッテリーの温度が低いときは回生ブレーキの効きが弱くなることがあります。このようなときはスピードを控えて走行してください。

停車

J00720200030

1. セレクトポジションはⒹのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。車両の故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクトポジションをⓃにします。
4. 再発進するときは，セレクトポジションがⒹにあることを確認してから発進してください。

駐車

J00720300031

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. パーキングスイッチを押します。
→「パーキングスイッチ」P. 7-24

⚠注意

- メーター内のセレクトポジション表示灯にⓅが点灯しているときは車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずⓅが点灯していることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちにパーキングスイッチを押すと，急停止してけがをするおそれがあります。また，車両の故障の原因になります。

4. パワースイッチを押してプラグインハイブリッド EV システムを停止します。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずプラグインハイブリッドEVシステムを停止してください。
  READY（走行可能）表示灯が消灯したことを確認してください。
  READY（走行可能）表示灯が点灯したままにしておくと，万一，Ⓟ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

アドバイス

- メーター内のREADY（走行可能）表示灯が点灯しているとき，停車中にセレクトポジションがⓅ以外で，運転席のドアを開けるとブザーが鳴ります。ドアを閉めるか，セレクトポジションをⓅにすればブザーは止まります。

S-AWC

J00715100057

S-AWC は，ツインモーター 4WD，アクティブヨーコントロール (AYC)，ABS，ASC を統合制御することにより駆動性能および車両の旋回性能と安定性能を広範囲な走行条件で向上させる車両運動統合制御システムです。

⚠注意

- S-AWC を過信しないでください。S-AWCが作動した状態でも車両の安全確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。

ツインモーター 4WD

ドライバー操作に応じて，前後輪それぞれに設けられたモーターが，前後輪間の駆動力配分をコントロールし，加速や減速時の車両安定性能や，燃費性能を向上させるシステムです。

AYC

J00715300059

AYC: Active Yaw Control system

AYC は左右差動制限機能とヨーコントロール機能を持ち，ブレーキを制御することで左右輪間の駆動／制動力配分をコントロールするシステムです。

◆ 左右差動制限機能

左右差動制限機能は，滑りやすい路面や左右の状況が異なる路面での片輪の空転を防止して，駆動性能と車両の安定性を向上させる機能です。

◆ ヨーコントロール機能

ヨーコントロール機能は，素早くハンドルを操作したときや滑りやすい路面でハンドル操作したときなどに，ブレーキ力を制御し車両の旋回する力（ヨーモーメント）をコントロールすることで，車両の旋回性能と安定性能を向上させる機能です。

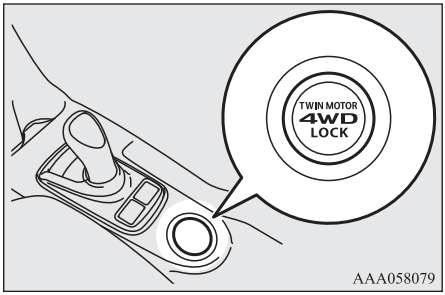
⚠注意

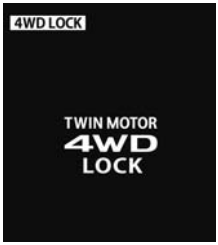
- ブレーキ力の制御は，車両の停止性能を向上させる制御ではありませんので，周囲の安全に十分注意して走行してください。

4WDロックスイッチ

J00727900010

パワースイッチの電源モードが ON のときスイッチを押すと「4WD LOCK」に切り換わります。低速から高速走行まで使え，濡れた路面や雪道などで走行安定性が向上します。
もう一度押すと「NORMAL」に戻ります。





「4WD LOCK」に切り換えるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に，割り込み表示で表示されます。インフォメーション画面の表示は，数秒後に元の画面に戻ります。

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，EVシステム異常の警告が表示されることがあります。

アドバイス

- パワースイッチの電源モードをOFFにしても，4WDロックスイッチの状態を記憶しています。

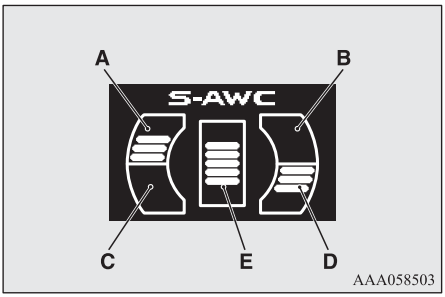
S-AWC作動状態表示

J00715600065

マルチインフォメーションメーター内のインフォメーション画面に S-AWC の作動状態を表示させることができます。
表示させるときはマルチインフォメーションメータースイッチを押してインフォメーション画面を切り換えます。
詳しくは「インフォメーション画面（パワースイッチONのとき)」をお読みください。→P. 6-8

◆ 表示例

S-AWCの作動状態を表示します。



ヨーコントロール機能制御表示

ヨーモーメントの強さをバーグラフで表示します。

A, D- 車両重心まわりの右回転のヨーモーメント
B, C- 車両重心まわりの左回転のヨーモーメント

トルク配分機能制御表示

前後輪間のトルク配分をメーター内の E 部にバーグラフで表示します。

⚠注意

● 運転中にS-AWC作動画面を見るときは必要最小限にとどめてください。画面に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

ECO モードスイッチを ON にしたときは

J00726500022

「4WD LOCK」のとき, ECOモードスイッチを ON にすると「ECO LOCK」のモードに変わります。

ECO モードスイッチを OFF にすると「4WD LOCK」に復帰します。
→「ECOモードスイッチ」P. 6-45

4WD車の上手な運転

J00707400123

4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。
2WD車と同様，ハンドル・ブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

⚠注意

- オンロード専用車です。無理な運転はしないでください。
  - 砂地やぬかるみ等タイヤが空転しやすいところでの走行は避けてください。タイヤの空転を続けると駆動系部品に無理がかかり，重大な故障の原因となるおそれがあります。
  - 渡河などの水中走行はしないでください。
  - ブレーキ性能は 2WD 車とあまり差はありません。極端な急ハンドル，急ブレーキは避けて十分な車間距離をとって走行してください。

4WD車取り扱い上の注意

J00706600939

タイヤ，ホイールについて

4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤには細心の注意をしてください。

- 4 輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
  →「タイヤ，ホイールのサイズ」P. 14-7
- タイヤ，ホイールを交換するときは 4 輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
  →「タイヤローテーション」P. 11-8
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
  →「タイヤの空気圧」P. 14-7

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

けん引について

けん引は三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼し，4輪を持ち上げて搬送してください。
→「けん引」P. 13-29

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

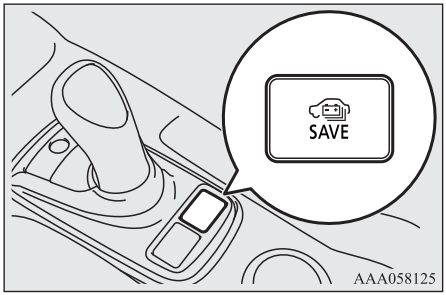
⚠注意

- ジャッキアップ中はプラグインハイブリッド EV システムを起動したり，ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
  接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  また，高電圧部位に触れないでください。
  →「点検・整備をするときは」P. 2-9

バッテリーセーブスイッチ

J00728200010

住宅街などで EV 走行したいときや目的地で電力を使うため，駆動用バッテリーの残量を維持したいときに使用します。
また，高速走行時にスイッチを押すことで駆動用バッテリーの電力消費を抑えることもできます。
READY（走行可能）表示灯が点灯しているときスイッチを押すと，押したときの駆動用バッテリー残量を維持するようにエンジンが始動し，シリーズ走行またはパラレル走行します。
もう一度押すと解除します。



切り換えるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に，割り込み表示で表示されます。

アドバイス

- 停車中や走行中に，エンジンが停止することがあります。
- 駆動用バッテリーの残量によってはバッテリーセーブスイッチを押しても切り換わらない場合があります。

バッテリーチャージスイッチをONにしたときは

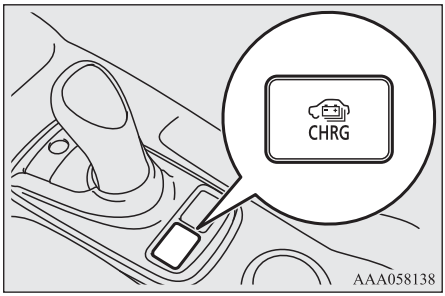
バッテリーセーブで走行中のとき，バッテリーチャージスイッチを ON にするとバッテリーチャージの走行に切り換わります。

バッテリーセーブスイッチを押すとバッテリーセーブでの走行に復帰します。

バッテリーチャージスイッチ

J00728300011

100V AC 電源 (1500W)（タイプ別装備）を活用するときや，目的地で電力を使うため，駆動用バッテリーの残量を増やすときに使用します。
また，前もってスイッチを押し駆動用バッテリーの残量を増やしておくことで長い登り坂を快適に高速走行することができます。
READY（走行可能）表示灯が点灯しているときスイッチを押すとエンジンが始動し，走行中および停車中にバッテリーを満充電近くまで充電することができます。
もう一度押すと解除します。



切り換えるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に，割り込み表示で表示されます。

⚠警告

- **車から離れるときは必ずプラグインハイブリッドEVシステムを停止してください。**
  →「駐停車するときは」P. 7-5

⚠警告

- **バッテリーチャージスイッチを押すと停車中でもエンジンが始動しますので，駐停車状態で車庫や雪が積もった場所などでは，使用しないでください。排気ガスが車内に侵入して，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。必ず換気の良い場所で使用してください。**
- **枯草や紙など燃えやすいものの近くでは，車を止めてバッテリーチャージスイッチを押さないでください。排気管が高温になっているため，火災になるおそれがあります。**

⚠注意

- 車両前方を塞ぐようなものを置いたまま，バッテリーチャージスイッチを操作しないでください。

アドバイス

- 駆動用バッテリーの残量や制御状態によっては，バッテリーチャージスイッチを押しても切り換わらない場合があります。
- 駆動用バッテリーの状態，走行状態，使用環境により，満充電近くまでの充電時間が長くなる場合があります。
- 満充電付近ではエンジンが停止することがあります。
- バッテリーチャージスイッチを押すと，ガソリンを使って発電するため，燃費が悪化します。環境へ配慮したご使用をおすすめします。
- 駆動用バッテリーの残量が少なくなると，自動的にエンジンが始動し充電を行います。駐停車中にエンジンが始動した場合，アイドリングストップに関する条例に触れ罰則を受けるおそれがあります。
  駐停車中の使用については，関係する自治体に確認してから使用してください。また，エンジンが始動した場合，ガソリンを消費するため，燃料切れを起こさないよう注意してください。

バッテリーセーブスイッチをONにしたときは

バッテリーチャージで走行中のとき，バッテリーセーブスイッチを ON にするとバッテリーセーブの走行に切り換わります。

バッテリーチャージスイッチを押すとバッテリーチャージでの走行に復帰します。

車両接近通報装置

J00722500040

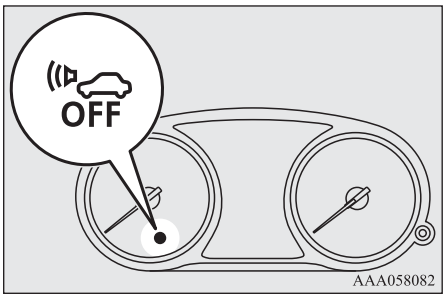
車両接近通報装置は，車速が約35km/h以下でエンジンが作動していないとき，通報音で歩行者などに車両の接近などを知らせる装置です。
車両接近通報装置がONのとき，つぎの場合に前進時，後退時ともに通報音が鳴ります。

- エンジンが作動していないときに車速が約3km/h以下で，ブレーキペダルを踏んでいないとき
- 車速が約3~約35km/hでエンジンが作動していないとき

つぎの場合は通報音は鳴りません。

- 車速が約3km/h以下で，ブレーキペダルを踏んだとき
- 車速が約35km/ｈ以上のとき
- メーター内のインフォメーション画面にⓅが点灯しているとき
- メーター内の車両接近通報装置 OFF 表示灯が点灯しているとき
- エンジンが作動しているとき

パワースイッチの電源モードを ON 位置にすると，表示灯が点灯し，数秒後に消灯します。



⚠警告

● 車両接近通報装置が鳴っていても，歩行者には特に注意してください。歩行者は車両の接近や発進に気付かずに，事故が発生して重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

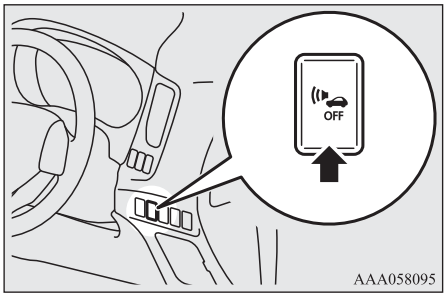
⚠注意

● 走行する前に，必ず表示灯が消えていることを確認してください。
表示灯が点滅しているときは，パワースイッチの電源モードをOFFにし，再度電源モードをONにします。表示灯が消灯すれば異常ありません。再度表示灯が点滅するときは，装置の故障が考えられますので，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

車両接近通報装置の ON/OFF 作動切り換え

J00722600054

パワースイッチの電源モードを ON にすると，自動的に車両接近通報装置はONになります。
通常走行時は車両接近通報装置が ON で走行してください。
自動車専用道路などを走行する際，車両接近通報装置OFFスイッチでOFFにすることもできます。
車両接近通報装置 OFF スイッチを押すと，通報音が鳴らない状態になり，表示灯が点灯します。
もう一度押すと車両接近通報装置は ON になり表示灯が消灯します。



⚠警告

● **歩行者がいる可能性があるときは，絶対に車両接近通報装置を OFF にしないでください。**

アドバイス

● 車両接近通報装置をOFFにしているときに，パワースイッチの電源モードを OFF にして，再度電源モードをONにすると車両接近通報装置がONになります。
● 車両接近通報装置をOFFにした後もOFFスイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いて車両接近通報装置は ON に戻ります。

緊急制動信号システム

J00721300083

急ブレーキ時に，非常点滅灯を自動的に速く点滅させることで後続車に注意をうながし，追突の可能性を低減させる装置です。
緊急制動信号システムが作動すると，メーター内の非常点滅表示灯も同時に速く点滅します。

⚠注意

● ABS警告またはASC警告が表示されているときは，緊急制動信号システムが作動しないことがあります。
→「ABS警告」P. 7-42
→「ASC警告表示」P. 7-46

アドバイス

● [緊急制動信号システムの作動条件]
つぎの条件がそろったときに作動します。
• 車速が約55km/h以上のとき
• ブレーキペダルが踏み込まれ，車両の減速度やアンチロックブレーキシステム(ABS)の作動状況から，システムが急ブレーキだと判断したとき
[緊急制動信号システムの作動停止条件]
つぎのいずれかの条件で作動を停止します。
• ブレーキペダルから足を離したとき
• 非常点滅灯スイッチを押したとき
• 車両減速度やABSの作動状況から，システムが急ブレーキではないと判断したとき

ヒルスタートアシスト

J00721800121

ヒルスタートアシストは，急な上り坂で発進するときに起こる車両の後退を防止し，発進を容易にする装置です。ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み換えるとき，ブレーキをかけた状態を約2秒間保持します。

⚠注意

- ヒルスタートアシストを過信しないでください。
  極端に急な上り坂，凍結した上り坂，ぬかるんだ上り坂など路面の状態によっては車両が後退することがあります。
  また，停止するときにブレーキペダルの踏み方が不十分であったり，乗員の人数，荷物の重さなどによってヒルスタートアシストが作動しないことがあります。
- ヒルスタートアシストは 2 秒以上車両の後退を防止することはできません。
- 上り坂でブレーキペダルを踏み込まずに，ヒルスタートアシストを使って停止状態を保つことはしないでください。
  思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ヒルスタートアシストが作動中に，パワースイッチの電源モードを OFF または ACC にしないでください。
  ヒルスタートアシストが作動を停止し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

使い方

J00721900180

1. ブレーキペダルを踏んで車両を完全に停止させます。
2. ブレーキペダルから足を離します。
   ヒルスタートアシストがブレーキ力を保持し，車両の後退を約2秒間防止します。
3. アクセルペダルを踏み込みます。
   ヒルスタートアシストは，車両の発進に合わせて，徐々にブレーキ力をゆるめます。

アドバイス

- ヒルスタートアシストは，つぎの条件がそろったときに作動します。
  - プラグインハイブリッド EV システムが起動している。
  - セレクトポジションが Ⓟ, Ⓝ 以外に入れてある。
  - ブレーキペダルを踏んで，車両を完全に停止している。
  - 駐車ブレーキを解除している。
- ヒルスタートアシストは，ブレーキペダルから足を離す前にアクセルペダルを踏み込むと作動しません。
- ヒルスタートアシストは，坂道を後ろ向きに登るときにも作動します。
- ヒルスタートアシスト作動中に車体下から作動音がすることがあります。これはヒルスタートアシストが正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

警告表示

J00722000218

システムに異常があると表示灯／警告表示が点灯します。
警告灯

警告表示

このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，プラグインハイブリッドEVシステムを停止します。
2. 再度プラグインハイブリッド EV システムを起動し，表示が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 警告が表示されるとヒルスタートアシスト が作動を停止します。慎重に発進してください。

ブレーキアシスト

J00722200092

ブレーキアシストは，緊急制動時などにブレーキペダルを強く踏み込めない運転者を補助し，より大きな制動力を確保する装置です。ブレーキペダルを素早く踏み込んだときにブレーキが強くかかるようになります。

⚠注意

- ブレーキアシストはブレーキ性能以上の制動力を発揮させる装置ではありません。ブレーキアシストを過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

アドバイス

- いったんブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルをゆるめても大きな制動力を保持します。
  ブレーキアシストの作動を停止させたいときは，ブレーキから完全に足を離してください。
- 走行中にブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルが軽く感じられることがあります。また作動音とともにペダルが小刻みに動いたり，車体やハンドルに振動を感じることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- ABS 警告灯または ASC 警告灯のみが点灯しているときは，ブレーキアシストは作動しない場合があります。

アンチロックブレーキシステム（ABS）

J00703000785

アンチロックブレーキシステム（ABS）とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。

アドバイス

- ABSが作動すると車体，ハンドル，ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - パワースイッチの電源モードをONにしたとき。
  - プラグインハイブリッド EV システムを起動してしばらく走行したとき。
- ABSは，発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また，車速が約 5km/hまで下がると作動を停止します。

ABS警告

J00704500963

警告灯

警告表示

システムに異常があると警告灯が点灯します。
また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。
正常なときはパワースイッチの電源モードをONにすると警告灯のみが点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- 点灯したままのとき，または点灯しないときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

走行中に警告を表示したときは

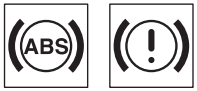
J00704600658

◆ ABS 警告のみ表示したときは

- 急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
  プラグインハイブリッド EV システムを停止し，再度プラグインハイブリッド EV システムを起動します。その後しばらく走行して警告表示しなければ異常ありません。
  しばらく走行しても警告表示したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABS は作動せず，普通のブレーキとして作動します。
- 補機用バッテリーが電圧不足のときにプラグインハイブリッド EV システムを起動すると，警告を表示することがありますが ABS の故障ではありません。
  駆動用バッテリーを充電すると補機用バッテリーも同時に充電され，警告灯は消灯します。
  充電しても警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ABS 警告とブレーキ警告を表示したときは

警告灯



警告表示

ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
急ブレーキや高速走行を避け，ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。

アドバイス

- 警告灯は同時に点灯し，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面には，交互に表示します。

電動パワーステアリング (EPS)

J00703100395

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときにパワーアシストが作動し，ハンドルの操作力を軽くする装置です。
もし，パワーアシストが作動しなくなったときは，ハンドルが重くなります。この場合は，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠警告

- **走行中はプラグインハイブリッドEVシステムを停止しないでください。ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

- 駐車するときなどに，ハンドルをいっぱいに回す操作を繰り返すと，システムの過熱を防止するため保護機能が働きハンドル操作が徐々に重くなります。この場合，しばらくハンドル操作を控えてください。
  システムの温度が下がるとハンドルの操作力は元に戻ります。
- ヘッドライトを点灯したままで停車しているとき，ハンドル操作をするとヘッドライトが暗くなることがありますが異常ではありません。しばらくすれば元の明るさに戻ります。

電動パワーステアリング(EPS)警告

J00704700402

システムに異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。

⚠注意

- プラグインハイブリッドEVシステム起動中に表示したときは，ハンドルが重くなることがありますので，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アクティブスタビリティコントロール（ASC）

J00710300357

アクティブスタビリティコントロール（ASC）はトラクションコントロール機能とスタビリティーコントロール機能を持ち，アンチロックブレーキシステムと統合的に制御を行うことで，車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。つぎの項も合わせてお読みください。

→「アンチロックブレーキシステム（ABS）」P. 7-41
→「トラクションコントロール機能」P. 7-45
→「スタビリティコントロール機能」P. 7-45

⚠注意

- ASC が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。ASC を過信せず，常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや種類の異なるタイヤを混用すると，ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ASC 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - パワースイッチの電源モードをONにしたとき。
  - プラグインハイブリッド EV システムを起動してしばらく走行したとき

アドバイス

- ASC が作動すると，車体に振動を感じたり，ボンネットルーム内より作動音が聞こえたりします。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS 警告灯が点灯しているときは，ASC は作動しません。

トラクションコントロール機能

J00710400156

トラクションコントロール機能は，滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に，旋回加速時の適切な駆動力・操舵能力を向上させる機能です。

⚠注意

- 雪道や凍結路を走行するときは，冬用タイヤを装着して速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。

スタビリティコントロール機能

J00710500203

スタビリティコントロール機能は，急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横滑りを，各車輪のブレーキとプラグインハイブリッド EV システムの出力を制御することにより抑制し，車両の安定性を向上させる機能です。

アドバイス

- スタビリティコントロール機能は，車速が約15km/h以上で作動します。

ASCのON/OFF作動切り換え

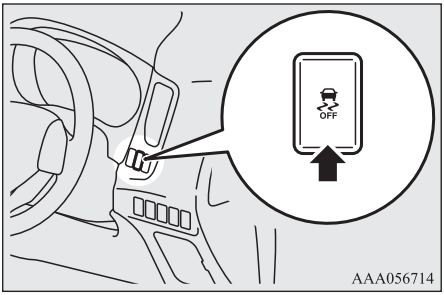
J00710800495

アドバイス

- ぬかるみ，砂地または新雪などからの脱出時に，アクセルペダルを踏み込んでもASC の働きによりプラグインハイブリッド EV システムの出力が上がらないことがあります。このようなときは，ASC OFFスイッチでASCをOFFにすると抜け出しやすくなります。

パワースイッチの電源モードを ON にすると自動的にASCはONになります。
ASC を OFF にしたいときはASC OFF スイッチを3秒以上押し続けます。

スイッチを押し続けると3秒後に，表示灯が表示されます。もう一度押すとONになります。



⚠注意

- 安全のため，ASC OFFスイッチの操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ず ASC を ON にしてください。

アドバイス

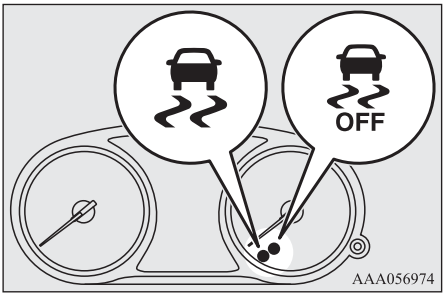
- ASC OFF スイッチではスタビリティコントロール機能とトラクションコントロール機能の両方がOFFになります。

アドバイス

- ASCをOFFにした後もASC OFFスイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いてASCはONに戻ります。

ASC作動表示／ASC OFF表示

J00711600285



- ASC作動表示灯
  ASCが作動すると点滅します。
- ASC OFF表示灯
  ASC OFFスイッチでASCをOFFにすると点灯します。

⚠注意

- 作動表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か，加速しすぎています。
  アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。
- 滑りやすい路面などでブレーキ制御が連続で作動し，ブレーキ装置の温度が上昇しすぎた場合は，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能の作動を一時停止します。これはブレーキ装置を保護するためで通常走行に問題ありません。（プラグインハイブリッドEVシステムの出力の制御によるトラクションコントロール機能は作動します。）
  この場合はOFF表示灯が点滅し，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能が停止していることを運転者に知らせます。車をいったん停車し，点滅が消えればブレーキ制御によるトラクションコントロール機能は再び作動します。

アドバイス

- プラグインハイブリッド EV システムを起動するとOFF表示灯が点灯することがあります。これは，プラグインハイブリッド EV システム起動時にバッテリーの電圧が一時的に低下したためで，すぐに消灯すれば故障ではありません。
- スペアタイヤ装着時は，タイヤのグリップ力が低下するため作動表示灯が点滅しやすくなります。

ASC警告表示

J00715700268

システムに異常があると作動表示灯と，OFF表示灯が点灯し警告表示が表示します。

警告灯

-ASC作動表示灯

-ASC OFF表示灯

警告表示

このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，プラグインハイブリッドEVシステムを停止します。
2. 再度プラグインハイブリッド EV システムを起動し，表示が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

けん引するときは

J00716100100

けん引は三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼し，4輪を持ち上げて搬送してください。
→「けん引」P. 13-29

クルーズコントロール（自動定速走行装置）

タイプ別装備

J00704000203

クルーズコントロールはアクセルペダルを踏まずに一定のスピード（約40km/h~100km/h）で定速走行する装置です。

⚠注意

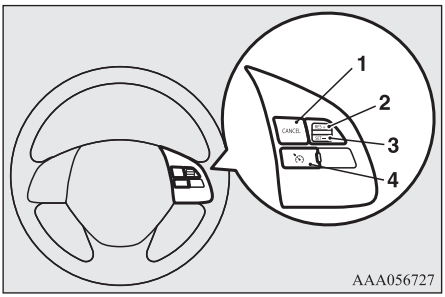
- つぎのような道路では安全のため，使用しないでください。
  - 交通量が多く車間距離が十分取れない道路
  - 急なカーブや見通しの悪い道路
  - 滑りやすい道路（凍結路，積雪路，砂利路，濡れた道路）
  - 長い急な下り坂
- 定速走行しないときは，安全のためクルーズコントロール機能を停止してください。

アドバイス

- 上り坂や下り坂では，状況により一定の速度を保てない場合があります。
- 上り坂では，設定した車速を下回ることがあります。
  このような場合は，アクセルペダルを踏んで希望の車速まで加速してください。
- 下り坂では，設定した車速を上回ることがあります。ブレーキペダルを踏んで減速してください。この場合，定速走行は終了します。
- 回生ブレーキレベルセレクター付き車はクルーズコントロールが作動中に回生ブレーキレベルセレクターを操作したとき，回生力の小さいB0，B1は選択できません。ブザーが鳴ります。

クルーズコントロールスイッチ

J00705600150



1- CANCELスイッチ
定速走行を終了するときに使用します。
2- RES＋スイッチ
設定車速を上げたり，定速走行を終了した後，元の設定車速に戻すときに使用します。
3- SET－スイッチ
設定車速を下げたり，定速走行する車速をセットするときに使用します。
4- クルーズコントロールON/OFFスイッチ
クルーズコントロール機能を作動または停止するときに使用します。

アドバイス

● クルーズコントロールスイッチを操作するときは，個々のスイッチを確実に押してください。
2個以上のスイッチを同時に押すと，定速走行が自動的に終了することがあります。

クルーズコントロール表示灯

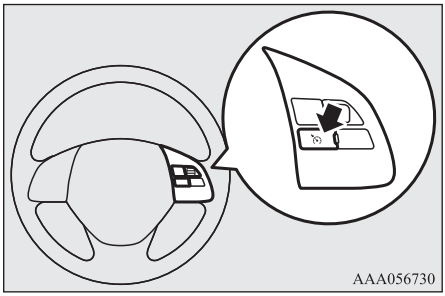
J00705700223

パワースイッチの電源モードが ON の状態のときに，クルーズコントロール ON/OFF スイッチを押してクルーズコントロール機能を作動させると点灯します。

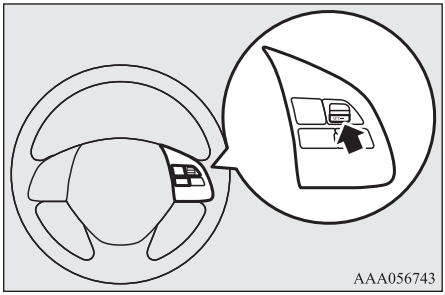
希望車速をセットし，定速走行するときは

J00705800208

1. パワースイッチの電源モードがONの状態のときに，クルーズコントロールON/OFFスイッチを押すとクルーズコントロール機能が作動し，メーター内の表示灯が点灯します。



2. 希望する車速まで加速または減速し，SET －スイッチを押し下げて手を離すと，インフォメーション画面に SET が点灯し定速走行が開始されます。



アドバイス

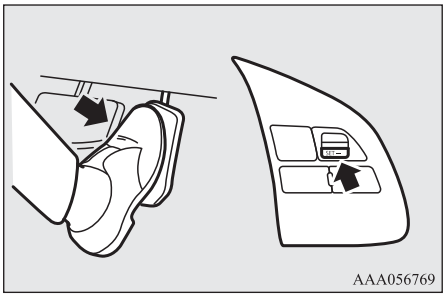
- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。
- プラグインハイブリッド EV システムを止めるとクルーズコントロール機能は自動的に停止します。

設定車速を変更するときは

J00705900182

◆ アクセルペダルを使って

希望する車速まで加速し，SET －スイッチを押し下げて手を離します。

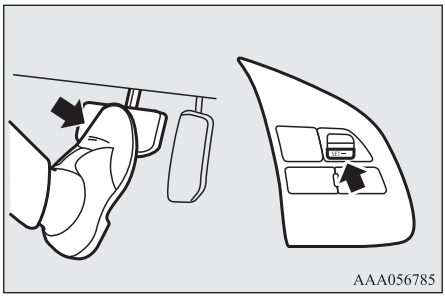


アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

◆ ブレーキペダルを使って

希望する車速まで減速し，SET －スイッチを押し下げて手を離します。

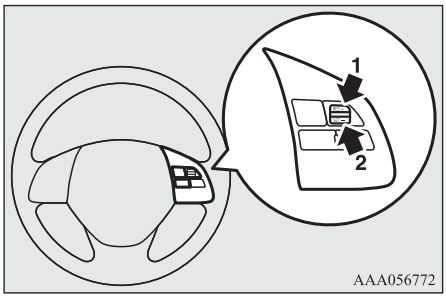


アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

◆ クルーズコントロールスイッチを使って

RES＋スイッチを押し上げ，またはSET－スイッチを押し下げ続け，希望する車速になったら手を離します。



1- 加速したいとき
2- 減速したいとき

アドバイス

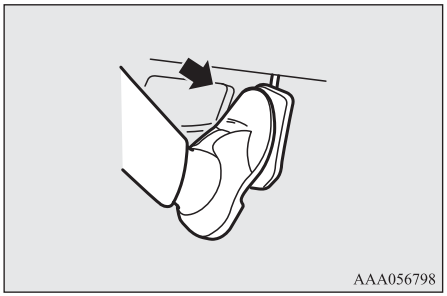
- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。
- RES＋スイッチを押し上げ，またはSET－スイッチを押し下げてすぐに手を離すと，設定車速を約 1.5km/h ずつ微調整することができます。

一時的に加速または減速したいときは

J00712900155

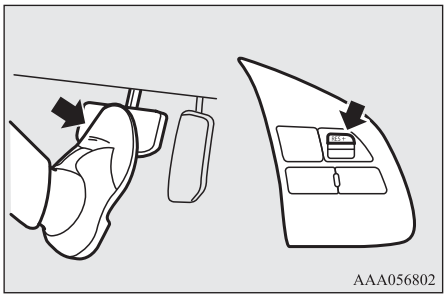
◆ 一時的に加速したいときは

アクセルペダルを踏んで加速します。
アクセルペダルから足を離すと自動的に元の設定車速に戻ります。



◆ 一時的に減速したいときは

ブレーキペダルを踏んで減速します。
元の設定車速に戻すときは，RES ＋スイッチを押し上げます。
→「定速走行終了前の設定車速に戻すときは」P. 7-51

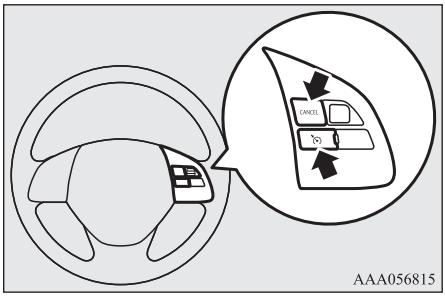


定速走行を終了するときは

J00706000252

つぎのいずれかの操作で定速走行が終了します。

- クルーズコントロールON/OFFスイッチを押す
- CANCELスイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む



また，つぎの場合も自動的に定速走行が終了します。

- セットした速度より車速が約 15km/h 以上下がったとき
- 車速が約40km/h以下になったとき
- アクティブスタビリティコントロール(ASC)が作動したとき
  →「アクティブスタビリティコントロール(ASC)」P. 7-44

⚠警告

- **セレクトポジションをⓃにしても定速走行は自動的に終了しますが，走行中はセレクトポジションをⓃにしないでください。回生ブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

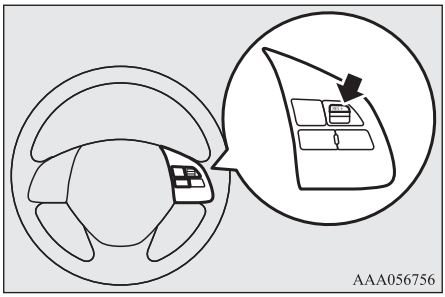
アドバイス

- 上記以外のときに定速走行が自動的に終了した場合は，クルーズコントロールに何らかの異常が発生していると考えられます。
  クルーズコントロール ON/OFF スイッチを押してクルーズコントロール機能を停止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

定速走行終了前の設定車速に戻すときは

J00706100224

定速走行を終了した後でも車速が約 40km/h 以上であれば，RES ＋スイッチを押し上げることにより，インフォメーション画面にSETが点灯し元の設定車速に戻すことができます。



ただし，つぎの場合はRES＋スイッチを押し上げても，元の設定車速に戻すことはできません。もう一度車速をセットし直してください。

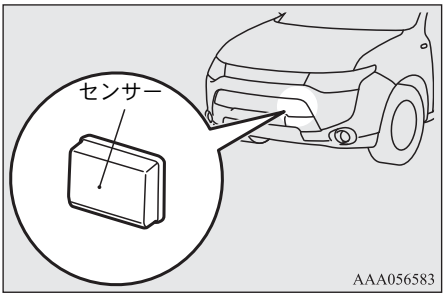
- プラグインハイブリッド EV システムを停止したとき
- クルーズコントロールON/OFFスイッチを押したとき
- 車速が約40km/h以下になったとき
- クルーズコントロール表示灯が消灯しているとき

レーダークルーズコントロールシステム(ACC)

タイプ別装備

J00724500028

レーダークルーズコントロールシステム(ACC) は，アクセルペダルを踏まなくても設定した車速で走行すると共に，センサーを使用して前方車両との相対速度，相対距離を測定し，前方車両に近づけば減速して設定した車間距離を保って走行する機能です。
車間距離制御を行わず，一定速で走行する「クルーズコントロール」も選択できます。



アドバイス

- レーダークルーズコントロールシステム(ACC) の起動中は回生ブレーキの操作はできません。ブザーが鳴ります。
- 回生ブレーキ操作中にレーダークルーズコントロール (ACC) を起動するとセレクトポジション表示灯はⒹに切り換わります。

⚠注意

- つぎのような状況では一時的に前方車両を検出できなくなったり，前方車両以外のものを検出して制御や警報が作動することがあります。
  - カーブが連続する道路やカーブの出入り口を走行するとき
  - 工事による車線規制や仮設車線を走行するとき
  - 車線内の自車と前方車両の横方向の位置関係や，ハンドルの操作状況，事故や故障で走行が不安定なとき
- つぎのような状況では思わぬ事故につながることがあるのでACCを使用しないでください。
  - 交通量の多い道や急カーブ，曲がりくねった道
  - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
  - 悪天候(雨，雪，霧)のとき
  - センサー部に雨，雪，汚れなどが付着しているとき
  - 急な上り坂，下り坂や勾配の変化が激しい道
  - 頻繁な加減速が必要な交通状況
  - 頻繁に接近警報が鳴るとき
  - けん引されるとき，またはけん引するとき
  - 整備工場などでシャシーダイナモメータやフリーローラなどを使用するとき
- センサー部に強い衝撃を与えたり，分解しないでください
- 事故等でセンサー部が変形した場合は三菱自動車販売会社に連絡してください

前方車両を検出していないときは

設定した車速で定速走行します。
設定できる車速範囲は約 40~100km/h です。

アドバイス

- 下り坂などで設定した車速を超えそうなときは，自動でブレーキが作動して速度を維持します。

前方車両を検出しているときは

設定した車速を上限として，車速に応じた車間距離（車間時間）を保つように，必要に応じてブレーキも使用して車間制御を行い走行します。

前方車両が停車したときは，自車もそれに応じて停車します。
停車状態を保持する機能はありませんので，停車したら速やかにブレーキを踏んでください。

アドバイス

- 停車後ブレーキを踏まずに 2 秒経過すると，ブザー音と表示とともにACCは自動的にキャンセルされスタンバイ状態になります。
  このとき，ブレーキ制御は解除され，クリープ現象で車両は動き出します。

前方車両を検出しなくなったときはブザー音とともに前方車両表示が消え，設定した車速までゆっくりと加速し，再び定速走行を行います。

接近警報

J00724700020

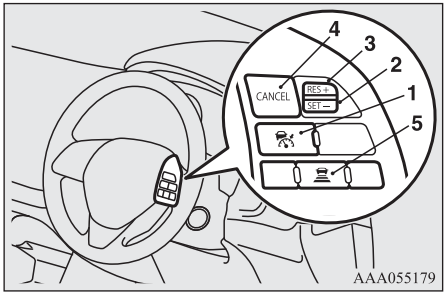
レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御中に，前方車両の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みにより十分な減速ができず前方車両に接近したときは，ブザーと表示で運転者に注意を促します。
ブレーキを踏むなどして適切な車間距離を保持してください。

⚠注意

- 未使用時はシステムをOFFしてください。→「制御を終了するときは」P. 7-59
- 使用中に，セレクターレバーをⓃの位置へ入れないでください。
  プラグインハイブリッドEVシステムを損傷するおそれがあります。
- つぎのような状況では制御も警報も行いません。
  - 自車速より極端に遅い車両に対してのとき
  - 急な割込みや歩行者など車両以外のもののとき
- つぎのような状況では警報のみが働き，加減速制御を行いません。
  - 停車中または非常に速度が遅い車両
- つぎのような状況では前方車両を正確に検出できず，車間距離を適切に保てないことがあります。
  - 後席やラゲッジルームに極端に重いものを積んだとき
  - 急な上り坂，下り坂を繰り返し走行しているとき
  - 近距離での割り込み車両 (自車両と左右にずれている状態)や二輪車
  - センサー部の汚れ，雪，氷などが付着した場合

クルーズコントロールスイッチ

J00724800018



1- ACC ON/OFF スイッチ
レーダークルーズコントロールシステム(ACC)またはクルーズコントロールをON/OFFします。

2- SET－スイッチ
希望する速度に設定したり，設定した速度を下げたりするときに使います。

3- RES＋スイッチ
一度設定した速度で動作させたり，設定した車速を上げたりするときに使います。

4- CANCELスイッチ
レーダークルーズコントロールシステム(ACC)またはクルーズコントロールの制御をキャンセルするときに使います。

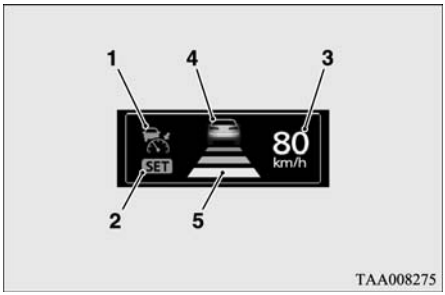
5- ACC車間設定スイッチ
前方車両との車間距離の設定を変更するときに使います。

アドバイス

- スイッチは1個1個確実に操作してください。
  複数のスイッチを同時に押すと，レーダークルーズコントロールシステム(ACC)がOFFまたは制御がキャンセルされることがあります。

レーダークルーズコントロールシステム (ACC) インフォメーション画面

J00726200029



1- ACCインジケーター：
レーダークルーズコントロールシステム(ACC)がONしていることを示します。
2- 制御状態インジケーター：
レーダークルーズコントロールシステム(ACC)制御状態時に表示します。
3- 設定車速：
目標車速を表示します。
4- 前方車両表示：レーダーが前方車両を認識しているときに表示します。
以下のようにスタンバイ中と制御中で表示が異なります。

表示	状態	
	スタンバイ中	制御中
前方車両認識		

5- 車間設定表示：
前方車両との距離設定を表示します。
以下のようにスタンバイ中と制御中で表示が異なります。

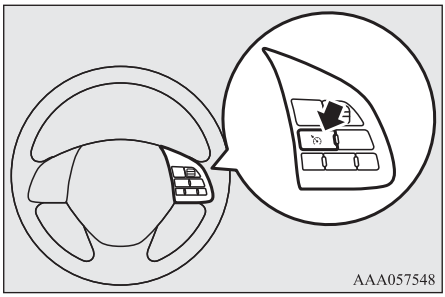
車間設定表示	状態	
	スタンバイ中	制御中
長		
中		
短		

使い方

J00724900022

◆ システムを起動（スタンバイ）するときは

パワースイッチの電源モードが ON の位置で，ACC ON/OFFスイッチを短く押すと，レーダークルーズコントロールシステム(ACC)がONします。



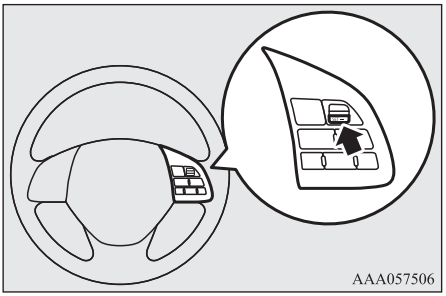
メーター内のマルチインフォメーションディスプレイのインフォメーション画面がレーダークルーズコントロールシステム(ACC)表示に切り換わります。
レーダークルーズコントロールシステム(ACC) を ON したときはスタンバイ状態で制御は開始されません。

アドバイス

- パワースイッチの電源モードをOFFにするときにレーダークルーズコントロールシステム(ACC)がONしていても次回, 電源モードを ON にしたときは自動的にレーダークルーズコントロールシステム(ACC)は起動しません。

◆ 制御を開始するときは

レーダークルーズコントロールシステム(ACC)ON（スタンバイ）状態でSET－スイッチを押し下げます。
SET －スイッチを放したときの車速が設定され，レーダークルーズコントロールシステム (ACC) は，このときの車速で制御します。



設定車速はインフォメーション画面に表示されます。
設定できる車速範囲は約 40~100km/h です。
前方車両を検出しているときは約 10~40km/h でも制御開始できますが，このときは設定車速は 40km/h に設定されます。
上記車速の範囲外で操作しても制御開始しません。
レーダークルーズコントロールシステム(ACC) 制御が開始すると，ブザー音と共に，SET が点灯し，設定車間表示や前方車両表示（前方車両を検出しているときのみ）が制御中表示に切り換わります。

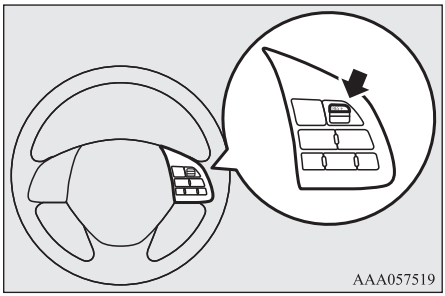
アドバイス

- つぎのときは，制御開始できません。このときブザーが鳴ります。
  - 車速が約 10km/h 未満または約 100km/h 以上のとき
  - 車速が約 10km/h~40km/h で前方車両を検出していないとき
  - ASCがOFFのとき
  - ABS/ASC/TCLが作動中
  - セレクターレバーがⒹ以外の位置のとき
  - ブレーキペダルを踏んでいるとき
  - 駐車ブレーキがかかっているとき
  - センサー部に汚れが付着しているなどによる検出性能低下を自動的に判定している場合
  - システムに異常があるとき

◆ 設定車速を上げるときは

RES＋スイッチで設定車速を上げる

レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御中にRES ＋スイッチを一回押し上げると設定車速が1km/h上昇します。また，RES ＋スイッチを押し上げ続けると，設定車速が 5km/h きざみで上昇します。



アドバイス

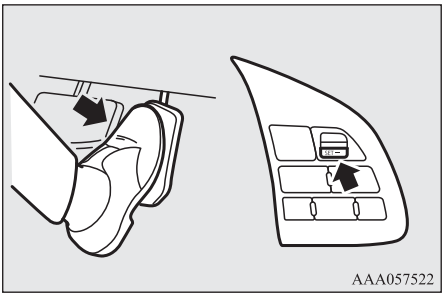
- 実際の車速は遅れて上昇します。
- 前方車両がいるときにも操作できますが，設定車速が上昇するだけで実際には加速しません。

アドバイス

- スイッチを押し続けたとき，設定車速の変化に合せてブザーが鳴ります。

アクセルペダルで加速する

レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御中にアクセルペダルを踏むと一時的に加速することができます。
設定したい車速まで加速して，SET －スイッチを押し下げるとそのときの車速が設定車速に設定されます。



⚠注意

- アクセルペダルを踏んでいる間はブレーキ制御や警報は行いません。

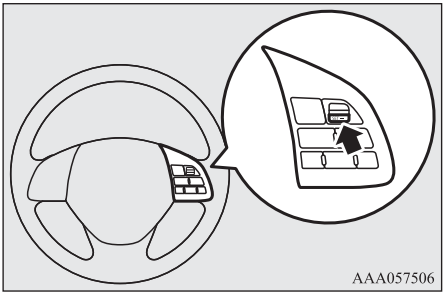
アドバイス

- アクセルペダルを踏んでいる間は設定車速表示は「---」となります。
- アクセルペダルを離せば，もとの設定車速で再びレーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御状態に戻ります。ただし，状況によっては，アクセルペダルを離した後一定時間，ブレーキ制御や警報が働かないことがあります。
- アクセルペダルを踏んでいる間は設定車速の調整はできません。

◆ 設定車速を下げるときは

SET－スイッチで設定車速を下げる

レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御中に SET －スイッチを一回押し下げると設定車速が1km/h減少します。また，SET －スイッチを押し下げ続けると，車速が5km/hきざみで減少します。

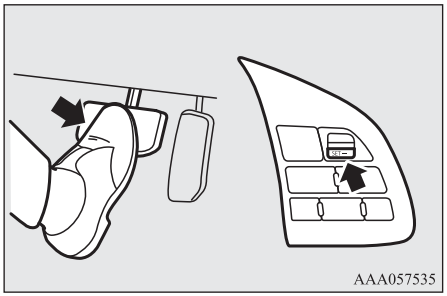


アドバイス

- 実際の車速は遅れて減少します。
- 前方車両がいて，設定車速よりも低い車速で追従走行しているときは，設定車速が減少するだけで実際には減速しません。
- スイッチを押し下げ続けたとき，設定車速の変化に合せてブザーが鳴ります。

ブレーキペダルで減速する

レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御中にブレーキペダルを踏むと制御はキャンセルされ、減速することができます
設定したい車速まで減速して，SET －スイッチを押し下げるとそのときの車速が設定車速に設定されます。

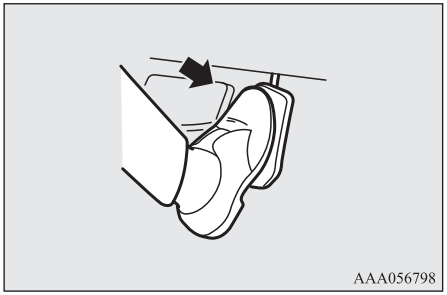


アドバイス

- ブレーキペダルを一度踏むと，レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御はキャンセルされ，ペダルを離してもレーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御状態には戻りません。

◆ 一時的に車速を上げるときは

アクセルペダルを踏み込めば，一時的に車速を上げることができます。
アクセルペダルを放せば，自動的にもとの設定車速に減速してレーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御を再開します。



⚠注意

- アクセルペダルを踏んでいる間はブレーキ制御や警報は行いません。

アドバイス

- アクセルペダルを踏んでいる間は設定車速表示は「---」となります。
- 状況によっては，アクセルペダルを離した後一定時間，ブレーキ制御や警報が働かないことがあります。
- アクセルペダルを踏んでいる間は設定車速の調整はできません。

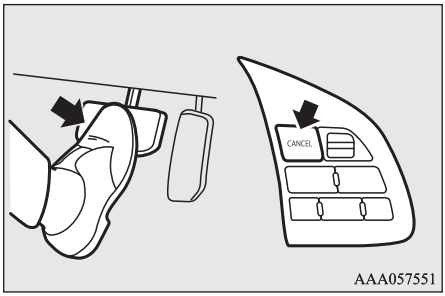
◆ 制御を終了するときは

J00728400012

制御のキャンセル

レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御中につぎのいずれかの操作をすると，レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御はキャンセルされ，スタンバイ状態になります。
制御開始条件が再び成立すれば，SET －またはRES＋スイッチで制御開始できます。

- CANCELスイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む



アドバイス

- ACC ON/OFF スイッチを押してもレーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御をキャンセルできます。
  このとき，レーダークルーズコントロールシステム (ACC) はOFFになります。

レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御がキャンセルされ，スタンバイ状態になると，SETが消灯し，設定車間表示や前方車両表示 (前方車両を検出しているときのみ) がスタンバイ表示に切り換わります。

また，つぎのような状況では，ブザー音と表示とともにレーダークルーズコントロールシステム (ACC) 制御は自動的にキャンセルされ，スタンバイ状態になります。
制御開始条件が再び成立すれば，SET －またはRES＋スイッチで制御開始できます。

- 前方車両の停車に伴い，自車も停車したとき
- ASCをOFFにしたとき
- ABS/ASC/TCLが作動したとき
- セレクターレバーがⒹ以外の位置のとき
- 駐車ブレーキがONになったとき

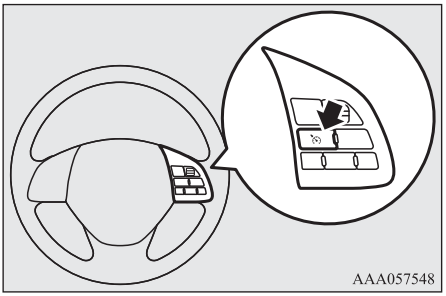
● センサー部に汚れ付着などによる検出性能低下を自動的に判定した場合（レーダークルーズコントロールシステム(ACC)制御が自動的にキャンセルされた後，ブザー音と表示で運転者に知らせます。汚れを取り除いても表示が消えない場合は三菱自動車販売会社へ連絡してください）

● システムに異常があるとき（レーダークルーズコントロールシステム(ACC)制御が自動的にキャンセルされるとともに，システムがOFFされ，ブザー音と表示で運転者に知らせます。パワースイッチの電源モードをON位置にしても再び表示される場合は三菱自動車販売会社へ連絡してください）

● その他の状況で制御終了したら，不具合かもしれません。レーダークルーズコントロールシステム(ACC)をOFFして，三菱自動車販売会社へ連絡してください。

レーダークルーズコントロールシステム(ACC)をOFFにする

レーダークルーズコントロールシステム(ACC)がON状態でACC ON/OFFスイッチを押すとレーダークルーズコントロールシステム(ACC)はOFFします。



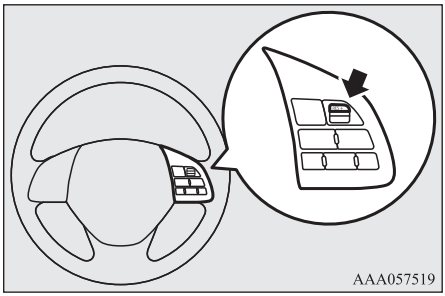
アドバイス

- レーダークルーズコントロールシステム(ACC) 制御中でも制御を停止してレーダークルーズコントロールシステム(ACC)はOFFします。
- レーダークルーズコントロールシステム(ACC)をOFFまたはパワースイッチの電源モードをOFFの位置にすると設定車速はリセットされます。
- レーダークルーズコントロールシステム(ACC) が ON 状態でパワースイッチの電源モードを OFF の位置にすると，次回，電源モードを ON の位置にしたときはレーダークルーズコントロールシステム(ACC)はOFFされます。

◆ 制御を再開するときは

J00728500013

CANCELスイッチやブレーキペダルで制御をキャンセルした後（レーダークルーズコントロールシステム (ACC) スタンバイ状態），RES ＋スイッチを押し上げると，表示されているキャンセル前の設定車速でレーダークルーズコントロールシステム(ACC)制御を再開します。



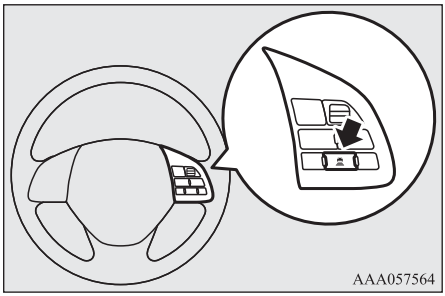
アドバイス

- 制御を再開できる条件は，制御開始の条件と同じです。

◆ 設定車間距離を変更するときは

J00728600014

ACC 車間設定スイッチを押すごとに設定車間距離が「長」「中」「短」「長」・・・の順に切り換わります。
レーダークルーズコントロールシステム (ACC) が OFF またはパワースイッチの電源モードが OFF の位置で設定車間距離はリセットされ，レーダークルーズコントロールシステム (ACC) を ON にしたときは「長」に設定されます。



アドバイス

- 車間距離は車速に応じて変化し，車速が高いほど長くなります

設定車間「長」

設定車間「中」

設定車間「短」

◆ レーダークルーズコントロールシステム (ACC) を使用せずにクルーズコントロール (自動定速走行装置) を起動するときは

J00728700015

パワースイッチの電源モードが ON の位置で，レーダークルーズコントロールシステム (ACC) が OFF のとき，ACC ON/OFF スイッチを押し続けると，クルーズコントロールが起動します。
メーター内のマルチインフォメーションディスプレイのインフォメーション画面がクルーズコントロール表示に切り換わるとともに，ブザーが鳴ります。
電源モードを OFF の位置にするとクルーズコントロールは OFF されます。
→「クルーズコントロール (自動定速走行装置)」P. 7-47

R 202YLS11134981

本製品は各国の電波法に適合しています。製品に貼られているシールはその証明ですので, はがさないでください。
製品を改造しないでください。
改造すると認証番号が無効となります。

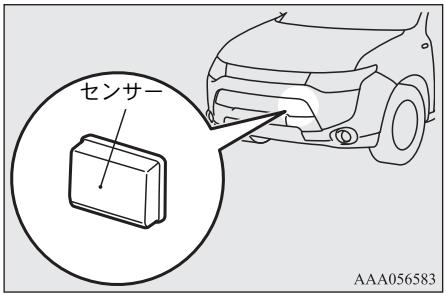
衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM)

タイプ別装備

J00724600029

衝突被害軽減ブレーキシステム (FCM) は，センサーを使用して自車が走行する車線の前方車両との相対速度，相対距離を測定し，ほぼ真後ろから前方車両に追突する危険性があると判断したときに，つぎの機能を作動させ，衝突被害を軽減または衝突を回避します。

- 前方衝突警報機能
- 前方衝突被害軽減プレフィル機能
- 前方衝突被害軽減ブレーキアシスト
- 前方衝突被害軽減ブレーキ



前方衝突警報機能

J00725000020

自車線前方の車両に追突する危険性があると判断したときに，表示と音で注意喚起します。
警報時は，ブザー音とともに，メーター内のインフォメーション画面に「ブレーキ！」表示が点灯し，「FCM OFF」インジケーターが点滅します。

⚠注意

- 自車速より極端に遅い車両に対しては作動しません。
- 状況によっては，警報が鳴らなかったり，聞こえない場合があります。システムを過信せず、衝突の危険があるときは，システムの作動の有無に関わらず，ブレーキペダルを強く踏むなどの回避操作を行ってください。

前方衝突被害軽減プレフィル機能

J00725100018

自車線前方の車両に追突する危険性があると判断したときに，ブレーキに予圧を与え，ブレーキ操作時の応答性を向上させます。

前方衝突被害軽減ブレーキアシスト

J00725200019

自車線前方の車両に追突する危険性があると判断したときに，ブレーキアシストの作動タイミングを早める機能です。

⚠注意

- ブレーキ操作によっては，ブレーキアシストが働かないことがあります。システムを過信せず，衝突の危険があるときは，システムの作動の有無に関わらず，ブレーキペダルを強く踏むなどの回避操作を行ってください。

前方衝突被害軽減ブレーキ

J00725300023

自車線前方の車両へ追突する危険性が高いと判断したとき，軽いブレーキを作動させてブレーキ操作を促します。
さらに，追突が避けられないと判断したときには，緊急自動ブレーキを作動させて，衝突被害を軽減または条件によって衝突を回避する機能です。
緊急自動ブレーキ作動中は，前方衝突警報の作動時と同様，音と表示で注意喚起します。
緊急自動ブレーキが作動した後，作動したことを示す表示がインフォメーション画面に表示されます。

⚠注意

- 前方衝突被害軽減ブレーキは可能な範囲で衝突を回避できるよう作動しますが，走行状態，道路環境，ハンドル，アクセル，ブレーキなどの操作など，様々な条件によってその効果は変化し，常に同じ性能が発揮できるわけではありません。
  衝突の危険があるときは，システムの作動の有無に関わらず，ブレーキペダルを強く踏むなどの回避操作を行ってください。
- 前方衝突被害軽減ブレーキ作動で停車した後は，自動ブレーキが解除され，クリープ現象により車両が動き出しますので，必ずブレーキペダルを踏んで，車両を停止させてください。

⚠注意

- 各機能には限界がありますので，過信しないでください。
  また，脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨•霧などの視界不良を補助するものではありません。
  前方車両との車間距離，周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し，安全運転に心がけてください。
- つぎのような状況では制御も警報も行いません。
  - 自車速より極端に遅い車両に対して
  - 急な割込み車両に対して
  - 前方車両との距離が極端に短いとき
  - 対向車に対して
  - 自車速が非常に遅いとき
  - セレクターレバーがⒹ以外の位置のとき
  - システムに異常があるとき（システムが異常を検知した場合は，「FCM点検」が表示され，「FCM OFF」インジケータが点灯します）

- つぎのような状況ではブレーキ制御は行いません。
  - 車速が約30km/h以上で，前方車両が停車中または非常に速度が遅い場合
  - ASCがOFFの場合

⚠注意

- つぎのような状況では制御や警報が働かないことがあります。
  - 二輪車，自転車，歩行者，動物，道路上の落下物など自動車以外のもの
  - 後席やラゲッジルームに極端に重いものを積んだとき
  - センサーに汚れ，雪，氷などが付着した場合（汚れ付着などによる検出性能低下を自動的に判定した場合は，「FCM 使用できません」が表示され，「FCM OFF」インジケーターが点灯します）

  - カーブが連続する道路，カーブの出入口を走行中
  - 悪天候(雨，雪，霧)のとき
  - 自車の直前に車両が飛び出してきたとき
  - 急な加減速を行っているとき
  - 急な上り坂，下り坂が繰り返される道を走行しているとき
  - ハンドル，アクセル，ブレーキ，シフト操作を行っていて，衝突回避操作と判断されたとき
  - ハンドルの操作状況や自車と前方車両の横方向の位置関係，事故や故障で走行が不安定なとき
- つぎのような状況では制御や警報が作動することがあります。
  - カーブ入り口に路側物があるとき
  - 狭い鉄橋を通るとき
  - 低いゲートや狭いゲートなどを通過するとき
  - 路面上に金属物，段差または突起物があるとき
  - 追越し時など，前方車両に急接近したとき
  - ETCゲートを通過するとき
  - 高架下を通過するとき

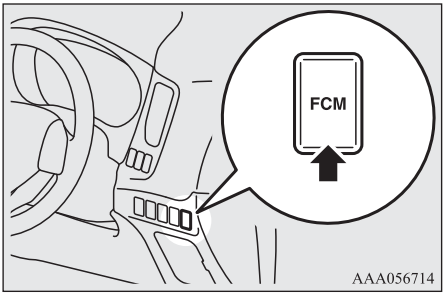
⚠注意

- つぎのような状況では予期しない作動をするおそれがあるので，システムをOFFにしてください。
  - リフトアップし，プラグインハイブリッド EV システムを起動してタイヤを空転させたいとき
  - けん引するとき，けん引されるとき
  - キャリアカーに積載するとき
  - サーキットなどでスポーツ走行をするとき
  - 整備工場などでシャシーダイナモメーターやフリーローラーなどを使用するとき
- システムの正しい作動のため，つぎのことをお守りください。センサーの検知性能を低下させるなど，思わぬ事故につながる恐れがあります。
  - センサー部に強い衝撃を与えたり，センサー固定ねじに触れたり分解しないでください。
  - センサー部やセンサーカバー部にステッカーなどを貼り付けないでください。
  - 指定以外のサイズのタイヤを装着しないでください。また，摩耗差の著しいタイヤを混ぜて装着しないでください。
  - サスペンションを改造しないでください。
- 事故等でセンサー部が変形した場合は，システムを OFF して，三菱自動車販売会社に連絡してください。
- 交通量が少なく，前方車両や障害物が少ない道路を走行すると，「FCM使用できません」表示が一時的に表示されることがありますが異常ではありません。

FCM ON/OFFスイッチ

J00725400024

FCMのON/OFFや衝突警報タイミングを変更します。
押し続けると，FCMのON/OFF状態が切り換わります。FCMがONのときに短く押すと，警報タイミングが切り換わります。



◆ システムをON/OFFするときは

パワースイッチの電源モードが ON の位置で，FCM　ON/OFF スイッチを押し続けると，システムの ON/OFF 状態を切り換えることができます。
システムONと同時にブザーが鳴り，メーター内のインフォメーション画面に警報タイミングの設定状態が表示され，「FCM OFF」インジケーターが消灯します。

システムOFF時はブザーが鳴るとともに「FCM OFF」が表示され，「FCM OFF」インジケーターが点灯します。

システム状態を変更しても，電源モードをONの位置にしたときは，FCMはONとなります。

◆ 警報タイミングを切り換えるときは

FCM がONのときにFCM ON/OFFスイッチを短く押すごとに前方衝突警報の作動タイミングが「長」「短」「長」・・・の順に切り換わります。
切り換わるごとにインフォメーション画面に設定状態が表示されます。FCM をOFF，またはパワースイッチの電源モードをOFFの位置にしても設定は保持されます。

「短」設定時

「長」設定時

⚠注意

- 前方衝突被害軽減ブレーキプレフィル，前方衝突被害軽減ブレーキアシスト，前方衝突被害軽減ブレーキの作動タイミングは変更できません

R **202YLS11134981**

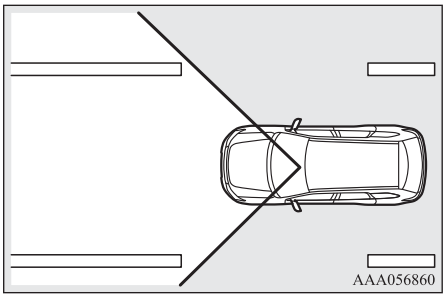
本製品は各国の電波法に適合しています。製品に貼られているシールはその証明ですので，はがさないでください。
製品を改造しないでください。
改造すると認証番号が無効となります。

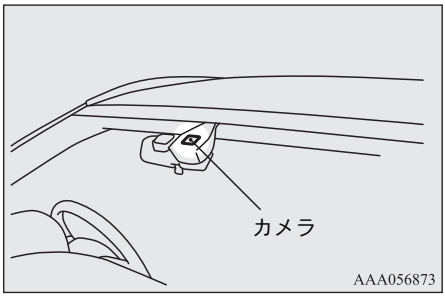
車線逸脱警報システム (LDW)

タイプ別装備

J00725600026

LDWのカメラで走行車線（レーン）を認識し，走行車線を逸脱しそうな状況において表示と警告音で運転者に注意を促します。





⚠注意

- 車線逸脱警報システム (LDW) には限界がありますので，機能を過信しないでください。
- わき見運転やぼんやり運転などの前方不注意や悪天候などによる視界不良を補助するものではありませんので，常にハンドル操作をして進路を修正し，安全運転に心がけてください。

⚠注意

- つぎのような環境下では車線を検出できない場合があります。必要に応じてLDWスイッチをOFFにしてください。
  - 車線（白線，黄線）がかすれたり汚れたりして見えにくいとき
  - 雨，雪，霧，逆光などで車線が見えにくいとき
  - 検札所手前，料金所手前，合流地点，分岐地点など，車線が途切れるとき
  - 道路補修の消し残り線，影，残雪，雨のたまったわだちなど，車線と紛らわしい線が見えるとき
  - 高速道路などの本線（走行車線，追い越し車線）以外の車線を走行するとき
  - 工事による車線規制や仮設車線を走行するとき
  - 車線の幅が極端に狭いとき
  - 前方車両との車間距離が極端に短くなったとき（前方車両が車線の近くを走行して見えにくいとき）
  - 合流地点などで車線が複雑なとき
  - 車線の数が増減している区間や車線が複雑に交差している区間を走行するとき
  - 2 重車線など特殊な車線を走行するとき
  - うねった道路や荒れた道路を走行するとき
  - 雨天時や積雪，凍結などですべりやすい道路を走行するとき
  - トンネルなどの出入口などで，明るさが急激に変化するとき
  - 急なカーブのとき
  - 逆光を浴びて路面が光っているとき
  - 段差などにより車が大きくゆれたとき
  - ヘッドランプのレンズが汚れていたり，劣化などにより照射が弱いときや光軸がずれているとき
  - 重い荷物の積載やタイヤ空気圧の調整不良などで，車両が著しく傾いているとき
  - 対向車のヘッドランプ光がカメラに入射したとき
  - タイヤ，サスペンションの改造など，指定された部品以外を装着した場合（摩耗しているタイヤ，スペアタイヤ，タイヤチェーンを装着しているとき）
  - 雨，雪，汚れなどがフロントガラスに付着しているとき

⚠注意

- 使用環境を良い状態に保つために，つぎのことを守ってください。
  - フロントガラスは，いつもきれいにしておく
  - カメラに強い衝撃や力を加えない，また分解しない
  - カメラの向きは厳密に調整されているため，取付けを変更したり，取り外したりしない
  - カメラレンズ前のフロントガラスにシール等を貼らない
  - フロントワイパーを交換する場合は，三菱自動車純正品を使用

アドバイス

- 市販のカーナビゲーションを装着する場合，フロントガラスにテレビやGPSのアンテナを貼り付けると，テレビの映りやカーナビゲーションの位置精度が悪くなるおそれがあります。

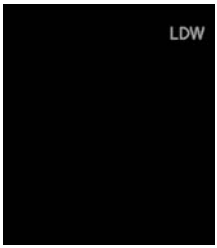
LDWの作動

J00725700027

つぎのように作動表示が切り換わります。

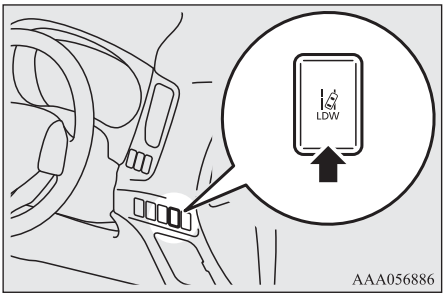
◆ システムON

パワースイッチの電源モードを ON にするとメーター内のインフォメーション画面に「LDW」の表示が点灯し，システムONの状態になります。



◆ システムOFF

LDWスイッチを押すとインフォメーション画面の「LDW」の表示が消灯し，システムOFFの状態になります。
もう一度LDWスイッチを押すと，システムONの状態に戻ります。



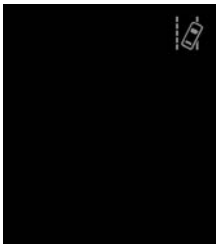
アドバイス

- システムOFFの状態から一度でもパワースイッチの電源モードを OFF にすると，再びシステムONの状態になります。

◆ スタンバイ

車線を認識でき，車線を逸脱した際に警報を鳴らすことができる状態です。
つぎの条件がすべて成立したとき，システムONからスタンバイの状態になり，インフォメーション画面の「LDW」の表示から のインジケーターが点灯（緑色）に切り換わります。

- 車速が約65km/h以上のとき
- 方向指示レバーを操作していないとき
- ハザードランプが作動していないとき
- ブレーキペダルが踏まれていないとき
- 車両の左右にある車線が認識できている環境のとき
- システムがON状態のとき



アドバイス

- ハザードランプが作動し終わった後，もしくは方向指示レバーを戻した後，約7秒間はシステムONの状態を継続します。

◆ 車線逸脱警報

ブザーが断続的に鳴り，インフォメーション画面に「レーン逸脱中」の表示が点灯し， のインジケーターが点滅（橙色）します。

アドバイス

- 約10秒以上警報作動し続けたとき，警報を停止します。

警告表示

J00725800015

LDWシステムの一時的な停止状態や故障状態をつぎの状態で表示し，警報音を1回鳴らします。

◆ ＬＤＷカメラの高温異常

炎天下での駐車などでLDWカメラが高温になり，自動的に作動が停止した状態です。
LDWカメラの温度が下がると自動的に復帰し，作動できる状態になります。

アドバイス

- LDWスイッチをOFFにすることで表示を一時的に消灯することができます。

◆ LDWシステムの故障停止

LDWシステム自体が故障，および初期設定ができていない状態です。
三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

リヤビューカメラ

タイプ別装備

J00704200205

リヤビューカメラは，車両後方の映像を三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS) またはディスプレイオーディオの画面に表示させる装置です。

⚠注意

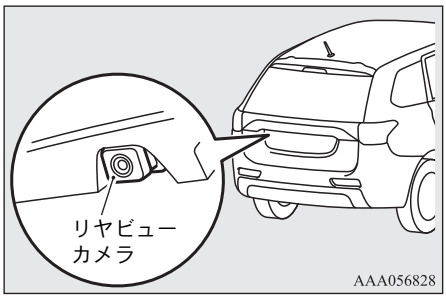
- リヤビューカメラは，車両後方の障害物などを確認するための補助装置です。
  映像を表示できる範囲は限られていますので過信せず，リヤビューカメラが付いていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。
  リヤビューカメラだけを頼りに運転しないでください。

画面に表示できる範囲

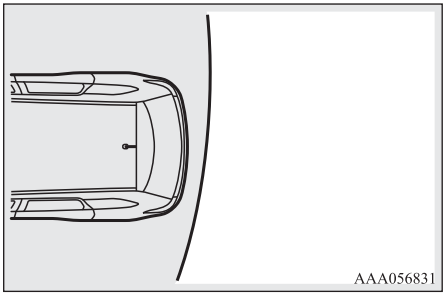
リヤビューカメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。また，リヤバンパーの両端や下部などは表示できませんので後退するときは，必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

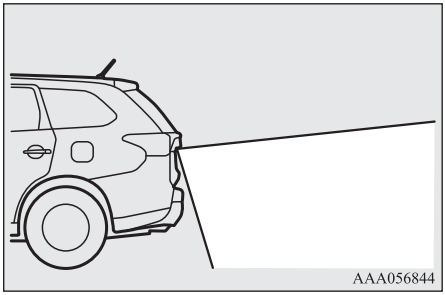
◆ リヤビューカメラの取り付け位置

カメラはテールゲートのハンドル付近に内蔵されています。



◆ リヤビューカメラの表示範囲





使い方

J00707200264

パワースイッチの電源モードが ON の状態のときにセレクターレバーを㊋に入れると，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはディスプレイオーディオの画面に車両後方の映像が自動的に表示されます。

セレクターレバーを㊋以外の位置にすると，元の画面に戻ります。

⚠注意

- リヤビューカメラは特殊レンズを使用しているため，画面の映像は実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

アドバイス

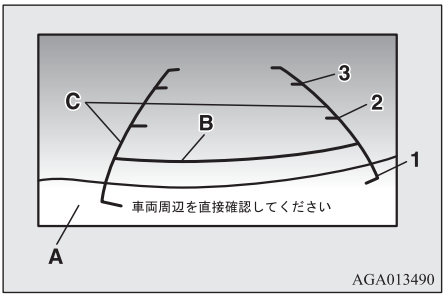
- リヤビューカメラは特殊なレンズを使用しているため，駐車場などの区画線は，画面内では平行に見えないことがあります。
- つぎのような場合，画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間）
  - 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに入ったとき
- カメラが熱いとき，雨や洗車などでレンズ付近の温度が低くなるとレンズが曇ることがありますが，故障ではありません。
- カメラのレンズが汚れていると，障害物が十分に確認できません。水滴，雪，泥または油汚れなどが付着したときはレンズを傷つけないようにていねいにふき取ってください。
- カメラの故障の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 衝撃を与えない
  - ワックスを付着させない
  - 熱湯をかけない
  - 分解しない
- 後退時のブザーはセレクターレバーが㊋にあることを知らせるもので，障害物があることを警告するブザーではありません。

リヤビュー画面の見方

J00722900044

距離と車幅の目安となる線とリヤバンパー上面（A）が画面に表示されます。

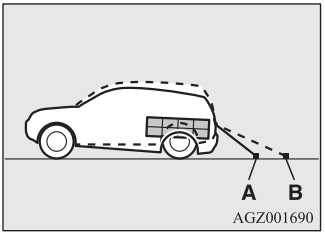
- 赤色の線（B）は，リヤバンパーから約50cmの地点を示しています。
- 2本の緑色の線（C）は，車体幅から外側に約20cmの地点を示しています。



1- おおよそのリヤバンパー後端位置
2- リヤバンパー後端から約100cm
3- リヤバンパー後端から約200cm

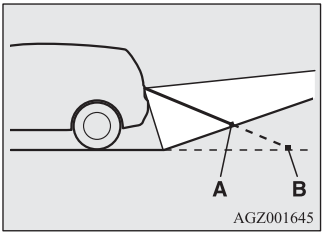
アドバイス

- 乗車人数，積み荷の状態または路面の状態などにより車両が傾いている場合，画面内の線の表示が実際と異なることがあります。
  画面内の線は水平な路面上などを基準としています。このため，つぎの場合，画面に映る障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。
  - 人や荷物の重みで車両後部が下がっているとき



A-実際の障害物
B-画面に映る障害物

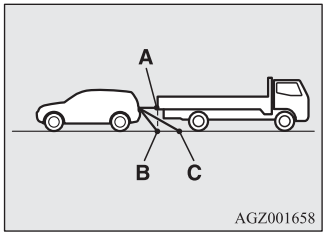
- 車両後方に上り坂があるとき



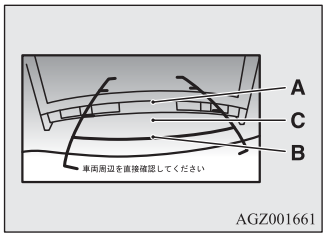
A-実際の障害物
B-画面に映る障害物

アドバイス

● 画面内の線は道路などの平面物を対象にしています。このため張り出し部分のある立体物との間の距離感覚が実際と異なることがあります。画面内の線を立体物までの距離の目安にしないでください。
例：画面の映像では手前からのB，C，Aの順に見えますが，実際にはA，Bが同じ距離，CがA，Bよりも遠い距離にあります。



AGZ001658

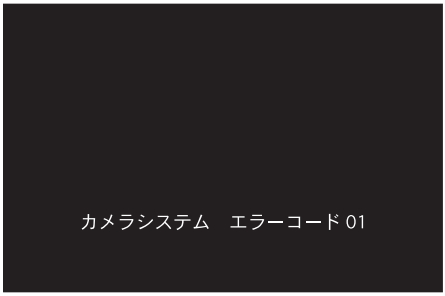


AGZ001661

警告表示

J00726400018

サイドビューカメラ付き車はカメラシステムが故障のとき，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはディスプレイオーディオの画面に以下のようなエラーを表示します。



アドバイス

● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

サイドビューカメラ

タイプ別装備

J00725900016

サイドビューカメラの映像を三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはディスプレイオーディオの画面に表示させる装置です。

⚠注意

- サイドビューカメラは，助手席側車両側方の安全を確認するための補助装置です。
  映像を表示できる範囲は限られていますので過信せず，サイドビューカメラがついていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。
  サイドビューカメラだけを頼りに運転しないでください。

アドバイス

- サイドビューカメラは，サイドアンダーミラー（タイプ別装備）の機能も含んでいます。
- つぎのような場合，適切な範囲を映し出すことができません。
  - ドアミラーが格納されているとき
  - 助手席のドアが完全に閉まっていないとき

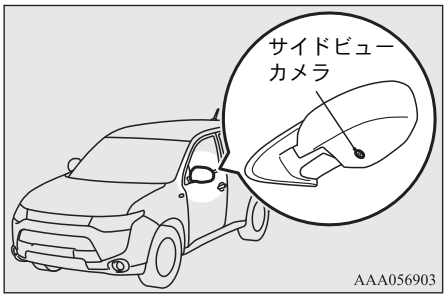
画面に表示できる範囲

J00726000014

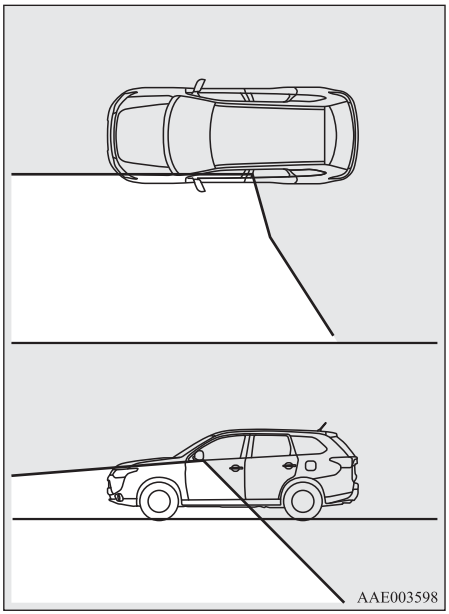
カメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

◆ カメラの取り付け位置

カメラはつぎの位置に内蔵されています。



◆ カメラの表示範囲



アドバイス

- サイドビューカメラは特殊なレンズを使用しているため，駐車場などの区画線は，画面内では平行に見えないことがあります。
- つぎのような場合，画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間）
  - 太陽やヘッドライトなどの非常に明るい光がカメラのレンズに入ったとき
- カメラが熱いとき，雨や洗車などでレンズ付近の温度が低くなるとレンズが曇ることがありますが，故障ではありません。
- カメラのレンズが汚れていると，障害物が十分に確認できません。水滴，雪，泥または油汚れなどが付着したときはレンズを傷つけないようにていねいにふき取ってください。
- カメラの故障の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 衝撃を与えない
  - ワックスを付着させない
  - 熱湯をかけない
  - 分解しない

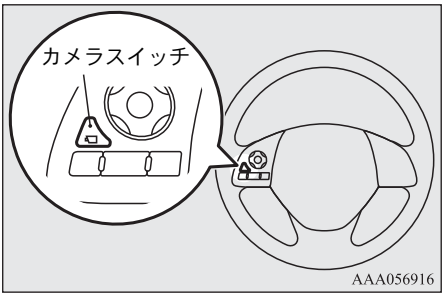
使い方

J00726100028

パワースイッチの電源モードが ON で車速が12km/h以下のとき，カメラスイッチを押すと三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはディスプレイオーディオの画面に表示されます。

また，セレクターレバーをⓇに入れるとリヤビューカメラの映像が表示されます。

スイッチをもう一度押すとサイドビューカメラの映像に戻ります。



警告表示

J00726300017

カメラシステムが故障のとき，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはディスプレイオーディオの画面に以下のようなエラーを表示します。

アドバイス

- 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

MEMO

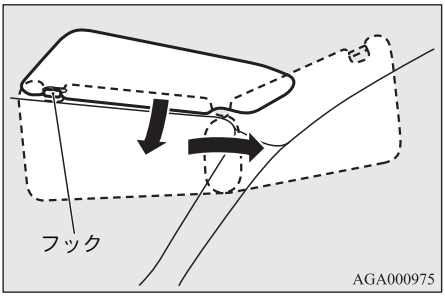
室内装備

サンバイザー 8- 2
アクセサリーソケット 8- 3
100V AC電源(1500W) 8- 4
室内灯 8- 7
小物入れ 8- 9
カップホルダー 8- 12
ボトルホルダー 8- 12
アシストグリップ 8- 13
ラゲッジフック 8- 14
フロアマット 8- 14
ETC 8- 16
リンクシステム 8- 25
Bluetooth® 2.0 インターフェース 8- 25

サンバイザー

J00900100295

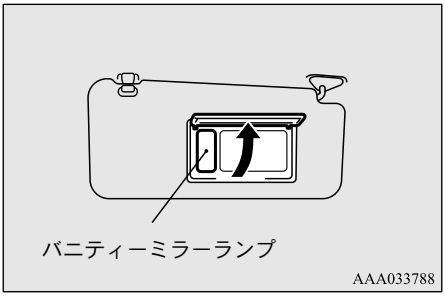
前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。



バニティーミラー

J00912700155

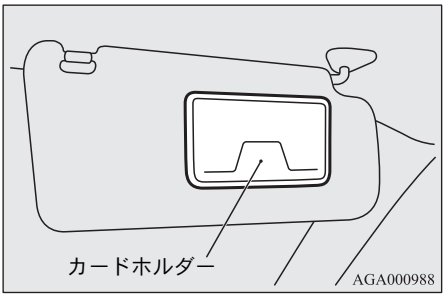
サンバイザーの裏側にあります。
リッドを開くとバニティーミラーランプが点灯します。



カードホルダー

J00912800244

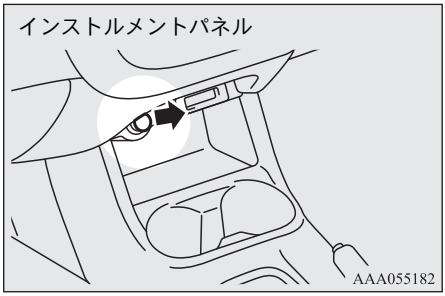
サンバイザーの裏側にあります。

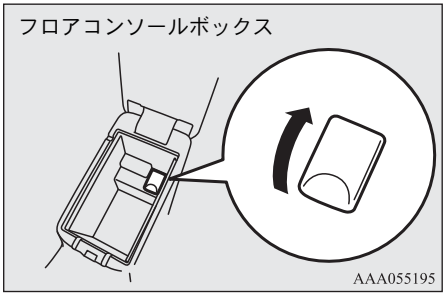


アクセサリーソケット

J00900500749

パワースイッチの電源モードが ON またはACCの状態のときに使用できます。
フタを開け，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。
必ず, 12Vで消費電力が120W以下の電気製品を使用してください。





アドバイス

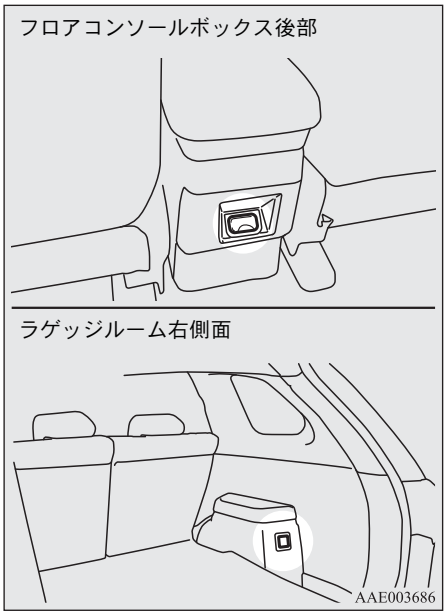
- ソケットを同時に使用するときは, 2つのソケットをあわせて 12V で消費電力が120W 以下の電気製品を使用してください。120W を超える電気製品を使用すると，ヒューズが切れるおそれがあります。
- 市販の電気製品を使用しないでください。補機用バッテリーが上がったり，アクセサリーソケットが損傷する原因となります。
- アクセサリーソケットを使わないときはフタを閉めておいてください。
  プラグタイプ以外のものをソケットに入れると故障したり，ショートする可能性があります。
- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長い間使用すると，補機用バッテリーが上がることがあります。
- AC　電源と同時に使用することができます。
  →「100V AC電源(1500W)」P. 8-4

100V AC電源(1500W)

タイプ別装備

J00900600261

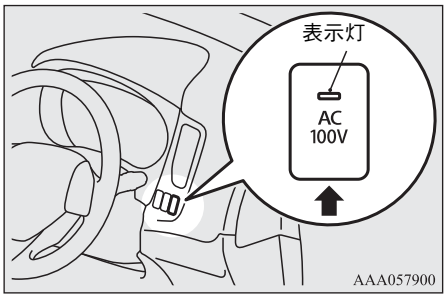
READY（走行可能）表示灯が点灯しているときに家庭用電気製品の電源として使用できます。
必ず，AC100Vで消費電力が1500W以下の電気製品を使用してください。



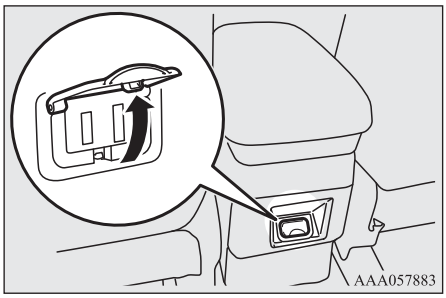
8

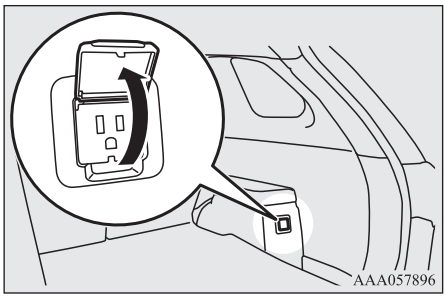
使用するときは

1. AC 電源スイッチを押します。表示灯が点灯して，使用可能な状態になります。
   スイッチをもう一度押すと，表示灯が消灯します。



2. フタを開けます。





3. プラグを奥まで差し込みます。
   差し込み後は，プラグが確実に固定されていることを確認します。
4. 使用後は，プラグを抜き取りフタを閉めます。

⚠警告

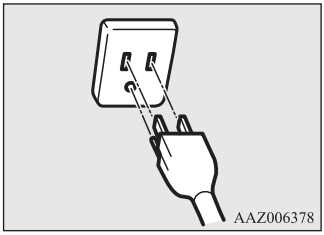
- AC電源のコンセントを使用して，電気自動車やプラグインハイブリッド車への普通充電は絶対に行わないでください。また，AC電源のコンセントと家屋内の電力線や配電盤をつなぐことは絶対にしないでください。感電のおそれがあります。
- 濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- コンセントの改造や分解，修理などは絶対にしないでください。
- 走行中に電気製品を使用する場合は，確実に固定してください。急ブレーキ，急旋回などのときに電気製品が飛び出して運転の妨げになり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 窓を閉めたまま蒸気が出る電気製品を使用しないでください。蒸気により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。
- 駐停車中に電気製品を使用するときは，つぎのことをお守りください。また，「駐停車するときは」も合わせてお読みください。→P. 7-5
  - 駐車ブレーキを確実にかけ，電動パーキングスイッチを押して，メーター内のセレクトポジション表示灯にⓅが点灯していることを確認してください。
    無意識にセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
  - 車庫や雪が積もった場所などでは，使用しないでください。排気ガスが車内に侵入して，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
  - 車外で使用する場合は，雨や雪で AC 電源が濡れないように注意してください。感電のおそれがあります。

アドバイス

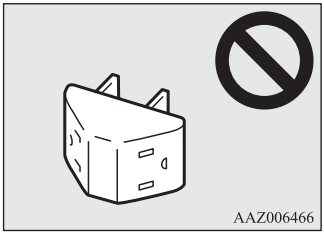
- 2 つの AC 電源を同時に使用するときは，消費電力の合計が1500Wを超えないようにしてください。

アドバイス

- アクセサリーソケットと同時に使用することができます。
  →「アクセサリーソケット」P. 8-3
- ラゲッジルームのAC電源は，アース付きプラグも使用できます。



- AC 電源にプラグアダプターなどを取り付けて使用しないでください。



- 医療機器のご使用は，絶対に避けてください。
- 振動や熱などに弱い電気製品を車内で使用しないでください。強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，電気製品が故障するおそれがあります。
- プラグタイプ以外のものが差し込まれたり，飲み物などがかかったりすると，故障したり，ショートする可能性があります。
- AC 電源を使わないときは，AC 電源スイッチを OFF にして，プラグを抜き取りフタを閉めてください。コンセントにたまったほこりにより，ショートするおそれがあります。
- つぎの場合はAC 電源を使用できません。
  - 駆動用バッテリーの残量表示が0のとき
  - 走行制限モード表示が点灯しているとき

アドバイス

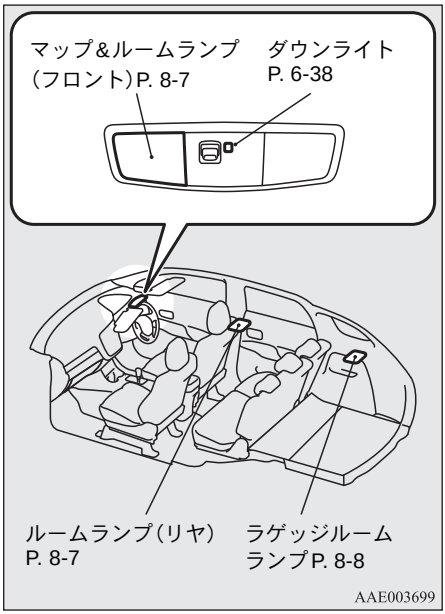
- つぎの場合は保護回路が働き，給電が停止することがあります。このとき，作動音がすることがありますが，異常ではありません。
  - 消費電力が 1500W を超える電気製品を使用したとき
  - 車内が高温または低温のとき
- AC電源が使用できないときや，給電が停止して自動で復帰しないときは，つぎの手順にしたがってください。
  1. 電気製品のプラグを抜きます。
  2. 駆動用バッテリーの残量を確認します。残量が少ない場合は，バッテリーチャージスイッチを使用するなどして，駆動用バッテリーを充電します。→「バッテリーチャージスイッチ」P. 7-35
     →「充電のしかた」P. 3-4，3-16
  3. READY（走行可能）表示灯が点灯していることを確認します。点灯していない場合は，プラグインハイブリッドEVシステムを起動して，再度READY（走行可能）表示灯を点灯させます。
  4. 車内が高温または低温の場合は，エアコンで適温に調整します。
  5. AC電源スイッチをONにします。
  6. スイッチ内の表示灯が点灯したことを確認して，電気製品のプラグを差し込みます。
- 消費電力が1500W以下でもつぎのような電気製品は正常に作動しないことがあります。
  - ピーク電力が発生する電気製品
  - 精密なデータを測定するような電気製品
  - 水平に設置しないと正常に作動しない電気製品
- 駆動用バッテリーやガソリンの残量など車両状態によっては，AC電源の出力が断たれ，電気製品の電源が切れることがありますので注意してください。
- 使用する電気製品によっては，ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。
- AC電源の電圧は，市販のテスターでは正確に測定できません。
  電圧の測定が必要な場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 使用する電気製品に付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

アドバイス

- 駆動用バッテリーの残量が少なくなると，自動的にエンジンが始動し充電を行います。駐停車中にエンジンが始動した場合，アイドリングストップに関する条例に触れ罰則を受けるおそれがあります。駐停車中の使用については，関係する自治体に確認してから使用してください。また，エンジンが始動した場合，ガソリンを消費するため，燃料切れを起こさないよう注意してください。
- 電源周波数について
  - 工場出荷時，車両の電源周波数は 50Hz に設定されています。
  - 電源周波数の切り換え (50/60Hz) のある製品を使用する場合は，車両の電源周波数に合わせておいてください。
  - 車両の電源周波数を切り換えたい場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

室内灯

J00900800739

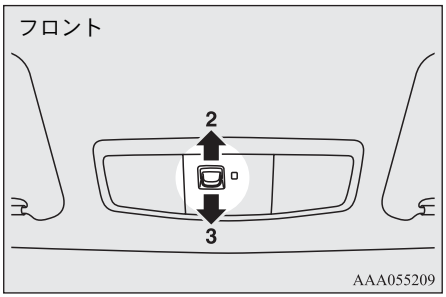


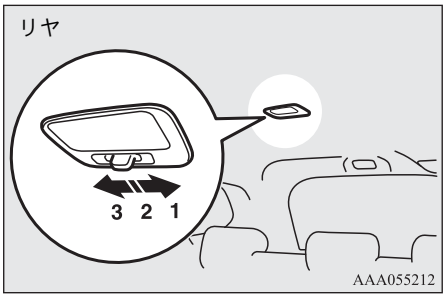
アドバイス

● READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長い間ランプを点灯させておくと，補機用バッテリーが上がることがあります。
車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

ルームランプ

J00900901577





スイッチ位置	点灯•消灯のしかた
1-ON(☼)	常時点灯
2-DOOR(•)	いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約15秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。 • パワースイッチの電源モードをONにしたとき • センタードアロックの機能を使って施錠したとき • キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき • キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

スイッチ位置	点灯•消灯のしかた
3-OFF(〇)	常時消灯

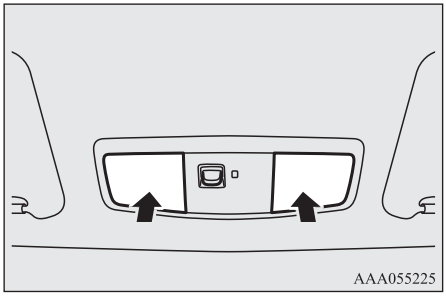
アドバイス

- ドアおよびテールゲートが閉まっているときに電源モードを OFF にすると点灯し，約15秒後に消灯します。
- 消灯までの時間を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

マップランプ

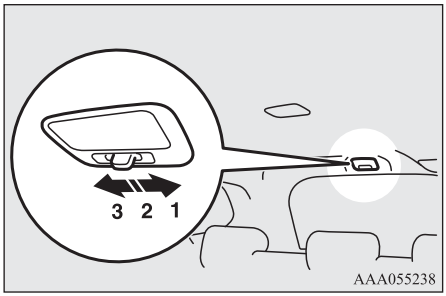
J00901200206

ルームランプのスイッチの位置に関係なくレンズを押すと押した側のランプが点灯し，もう一度押すと消灯します。



ラゲッジルームランプ

J00901500573



1-（⛆）
テールゲートの開閉に関係なく点灯します。
2-（•）
テールゲートを開けると点灯，閉じると消灯します。
3-（〇）
テールゲートの開閉に関係なく消灯します。

インテリアランプ*1 オートカット機能（自動消灯）

J00901700588

*1 マップ＆ルームランプなどの車内照明

- パワースイッチの電源モードが OFFの状態で，車内照明を点灯したままにすると，約30分後に照明が自動的に消灯します。
- 自動的に消灯した後，パワースイッチを操作したり，ドアまたはテールゲートの開閉やキーレスオペレーションシステムの操作をすると再び点灯します。

アドバイス

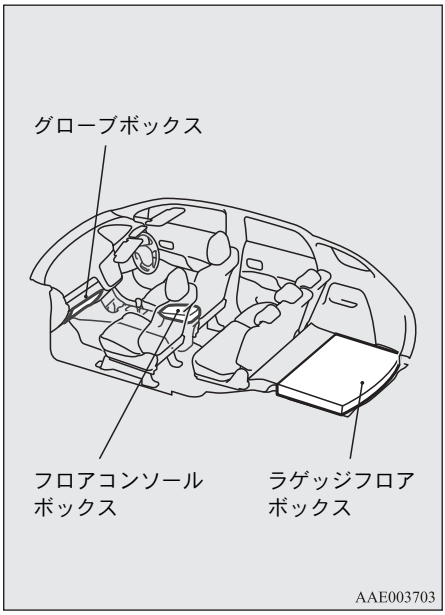
- インテリアランプオートカット機能（自動消灯）を働かなくすることができます。また，自動消灯までの時間を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

小物入れ

J00906700844

⚠注意

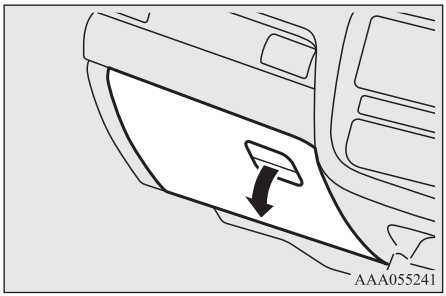
- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
  ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料などの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。
- 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。



グローブボックス

J00907200631

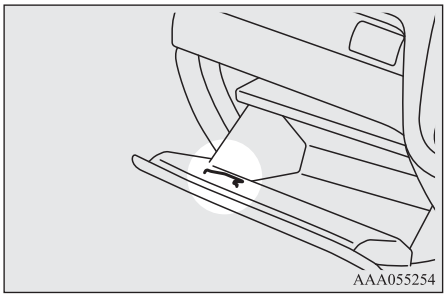
レバーを引くと開きます。



アドバイス

- ライトスイッチが ≡DOE, ≡D の位置のときまたは，ライトスイッチが AUTO の位置でランプ類が点灯しているときにグローブボックス内のランプが点灯します。

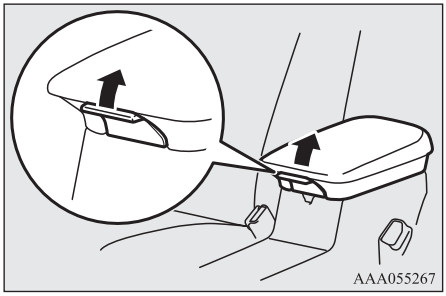
グローブボックスの内側にカードホルダーがあります。



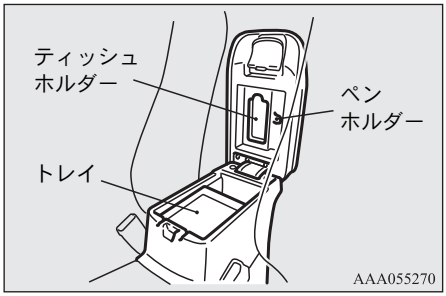
フロアコンソールボックス

J00908200263

レバーを引きながらフタを開けます。
フタはアームレストとしても使用できます。



フロアコンソールボックスのフタの内側にポケットティッシュやペンを収納することができます。



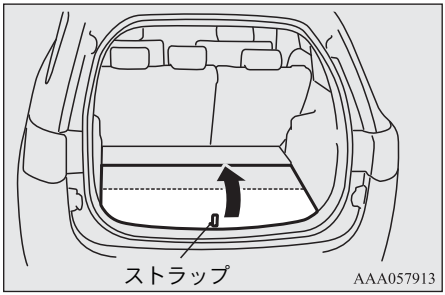
アドバイス

- フロアコンソールボックスの中にUSB入力端子があります。タイプ別装備
  詳しくは「USB 入力端子」をお読みください。→P. 10-2

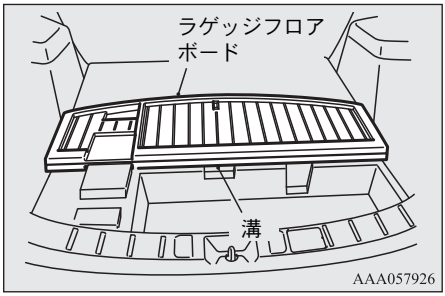
ラゲッジフロアボックス

J00912600167

ラゲッジフロアボードの下にラゲッジフロアボックスがあります。
手前側のボックスを使用するときは，ストラップを引き上げます。

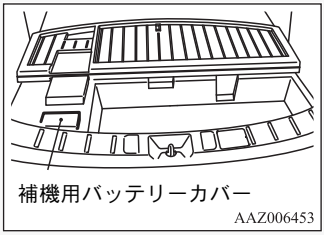


奥側のボックスを使用するときは，溝に手を入れ，ラゲッジフロアボードをシート側に倒します。



⚠警告

● **補機用バッテリーの上に物を置かないでください。バッテリーカバーが破損した場合，バッテリー液が漏れて皮膚についたり，目に入ると重大な傷害をおよぼすおそれがあります。**



カップホルダー

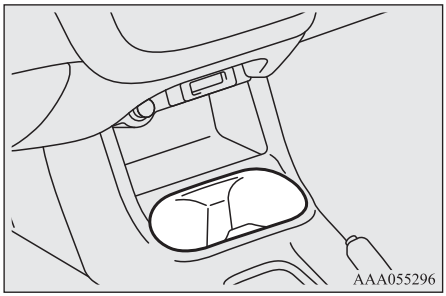
J00903800860

⚠注意

- 走行中は，飲み物を出し入れしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

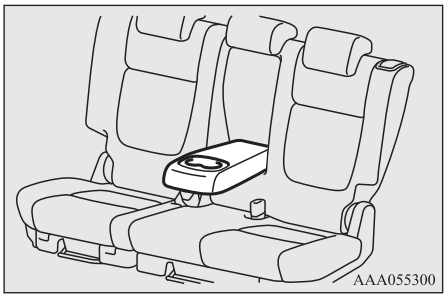
フロントシート用

フロアコンソールにカップホルダーがあります。



リヤシート用

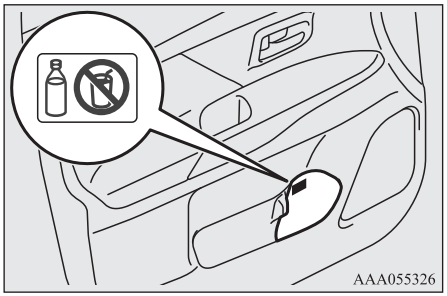
アームレストを倒すとカップホルダーがあります。→「アームレスト」P. 5-6



ボトルホルダー

J00905900315

ペットボトルなどを入れることができます。



⚠注意

- 走行中は，飲み物を出し入れしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

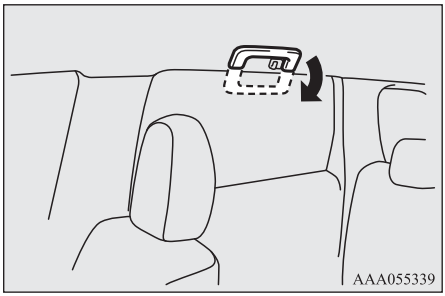
アドバイス

- カップや飲料缶を収納しないでください。
- ペットボトルなどはフタを確実に閉めて収納してください。
- ペットボトルの大きさ，形状によっては収納できないことがあります。

アシストグリップ

J00912900405

座ったときに手で身体を支えるためのグリップがあります。



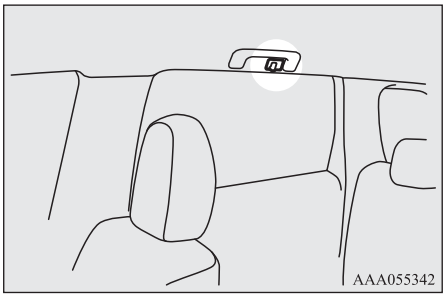
⚠注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

コートフック

J00909700193

運転席側のリヤシート用アシストグリップにコートフックがあります。



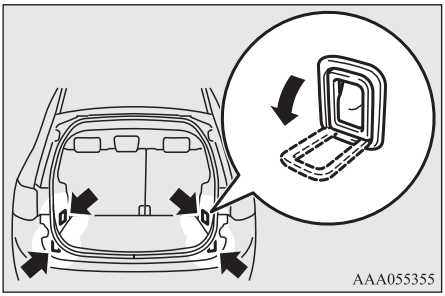
⚠警告

- **コートフックには，アクセサリーなどを取り付けたりしないでください。服をかけるときは，ハンガーを使用せずに直接コートフックにかけてください。**
  SRS カーテンエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

ラゲッジフック

J00905100489

荷室の側面にフックがあります。
荷物の固定用としてご使用ください。



⚠注意

● 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また，荷物は確実に固定してください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアマット

タイプ別装備

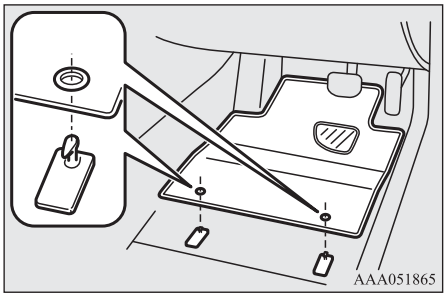
J00922800045

お客様のお車には，専用のフロアマットが設定されています。
フロアカーペットに装着されている固定クリップを使用し，つぎの手順で確実に固定してください。

固定のしかた

J00922900192

1. フロアマットを床の形状に合わせて敷きます。
2. フロアマットの取り付け穴に固定クリップを通し，確実に固定します。

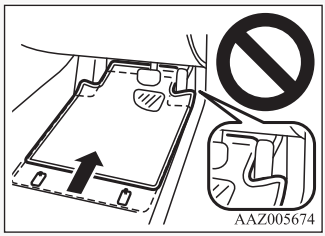


アドバイス

● 車種により，フロアマットの形状や固定クリップの数が異なる場合があります。詳しい固定方法はフロアマットの取扱説明書をお読みください。

⚠警告

- 運転席にフロアマットを敷くときは，つぎのことを必ずお守りください。お守りいただかないと，フロアマットがずれて各ペダルと干渉し，思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど重大な事故につながるおそれがあります。
  - 固定クリップを使用し確実に固定する
  - フロアマットを前後逆さまにしたり，裏返して使用しない
  - フロアマットでペダルをおおわない
  - フロアマットの上または下に，別のフロアマットを重ねて敷かない
  - アクセルペダルの下に敷かない
  - 三菱自動車純正フロアマットであっても，他車種または年式の異なるフロアマットを使用しない



- 運転する前につぎのことを確認してください。
  - フロアマットがすべての固定クリップで正しく固定されていることを定期的に確認し，車内の清掃などでフロアマットを取り外した後は必ず確認する
  - READY（走行可能）表示灯消灯時およびメーター内のセレクトポジション表示灯にⓅが点灯しているときに，各ペダルをいっぱいに踏み込み，フロアマットと干渉がなく運転に支障がないことを確認する

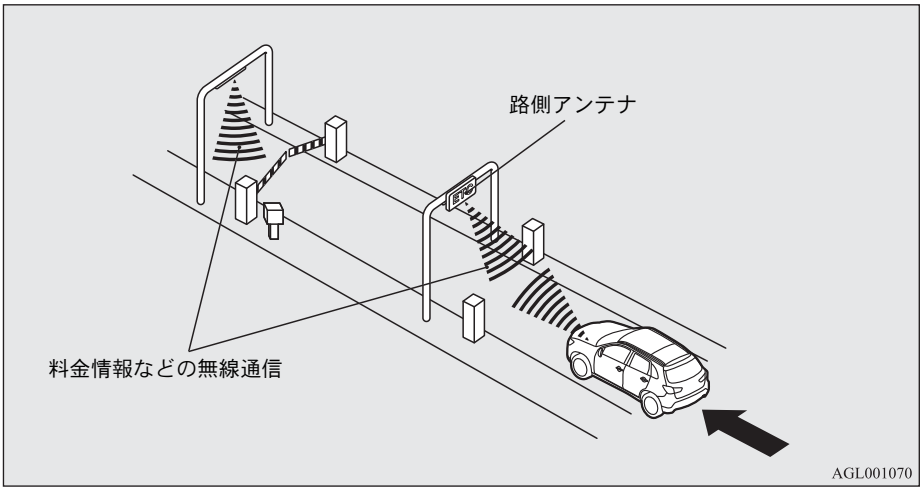
ETC

タイプ別装備

J00909900052

ETCシステムについて

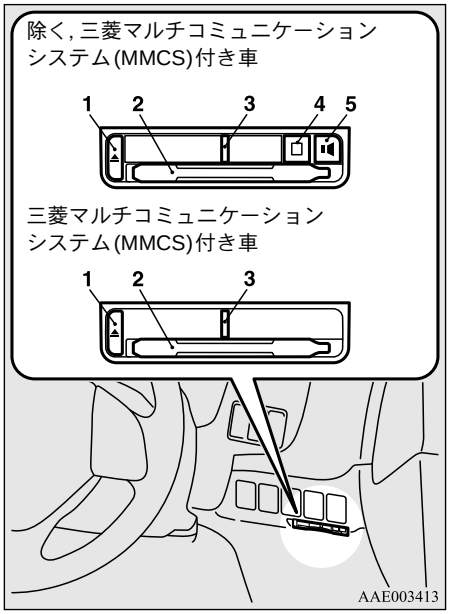
ETC (Electronic Toll Collection) システムは，有料道路の料金を自動で精算し，料金所の通過をスムーズに行うためのシステムです。
料金所に設置された路側アンテナと，車両に装着したETC車載器との間で，料金情報などの無線通信を行い自動的に料金の精算を行います。



各部の名称

J00910100054

◆ ETC車載器

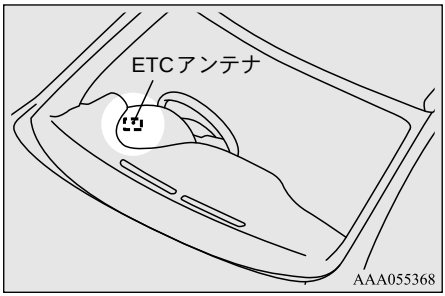


1- ETCカード取り出しボタン
2- ETCカード差し込み口
3- 作動表示灯
4- 利用履歴確認ボタン
5- 音量調整ボタン

⚠注意

- ETC 車載器は精密な電子機器部品です。故障や火災，感電の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 分解，改造をしない
  - 異物を内部に入れない
  - ぬれた手で操作しない
  - 水やジュースなどをこぼさない

◆ ETCアンテナ



アドバイス

- ETC アンテナ付近に物を置かないでください。通信エラーの原因になります。

ETC を初めて利用するための準備

J00910000024

ETCを利用するには，事前にETCカードの発行と，ETC 車載器のセットアップをしておく必要があります。

◆ ETCカードの発行

ETC カードの発行には，お客様ご自身によるお申し込みが必要です。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ ETC車載器のセットアップ

正しく通行料金を精算するため，ナンバープレートなどお客様のお車の情報をETC車載器に登録する必要があります。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 一度セットアップをした後でも住所変更によりナンバープレートが変わる場合など再度セットアップが必要になることがあります。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

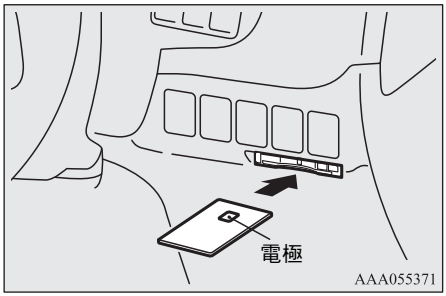
ETCを利用するときは

J00910300098

ETCは，ETC車載器にETCカードを差し込み，料金所に設置されたETCゲートを通過することにより利用することができます。
カードの挿入状態やETC車載器と料金所の間での通信状態を，作動表示灯と音声案内で運転者に知らせます。
三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS) 付き車は，案内のしかたが異なります。詳しくは，別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ 運転する前に

1. パワースイッチの電源モードをONにします。
   ブザーが鳴った後「カードを入れてください」と音声で案内します。
2. ETC 車載器の作動表示灯が橙色に点灯したことを確認します。
3. ETC カード取り出しボタンが押し込まれていることを確認し，図の方向でETC カードを ETC 車載器に差し込みます。



⚠注意

- ETC カード取り出しボタンが押し込まれていない状態で，無理にETC カードを差し込まないでください。ETC 車載器およびETC カードが破損するおそれがあります。

4. ブザーが鳴った後「カードを確認しました」と音声で案内します。
   ETC 車載器の作動表示灯が橙色から緑色に切り換わったことを確認します。
   これで運転する前の準備は完了です。

⚠注意

- ETC カードには有効期限があります。使用する前に必ず有効期限を確認してください。
- ETCカードをETC車載器に差し込んだ後，作動表示灯が橙色から緑色に切り換わるまではETC カードを取り出さないでください。
  ETC カードまたはカード内のデータが破損するおそれがあります。

◆ 料金所を通過するときは

ETCゲートを通過します。
出口ETCゲートを通過するときは，必ず入り口で使用したETCカードで通行してください。

⚠注意

- ETC 車線を走行するときはつぎのことを必ず守り，安全を確認しながら運転してください。
  - 前の車との車間距離を十分にとる
  - 20km/h以下の速度で走行する
  - 開閉バーの手前では安全に停車できるように十分に減速する
  - 開閉バーが開いたことを確認してから通過する
- 料金所付近では ETC 車載器から ETC カードを抜いたり，差し込んだりしないでください。
  ETC カード内のデータが破損したり，通信エラーの原因となります。
- 開閉バーが開かないなどの理由により ETC 車線内で停車したときは，後ろから他の車両が近づいている場合があるため，絶対に車をバックさせないでください。
  インターホンなどで係員を呼び，指示にしたがってください。

通行できるとき

- ETC 車載器の作動表示灯は緑色に点灯したまま，ブザーが鳴った後，「通行できます」と音声で案内します。
- 出口料金所を通過すると「〇〇〇円利用しました」または「払い戻し料金は〇〇〇円です」と音声で案内します。

アドバイス

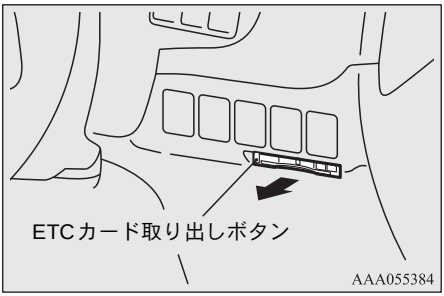
- 音声で案内される通行料金は，割り引きなどにより実際と異なる場合があります。

通行できないとき

ETC 車載器の作動表示灯は緑色に点灯したまま，ブザーが鳴った後，「通行できません」と音声で案内します。
停車して料金所係員の指示にしたがってください。

◆ 車から離れるときは

1. 安全な場所に停車します。
2. ETC 車載器の作動表示灯が緑色に点灯していることを確認します。
3. ETC カード取り出しボタンを押して，ETCカードを取り出します。



⚠注意

- ETC車載器からETCカードを取り出すときは，必ずETCカード取り出しボタンを押してください。
  無理に引き抜くとETCカードやETC車載器が破損するおそれがあります。
- ETCカードをETC車載器に入れたままにしたり，車内に放置したまま車から離れたりしないでください。
  炎天下の車内は高温になり，ETC カードが変形したり，ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

ETCカード抜き忘れ警告ブザー

ETC車載器にETCカードを差し込んだままパワースイッチの電源モードをOFFにすると，ETC カード抜き忘れ警告ブザーが鳴り，ETC カードの抜き忘れを知らせます。

アドバイス

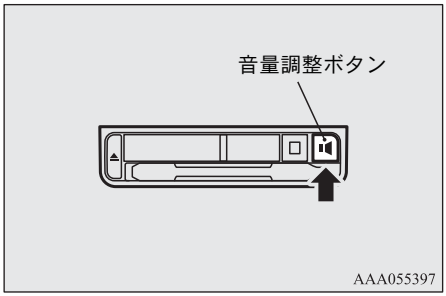
- ETCカードをETC車載器に入れたままパワースイッチの電源モードを ON または ACCにすると，ETCカード抜き忘れ警告ブザーが鳴ることがあります。

音量を調整するときは

J00910500032

除く，三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車

ブザーおよび音声案内の音量を 4 段階に調整することができます。
音量調整ボタンを押すごとに「0 番」（消音）→「1番」（小）→「2番」（中）→「3番」（大）→「0番」（消音）の順に切り換わり，設定状態を音声（例：「0番」「1番」）で案内します。



アドバイス

- 工場出荷時，音量は「2 番」（中）に設定されています。
- 音量を「0番」（消音）に設定していても，ETC車載器やETCカードに異常が発生した場合は，ブザーが鳴り，音声案内で運転者に異常を知らせます。

三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車

音声案内の音量を調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

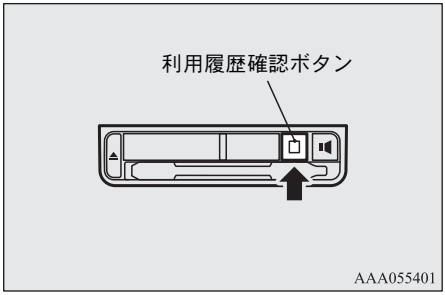
- ブザーの音量を調整することはできません。

利用履歴を確認するときは

J00910600046

除く，三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車

利用履歴確認ボタンを押すと，つぎの通り音声で案内します。



◆ ETC車載器にETCカードが差し込まれていないとき

ETC 車載器に記録されている現在までにETC を利用した料金の合計を，音声で案内します。

アドバイス

- 料金の合計は 999,999 円まで記録できます。
- 利用履歴ボタンを 3 秒以上押し続けると料金の記録は消去され，「累積 0 円です」と音声で案内します。

◆ ETC車載器にETCカードが差し込まれているとき

ETC システムを利用した日付および通行料金を音声で案内します。
利用履歴確認ボタンを押すごとに，日付の新しい履歴から順に音声で案内します。

アドバイス

- 利用日と通行料金の利用履歴はETCカードに記録されています。
  記録できる件数はETCカードにより異なります。
- 利用履歴が登録されていない場合は，「履歴はありません」と音声で案内します。
- いったん利用履歴ボタンの操作をとめて，2秒以上経過後に再度利用履歴ボタンを押すと最新の利用履歴を音声で案内します。
- 一番古い利用履歴の案内をした後に利用履歴確認ボタンを押すと「履歴はありません」と音声で案内します。

三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車

詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

エラーコード

J00910800110

使用中にエラーが発生すると，ブザーの後エラーコードを音声で案内するとともに作動表示灯が点灯または点滅します。下表で内容を確認し処置してください。
処置しても再度エラーが発生するときや，たびたびエラーが発生するとき，または下表以外のエラーが発生したときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，案内のしかたが異なります。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

音声案内	ブザー	作動表示灯（橙色）の状態	エラーの内容と処置方法
コード01：カードを確認してください	ピー	1回点滅します。	ETCカードが正しく差し込まれていません。ETCカードが正しく差し込まれているかを確認し再度差し込んでください。
コード02：カードを確認してください	ピーピーピー	2回点滅します。	● ETC車載器にETCカードを差し込んだとき 差し込まれたETCカードのデータが読み出せていません。再度ETCカードを差し込んでください。再度エラーが発生するときは三菱自動車販売会社にご連絡ください。 ● ETC利用時 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。停車して料金所係員の指示にしたがってください。
コード03：カードを確認してください	ピー	3回点滅します。	差し込んだカードがETCカードであることを認識できていません。差し込んだカードや差し込み方向に間違いがないかを確認し，再度ETCカードを差し込んでください。 再度エラーが発生するときは，ETCカード発行会社にご相談ください。
コード04：ETCを利用できません	ピー	4回点滅します。	ETC車載器が故障しています。三菱自動車販売会社にご相談ください。

音声案内	ブザー	作動表示灯（橙色）の状態	エラーの内容と処置方法
コード05：カードを確認してください	ピー	約1秒間点灯してから消灯します。	差し込んだカードがETCカードであることを認識できていません。差し込んだカードや差し込み方向に間違いがないかを確認し，再度ETCカードを差し込んでください。 再度エラーが発生するときは，ETCカード発行会社にご相談ください。
コード06：ETCを利用できません	ピーピーピー	約1秒間点灯し，その後1回点滅します。	ETC車載器と料金所の間でデータ処理にエラーが発生しています。料金所係員の指示にしたがってください。 たびたびエラーが発生するときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
コード07:	ピーピーピー	長めに1回点灯してから消灯し，その後2回点滅します。	
コード09:	ピー	長めに1回点灯してから消灯し，その後4回点滅します。	ETC車載器が故障しています。 三菱自動車販売会社にご相談ください。
コード10:	ピー	2回連続で点灯してから消灯します。	

アドバイス

- 作動表示灯は，約1分間点滅を繰り返してから消灯します。
- エラーが発生したときは，音量調整ボタンを押して音量を「0 番」（消音）に設定していても，ブザーが鳴り音声案内で運転者に異常を知らせます。

故障かなと思ったら

J00910900049

下表で内容を確認し処置してください。
処置しても元に戻らないときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

現象	処置
パワースイッチの電源モードをONにしたとき, 作動表示灯が緑色または橙色に点灯しない	三菱自動車販売会社にご相談ください。
作動表示灯が橙色に点灯する	ETC車載器にETCカードが差し込まれているか確認し, 再度ETCカードを差し込んでください。
作動表示灯が橙色に点滅する	エラーコードの内容を確認し処置してください。 →「エラーコード」P. 8-22 たびたびエラーが発生するときは, 三菱自動車販売会社にご相談ください。
料金所の開閉バーが開かない	停車して料金所係員の指示にしたがってください。その後, ETCアンテナの周囲に電波をさえぎる物がないか確認してください。
ETC車載器にETCカードを差し込むことができない	ETC車載器に異物が入ったときは, 異物を取り除いてください。 ETCカードが変形したときは, 無理に差し込まずETCカード発行会社に再発行を申請してください。
ETC車載器からETCカードが取り出せない	無理にETCカードを引き抜かずに三菱自動車販売会社にご相談ください。 取り出したETCカードが変形しているときは, ETCカード発行会社に再発行を申請してください。
請求金額が音声案内の内容と異なる	利用履歴確認ボタンでETCカードの履歴を確認してください。 →「利用履歴を確認するときは」P. 8-21 料金についてはカード発行会社にお問い合わせください。
ETC車載器から異音がする	三菱自動車販売会社にご相談ください。
音声案内の内容がおかしい	利用履歴確認ボタンと, 音量調整ボタンを同時に3秒以上押し続けてください。 音声案内の内容が元に戻らないときは, 三菱自動車販売会社にご相談ください。

リンクシステム

タイプ別装備

J00964900169

リンクシステムとは，USB 入力端子や Bluetooth® 2.0 インターフェースで接続したデバイスを，車両に装備されているスイッチや音声コマンドを使って操作するシステムです。
操作方法についてはつぎの項をご覧ください。
→「Bluetooth® 2.0 インターフェース」P. 8-25
→「USB 入力端子」P. 10-2
Bluetooth® は BLUETOOTH SIG, INC. の登録商標です。

アドバイス

- 「ディスプレイオーディオ -タッチパネル付きAM/FMラジオ＆CD プレイヤー-」付き車，または「三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS)」付き車は，別冊の各取扱説明書をご覧ください。

エンドユーザー向け使用許諾契約

J00969000022

三菱自動車工業株式会社のソフトウェア使用許諾のある対応デバイスは，Johnson Controls, Inc.（オートモーティブシステムズ事業）およびその第三者供給業者から入手しています。第三者供給業者の製品リストおよびエンドユーザー向け使用許諾契約はつぎのウェブサイトをご確認ください。
www.mitsubishilinksystem.jp/faq/fulldisclosure.pdf

Bluetooth® 2.0 インターフェース

タイプ別装備

J00965000167

ハンズフリー Bluetooth® 2.0 インターフェースシステムは，Bluetooth® 対応携帯電話を使って車内でのハンズフリー通話を可能にします。
このシステムは音声認識機能を備えており，音声コマンドによる操作と簡単なスイッチ操作でハンズフリー通話が可能です。また，Bluetooth® 対応音楽プレーヤー内に保存された楽曲を，車両スピーカーを使って再生することができます。

Bluetooth ® 2.0 インターフェースは，パワースイッチの電源モードが ON または ACCのときに使用できます。

Bluetooth® 2.0 インターフェースを使用する前に，必ず Bluetooth® 対応デバイスと Bluetooth® 2.0 インターフェースのペアリングを行ってください。→「Bluetooth® 2.0 インターフェースと Bluetooth® 対応デバイス（機器）の接続のしかた」P. 8-31

Bluetooth® は BLUETOOTH SIG, INC. の登録商標です。

⚠警告

- **Bluetooth® 2.0 インターフェースはハンズフリー通話を可能にしますが，運転中に携帯電話を使用するときは，注意がおろそかになり安全運転を怠ることのないようにしてください。携帯電話の使用やその他の「ながら運転」は，注意がおろそかになり，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

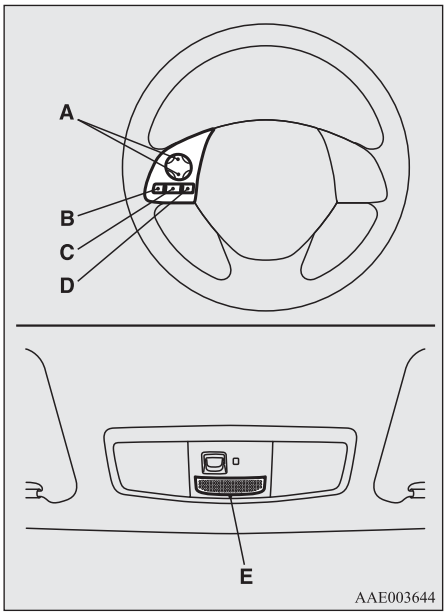
アドバイス

- パワースイッチの電源モードがACCの状態のまま一定時間が過ぎると，アクセサリーの電源が自動的に切れ，Bluetooth® 2.0 インターフェースが使用できなくなります。自動的に電源が切れた後，パワースイッチを操作すると，再びアクセサリーの電源が入ります。→「ACC 電源オートカット機能」P. 7-17
- Bluetooth® 2.0 インターフェースは，Bluetooth® 対応デバイスの電池が切れていたり電源が入っていないと一部の機能が使用できません。
- 携帯電話が使用できないときは，ハンズフリー通話も使用できません。
- Bluetooth® 2.0 インターフェースと互換性のない Bluetooth® 対応デバイスもあります。
- オンフックボタンを 10 秒以内に 3 回押す（2 回長押ししてから，1 回短く押す）ことにより，リンクシステム（Bluetooth® 2.0 インターフェース）のソフトウェアのバージョンを確認できます。
- Bluetooth® 2.0 インターフェースの詳細情報については，三菱自動車ホームページ内（www.mitsubishi-motors.co.jp/support/accessory/bluetooth/）の，Johnson Controls, INC.「リンクシステム」ページからご覧いただけます。
  三菱自動車以外のウェブサイトへ接続しますので，表示される注意事項にご同意の上ご覧ください。
- ご使用の携帯電話や音楽プレーヤーのソフトウェアを更新すると，Bluetooth® 2.0 インターフェースとの接続性が変化することがあります。

ステアリングコントロールスイッチおよびマイク →P. 8-26
音声認識機能 →P. 8-27
便利な音声コマンド →P. 8-28
音声認識学習機能 →P. 8-29
Bluetooth® 2.0 インターフェースと Bluetooth® 対応デバイス（機器）の接続のしかた →P. 8-31
ハンズフリー通話のしかた →P. 8-35
電話帳機能 →P. 8-38

ステアリングコントロールスイッチおよびマイク

J00969100108



A- 音量調整ボタン
　▲音量が増加
　▼音量が減少
B- 発話ボタン
C- オフフックボタン
D- オンフックボタン
E- マイク

◆ 発話ボタン

- ボタンを押すと音声認識モードになります。
- 音声認識モードのときにボタンを短く押すと，音声コマンド入力が可能になります。
  長く押すと音声認識モードを終了します。
- 通話中にボタンを短く押すと音声認識モードになり，音声コマンド入力が可能になります。

◆ オフフックボタン

- 着信時にボタンを押すと電話を受けます。
- 通話中に別の着信が入ったときにボタンを押すと，最初に通話していた相手との通話を保留状態にし，新たな着信者との通話に切り換わります。
  - この状態でボタンを短く押すと，通話相手が切り換わります。最初に通話していた相手との通話になり，もう一方の相手は保留状態になります。
  - この状態から三者通話にするためには，発話ボタンを押して音声認識モードにし「三者通話」と言います。

◆ オンフックボタン

- 着信時にボタンを押すと着信を拒否します。
- 通話時にボタンを押すと現在の通話を切ります。他の電話が保留状態の場合，保留中の相手に切り換ります。
- 音声認識モードのときにこのボタンを押すと，音声認識モードが終了します。

アドバイス

- 携帯電話がBluetooth® 2.0インターフェースに接続されていると，発話ボタンを押して音声認識モードにしたとき「携帯電話のバッテリー残量」,「電波の強さ」,「ローミングサービス中」といった携帯電話の現在の情報が車両側のディスプレイに表示されます。*
  *: 携帯電話によっては，この情報をBluetooth® 2.0 インターフェースに送れないものがあります。
- 通話中着信や三者通話は，使用している携帯電話がそれらのサービスを利用できる場合にのみ，Bluetooth® 2.0 インターフェースで操作できます。

◆ マイク

あなたの音声は，マップ＆ルームランプ（フロント）内のマイクで認識され，ハンズフリー通話が可能になります。

アドバイス

- 携帯電話をマイクに近づけると，通話音声にノイズが発生することがあります。このときは，携帯電話をマイクからできるだけ離してください。

音声認識機能

J00969200037

Bluetooth® 2.0 インターフェースには音声認識機能が装備されています。
音声コマンドを入力することで，ハンズフリー操作やハンズフリー通話が可能になります。

Bluetooth® 2.0インターフェースは，日本語，英語，スペイン語，フランス語の音声認識が可能です。

アドバイス

- あなたが発声した音声コマンドがあらかじめ定義されたコマンドと異なっていたり，周囲の雑音などで認識できない場合は，Bluetooth® 2.0インターフェースは最大3回まで音声コマンドを聞き返します。
- 音声認識機能の性能をより良く発揮できるように，音声認識機能が作動している間は車両の窓を閉めたり，エアコンの風量を弱めたり，同乗者との会話を控えるなど周囲の騒音を減らしてください。
- いくつかの音声コマンドには，別の音声コマンド（代替コマンド）があります。
  →「代替コマンド一覧表」P. 8-44

◆ 言語切り換え設定

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「言語」と言います。

4.「英語，フランス語，スペイン語，日本語から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，選択したい言語を言ってください。(例：「日本語」)
5.「日本語が選択されました。よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
「いいえ」と答えると，手順 4. に戻ります。

アドバイス

- 音声ガイドは同じアナウンスを 2 回言います。1度目は現在の言語で，2度目は選択した言語で言います。
- 電話帳の登録件数が多いときは，言語の切り換えに時間がかかります。
- 言語を切り換えると携帯電話帳に取り込んだ電話帳が利用できなくなります。新しく選択した言語で使用したい場合は，再度携帯電話から電話帳を取り込んでください。

6.「日本語が選択されました。」と音声ガイドが流れたら言語切り換えは完了し，メインメニューに戻ります。

便利な音声コマンド

J00969300025

◆ ヘルプ機能

J00969400039

Bluetooth® 2.0 インターフェースにはヘルプ機能が装備されています。
音声コマンドの入力受付時に「ヘルプ」と言うと，その状況で利用できるコマンドを音声で教えてくれます。

◆ キャンセル

J00969500027

2つのキャンセル機能があります。
メインメニューのときに「キャンセル」と言うと，Bluetooth® 2.0インターフェースが終了します。
それ以外のときに「キャンセル」と言うと，メインメニューに戻ります。

◆ 確認機能の設定

J00969600028

Bluetooth® 2.0 インターフェースには確認機能が装備されています。
確認機能を有効にするとさまざまなBluetooth® 2.0 インターフェースの設定を行うときに，通常より多くの確認する機会が得られます。これによって誤って設定を変更する可能性を下げることができます。確認機能の有効/無効は以下の方法で行います。

1. 発話ボタンを押します。
2.「設定」と言います。
3.「確認設定」と言います。
4.「確認機能は，有効（無効）です。確認機能を無効（有効）にしますか？」と音声ガイドが流れます。
切り換えたい場合は「はい」，現在の設定のままでよいのなら「いいえ」と答えてください。
5.「確認機能は，無効（有効）です。」と音声ガイドが流れた後，メインメニューに戻ります。

◆ セキュリティー機能

J00969700087

Bluetooth® 2.0 インターフェースは，セキュリティー機能として任意の暗証番号を設定することができます。
セキュリティー機能を有効にすると，電話を受ける以外の Bluetooth® 2.0 インターフェースの各機能を使用するために任意の 4 桁の暗証番号の音声入力が必要になります。

暗証番号の設定

以下の方法で暗証番号を設定することによって，セキュリティー機能を有効にします。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「暗証番号」と言います。
4. 「暗証番号は無効です。有効にしますか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
   「いいえ」と答えると，暗証番号の設定をやめてメインメニューに戻ります。
5. 音声ガイドが「4 桁の暗証番号を言ってください。」と言います。
   暗証番号に設定したい4桁の数字を言います。
6. 確認のため「暗証番号は〇〇〇〇です。よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
   「いいえ」と答えると手順5の暗証番号の入力に戻ります。
7. 暗証番号の登録が終了すると「暗証番号は有効です。」と音声ガイドが流れて，メインメニューに戻ります。

アドバイス

- 再度プラグインハイブリッド EV システムを起動し，発話ボタンを押した後に，暗証番号が要求されます。
- 設定した暗証番号が実際にリンクシステムに記録されるのは，READY（走行可能）表示灯が消灯した後しばらくしてからです。
  READY（走行可能）表示灯が消灯した後，すぐにパワースイッチの電源モードを ACC や ON にしたり，プラグインハイブリッドEVシステムを起動すると，設定した暗証番号がリンクシステムに記録されないときがあります。そのときは再度暗証番号を設定しなおしてください。

暗証番号の入力

暗証番号の設定を行ってセキュリティー機能を有効にしていると，発話ボタンを押して音声認識モードにしたときに，「システムをロックしています。解除するには，暗証番号を言ってください。」と音声ガイドが流れますので，暗証番号の4桁の数字を言って暗証番号を入力してください。
入力した暗証番号が間違っていると「暗証番号が間違っています。もう一度暗証番号を言ってください。」と音声ガイドが流れますので，正しい暗証番号を入力してください。

アドバイス

- 暗証番号の再入力は何度でも可能です。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

暗証番号の消去

以下の方法で暗証番号を消去することによって，セキュリティー機能を無効にします。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「暗証番号」と言います。
4. 「暗証番号は有効です。無効にしますか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
   「いいえ」と答えると，暗証番号の消去をやめてメインメニューに戻ります。
5. 暗証番号の消去が終了すると「暗証番号は無効です。」と音声ガイドが流れて，メインメニューに戻ります。

音声認識学習機能

J00969800020

Bluetooth® 2.0 インターフェースは 1 言語につき 1 人まで音声認識学習機能に

よって音声モデルを作ることができます。
これにより，Bluetooth® 2.0　インターフェースがあなたの声を認識しやすくなります。
音声認識学習機能によって登録された音声モデルは任意に有効/無効にできます。

◆ 音声認識学習の方法

J00969900089

音声認識学習の一連の操作には2～3分ほどかかります。より良い成果を出すために，一連の操作を運転席に座りながら，周りはできるだけ静かな状態で行ってください。操作の妨げにならないように，音声認識学習の間は携帯電話の電源を切ってください。
音声認識学習は以下の方法で行います。

1. 車を安全な場所に止めて駐車ブレーキを確実にかけ，電動パーキングスイッチを押します。

アドバイス

- 停車していないと音声認識学習をすることはできません。必ず安全な場所に車を止めてから，音声認識学習を行ってください。

2. 発話ボタンを押します。
3. 「音声認識学習」と言います。
4. 「この操作は停車時のみ行えます。また，静かな環境で行ってください。操作に関しては取扱説明書にある学習用フレーズのリストを確認してください。準備ができましたら，発話ボタンを押してください。キャンセルするにはオンフックボタンを押してください。」と音声ガイドが流れます。
   発話ボタンを押すと音声認識学習が始まります。

アドバイス

- 3 分 以内に音声認識学習を始めなかった場合は，一旦音声認識学習機能を停止します。「音声認識学習は時間切れになりました。」と音声ガイドが流れ，音声認識モードを終了します。

5. 音声ガイドがフレーズ1を指示しますので，表「音声認識学習フレーズ」P. 8-45 の対応するフレーズを読んでください。
   あなたの音声を登録してつぎの音声コマンドの登録に移ります。すべてのフレーズが登録されるまで操作を続けてください。

アドバイス

- 操作の間オンフックボタンを押すといつでも，音声認識学習を終了します。

6. 音声コマンドを全て読みあげると「音声認識学習を完了しました。」と音声ガイドが流れた後，音声認識学習を終了し，メインメニューに戻ります。

アドバイス

- 音声認識学習を行うと，自動的に音声モデルが有効になります。
- 音声認識学習中は「ヘルプ」および「キャンセル」コマンドは機能しません。

◆ 音声モデルの有効／無効と再登録

J00970000022

音声認識学習機能によって登録された音声モデルは有効／無効にすることができます。
また，再登録を行うこともできます。
これらは以下の方法で行います。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「音声認識学習」と言います。
3. すでに音声認識学習を1回でも行ったことがある場合，「音声認識学習は有効です。無効，または，やり直しを選択してください。」または「音声認識学習は無効です。有効，または，やり直しを選択してください。」と音声ガイドが流れます。
4. 音声認識学習が有効のときは音声モデルは有効，無効のときは音声モデルは無効になっています。お好みの状態になる様に選択してください。
   また，「やり直し」を選択すると音声認識学習が開始され，音声モデルを新しく再登録できます。(「音声認識学習の方法」をお読みください。→P. 8-30)

Bluetooth® 2.0 インターフェースと Bluetooth® 対応デバイス（機器）の接続のしかた

J00970100153

Bluetooth® 2.0 インターフェース機能を使ってハンズフリー通話をしたり音楽を再生する前に，Bluetooth® 対応デバイスと Bluetooth® 2.0 インターフェースのペアリングを行ってください。

アドバイス

- ペアリングの作業が必要なのは最初の 1 回のみです。1 度ペアリングを済ませた Bluetooth® 対応デバイスは，次回からは車内に持ち込むだけで Bluetooth® 2.0 インターフェースと自動的につながります。（対応デバイスのみ）

Bluetooth® 2.0 インターフェースには最大 7 台の Bluetooth® 対応デバイスをペアリングすることができます。車内に複数のペアリング済み Bluetooth® 対応デバイスがあるときは，一番最近接続された携帯電話または音楽プレーヤーが自動的に Bluetooth® 2.0 インターフェースと接続されます。

接続する Bluetooth® 対応デバイスは変更することができます。

◆ ペアリングするときは

Bluetooth® 対応デバイスを Bluetooth® 2.0 インターフェースにペアリングするにはつぎの手順にしたがってください。

アドバイス

- ペアリングについての詳細は，三菱自動車のホームページをご覧ください。

1. 車を安全な場所に止めて駐車ブレーキを確実にかけ，電動パーキングスイッチを押します。

アドバイス

- Bluetooth® 対応デバイスと Bluetooth® 2.0 インターフェースは停車時しかペアリングできません。両者をペアリングする前に，安全な場所に停車していることを確認してください。

2. 発話ボタンを押します。

3.「設定」と言います。
4.「ペアリング設定」と言います。
5.「ペアリング，編集，削除，リストから選択してください。」と音声ガイドが流れるので，「ペアリング」と答えてください。

アドバイス

● 既に 7 台のデバイスをペアリング済みのときは，音声ガイドが「デバイスの登録件数は最大です。」と言って，ペアリング作業が終了します。新しいデバイスを登録するときは，1台削除してからペアリングの作業をやり直してください。
（「デバイスの削除」をお読みください。→P. 8-33）

6.「4 桁のピンコードを言ってください。」と音声ガイドが流れたら，4桁の数字を言ってください。
確認機能が有効なときは，その数字でよいかを確認します。「はい」と言います。
「いいえ」と答えるとピンコード選択に戻ります。

アドバイス

● 特定のピンコードが必要な Bluetooth® 対応デバイスもあります。ピンコードについては，対応デバイスの取扱説明書を参照してください。
● ここで入力されたピンコードは Bluetooth® 接続認証としてのみ使用されます。このコードはユーザーが任意に選択した 4 桁の数字です。このピンコードは Bluetooth® 対応デバイスのペアリング作業の際に必要となりますので覚えておいてください。
Bluetooth® 対応デバイスの接続設定によっては，Bluetooth® 対応デバイスを Bluetooth® 2.0 インターフェースに接続する度にこのコードを入力しなければならない場合があります。接続の初期設定についてはデバイスの取扱説明書を参照してください。

7.「デバイスでペアリングを開始してください。操作手順はデバイスの取扱説明書を確認してください。」と音声ガイドが流れますので，手順6で登録した4桁のコードを Bluetooth® 対応デバイスに入力してください。

アドバイス

● Bluetooth® 対応機器によりペアリング操作に時間がかかることがあります。
● Bluetooth® 2.0 インターフェースが Bluetooth® 対応デバイスを認識できないと，「ペアリングが時間切れになりました。」と音声ガイドが流れてペアリング操作がキャンセルされます。
ペアリングしようとしているデバイスが Bluetooth® 対応かどうか確認し，ペアリングをやり直してください。
● 入力した数字が間違っていると，「ペアリングに失敗しました。」と音声ガイドが流れ，ペアリング操作がキャンセルされます。
数字が正しいか確認し，ペアリングをやり直してください。

8. 音声ガイドが「デバイス名をどうぞ。」と言います。Bluetooth® 対応デバイスに好みの名前をつけて，デバイス名として登録する事ができます。ビープ音がなったら，登録したい名前を言ってください。

アドバイス

● 確認機能が有効なときは，デバイス名を復唱し「よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
デバイス名を変更したいときは「いいえ」と答えてから再度デバイス名を言ってください。

9.「ペアリングを完了しました。」と音声ガイドが流れてペアリング作業は終了です。

◆ デバイスの選択

J00970200024

車内に複数のペアリング済み Bluetooth® 対応デバイスがあるときは，一番最近接続された携帯電話または音楽プレーヤーが，自動的に Bluetooth® 2.0 インターフェースと接続されます。
その他の携帯電話や音楽プレーヤーに接続するときはつぎの設定変更手順にしたがってください。

携帯電話を選択するときは

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「電話選択」と言います。
4. ペアリング済みの携帯電話のデバイス名とデバイス番号を順番に読みあげた後，最後に「選択してください。」と音声ガイドが流れます。
   接続したい携帯電話のデバイス番号を言ってください。

アドバイス

- 確認機能が有効なときは，接続したい携帯電話が正しいか再度確認されます。「はい」と答えると，携帯電話が接続されます。
  「いいえ」と答えると，手順4. に戻ります。
- システムが携帯電話のデバイス名とデバイス番号をすべて読みあげ終わる前でも，発話ボタンを押してデバイス番号を言うといつでも携帯電話を接続することができます。

5. 選択された携帯電話が Bluetooth® 2.0 インターフェースに接続されます。
   「＜デバイス名＞を選択しました。」と音声ガイドが流れた後，メインメニューに戻ります。

音楽プレーヤーを選択するときは

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「プレーヤー選択」と言います。
4. ペアリング済みの音楽プレーヤーのデバイス名とデバイス番号を順番に読みあげた後，最後に「選択してください。」と音声ガイドが流れます。
   接続したい音楽プレーヤーのデバイス番号を言ってください。

アドバイス

- 確認機能が有効なときは，接続したい音楽プレーヤーが正しいか再度確認されます。「はい」と答えると，音楽プレーヤーが接続されます。
  「いいえ」と答えると，手順4. に戻ります。
- システムが音楽プレーヤーのデバイス名とデバイス番号をすべて読みあげ終わる前でも，発話ボタンを押してデバイス番号を言うと，いつでも音楽プレーヤーを接続することができます。

5. 選択された音楽プレーヤーが Bluetooth® 2.0 インターフェースに接続されます。
   「＜デバイス名＞を選択しました。」と音声ガイドが流れた後，メインメニューに戻ります。

デバイスの削除

以下の手順で Bluetooth® 2.0 インターフェースからペアリング済みの Bluetooth® 対応デバイスを削除します。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「ペアリング設定」と言います。
4. 「ペアリング，編集，削除，リストから選択してください。」と音声ガイドが流れるので，「削除」と答えてください。

5. ペアリング済みのBluetooth®対応デバイスのデバイス名とデバイス番号を順番に読みあげた後，最後に「選択してください。」と音声ガイドが流れます。
   削除したいデバイスのデバイス番号を言ってください。
   すべてのデバイスを削除したいときは「全部」と言ってください。
6. 確認のため「＜デバイス名＞を削除します。よろしいですか？」または「すべてのデバイスを削除します。よろしいですか？」と音声ガイドが流れます。
   「はい」と答えればデバイスの削除を行います。
   「いいえ」と答えると，手順 4. に戻ります。
7. 「削除しました。」と音声ガイドが流れて，デバイスの削除が終了します。

アドバイス

- 何らかの理由でデバイスの削除が失敗すると，「削除に失敗しました。」と音声ガイドが流れて，デバイスの削除がキャンセルされます。

◆ペアリングされたBluetooth® 対応デバイスを確認するときは

J00970300025

以下の手順でペアリング済みのBluetooth® 対応デバイスを確認することができます。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「ペアリング設定」と言います。
4. 「ペアリング，編集，削除，リストから選択してください。」と音声ガイドが流れるので，「リスト」と答えてください。
5. 音声ガイドがデバイス名を読みあげます。
6. ペアリングされたすべてのデバイス名を読みあげると，「リストが終わりました。最初から読みあげますか？」と音声ガイドが流れます。
   リストをもう一度最初から聞きたいときは，「はい」と答えてください。
   終了するときは「いいえ」と答えるとメインメニューに戻ります。

アドバイス

- リストの読みあげ中に発話ボタンを押して「つぎ」または「戻る」と言うと，リストの早送り，巻き戻しができます。
- リストの読みあげ中に発話ボタンを押して「編集」と言うと，現在読みあげているデバイスのデバイス名を変更することができます。
- リストの読みあげ中に発話ボタンを押して「電話選択」と言うと，現在読みあげている携帯電話に接続を変更することができます。
- リストの読みあげ中に発話ボタンを押して「プレーヤー選択」というと，現在読みあげている音楽プレーヤーに接続を変更することができます。

◆デバイス名を変更する

J00970400026

ペアリング済みの携帯電話や音楽プレーヤーのデバイス名を変更することができます。
デバイス名を変更するにはつぎの手順にしたがってください。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「設定」と言います。
3. 「ペアリング設定」と言います。
4. 「ペアリング，編集，削除，リストから選択してください。」と音声ガイドが流れるので，「編集」と答えてください。

5. ペアリング済みのBluetooth®対応デバイスのデバイス名とデバイス番号を順番に読みあげた後，最後に「選択してください。」と音声ガイドが流れます。
   デバイス名を変更したいBluetooth®対応デバイスのデバイス番号を言ってください。

アドバイス

- デバイス名を変更したい Bluetooth® 対応デバイスのデバイス名とデバイス番号を読みあげているときに，発話ボタンを押して読みあげている最中のデバイス番号を言ってもつぎの手順に進みます。

6. 「新しい名前をどうぞ。」と音声ガイドが流れるので，新しくデバイス名として登録したい名前を言ってください。
   確認機能が有効なときは，「＜新しいデバイス名＞ よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので「はい」と答えてください。
   「いいえ」と答えると，もう一度新しく登録したいデバイス名を言うことができます。
7. デバイス名が変更されます。
   「新しい登録名を保存しました。」と音声ガイドが流れた後，メインメニューにもどります。

ハンズフリー通話のしかた

J00970600031

Bluetooth® 2.0 インターフェースと接続した Bluetooth® 対応携帯電話を使って，ハンズフリー通話をすることができます。
また，Bluetooth® 2.0インターフェース内にある電話帳を使って，電話番号をダイヤルせずに電話をかけることができます。

電話をかけるときは→P. 8-35
送信機能→P. 8-37
電話を受けるときは→P. 8-37
ミュート機能→P. 8-37
ハンズフリーモードとプライベートモードの切り換え→P. 8-37

アドバイス

- 携帯電話を直接操作して電話をかけるまたは電話を受けるとハンズフリー通話が正しく動作しない場合があります。

◆ 電話をかけるときは

J00970700032

Bluetooth® 2.0 インターフェースを使用して，以下の3つの方法で電話をかけることができます。
電話番号を言って電話をかける方法と，Bluetooth® 2.0 インターフェースの電話帳を使って電話をかける方法と，リダイヤルで電話をかける方法です。

電話番号を使って電話をかける

電話番号を言って電話をかけることができます。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「ダイヤル」と言います。
3. 「電話番号をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，電話番号を言ってください。

4.「＜電話番号＞へダイヤルします。」と音声ガイドが流れます。
Bluetooth® 2.0 インターフェースが電話をかけます。確認機能が有効なときは，電話番号を確認します。その番号で続ける場合は，「はい」と答えてください。
電話番号を変更するときは「いいえ」と答えてください。「電話番号をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，再度電話番号を言ってください。

アドバイス

- Bluetooth® 2.0 インターフェースは数字（0から9）と記号（+, #と*）をサポートしています。
- サポートしている電話番号の最大桁数は以下の通りです。
  - 国際電話番号：+と電話番号（18桁まで）
  - 国際電話番号以外：電話番号（19桁まで）

電話帳を使って電話をかける

システム電話帳または Bluetooth® 2.0 インターフェースの携帯電話帳を使って電話をかけることができます。
電話帳の機能については，「電話帳機能」をお読みください。→P. 8-38

1. 発話ボタンを押します。
2.「呼び出し」と言います。

アドバイス

- システム電話帳および携帯電話帳に何も登録がないときに「呼び出し」と言うと，「システム電話帳には登録がありません。登録を追加しますか？」と音声ガイドが流れます。
  「はい」と言うと，「電話帳登録メニューに入ります。」と音声ガイドが流れますので，システム電話帳にデータを作成することができます。
  「いいえ」と言うと，メインメニューに戻ります。

3.「名前をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，電話帳に登録した中から電話をかけたい人の名前を言ってください。
4. 該当する人が1人のときは，手順5. に進みます。該当する人が2人以上いるときは，「ふたつ以上見つかりました。<1番目の人の名前>へ電話をかけますか？」と言うので，電話をかけたい人の場合は，「はい」と答えてください。「いいえ」と答えると，音声ガイドがつぎに該当する人の名前を言います。

アドバイス

- 音声ガイドが読みあげたすべての名前に対して「いいえ」と言うと，「登録名が見つかりませんでした。メインメニューに戻ります。」と言ってメインメニューに戻ります。

5. あなたの言った名前に登録された電話番号が1件のときは，音声ガイドは手順6. に進みます。
あなたの言った名前に登録された電話番号が2件以上あるときは，「<名前>の[自宅]，[仕事]，[携帯]，[その他]から選択してください。」と聞くので，電話をかけたいタイプを選択してください。

アドバイス

- システム電話帳に選択した名前に該当するデータがあっても，選択したタイプに電話番号が登録されていないときは，「<名前>に[自宅/仕事/携帯/その他]の登録がありませんでした。タイプの追加またはもう一度を選択してください。」と音声ガイドが流れます。「もう一度」と言うと手順3. に戻ります。
  「タイプの追加」と言うと，選択したタイプに電話番号を追加登録することができます。

アドバイス

- 携帯電話帳に選択した名前に該当するデータがあっても，選択したタイプに電話番号が登録されていないときは「<名前>に[自宅/仕事/携帯/その他]の登録がありませんでした。もう一度試しますか？」と音声ガイドが流れます。「はい」と言うと手順3.に戻ります。
  「いいえ」と言うと発信がキャンセルされます。もう一度手順1. から作業をやり直してください。

6.「<名前>の<自宅/仕事/携帯/その他>へ電話をかけます。」と音声ガイドが流れてその電話番号に発信します。

アドバイス

- 確認機能が有効なときは，電話をかけたい人の名前とタイプが正しいかどうか確認します。正しければ「はい」と答えてください。
  名前やかけたいタイプを変更するときは，「いいえ」と言うと手順3.に戻ります。

リダイヤル

接続されている携帯電話の発信履歴をもとにして，最後にかけた電話番号をリダイヤルすることができます。
リダイヤルをしたいときは以下の手順で行ってください。

1. 発話ボタンを押します。
2.「リダイヤル」と言います。

◆ 送信機能

J00970800020

通話中に発話ボタンを押して，音声認識モードにし，「< 番号 > 送信」と言うと，トーン信号 (DTMF) を発信することができます。
例えば，通話中に自動音声ガイドなどに電話機のボタンを使って返答する必要があるとき，発話ボタンを押して「1 2 3 4 シャープ送信」と言うと，携帯電話から「1，2，3，4，＃」が発信されます。

◆ 電話を受けるときは

J00970900092

パワースイッチの電源モードがACCまたは ON のときに電話がかかってくると，オーディオの電源がOFFの状態でも自動的にオーディオをONにして，電話の着信に切り替わります。
電話の着信の音声ガイドは，助手席のスピーカーから出力されます。
着信時にCDやラジオを聞いていた場合，オーディオは CD やラジオの音をミュート（消音）にします。
ステアリングコントロールスイッチのオフフックボタンを押して通話を開始します。
通話が終了すると，オーディオシステムは前の状態に戻ります。

◆ ミュート機能

J00971000029

通話中いつでも，車内マイクを無効にすることができます。
通話中に発話ボタンを押して，「ミュート」と言うと，ミュート機能が有効になり，マイクが無効になります。
「ミュート解除」と言うと，ミュート機能が無効になり，マイクが有効になります。

◆ ハンズフリーモードとプライベートモードの切り換え

J00971100020

Bluetooth® 2.0インターフェースは，ハンズフリーモード（ハンズフリー通話）とプライベートモード（携帯電話を使用しての通話）を二者間で切り換えることができます。ハンズフリー通話をしているときに，発話ボタンを押して「転送」と言うと，ハンズフリーモードを中止し，プ

ライベートモードで話すことができます。
再び発話ボタンを押して「転送」と言うと，ハンズフリーモードに戻ります。

電話帳機能

J00971200021

Bluetooth® 2.0インターフェースには，携帯電話の電話帳とは別に，独自の電話帳が 2 つあります。システム電話帳と携帯電話帳です。
これらの電話帳に電話番号を登録して，音声認識機能で電話をかけるときに使用することができます。

アドバイス

- 補機用バッテリーケーブルを外しても，電話帳に登録してある情報は消去されません。

◆ システム電話帳

J00971300022

この電話帳は音声認識機能で電話をかけるときに使用します。
システム電話帳には，一言語に付き最大 32 人分の名前を登録することができます。各エントリーには「自宅」「仕事」「携帯」「その他」の4つのタイプがあります。各タイプに 1 つの電話番号が登録できます。
システム電話帳に登録したエントリーには，お好みの名前を登録することができます。
名前（登録名）や電話番号は後から変更することができます。
システム電話帳はペアリングされたすべての携帯電話で使用することができます。

システム電話帳に電話番号を登録するときは

システム電話帳に電話番号を登録する方法は 2 つあります。電話番号を読みあげて登録する方法と，携帯電話の電話帳から電話帳のエントリーを 1 件選んで転送する方法です。

電話番号を読みあげて登録するときは

1. 発話ボタンを押します。
2. 「電話帳」と言います。
3. 「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「登録」と言ってください。
4. 「名前をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，好みの名前を言って登録してください。

アドバイス

- すでに最大登録件数が登録されているときは，「電話帳がいっぱいです。登録を削除しますか？」と音声ガイドが流れますので，登録済みの名前を削除したいときは「はい」と言ってください。
「いいえ」と言うと，メインメニューにもどります。

5. 名前の登録が終わると「自宅，仕事，携帯，その他」と音声ガイドが流れますので，電話番号を登録したいタイプを言ってください。

アドバイス

- 確認機能が有効なときは，「＜タイプ＞ よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
「いいえ」と言うと，手順5.に戻ります。
更に選んだタイプに電話番号が登録してある場合，「登録されている電話番号は＜電話番号＞です。電話番号をどうぞ。」と音声ガイドが流れます。
電話番号を変更したくなければ，「キャンセル」または，元の番号を言って登録してください。

6. 「電話番号をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，電話番号を言って登録してください。

7. 音声ガイドがあなたの読みあげた電話番号を復唱して登録します。
電話番号の登録が完了すると，「電話番号を保存しました。他の電話番号も追加しますか？」と音声ガイドが流れます。
現在の登録件名に新たなタイプで電話番号を登録したい場合は，「はい」と答えてください。手順5.のタイプ選択に戻ります。
「いいえ」と答えると登録を終了してメインメニューに戻ります。

アドバイス

- 確認機能が有効なときは，電話番号を復唱し「よろしいですか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えてください。
「いいえ」と答えると手順6.の電話番号の登録に戻ります。

携帯電話の電話帳からエントリーを1件選んで取り込むときは

携帯電話の電話帳からエントリーを 1 件選び，システム電話帳へ登録することができます。

アドバイス

- 停車中以外は取り込むことはできません。取り込みをする前に車を安全な場所に停車させてください。
- Bluetooth® 対応携帯電話でも，機種によっては，すべてのまたは一部のデータが転送できないことがあります。
- 取り込むことのできる電話番号の最大桁数は19桁です。
- 「0から9，*，#，+」以外の文字が電話番号に含まれている場合，その文字は削除して転送されます。
- 携帯電話側の操作については，携帯電話の取扱説明書を参照してください。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「電話帳」と言います。
3. 「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「連絡先取り込み」と言ってください。
4. 「一つの連絡先，または，全ての連絡先を選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「一つの連絡先」と言ってください。
Bluetooth® 2.0 インターフェースが電話帳データの転送を受け付け可能な状態になります。

アドバイス

- すでに最大登録件数が登録されているときは，「電話帳がいっぱいです。登録を削除しますか？」と音声ガイドが流れますので，登録済みの名前を削除したいときは「はい」と言ってください。
「いいえ」と言うと，メインメニューに戻ります。

5. 「連絡先を取り込む準備ができました。自宅，仕事，携帯の電話番号を取り込めます。」と音声ガイドが流れて，Bluetooth® 2.0 インターフェースが，Bluetooth® 対応携帯電話から電話帳データを受信します。
6. Bluetooth® 対応携帯電話を操作して，システム電話帳に登録したいエントリーを Bluetooth® 2.0 インターフェースに転送できる状態にしてください。

アドバイス

- Bluetooth® 2.0 インターフェースが Bluetooth® 対応携帯電話を認識できないときや，接続に時間がかかりすぎると，「連絡先取り込みは時間切れになりました。」と音声ガイドが流れて登録がキャンセルされます。その場合は，もう一度手順1.からやり直してください。
- オンフックボタンを押すか，発話ボタンを長押しすると，登録がキャンセルされます。

7. 受信が完了すると，「<電話番号>を取り込みました。電話番号の登録名をどうぞ。」と音声ガイドが流れます。
電話帳に登録したい名前を言ってください。

アドバイス

- 入力した名前がすでに他の電話帳入力で使われているときや，他の電話帳入力で使用している名前に似ている場合，その名前で登録することはできません。

8. 「< 名前 > を追加しています。」と音声ガイドが流れます。
確認機能が有効なときは，その名前で問題ないか聞かれるので「はい」と答えてください。
「いいえ」と答えると「名前をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，違う名前で登録しなおしてください。
9. 「電話番号を保存しました。」と音声ガイドが流れます。
10. 「他の連絡先を取り込みますか？」と音声ガイドが流れます。
登録を続けたいときは「はい」と言ってください。新しい電話帳入力を手順 5. から続けて登録することができます。
「いいえ」と言うと，メインメニューに戻ります。

システム電話帳に登録した内容を変更するときは

システム電話帳に登録した名前や電話番号を変更したり，削除したりすることができます。
また，システム電話帳に登録された名前のリストを聞くことができます。

アドバイス

- 最低 1 つのエントリーが登録されている必要があります。

[電話番号を編集するときは]

1. 発話ボタンを押します。
2. 「電話帳」と言います。
3. 「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「電話番号編集」と言ってください。
4. 「編集したい登録名を言ってください。登録一覧を確認したい場合は，登録名リストを選択してください。」と音声ガイドが流れますので，電話番号を編集したいリストの名前を言ってください。

アドバイス

- 「登録名リスト」と言うと，電話帳に登録された名前を順に読みあげます。
→「登録済みの名前のリストを聞くときは」P. 8-41

5. 「自宅，仕事，携帯，その他」と音声ガイドが流れますので，変更または追加したい電話番号のタイプを言ってください。
確認機能が有効なときは，編集したい名前とタイプが再確認されます。登録を続けたいときは「はい」と言ってください。
「いいえ」と言うと，手順3.に戻ります。
6. 「電話番号をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，電話番号を言って登録してください。

アドバイス

- 既に選択された場所に電話番号が登録されているときは，「登録されている電話番号は<電話番号>です。新しい番号をどうぞ。」と言うので，新しい電話番号を言って，番号を変更してください。

7. 音声ガイドが電話番号を復唱します。確認機能が有効なときは，その番号で問題ないか聞かれるので「はい」と答えてください。
「いいえ」と言うと，手順3.に戻ります。
8. 電話番号が登録されると，「電話番号を保存しました。」と音声ガイドが流れてメインメニューに戻ります。

アドバイス

● すでに電話番号が登録されているタイプに電話番号を上書きしたときは，音声ガイドが「電話番号を変更しました。」と言ってメインメニューに戻ります。

[名前を編集するときは]

1. 発話ボタンを押します。
2. 「電話帳」と言います。
3. 「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「登録名編集」と言ってください。
4. 「編集したい登録名を言ってください。登録一覧を確認したい場合は，登録名リストを選択してください。」と音声ガイドが流れますので，編集したい登録名を言ってください。

アドバイス

● 「登録名リスト」と言うと，電話帳に登録された名前を順に読みあげます。
→「登録済みの名前のリストを聞くときは」P. 8-41

5. 「< 名前 > へ切り替え中です。」と音声ガイドが流れます。
確認機能が有効なときは，編集したい名前が合っているか確認されます。そのまま編集を続けたいときは「はい」と答えてください。
「いいえ」と言うと，手順4.に戻ります。
6. 「名前をどうぞ。」と音声ガイドが流れますので，登録したい新しい名前を言って登録してください。
7. 登録名が変更されます。変更が完了すると，メインメニューに戻ります。

[登録済みの名前のリストを聞くときは]

1. 発話ボタンを押します。
2. 「電話帳」と言います。
3. 「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「登録名リスト」と言ってください。
4. Bluetooth® 2.0 インターフェースが電話帳の登録名を順に読みあげます。
5. 最後までリストを読みあげると「リストが終わりました。最初から読みあげますか？」と音声ガイドが流れます。もう一度最初からリストを確認したいときは「はい」と答えてください。終了するときは，「いいえ」と答えると，前の画面，またはメインメニューに戻ります。

アドバイス

● 読みあげ中の登録名を使って電話をかけたり，読みあげ中の登録名を編集したり，削除することができます。発話ボタンを押して，電話をかけるときは「呼び出し」，編集するときは「編集」，削除するときは「削除」と言ってください。
ビープ音が鳴った後，電話をかけたり，登録名の編集・削除が行われます。
● リストの読みあげ中に発話ボタンを押してから「つぎ」または「戻る」と言うと，リストの早送り，巻き戻しができます。

[電話番号を削除するときは]

1. 発話ボタンを押します。
2. 「電話帳」と言います。

3.「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「削除」と言ってください。
4.「削除したい登録名を言ってください。登録一覧を確認したい場合は，登録名リストを選択してください。」と音声ガイドが流れますので，削除したい電話番号の登録名を言ってください。

アドバイス

●「登録名リスト」と言うと，電話帳に登録された名前を順に読みあげます。
→「登録済みの名前のリストを聞くときは」P. 8-41

5. 選択した登録名に電話番号が1件のみ登録されているときは，音声ガイドが「<名前><タイプ>を削除します。」と言います。
選択した登録名に電話番号が複数登録されているときは，「[自宅]，[仕事]，[携帯]，[その他」または，全部を選択してください。」と音声ガイドが流れます。削除するタイプを選択すると，「<名前><タイプ>を削除します。」と音声ガイドが流れます。

アドバイス

● すべてのタイプから電話番号を削除したいときは「全部」と言ってください。

6. 選択された電話番号を削除していいか確認されますので「はい」と言ってください。
「いいえ」と答えると，電話番号の削除をキャンセルして手順 4. に戻ります。
7. 電話番号の削除が完了すると，「削除しました。」と音声ガイドが流れてメインメニューに戻ります。
すべてのタイプから電話番号が削除されたときは「< 名前 > を全消去しました。」と音声ガイドが流れて電話帳から名前が消去されます。

電話帳の消去

システム電話帳から登録済みのすべての情報を消去します。
1. 発話ボタンを押します。
2.「電話帳」と言います。
3.「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「全消去」と言ってください。
4. 確認のため「システム電話帳から全消去しても本当に構いませんか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と答えます。
「いいえ」と答えると電話帳の全消去を中止します。
5.「システム電話帳から全消去しようとしています。続けても本当に構いませんか？」と音声ガイドが流れますので，「はい」と言ってつぎに進んでください。
「いいえ」と答えると電話帳の全消去を中止します。
6.「お待ちください。システム電話帳を消去中です。」と音声ガイドが流れて，電話帳のデータをすべて消去します。
消去が完了すると，「システム電話帳が消去されました。」と音声ガイドが流れてメインメニューに戻ります。

◆ 携帯電話帳

J00971400078

接続された携帯電話内の電話帳を全件一括転送して，携帯電話帳に登録することができます。携帯電話帳には最大1,000人分の名前が登録された電話帳を，ペアリングされた携帯電話ごとに，最大７つまで登録することが可能です。
Bluetooth® 2.0インターフェースは，転送された電話帳に登録されている名前を自動的にテキストから音声に変換して名前を作成します。

アドバイス

- 通話に使用できる携帯電話帳の電話帳は，現在接続している携帯電話から転送された電話帳のみです。
- 携帯電話帳に登録された名前や電話番号を変更することはできません。
  また，特定の登録内容だけを選んで消去することはできません。変更，削除をしたいときは，転送元の携帯電話の電話帳内の情報を変更して，電話帳を転送し直してください。

電話帳を一括して取り込むときは

携帯電話内の電話帳を携帯電話帳に取り込むときは車両を止めた状態で，以下の手順に従ってください。

アドバイス

- 携帯電話内の電話帳を携帯電話帳に取り込むと，既に登録されている携帯電話帳は上書きされます。
- Bluetooth® 対応携帯電話でも，機種によっては，すべてのまたは一部のデータが転送できないことがあります。
- 自宅，仕事，携帯の電話番号を取り込むことができます。
- 取り込むことのできる電話番号の最大桁数は19桁です。
- 「0から9，*，#，+」以外の文字が電話番号に含まれている場合，その文字は削除して転送されます。
- 携帯電話側の操作については，携帯電話の取扱説明書を参照してください。

1. 発話ボタンを押します。
2. 「電話帳」と言います。
3. 「登録，電話番号編集，登録名編集，登録名リスト，削除，全消去，連絡先取り込み，から選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「連絡先取り込み」と言ってください。
4. 「一つの連絡先，または，すべての連絡先を選択してください。」と音声ガイドが流れますので，「すべての連絡先」と言ってください。

5.「電話から電話帳を取り込みます。完了まで数分かかることがありますが，続けますか？」と音声ガイドが流れます。「はい」と言うと，携帯電話内の電話帳から携帯電話帳へ転送が開始されます。
「いいえ」と言うと，メインメニューに戻ります。

アドバイス

- Bluetooth® 対応携帯電話でも，機種によっては，携帯電話側で転送開始のための操作が必要な場合があります。その場合は携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- 内容によっては，転送完了までに時間がかかることがあります。
- Bluetooth® 2.0 インターフェースが Bluetooth® 対応携帯電話と接続できなかったときは，「電話帳を取り込めませんでした。」と音声ガイドが流れて，メインメニューに戻ります。
- データ転送中に，オンフックボタンを押すか，発話ボタンを長押しすると，転送がキャンセルされてメインメニューに戻ります。
- データ転送中にエラーが発生すると，転送がすべてキャンセルされ，「電話帳を取り込めませんでした。」と音声ガイドが流れてメインメニューに戻ります。
- 電話帳に何も登録がないときは，「電話帳がありませんでした。」と音声ガイドが流れます。

6. 転送が完了すると，「取り込みが完了しました。」と音声ガイドが流れてメインメニューに戻ります。

代替コマンド一覧表

J00972000026

主要コマンド	代替コマンド
ペアリング設定	ペアリング
タイプの追加	タイプ
確認設定	確認
全部	すべて
0(ゼロ)	0(れい)
1(いち)	—
2(に)	—
3(さん)	—
4(よん)	4(し)
5(ご)	—
6(ろく)	—
7(なな)	—
8(はち)	—
9(きゅう)	9(く)
＊(こめじるし)	アスタリスク
#(シャープ)	ナンバー
連絡先取り込み	取り込み

音声認識学習フレーズ

J00972100027

フレーズ	日本語	英語	フランス語	スペイン語
1	123456789	123456789	123456789	123456789
2	888 555 1212	888 555 1212	888 555 1212	888 555 1212
3	呼び出し	Call	Appeler	Llamar
4	ダイヤル	Dial	Composer	Marcar
5	設定	Setup	Configurer	Configurar
6	キャンセル	Cancel	Annuler	Cancelar
7	つぎ	Continue	Continuer	Continuar
8	ヘルプ	Help	Aide	Ayuda

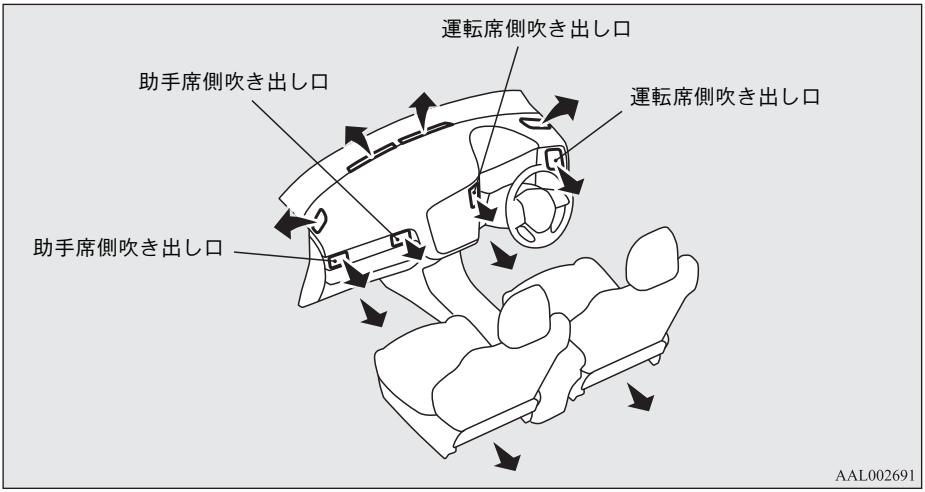
MEMO

エアコン

吹き出し口 9- 2
左右独立温度コントロール式フルオートエアコン 9- 4
エアコンの上手な使い方 9- 12
クリーンエアフィルター 9- 13
プレ空調 9- 13
暖房 9- 14

吹き出し口

J01000100802

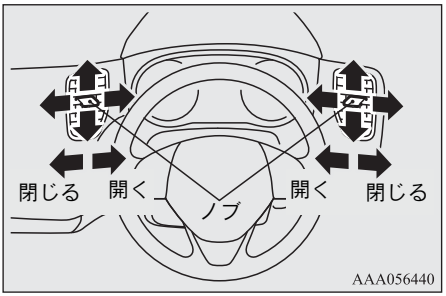


風向き調整

J01000300745

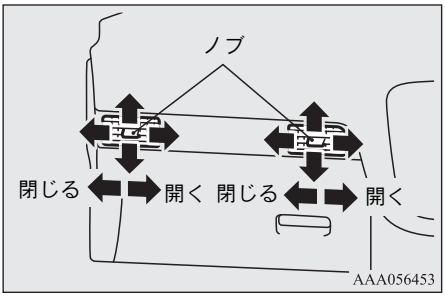
◆ 運転席側吹き出し口

ノブを動かして調整します。
吹き出し口を閉じるときは，ノブを外側いっぱいまで動かします。



◆ 助手席側吹き出し口

ノブを動かして調整します。
吹き出し口を閉じるときは，ノブを左側いっぱいまで動かします。



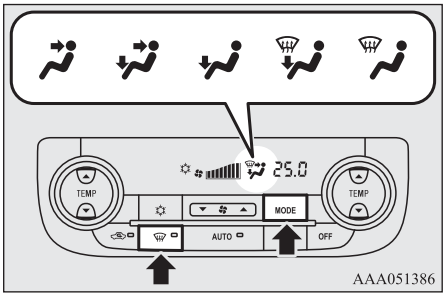
アドバイス

- 吹き出し口に飲み物などが入らないようにしてください。エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。

吹き出し口の切り換え

J01000400876

吹き出し口切り換えスイッチまたはデフロスタースイッチを押して，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口切り換えスイッチ」P. 9-9
→「デフロスタースイッチ」P. 9-9



上半身に送風したいとき

上半身と足元に送風したいとき

足元に送風したいとき

足元とウインドウガラスに送風したいとき

ウインドウガラスに送風したいとき

アドバイス

- 吹き出し口が のとき，上半身と足元への送風割合を調整することができます。また，吹き出し口が のとき，足元とウインドウガラスへの送風割合を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- 吹き出し口が のとき，ウインドウガラスにも少し送風されますが，これはウインドウガラスの曇りを防止するためのものです。

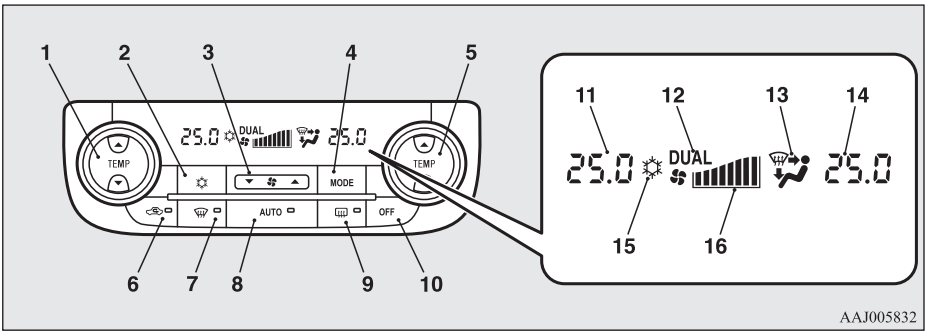
左右独立温度コントロール式フルオートエアコン

J01002400711

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときに冷房，暖房が使用できます。パワースイッチの電源モードがONのときは，送風のみとなります。
各スイッチを押すと音が鳴ります。

アドバイス

- 駆動用バッテリーの残量表示が0の場合，スイッチを操作しても冷房効果を得られないことがあります。
  →「駆動用バッテリー残量表示画面」P. 6-10
- 燃料切れなどでエンジンが始動できない場合，スイッチを操作しても暖房効果を得られないことがあります。



1- 助手席側温度調整スイッチ→P. 9-5
2- エアコンスイッチ→P. 9-8
3- 風量調整スイッチ→P. 9-5
4- 吹き出し口切り換えスイッチ→P. 9-9
5- 運転席側温度調整スイッチ→P. 9-5
6- 内外気切り換えスイッチ→P. 9-7
7- デフロスタースイッチ→P. 9-9
8- AUTOスイッチ→P. 9-8
9- リヤウインドウデフォッガースイッチ→P. 6-52
10- OFFスイッチ→P. 9-9
11- 助手席側設定温度表示灯→P. 9-6
12- DUAL作動表示灯
13- 吹き出し口表示灯
14- 運転席側設定温度表示灯→P. 9-6
15- エアコン作動表示灯
16- 風量表示灯

アドバイス

- ECOモードが作動しているときは，エアコンの作動を抑制しているため，エアコンの効きが弱いと感じられることがあります。
  →「ECOモードスイッチ」P. 6-45

アドバイス

- ECOモード作動時でもエアコンの作動を通常制御にすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

● 非常に寒いときに画面の動きが遅くなることがありますが，故障ではありません。常温に戻れば回復します。

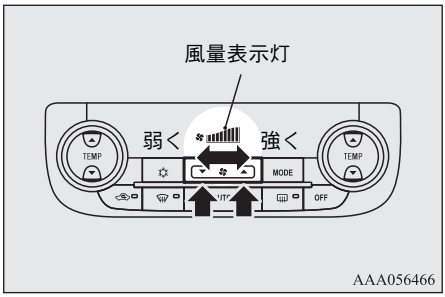
スイッチの使い方

J01002500204

◆ 風量調整スイッチ

J01002800441

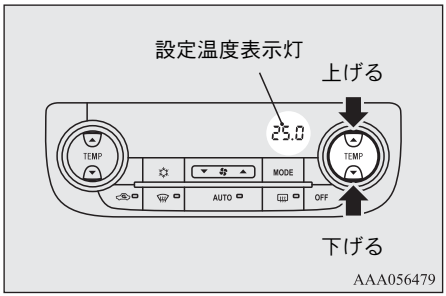
風量を強くするときはスイッチの ▲ 側を，弱くするときは ▼ 側を押します。
選択した風量は風量表示灯に表示されます。



◆ 温度調整スイッチ

J01003000583

送風温度を上げるときはスイッチの上▲側を，下げるときは下▼側を押します。
選択した温度は設定温度表示灯に表示されます。



アドバイス

- 設定温度表示灯の値は，マルチインフォメーションディスプレイの温度単位に連動して切り換わります。→「温度単位の変更」P. 6-19
- エンジン冷却水の温度が低いときに温度調整スイッチを押しても送風温度はすぐには変わりません。
- 設定した温度に対して暑い，または寒いと感じるときに，快適になるよう調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 温度を最高または最低に設定すると，内外気およびエアコンがつぎの通り自動的に切り換わります。
  自動的に切り換わった後に手動操作した場合は，操作した機能が優先されます。
  - 急速暖房（最高温度に設定）
    外気導入，エアコン停止
  - 急速冷房（最低温度に設定）
    内気循環，エアコン作動

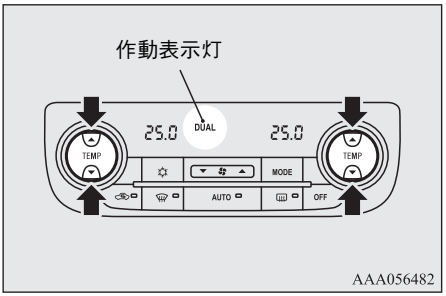
アドバイス

工場出荷時は上記のように設定されています。内外気切り換え／エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）したときや，操作条件によっては外気およびエアコンの自動切り換えを，お好みにあわせて変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
→「エアコンスイッチ」P. 9-8
→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-7

連動モードと独立モード

運転席側と助手席側の温度を独立して調整することができます。このとき，DUAL作動表示灯が表示されます。

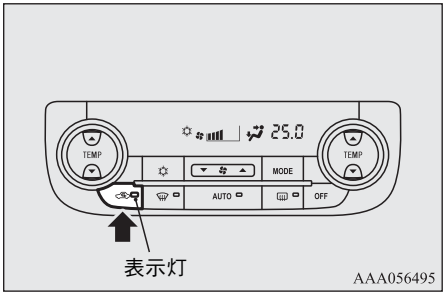
- 連動モード
  運転席の温度調整スイッチを操作すると，助手席も連動して同じ設定温度になります。
- 独立モード
  助手席の温度調整スイッチを操作すると，独立モードに移行します。独立モードのときは，運転席および助手席の温度調整スイッチで，独立して温度を設定できます。
  オートスイッチを押すと，連動モードに復帰します。



◆ 内外気切り換えスイッチ

J01003400460

スイッチを押すと外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。
内気循環に切り換わるとスイッチ内の表示灯が点灯します。



⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
  長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

アドバイス

- 早く冷暖房したいときは，内気循環にすると効果的です。
- 手動操作後，AUTOスイッチを押すと，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。
- 外気温が高いときにエアコンが作動していると，外気導入に切り換わらないことがあります。これはエアコンコンプレッサー保護のためであり，故障ではありません。

内外気切り換えのカスタマイズ（機能の設定変更）

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

- 内外気自動制御許可:
  AUTOスイッチを押すと，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。
- 内外気自動制御拒否:
  AUTOスイッチを押しても内外気切り換えスイッチは自動制御されません。
- 設定変更方法
  内外気切り換えスイッチを約 10 秒以上押し続けます。
  - 許可から拒否へ変更した場合
    音が“ピピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅します。
  - 拒否から許可へ変更した場合
    音が“ピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅します。
    三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作でも設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

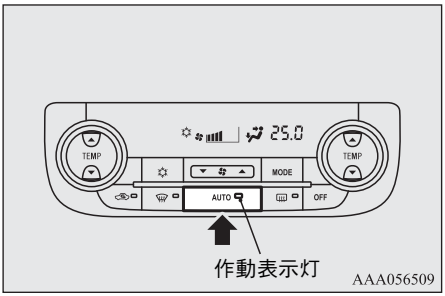
アドバイス

- 工場出荷時は「内外気自動制御許可」に設定されています。
- デフロスタースイッチを押しているときは，窓の曇りを防止するため，「内外気自動制御拒否」に設定していても自動的に外気導入に切り換わります。

◆ AUTOスイッチ

J01002600045

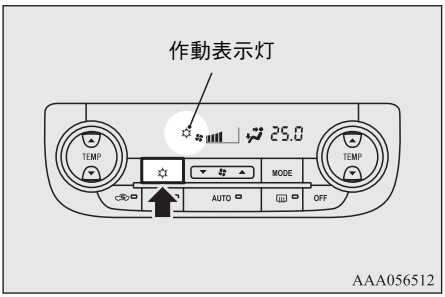
スイッチを押すと作動表示灯が点灯し，吹き出し口（ を除く），風量調整，内外気切り換え，温度調整およびエアコンのON/OFFを自動調整します。



◆ エアコンスイッチ

J01003500647

スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。



アドバイス

- エアコン作動表示灯が点滅したときは，エアコン装置に何らかの異常が考えられます。一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。しばらくたってもエアコン作動表示灯が点滅しなければ異常ありません。
  再び点滅する場合は三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

- エアコン自動制御許可:
  AUTOスイッチを押した場合や温度調整スイッチで最低温度にした場合，エアコンスイッチの自動制御をします。
- エアコン自動制御拒否:
  エアコンスイッチを操作しない限り，エアコンスイッチの自動制御をしません。
- 設定変更方法
  エアコンスイッチを約 10 秒以上押し続けます。
  - 許可から拒否へ変更した場合
    音が“ピピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅します。
  - 拒否から許可へ変更した場合
    音が“ピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅します。
    三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作でも設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

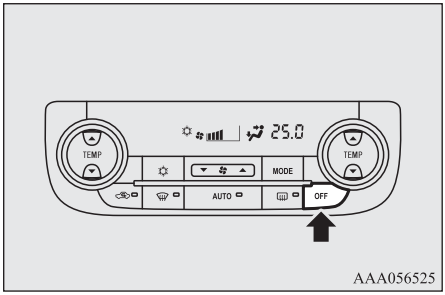
アドバイス

- 工場出荷時は「エアコン自動制御許可」に設定されています。
- デフロスタースイッチを押しているときは，窓の曇りを防止するため，「エアコン自動制御拒否」に設定していてもエアコンは自動的に作動します。

◆ OFFスイッチ

J01002700046

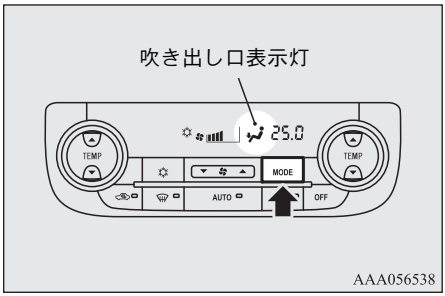
エアコンシステムを停止します。



◆ 吹き出し口切り換えスイッチ

J01003300036

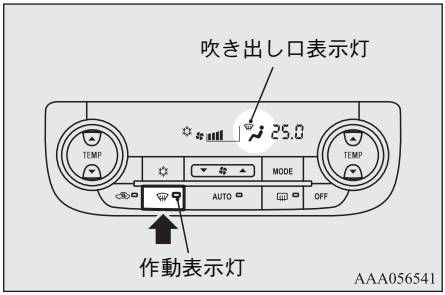
スイッチを押すごとに吹き出し口を →→→→→の順に切り換えます。選択した吹き出し口は吹き出し口表示灯に表示されます。
→「吹き出し口の切り換え」P. 9-3



◆ デフロスタースイッチ

J01003800044

スイッチを押すと吹き出し口が↑に切り換わり，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。選択した吹き出し口は吹き出し口表示灯に表示されます。
→「吹き出し口の切り換え」P. 9-3



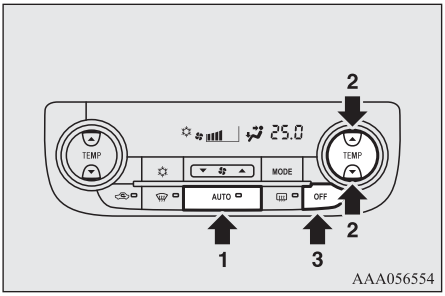
アドバイス

- デフロスタースイッチを押すと，エアコンが自動的に作動し，内外気切り換えは外気導入に切り換わります。
  この自動切り換え制御は，窓の曇りを防止するため，「エアコン自動制御拒否」や「内外気自動制御拒否」に設定していても働きます。
  →「エアコンスイッチのカスタマイズ：エアコン自動制御拒否」P. 9-8
  →「内外気切り換えのカスタマイズ：内外気自動制御拒否」P. 9-7
- デフロスタースイッチを押すと，エンジンが始動することがあります。（除く，電気温水式ヒーター付き車）

通常の使い方（自動で使うとき）

J01004000913

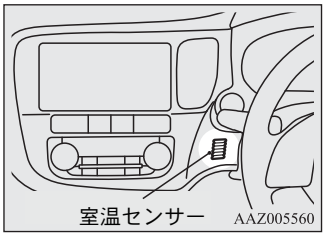
吹き出し口，風量，エアコンの ON/OFF および，内外気の切り換えを自動的に調整します。



1. AUTOスイッチを押します。
2. 温度調整スイッチで希望温度を設定します。設定温度を18~32 の間で調整できます。
3. 停止するときは OFF スイッチを押します。

アドバイス

- 25 を基準に，お好みの温度に調整してください。
- AUTO 作動中にスイッチを操作すると操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。
- 室温センサーをふさいだりしないでください。



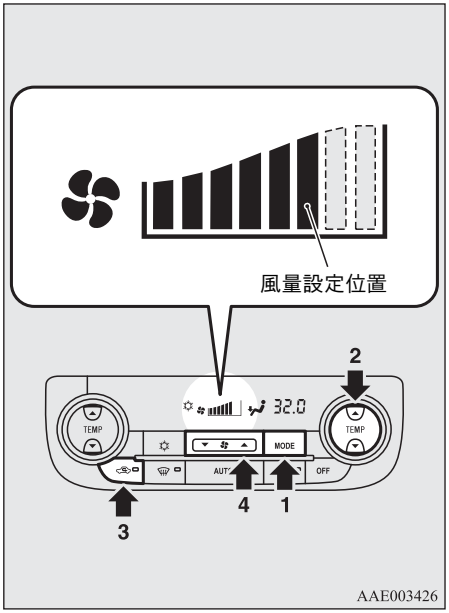
手動で使うとき

J01004100565

お好みに合わせてスイッチを操作してください。AUTO 作動中でも，操作した機能が優先されます。
操作した機能以外は自動制御されます。
停止するときは OFF スイッチを押します。

◆ 急速暖房したいときは

J01011000205



1. 吹き出し口切り換えスイッチを押して にします。
2. 温度調整スイッチで設定温度表示灯を32.0に設定します。
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

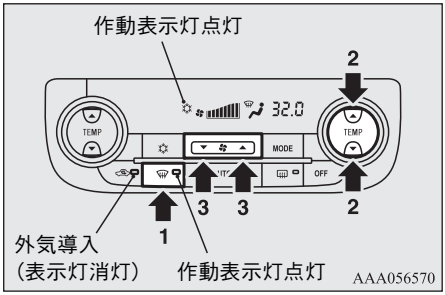
4. 風量調整スイッチで風量表示灯を図の位置に設定します。

アドバイス

- 急速暖房の設定にすると，エンジンが始動します。(除く，電気温水式ヒーター付き車)

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01004200696



1. デフロスタースイッチを押します。
   エアコンが自動的に作動し，内外気切り換えは外気導入に切り換わります。
2. 温度調整スイッチで温度をお好みに設定します。
3. 風量調整スイッチで風量をお好みに設定します。

⚠注意

- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。
- 吹き出し口切り換えスイッチを にしてもウインドウガラスの曇り，霜を取ることができますが，自動的にエアコンは作動しません。また，外気導入にも切り換わりません。エアコンの作動および外気導入への切り換えは，エアコンスイッチおよび内外気切り換えスイッチを操作してください。
- デフロスタースイッチを押したときは設定温度を最低温度付近にしないでください。ウインドウガラスの外側に露が付き，視界を妨げることがあります。

アドバイス

- 曇り，霜を早く取りたいときは風量を最大に，温度を最高に設定します。
- サイドウインドウガラスの曇りを早く取りたいときは，左右の吹き出し口をサイドウインドウガラスに向けてください。

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01004300033

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。

→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-7

エアコンの上手な使い方

J01009400752

長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してからエアコンを作動させてください。

冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。

冷媒ガス量の点検を忘れずに

冷媒ガスが不足すると冷房，除湿効果が悪くなります。暑い季節になる前に三菱自動車販売会社で冷媒ガス量の点検を受けてください。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンフード（ボンネット）内に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサーが故障するおそれがあります。

アドバイス

- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

EV航続可能距離を延ばすために

J01013100040

エアコンは駆動用バッテリーの電力を消費するため，過度に使用するとEV航続可能距離が短くなります。
冷やしすぎや暖めすぎにならないように，風量をこまめに絞り，さらに設定温度を控えめに調整してください。

クリーンエアフィルター

J01009500678

花粉やほこり，粉じんなどを取り除くフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉やほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に交換してください。
→「クリーンエアフィルターの交換のしかた」P. 11-9

アドバイス

- フィルターの交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

プレ空調

タイプ別装備

J01013700033

乗車前にエアコンを作動させておくことができます。
詳しくは「プレ空調」をお読みください。
→P. 3-23

暖房

J01014100018

暖房はエンジン冷却水の熱を利用しているので，暖房使用時はエンジンが始動します。
電気温水式ヒーター（タイプ別装備）付き車は，駆動用バッテリーの電力を使用して暖房することができるので，エンジンが始動する頻度を下げることができます。

オーディオ

USB入力端子 10- 2
アンテナ 10- 4

USB入力端子

タイプ別装備

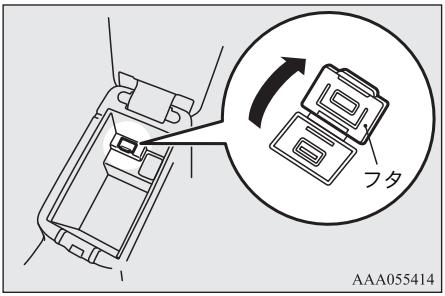
J01128700016

USBデバイスまたはiPod*を接続し，保存されている音楽ファイルを再生することができます。
ここではUSBデバイスまたはiPodの接続方法および取り外し方法について説明します。
*: “iPod”は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

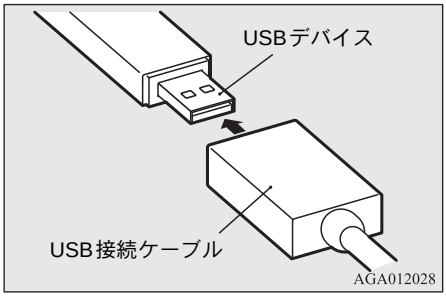
USBデバイス(機器)の接続のしかた

J01128800020

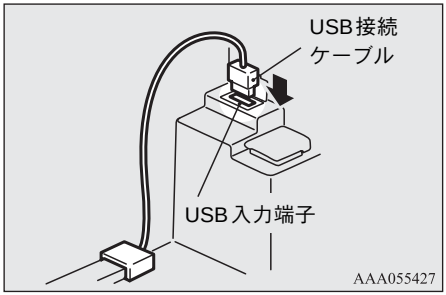
1. 安全な場所に車両を停車して，パワースイッチの電源モードを OFF にします。
2. フロアコンソールボックスの中にあるUSB入力端子のフタを開けます。



3. 市販の USB 接続ケーブルを USB デバイスに接続します。



4. USB 接続ケーブルを USB 入力端子に接続します。



⚠注意

- 走行中はフロアコンソールボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

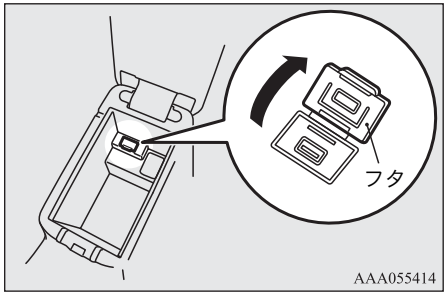
- USBデバイスをUSB入力端子に直接接続しないでください。
- フロアコンソールボックスを閉める際，USB 接続ケーブルをはさまないように注意してください。

5. USB 接続ケーブルを取り外すときは，パワースイッチの電源モードを OFF にしてから，取り付けるときと逆の手順で取り外します。

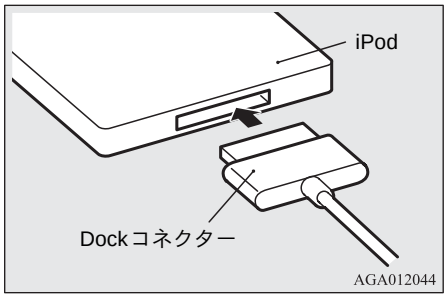
iPodの接続のしかた

J01128900021

1. 安全な場所に車両を停車して，パワースイッチの電源モードを OFF にします。
2. フロアコンソールボックスの中にあるUSB入力端子のフタを開けます。



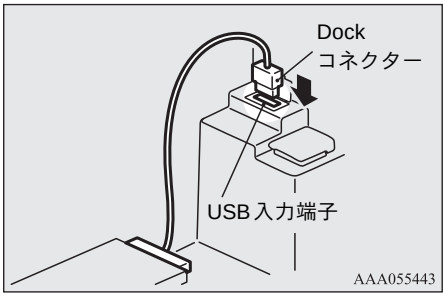
3. iPodにDockコネクターを接続します。



アドバイス

- Dock コネクターは Apple Inc. 純正品を使用してください。

4. USB 入力端子に Dock コネクターを接続します。



⚠注意

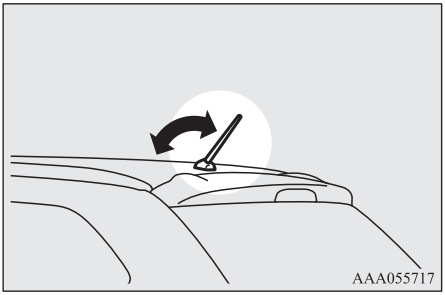
- 走行中はフロアコンソールボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

5. Dockコネクターを取り外すときは，パワースイッチの電源モードを OFF にしてから，取り付けるときと逆の手順で取り外します。

アンテナ

J01102200912

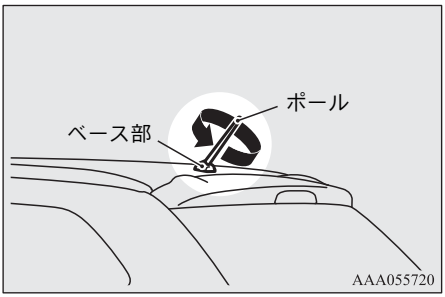
ルーフアンテナ



ラジオを聞くときは，アンテナをカチッと音がする位置まで起こしてからお聞きください。

◆ 取り外し方，取り付け方

取り外すときはポールを反時計回りにまわします。



取り付けるときは時計回りにまわしてポールをベース部にねじ込み，しっかりと取り付けてください。

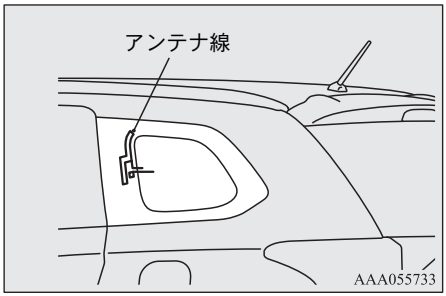
アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため必ずアンテナを取り外してください。
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき
- 立体駐車場など天井の低い所へ入るときは，アンテナが当たらないように倒してください。

テレビアンテナ

タイプ別装備

テレビ用アンテナ線が左右のリヤクォーターガラスの内側にプリントされています。



アドバイス

- リヤクォーターガラスを清掃するときは，アンテナ線を傷つけないようにアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。
- リヤクォーターガラスに鏡面タイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けると，受信感度が低下する原因となります。
  また，フィルムを貼り付ける際，カッターなどでアンテナ線を傷つけると受信感度が低下するおそれもあります。

簡単な整備・車のお手入れ

日常点検 11- 2
エンジンフード(ボンネット) 11- 5
エンジンオイルの補給 11- 6
ウォッシャー液の点検･補給 11- 7
補機用バッテリーについて 11- 7
タイヤメンテナンス 11- 8
クリーンエアフィルターの交換のしかた 11- 9
内装品のお手入れ 11- 10
外装品のお手入れ 11- 11
環境保護のために守っていただきたいこと 11- 14

日常点検

J01203900034

日常点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。

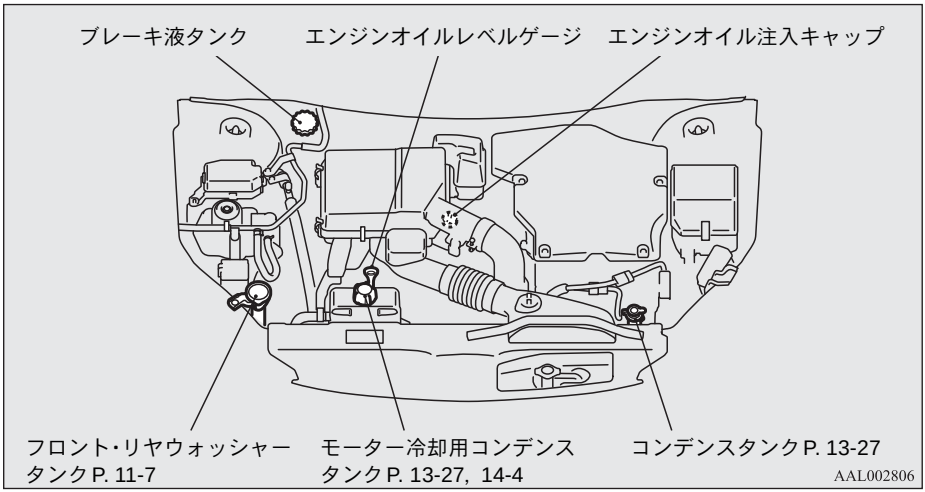
- 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。
  詳細については，別冊の「メンテナンスノート」に記載していますので併せてお読みください。
- つぎのような点に気付いたら，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - いつもと違う音や臭いや振動がするとき
  - ブレーキ液が不足しているとき
  - 地面に油の漏れたあとが残っているとき

⚠警告

- **点検，整備をするときは必ず車両から充電ガンを取り外し，パワースイッチの電源モードがOFFになっていることを確認してから行ってください。**
- **エンジンルーム内では高電圧を発生する部品および高電圧の配線（オレンジ色）ならびにそのコネクターの取り外し，分解などは絶対に行わないでください。感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。これらの部位には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので，ラベルの指示にしたがってください。必要な整備については，三菱自動車販売会社へ依頼してください。**
  →「主な高電圧部位」P. 2-9
- **エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。**
  手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。

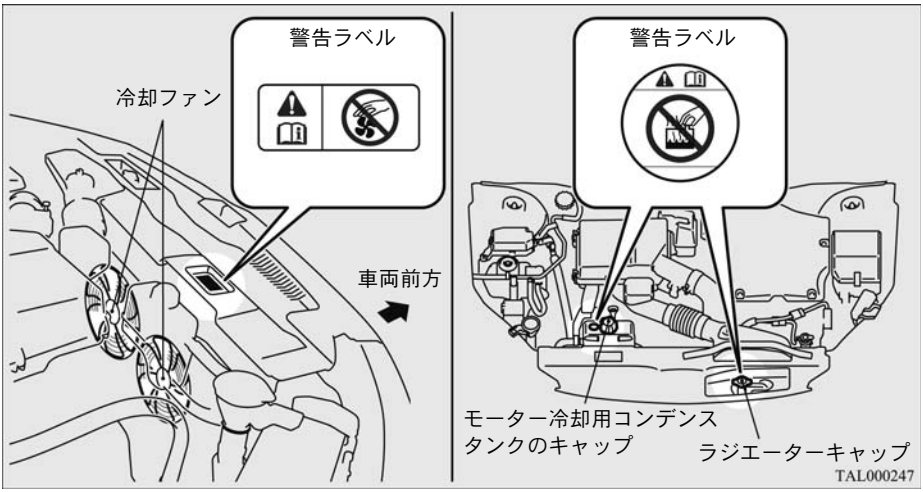
⚠警告

● エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。
これらの部品には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので，ラベルの指示にしたがってください。



⚠警告

- 冷却ファンはエンジンが回転していなくても自動的に回り出すことがあります。
  エンジンルーム内で作業する場合は, 安全のためにパワースイッチの電源モードをOFFにしてください。
- 通常はラジエーターキャップおよび, モーター冷却用コンデンスタンクのキャップを外さないでください。
  冷却水には圧力がかかっているため, 冷却水の温度が高いときにキャップを外すと, 蒸気や熱湯が噴き出し, やけどをするおそれがあります。



エンジンフード（ボンネット）

J01204000032

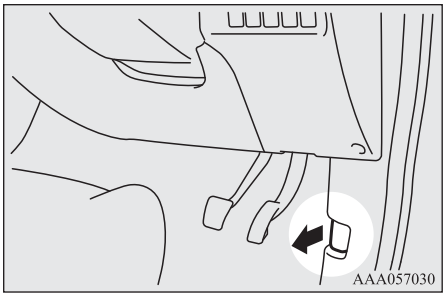
開けるときは

1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

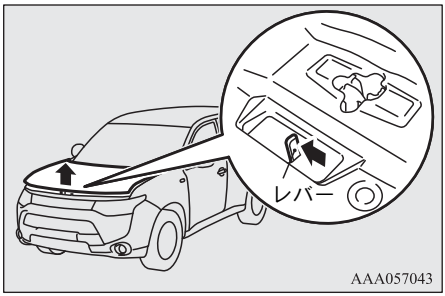
アドバイス

- ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

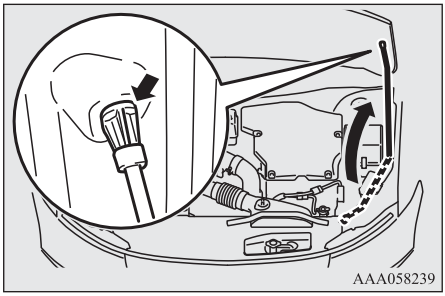
2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。



3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。



4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

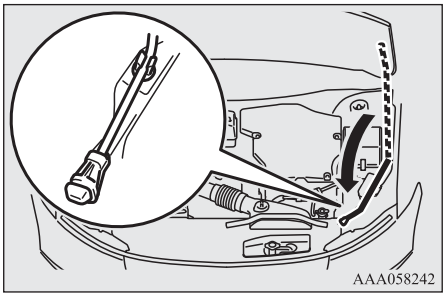


⚠注意

- 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
- 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に掛けると支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。



2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約20cm）から離します。

⚠注意

- 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。
- エンジンフードが開いたまま走行するとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。

アドバイス

- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

エンジンオイルの補給

J01200100732

エンジンオイルが不足するとエンジンの不調や破損につながるおそれがあります。

エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱自動車純正エンジンオイルまたはオイル缶に ILSAC 認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。なお，エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期についての詳細は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P. 11-2
→「オイル類の量と種類」P. 14-3

ILSAC認証マーク

AAA005581

アドバイス

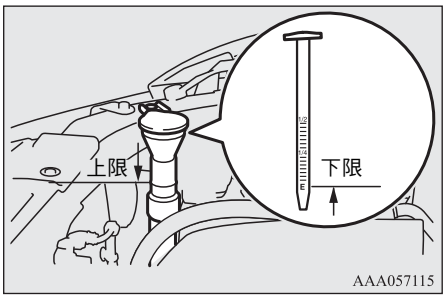
- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，補給するときは必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。

ウォッシャー液の点検・補給

J01200200733

ウォッシャータンクのキャップを開け，レベルゲージで液量を点検します。

フロント・リヤ共用



ウォッシャー液が不足している場合は，三菱自動車純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10℃程度
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20℃程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50℃程度

⚠注意

- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

補機用バッテリーについて

J01202300028

お客様のお車には専用の補機用バッテリーが搭載されていますので，以下のことに注意してください。

⚠警告

- **補機用バッテリーを充電するときは，必ず三菱自動車販売会社に依頼してください。お客様自身での充電はしないでください。**
  補機用バッテリーから発生する可燃ガスが漏れ，爆発するおそれがあります。

⚠注意

- 補機用バッテリーの型式が同じでもお車に正しく取り付けられないことがあります。
  補機用バッテリーを交換するときは，三菱自動車販売会社に依頼してください。

アドバイス

- 補機用バッテリーを外した際は，エンジンを強制運転するための制御タイマーがリセットされます。リセット後にエンジンが始動しない状態が続くと燃料噴射装置が目詰まりを起こす可能性があるため，バッテリチャージスイッチを押してエンジンを始動させるようにしてください。ただし，駆動用バッテリーが満充電付近の場合はバッテリーチャージスイッチを押しても切り換わらない場合があります。その場合は，駆動用バッテリー残量が減ってからもう一度バッテリーチャージスイッチを押してください。→「バッテリーチャージスイッチ」P. 7-35

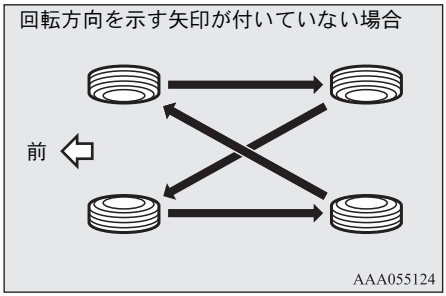
タイヤメンテナンス

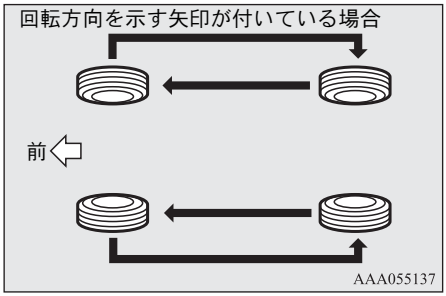
J01202100198

タイヤローテーション

J01202400250

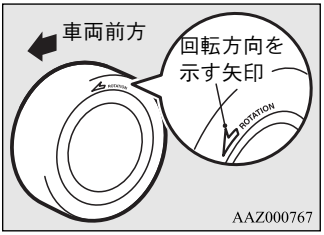
タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。





⚠注意

- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

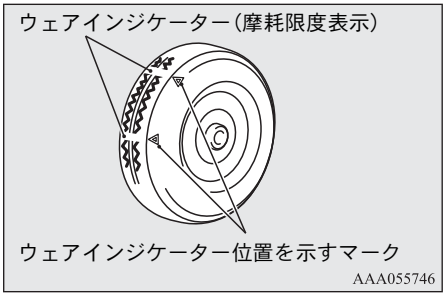


- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

J01202500147

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。



アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J01202600180

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-7

⚠警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。**

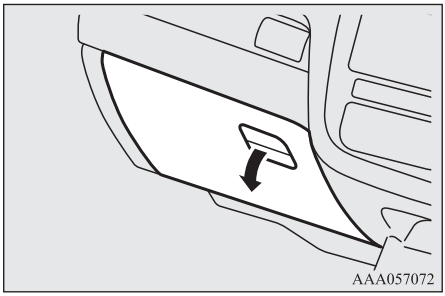
アドバイス

- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

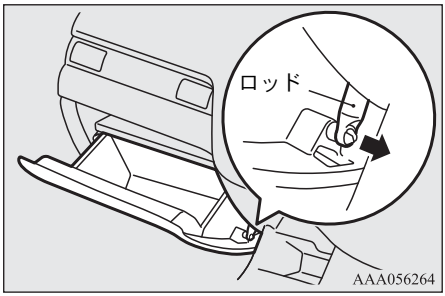
クリーンエアフィルターの交換のしかた

J01202000461

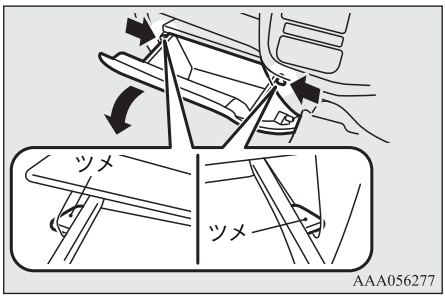
1. グローブボックスを開けます。



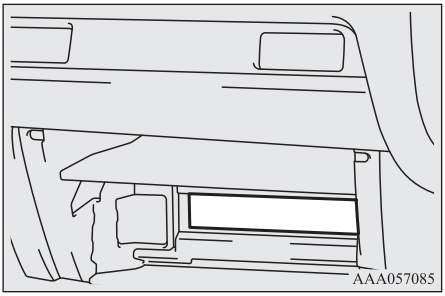
2. グローブボックス右側のロッドを外します。



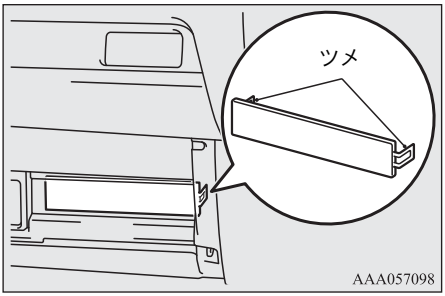
3. グローブボックスの側面を押しながら，左右のツメを外し，グローブボックスを下げます。



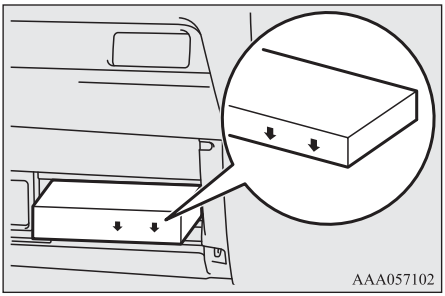
4. グローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。



5. カバー左右にあるツメを外して，カバーを外します。



6. クリーンエアフィルターを取り出して新品と交換します。交換するときはフィルターの矢印が下向きになるように取り付けてください。



7. 元に戻すときは，取り外したときと逆の手順で取り付けます。

内装品のお手入れ

J01200601053

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。
  また，各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- シートの下など，見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

本革

タイプ別装備

J01202700149

1. ガーゼなどの柔らかい布に，ウール用中性洗剤の 5% 水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり，雨などでぬれたときは，乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ，合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油汚れなどは，早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり，硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J01200701272

走行後のお手入れ

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

- 下まわりやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202800661

1. 水をかけながら，車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   その後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 柔らかい布またはセーム皮で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠警告

- **駆動用バッテリーを充電しながら洗車をしないでください。**
  火災，感電の原因となります。

⚠警告

● 洗車をする前には，充電リッドおよび中ブタが確実に閉まっていることを確認してください。
リッドが開いていると充電装置に水がかかり，火災，感電の原因となります。

⚠注意

● 洗車時はパワースイッチの電源モードをOFFにしてください。
● エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下まわりを洗車するときも，エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
プラグインハイブリッドEVシステム起動不良などの原因になります。
● 高圧の洗浄機を使用して下回りの洗車をしないでください。
パワーユニットの不調や故障の原因になります。
● 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。

アドバイス

● レインセンサー付き車は，洗車をする前にワイパースイッチをOFF 位置にしてください。AUTO 位置のままでフロントガラスに水がかかると，ワイパーが自動作動して手や指などをはさんだり，ワイパーブレードを損傷するおそれがあります。
● 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがあります。

アドバイス

● 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
・洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約70cm以上）
・ドアガラス回りを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約70cm以上）
● 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，ドアミラーおよびサイドアンダーミラー（タイプ別装備）を格納し，アンテナを取り外してください。

ワックスを使ったお手入れ

J01202900428

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスがけは，洗車後や塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
ワックスのかけ方はワックスの説明書にしたがってください。

アドバイス

● 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。

ウインドウガラスのお手入れ

J01203000224

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

● 三菱自動車純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
● ガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100090

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

サンルーフのお手入れ

タイプ別装備

J01201200062

ガラスの内側を清掃するときは，柔らかい布で清掃してください。
汚れのひどいときは，つぎの要領で行います。

- スポンジやガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の5%水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
- 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。

アドバイス

- ガラスの内側には，表面処理がしてありますので，固い布や有機溶剤（ベンジン，シンナーなど）を使用すると表面処理がはげるおそれがあります。

樹脂部品のお手入れ

J01201500212

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，しみ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取った後，多量の水で洗い流してください。

アルミホイールのお手入れ

J01201600213

1. 水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で洗い落とします。
3. 柔らかい布またはセーム皮で水分をふき取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬いものは，ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りのクリーナーや，酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。
  ホイール塗装表面のはがれ，変色，しみの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水や道路凍結防止剤などが付着したときは，腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J01204200018

廃棄物を処理するときは

J01204300019

● 環境保護のためにつぎのことをお守りください。
- 使用済みのバッテリーやタイヤは，新品を購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルや冷却水を交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備 12- 2
運転をする前に 12- 2
雪道, 凍結路の走行 12- 3
寒冷地での駐車 12- 4
タイヤチェーン 12- 4

冬期前の点検と準備

J01300101280

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。
→「オイル類の量と種類」P. 14-3

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（三菱自動車純正品）の濃度を50%にします。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を50%以上にします。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-7

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
→「タイヤチェーン」P. 12-4
冬用タイヤに取り替えるときは，4輪とも交換します。
→「タイヤ交換のしかた」P. 13-20

ワイパー

寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

運転をする前に

J01300900021

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。→「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 9-11 また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に部品を損傷したり，ハンドルの切れが悪くなるおそれがあります。

⚠注意

- 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して氷塊を取り除いてください。

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドル，ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで，効き具合を確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300706

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにしてください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結しやすいので，注意してください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

⚠注意

- 駆動用バッテリーの温度が低いときは回生ブレーキの効きが弱くなることがあります。このようなときはスピードを控えて走行してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

寒冷地での駐車

J01300400589

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，電動パーキングスイッチを押しさらに輪止めをしてください。→「電動パーキングスイッチ」P. 7-24

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300701114

タイヤチェーンは，前輪に取り付けてください。

⚠注意

- タイヤチェーンは後輪に取り付けないでください。

また，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。サイズが不適合なものを取り付けると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- パンクしたときは，パンクタイヤ応急修理キットで応急修理をしてからタイヤチェーンを装着してください。
  →「パンクタイヤ応急修理キット」P. 13-13
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！ 13- 2
こんなことでお困りのときは! 13- 5
故障したときは！ 13- 8
発炎筒を使うときは！ 13- 8
工具とジャッキ 13- 9
ジャッキアップのしかた 13- 10
パンクタイヤ応急修理キット 13- 13
タイヤ交換のしかた 13- 20
補機用バッテリーが上がったときは！ 13- 24
オーバーヒートしたときは！ 13- 27
けん引 13- 29
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！ 13- 32
ヒューズが切れたときは！ 13- 33
バルブ(電球)が切れたときは！ 13- 39

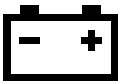
警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400101210

アドバイス

● マルチインフォメーションディスプレイ内の警告表示は「インフォメーション画面表示一覧」の項をご覧ください。→P. 6-24

つぎの警告灯が点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

警告灯	点灯の原因
 ブレーキ警告灯 →P. 6-35	●ブレーキシステムの異常 ●ブレーキ液の不足 ●ブレーキ配分機能の異常 駐車ブレーキをかけたままのときも点灯します。 駐車ブレーキを解除し，消灯すれば異常ではありません。
 補機用バッテリー 充電警告灯→P. 6-36	充電系統の異常
 プラグインハイブリッド EVシステム警告灯 →P. 6-36	高電圧部位の異常

つぎの警告灯または表示灯が点灯したときは，急ブレーキや高速走行を避け，安全な場所に停車し，プラグインハイブリッドEVシステムを停止してください。
再度プラグインハイブリッドEVシステムを起動し，その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告灯／表示灯	点灯の原因
 ABS警告灯 →P. 7-42	ABSシステムの異常
 アクティブ スタビリティ コントロール (ASC)作動表示灯 および ASC OFF表示灯 →P. 7-46	ASCシステムの異常
 ASC作動表示灯 （点灯） →P. 7-40	ヒルスタートアシストシステムの異常

つぎの警告灯が点灯または点滅したときは，すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

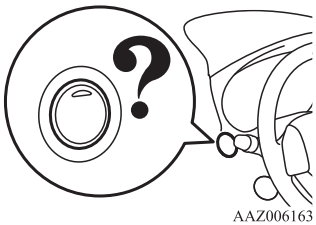
警告灯／表示灯	点灯／点滅の原因
 SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 →P. 5-34	●SRSエアバッグシステムの異常 ●プリテンショナーシステムの異常
 エンジン警告灯 →P. 6-36	エンジン制御システムの異常
RBS RBS(回生ブレーキ)警告灯→P. 6-36	回生ブレーキシステムの異常

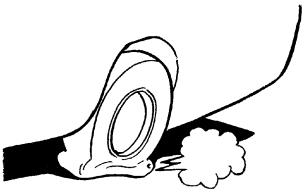
つぎの警告灯が点灯したときは，つぎの通り処置してください。
処置しても消灯しないときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

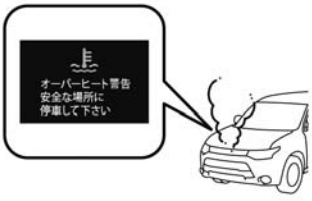
警告灯	点灯／点滅の原因	処置内容
 シートベルト非装着警告灯 →P. 5-14	運転席シートベルトが着用されていない	シートベルトを着用する

こんなことでお困りのときは!

J01400301850

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み, ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 7-3
走行中に READY(走行可能)表示灯が消灯した。	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「走行中に READY(走行可能)表示灯が消灯したときは」→ P. 7-4
パワースイッチを押してもREADY(走行可能)表示灯が点灯しない。  AAZ006163	キーレスオペレーションキーが車室内にあることを確認します。 「プラグインハイブリッド EV システムを起動する, 電源モードを切り換えるときの作動範囲」→P. 4-12 セレクトポジションがPであることを確認し, ブレーキを踏みながらパワースイッチを押してください。 「プラグインハイブリッド EV システムの起動のしかた」→P. 7-18
キーレスオペレーション機能が作動しない。	● キーレスオペレーションキーに内蔵されているエマージェンシーキーを使ってドアの施錠・解錠操作を行ってください。 「キーレスオペレーションシステム:キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」→P. 4-17 ● キーレスオペレーションキーをインストルメントパネルにあるキーボックスに差し込んで, プラグインハイブリッド EV システムの起動, 電源モードの切り換えを行ってください。 「プラグインハイブリッド EV システムの起動のしかた:キーレスオペレーションキーが正常に作動しないとき(電池切れなど)にプラグインハイブリッドEVシステムを起動するときは」→P. 7-18

現象	処置
セレクトポジションがⓅから切り換わらない。	READY(走行可能)表示灯が点灯していることを確認し, ブレーキペダルを踏んだままセレクターレバーを操作してください。 READY(走行可能)表示灯が点灯していない場合はⓃにしか切り換わりません。 「セレクターレバーの動かし方」→ P. 7-20
雨の日, 湿気の多い日などに窓が曇る。 	エアコンの内外気切り換えが, 外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り, 霜を取りたいときは」→ P. 9-11
パンクした。 	1. あわてずに, ハンドルをしっかり持ち, 安全な場所に車を停止します。 2. パンクしたタイヤの応急修理をします。 「パンクタイヤ応急修理キット」→ P. 13-13
プラグインハイブリッド EV システムが起動しない。 [READY(走行可能)表示灯が点灯しない] ライトが点灯しない, 暗い。 ホーンが鳴らない, 音が小さい。 充電ができない。	補機用バッテリーが上がっているおそれがあります。 「補機用バッテリーが上がったときは!」→ P. 13-24

現象	処置
マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にの警告表示が表示されると同時に, つぎのメッセージが表示されている。  TAM004402 プラグインハイブリッド EV システムの出力が急に低下する。 エンジンルームから蒸気が出ている。	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは!」→ P. 13-27

現象	処置
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ, 雪道, 凍結路などの発進時)	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 ● 1. 毛布か布などがあるときは, それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. 4WDロックスイッチを押して4WDロックに切り換えます。 3. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 ● 何も滑り止めにするものがないときは, 前後進を繰り返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは, 車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは, むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み, かえって脱出しにくくなります。また, エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスアクスルの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは, 専門業者に依頼してください。

故障したときは！

J01400400766

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。
このとき，セレクトポジションをⓃにしてください。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務付けられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

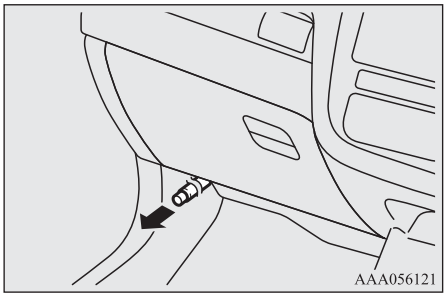
修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

発炎筒を使うときは！

J01400500392

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障し，緊急を要するときに使用します。
発炎筒は，グローブボックスの左下部に備えつけてあります。
使い方は発炎筒に記載されていますのであらかじめよく読んでおいてください。



⚠警告

- **お子さまには，発炎筒をさわらせないでください。**
- **人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。**
- **ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。火災をまねくおそれがあります。**
- **トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。**

アドバイス

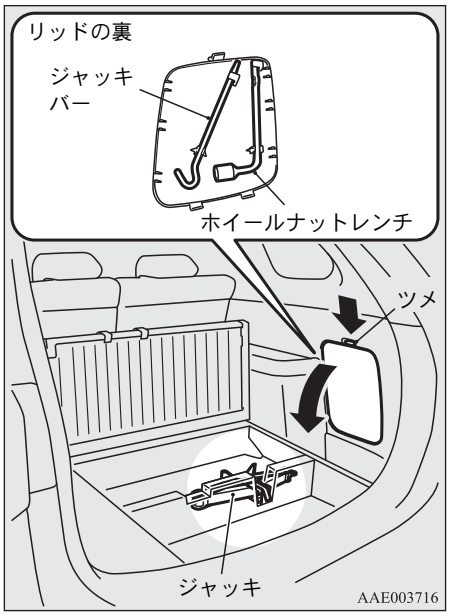
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
  →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-45
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）がありますので，期限が切れる前に三菱自動車販売会社でお買い求めください。

工具とジャッキ

J01400600856

格納場所

工具はラゲッジルーム右側面のリッドの裏に格納されています。
ツメを押してリッドを外します。
ジャッキはラゲッジフロアボックスの中に格納されています。



⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

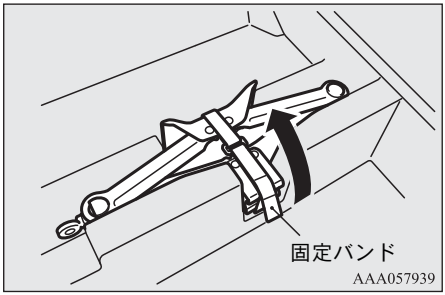
アドバイス

- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

ジャッキの脱着

J01404200791

ラゲッジフロアボードを引き上げます。
固定バンドを外して，ジャッキを取り出します。
格納するときは，逆の手順で行います。



⚠注意

- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ジャッキアップのしかた

J01400701636

⚠警告

● **ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。**

⚠注意

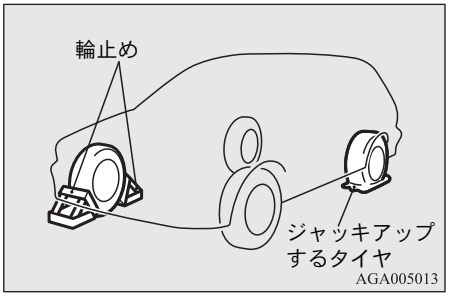
● ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- プラグインハイブリッド EV システムを起動したままにしない。
- 人や荷物を乗せたままにしない。
- 地面が平らで硬い場所以外では使用しない。
- 凍結した路面では使用しない。
- ジャッキの上や下に物をはさまない。
- ジャッキアップ中に車をゆすらない。
- ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
- ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクトポジションを Ⓟ にして，プラグインハイブリッドEVシステムを停止します。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，停止表示板などを車両後方に置きます。

アドバイス

● 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



⚠注意

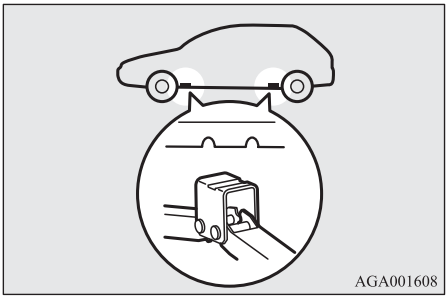
● ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

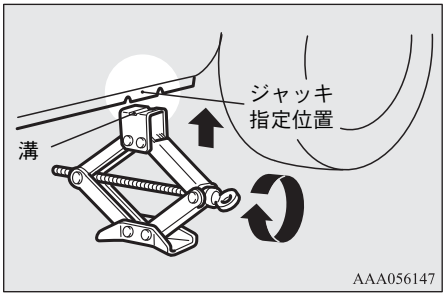
● 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
● 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。
→「工具とジャッキ」P. 13-9

6. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置の下にジャッキを置きます。



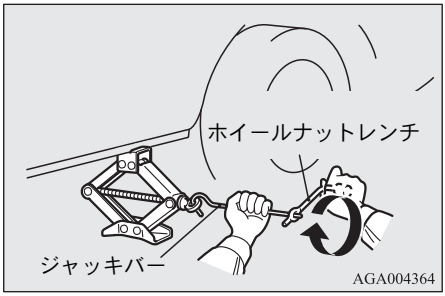
7. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にはまるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。



⚠警告

- **ジャッキ頭部の溝は，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。**

8. 図で示すようにジャッキバーとホイールナットレンチを組み付け，タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を右に回します。



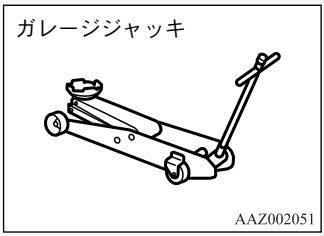
⚠注意

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ガレージジャッキを使用するときは

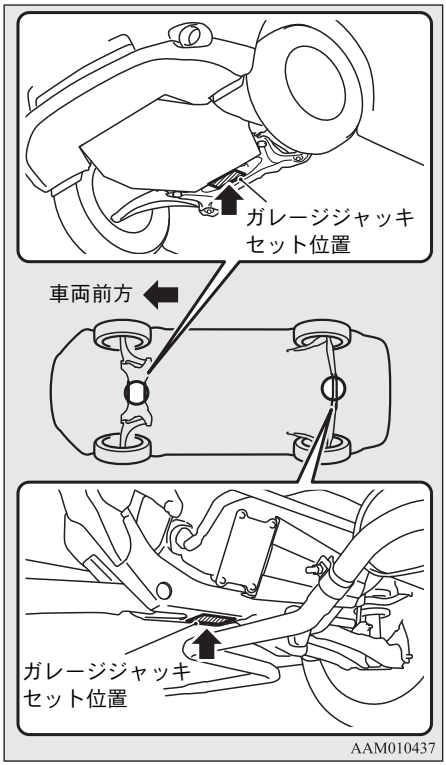
⚠警告

- ガレージジャッキを使用するときは，必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。



- リヤ側をジャッキアップするときは，リヤモーター部やトランスアクスル部にガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。リヤモーター部やトランスアクスル部にガレージジャッキを当ててジャッキアップすると，車両を損傷するおそれがあります。

◆ ガレージジャッキセット位置



パンクタイヤ応急修理キット

J01403800484

本キットはタイヤ接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを応急修理するものです。
パンクタイヤ応急修理キット付き車には，スペアタイヤが搭載されていません。

⚠警告

● パンクタイヤ応急修理キットは必ず三菱自動車純正品を使用してください。

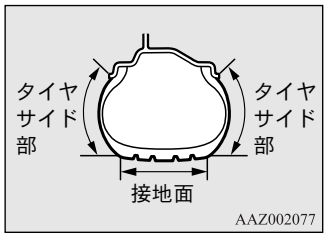
⚠注意

- 応急修理剤を飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用した場合は，できるだけたくさんの水を飲み，ただちに医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤がもし目に入ったり，皮膚に付いたりした場合は，水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは，医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤にお子さまが誤って手を触れないようご注意ください。
- 応急修理キットで応急修理を行うときは，車を地面が平らで安全な場所に止めてください。

アドバイス

- つぎのような場合は，応急修理剤を使って修理することができません。
  三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
  - 応急修理剤の有効期限が切れているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています。）

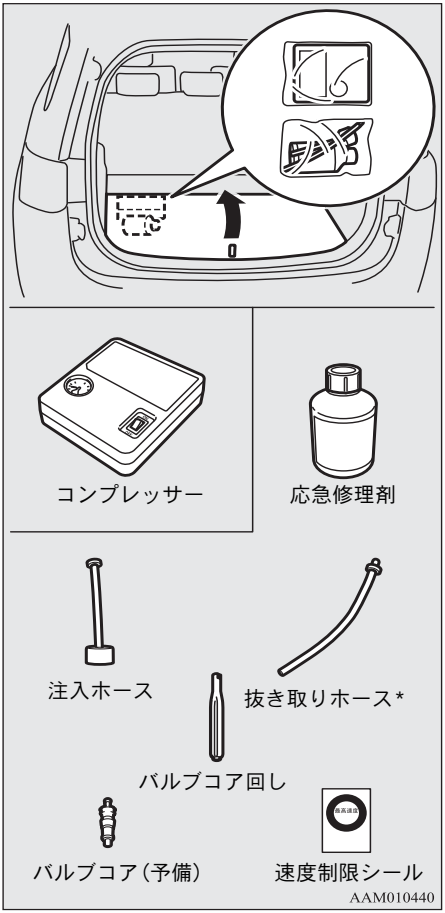
  - タイヤが2本以上パンクしているとき
  - およそ 4mm 以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
  - タイヤサイド部（接地面以外の部分）が損傷を受け，パンクしたとき



  - 空気がほとんど抜けた状態で走行したとき
  - タイヤがホイールの外側へ完全に外れているとき
  - ホイールが破損しているとき
- タイヤに刺さった釘やネジなどは，抜かずにそのまま応急処置をしてください。
- 応急修理剤が衣服などに付着すると，おちないおそれがあります。

格納場所と内容

ラゲッジルーム内のラゲッジフロアボックスの中に収納されています。



*: 三菱自動車販売会社でのタイヤの恒久修理，交換時に使用するホースです。
お客様がパンク応急修理時に使用するものではありません。

応急修理のしかた

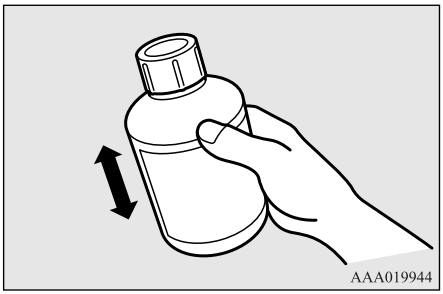
J01407300214

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らな場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクトポジションをⓅにして，プラグインハイブリッドEVシステムを停止します。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，停止表示板などを車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

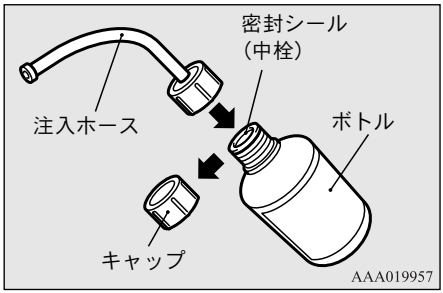
4. パンクタイヤ応急修理キットを取り出し，応急修理剤のボトルをよく振ります。



アドバイス

- 寒冷時（0°C以下）では，応急修理剤の粘度が高くなり注入しづらくなることがありますので，ボトルを振る前に車内などで温めてください。

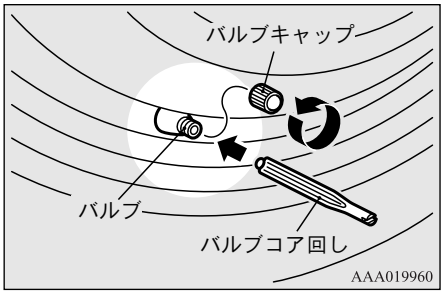
5. キャップを外し，応急修理剤の密封シール（中栓）をつけたまま注入ホースをボトルにねじ込みます。注入ホースをねじ込むと，密封シール（中栓）が破れ，修理剤が注入できる状態になります。



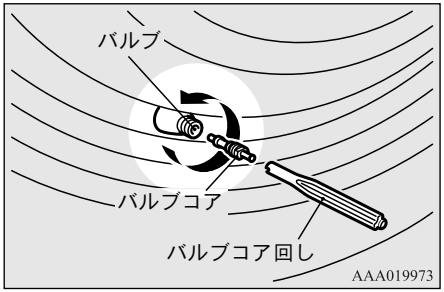
⚠注意

- 注入ホースをねじ込んだ後，応急修理剤のボトルを振ると，修理剤が注入ホースから飛び出すおそれがあります。

6. タイヤのバルブからバルブキャップを外し，バルブコア回しを図のように押しあてて，タイヤの空気を完全に抜きます。



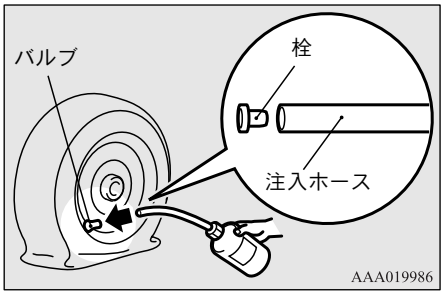
7. バルブコア回しでバルブコアを反時計回りに回して取り外します。
取り外したバルブコアは，汚れないようにきれいな場所に保管します。



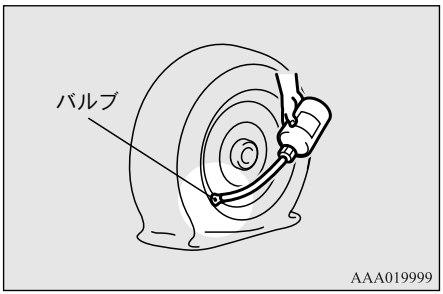
⚠注意

- バルブコアを外すとき，タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出し，けがをするおそれがありますので，完全に空気が抜けていることを確認してから外してください。

8. 注入ホースの先端の栓を取り外し，注入ホースをバルブに差し込みます。



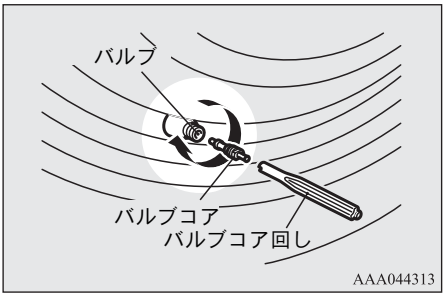
9. 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち，手でボトルを何回も圧迫し，ボトル内のすべての修理剤をタイヤ内に注入します。



アドバイス

● 修理剤は，タイヤバルブがタイヤと地面の接地部分近く（最低部付近）以外の位置で注入してください。バルブが接地部分近くにあると，修理剤が入りにくい場合があります。

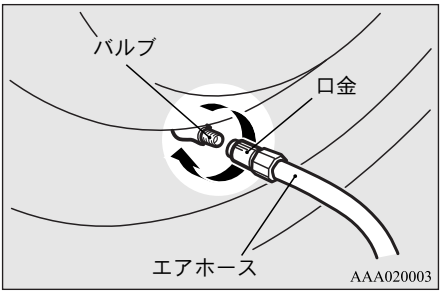
10. 注入後，注入ホースをバルブから引き抜き，バルブコアをバルブに取り付け，バルブコア回しでしっかりと時計回りにねじ込んでください。



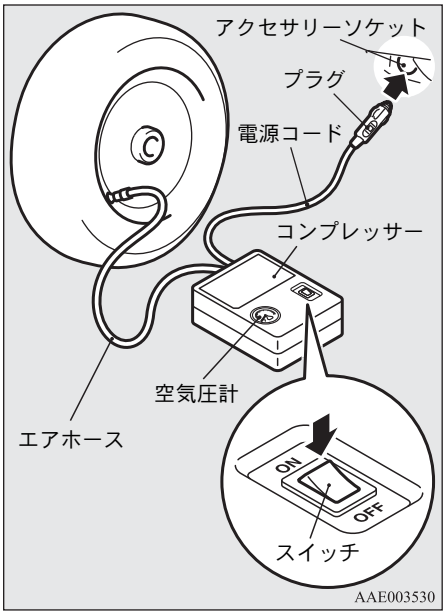
アドバイス

● バルブコア回しは，手で回してください。工具などを使って回すと，バルブコア回しが破損するおそれがあります。

11. コンプレッサーのエアホースを取り出し，口金をバルブに確実に取り付けます。



12.空気圧計を上にして，コンプレッサーを置きます。
コンプレッサーの電源コードを取り出し，プラグをアクセサリーソケットに差し込みます。
→「アクセサリーソケット」P. 8-3
パワースイッチの電源モードを ACC にし，コンプレッサーのスイッチを ON にして指定の空気圧まで昇圧します。→「タイヤの空気圧」P. 14-7



⚠注意

- 備え付けのコンプレッサーは，お客様のお車専用です。他の車には使用しないでください。
- 備え付けのコンプレッサーは，自動車用タイヤの空気充填用です。自動車用タイヤの空気充填や空気圧の点検以外での使用はしないでください。
- コンプレッサーの電源は，自動車用12V専用です。他の電源は接続しないでください。
- コンプレッサーには防水加工をしておりません。降雨時などは，水がかからないようにしてご使用ください。
- コンプレッサーは，砂埃などを吸い込むと，故障の原因になります。砂地など砂埃の多い場所に直接置いて使用しないでください。
- コンプレッサーの分解，改造などは絶対にしないでください。また，空気圧計などに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

13.コンプレッサーの空気圧計を使用して，空気圧を点検，調整します。
空気を入れ過ぎたときは，エアホースの口金をゆるめて空気を抜きます。

⚠注意

- タイヤがふくらむとき，タイヤとホイールの間に指などはさまないようにしてください。
- 使用中，コンプレッサーの表面が熱くなります。コンプレッサーは10分以上連続して作動させないでください。故障につながるおそれがあります。
- コンプレッサーの運転中に動作が鈍くなった場合は，オーバーヒート状態になっています。このような場合はただちにスイッチをOFFにし，30分以上放置してください。

アドバイス

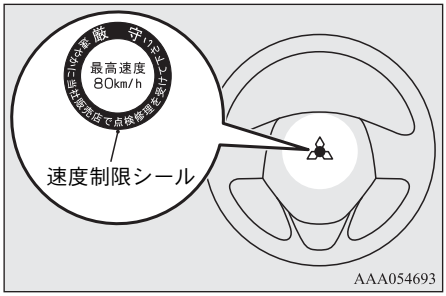
- 10 分以内に指定の空気圧に昇圧できないときは，タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあり，応急修理剤を使って応急修理することができません。三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

14.コンプレッサーのスイッチを OFF にしてから電源コードのプラグをアクセサリーソケットから抜きます。

アドバイス

- 本応急修理キットでタイヤに修理剤および空気を注入するだけではパンク穴はふさがりません。応急修理が完了するまで（手順17.または18.まで）は，パンク穴より空気が漏れます。

15.速度制限シールをハンドルの三菱マークの上に貼ります。



⚠注意

- ハンドルの指定位置以外にシールを貼らないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

16.応急修理キットを車に搭載してただちに走行してください。
80km/h以下の速度で法定速度を守り，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作を避けて慎重に運転してください。

⚠注意

- 走行中異常を感じたときは，運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。
応急修理完了までに空気圧が低下して安全性を損なうおそれがあります。

17.10 分間または約 5km 走行後，コンプレッサーの空気圧計でタイヤの空気圧を点検します。
空気圧の低下がなければ，応急修理完了です。つぎに手順 19. を行ってください。
タイヤの空気圧が不足している場合は，もう一度指定の空気圧まで昇圧し，走行します。

⚠注意

- 空気圧が最少空気圧 (130 kPa {1.3kgf/cm ^{2}}) より低下しているときは，応急修理剤での応急修理はできません。
運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

18.10分間または約5km走行後, 再びタイヤの空気圧を点検します。
空気圧の低下がなければ，応急修理完了です。

アドバイス

- タイヤの空気圧が指定空気圧より低下していたら運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。
- 寒冷時（0°C以下）では修理完了までの時間，走行距離が長くなる場合があるため，2度目の空気圧の昇圧，走行後でもタイヤ空気圧が指定空気圧より低下することがあります。
そのような場合は，もう一度指定空気圧まで昇圧しさらに10分間または約5km走行後，もう一度空気圧を点検してください。それでも指定空気圧より低下する場合はこれ以上の運転を中止し三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

19.すみやかに三菱自動車販売会社まで慎重に運転し，タイヤの修理，交換を行ってください。

⚠注意

- 必ず空気圧の点検を行い，応急修理の完了を確認してください。

アドバイス

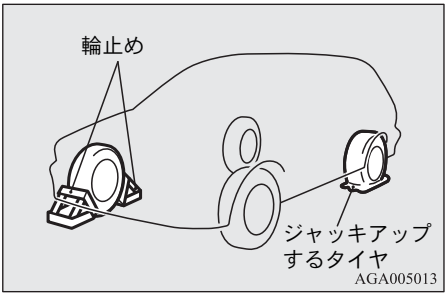
- 応急修理剤の空ボトルは，三菱自動車販売会社で新しい応急修理剤をお買い求めの際にお渡しください。
- 応急修理剤を使用したタイヤは，新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用する場合は三菱自動車販売会社にご相談ください。なお，応急修理後の恒久修理のとき，パンク穴を発見できず恒久修理できないことがあります。

タイヤ交換のしかた

J01400901726

タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクトポジションをⓅにして，プラグインハイブリッドEVシステムを停止します。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，停止表示板などを車両後方に置きます。
4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



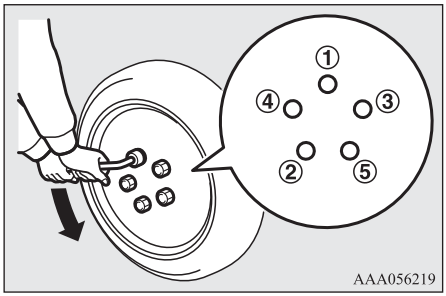
⚠注意

● ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
● 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具およびジャッキを取り出します。
→「工具とジャッキ」P. 13-9
6. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り外します。
→「ホイールカバー」P. 13-23
7. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
→「ジャッキアップのしかた」P. 13-10
8. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまでゆるめます。



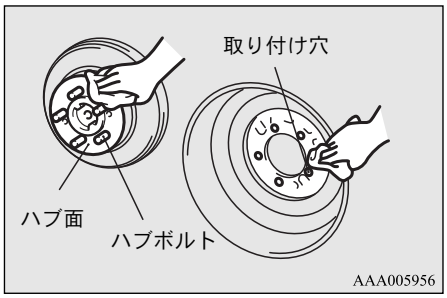
9. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
10. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

● タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

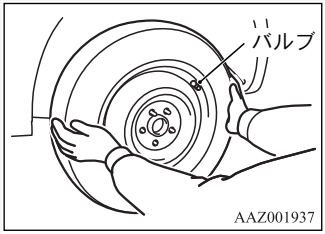
1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。



2. タイヤを取り付けます。

⚠警告

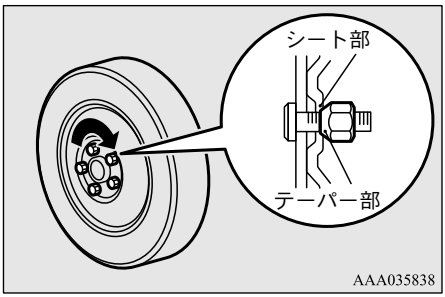
● **タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。**



3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。

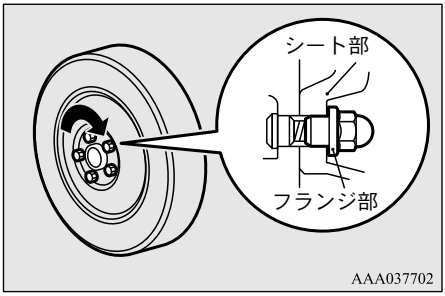
スチールホイール付き車

ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



アルミホイール付き車

ホイールナットのフランジ部がホイールに当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



⚠注意

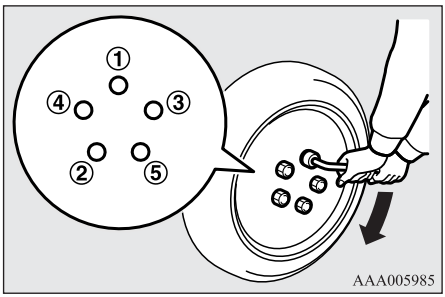
● ハブボルト，ホイールナットには油を塗らないでください。
ネジ部，ホイールなどの損傷の原因になります。

アドバイス

- アルミホイールを 4 輪ともスチールホイールに変更するときは，テーパーナットを三菱自動車販売会社でお買い求めの上，ご使用ください。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に 2~3回に分けて, 徐々に締め付けます。最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク: 88~108N•m {9~11kgf•m}



⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り付けます。
   →「ホイールカバー」P. 13-23
6. タイヤの空気圧を点検します。
   →「タイヤの空気圧」P. 14-7
7. 工具とジャッキを元の位置に戻します。
   →「格納場所」P. 13-9

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

- タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後, 再度ホイールナットを締め付けて, ゆるみがないことを点検してください。

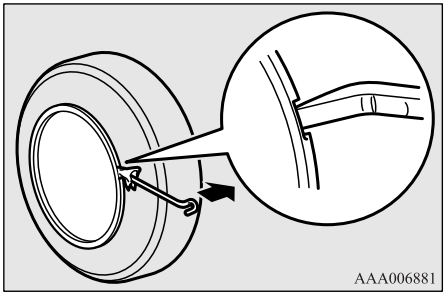
ホイールカバー

タイプ別装備

J01402800546

◆ 取り外すときは

1. ジャッキバーの先に布をかぶせて，ホイールカバーの切り欠き部へ差し込み，タイヤ側にこじてカバーを少し浮かせます。



2. カバーが浮いたら，ホイールカバーの周囲に沿ってジャッキバーの差し込み位置を変えながら，少しずつこじてカバーを取り外します。

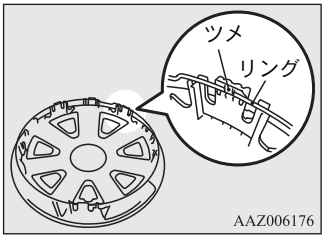
⚠注意

- ホイールカバーが外れるまでジャッキバーを使ってください。手でこじるとホイールカバーの端などでけがをするおそれがあります。

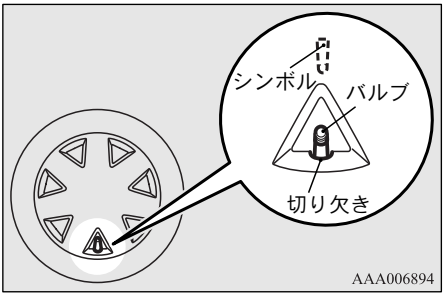
◆ 取り付けるときは

⚠注意

- ホイールカバーを取り付ける前に，裏面のツメがリングに正しく組み付いていることを確認してください。また，ツメが折れているときはホイールカバーを取り付けないでください。走行中にホイールカバーが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



1. タイヤのバルブ（空気注入口）とホイールカバーの切り欠き部を合わせます。

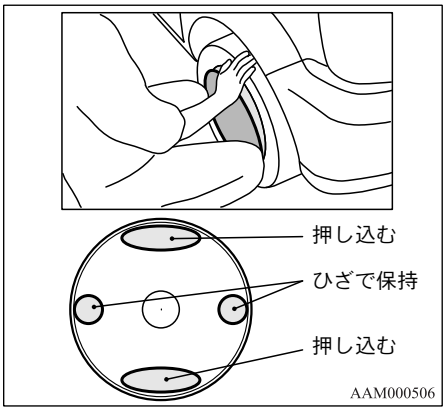


アドバイス

- カバー裏側に切り欠き部の位置を表示するシンボルがあります。
  ホイールカバーを取り付ける前に，シンボルとバルブの位置が正しく合っていることを確認してください。

2. ホイールカバーの下部をホイールに押し込みます。

3. ホイールカバーの両端を軽く押し込み，両ひざで保持します。
4. ホイールカバーの上部を外周に沿って軽くたたいて押し込みます。



補機用バッテリーが上がったときは！

J01407400097

つぎのような状態を補機用バッテリー上がりといいます。

- プラグインハイブリッド EV システムが起動しない。
  [READY（走行可能）表示灯が点灯しない。]
- ライトが点灯しない。または，いつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。

このような場合は，ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，つぎの要領でプラグインハイブリッド EV システムを起動することができます。

⚠警告

- **ブースターケーブルを使用してプラグインハイブリッドEVシステムを起動するときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。**

⚠注意

- 救援車は必ず12Vで，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車に依頼してください。
- ブースターケーブルは，補機用バッテリーの容量に適したものを使用してください。
  また，破損や腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。
  ケーブル焼損の原因になることがあります。

アドバイス

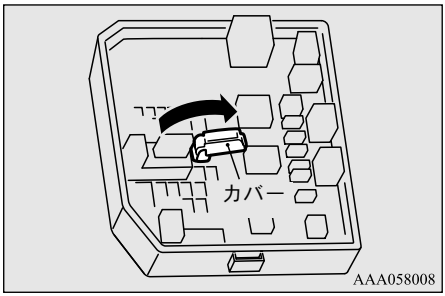
- 駆動用バッテリーを充電したままの状態で，補機用バッテリーにブースターケーブルを接続しないでください。車両または充電機器が破損するおそれがあります。
- 補機用バッテリーを外してもパワースイッチの電源モードの状態を記憶しています。救援車とブースターケーブルで接続したときは，電源が絶たれる前の電源モードの状態に戻ります。
  補機用バッテリーが上がる前の電源モードの状態がわからない場合は，十分注意をしてください。
- セレクトポジションがⓅの状態で補機用バッテリーが上がった場合は，Ⓟから他のポジションへの切り換えができないことがあります。その場合は，前輪が固定されているため，前輪を持ち上げないと車両を移動することができません。

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。
2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキを確実にかけます。救援車がマニュアル車の場合はシフトレバーをⓃ，オートマチック車の場合はセレクターレバーをⓅに入れ，エンジンを止めます。

⚠警告

- **ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンを止めてください。**
  ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。
- **冷却ファンは，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中またはプラグインハイブリッドEVシステム起動中は，ファンに手を近づけないでください。**

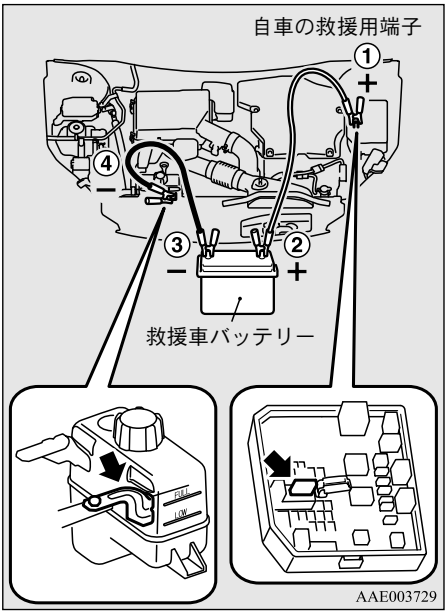
4. エンジンフード（ボンネット）を開け，メインヒューズボックスのカバーを取り外します。
   →「エンジンフード（ボンネット）」P. 11-5
   →「ヒューズボックスの位置：エンジンルーム内」P. 13-33
5. メインヒューズボックスの中にある救援用端子カバーを開けます。



アドバイス

- 救援用端子を使用して，他車のバッテリー上がりを救援することはできません。

6. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車の救援用端子
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーの－端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）



⚠警告

- **ブースターケーブルを接続するときは，必ずつぎのことをお守りください。火花が発生し，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。**
  - **ブースターケーブルは正しい順番，位置に接続する**
  - **ブースターケーブルの＋と－端子を接触させない**
  - **バッテリー付近で喫煙したり，マッチやライターなどを使用しない**

⚠注意

- ブースターケーブルは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 指定された位置以外へのブースターケーブルの接続は故障の原因となります。

7. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
8. 自車のプラグインハイブリッド EV システムを起動し，READY（走行可能）表示灯が点灯するか確認します。
   READY（走行可能）表示灯が点灯しないときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。
9. READY（走行可能）表示灯が点灯したら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
10. セレクトポジションがⓅ以外の全てに切り換わることを確認します。
11. 最寄りの三菱自動車販売会社で補機用バッテリーの点検を受けてください。

⚠注意

- お客様のお車には専用の補機用バッテリーが装着されています。このためバッテリーの型式が同じでも，お車に正しく取り付けられないことがあります。補機用バッテリーを交換するときは三菱自動車販売会社に依頼してください。

アドバイス

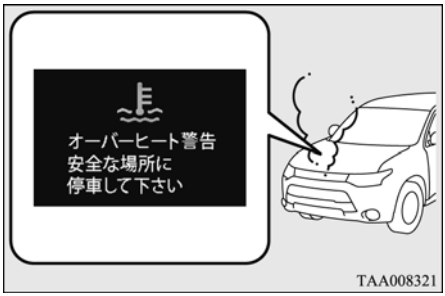
- 押しがけやけん引によりプラグインハイブリッド EV システムを起動することはできません。

オーバーヒートしたときは！

J01401101448

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に の警告表示が表示されると同時に，つぎのメッセージが表示されている。



- プラグインハイブリッド EV システムの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。

つぎの要領にしたがい処置してください。

1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

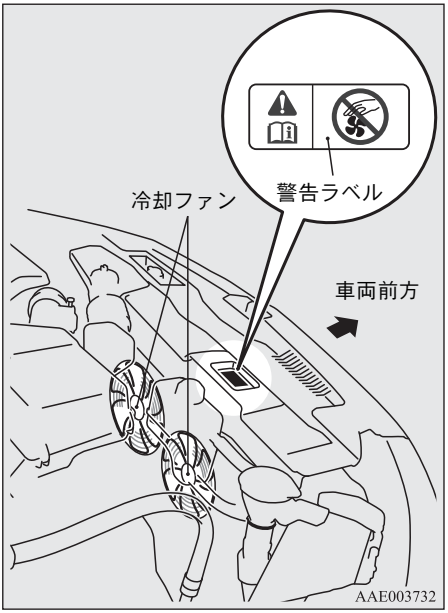
   ［蒸気が出ていないとき］
   プラグインハイブリッド EV システムを起動したままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通しをよくします。

   ［蒸気が出ているとき］
   プラグインハイブリッド EV システムを停止し，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，プラグインハイブリッド EV システムを起動します。

⚠警告

- **エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。**

3. 冷却ファンが作動しているか確認します。



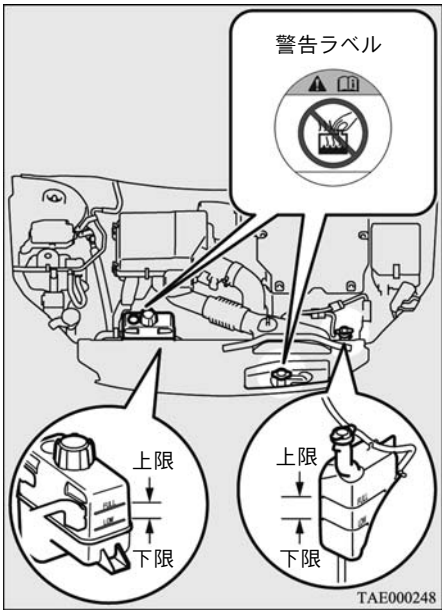
[冷却ファンが作動しているとき]
オーバーヒート警告表示が消灯した後で，プラグインハイブリッド EV システムを停止します。

[冷却ファンが作動していないとき]
すぐにプラグインハイブリッド EV システムを停止して自然冷却し，三菱自動車販売会社へ連絡してください。

⚠警告

- **冷却ファンに，手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。**

4. プラグインハイブリッド EV システムが十分冷えてから，冷却水の有無を点検します。
冷却水が不足しているときは，冷却水を補給します。
冷却水がないときは，応急処置として水を補給します。



⚠警告

- **通常はラジエーターキャップまたはモーター冷却用コンデンスタンクのキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。**

アドバイス

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

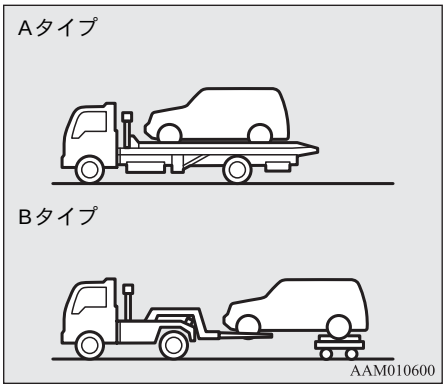
けん引

J01401201465

けん引は三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼し，4輪を持ち上げて搬送してください。
つぎの場合は，前輪が固定されている可能性があるため，三菱自動車販売会社に連絡し，必ず4輪とも持ち上げて搬送してください。

- READY（走行可能）表示灯が点灯しているのに車が動かない。または異音がする。
- メーター内の何らかの警告灯が点灯している。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。
- 事故などで車体が大きく破損・変形している

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼してください。



燃料切れなどの非常時には，一時的に他車にロープでけん引してもらうことができます。
やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，「他車にけん引してもらうとき」の手順にしたがってできるだけ短距離にとどめ，慎重に行ってください。
→P. 13-30

⚠注意

- 駆動系やサスペンションなどに異常がある場合は，後輪または前輪だけを台車に乗せたけん引（Bタイプ）はしないでください。

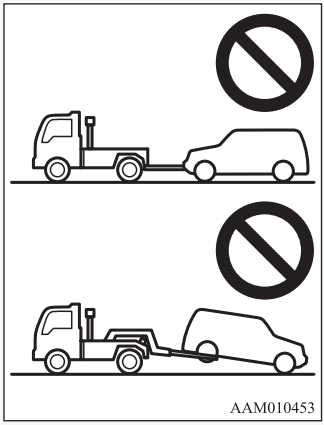
アドバイス

- JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

レッカー車に搬送してもらうとき

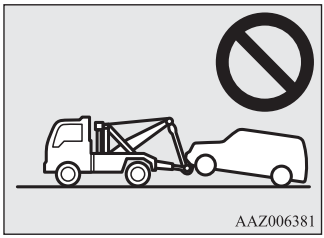
⚠警告

- レッカー車で吊り上げた場合は，絶対に車両の下に入らないでください。車両が落下した場合，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- けん引される車両には乗車しないでください。
- 前輪を接地してのけん引はしないでください。モーターやトランスアクスルなどが損傷するおそれがあります。



⚠注意

- 車体つり上げ式のレッカー車でのけん引はしないでください。バンパーや車体が破損するおそれがあります。



他車にけん引してもらうとき

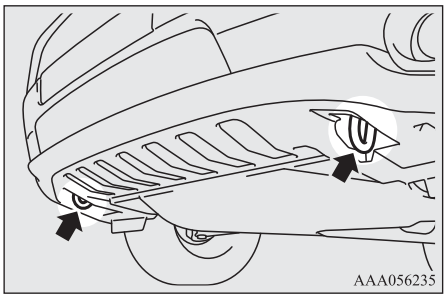
J01403901642

燃料切れなどの非常時に，やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，つぎの要領にしたがってできるだけ短距離にとどめ，慎重に行ってください。

⚠警告

- 燃料切れなどの非常時以外は，この方法でけん引しないでください。何らかの警告灯が点灯しているなど，車両に異常が発生しているときにこの方法でけん引すると，モーターやトランスアクスルなどが損傷するおそれがあります。

1. けん引ロープをけん引フックにかけます。



⚠注意

- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損することがあります。

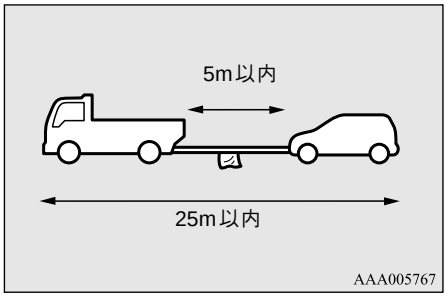
アドバイス

- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると，車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか，車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどしてけん引してください。
- けん引ロープは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。

アドバイス

- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると，車体を傷つけるおそれがあります。
- けん引ロープはできるだけ同じ側のフックにかけて，斜めけん引とならないようにしてください。

2. けん引ロープには，30cm 平方（タテ30cm×ヨコ30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



3. プラグインハイブリッド EV システムを起動します。
   プラグインハイブリッド EV システムが起動できないときは，パワースイッチの電源モードをONにします。

⚠警告

- **プラグインハイブリッドEVシステムを起動せず，パワースイッチの電源モードをONにしてけん引すると，けん引中に補機用バッテリーが上がることがあります。**
  この場合，ブレーキの効きが非常に悪くなり，ハンドル操作が非常に重くなります。

⚠注意

- レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 付き車および衝突被害軽減ブレーキシステム (FCM) 付き車は，けん引時の思わぬ事故や予期しない作動を防ぐため，システムを停止させてください。
  →「レーダークルーズコントロールシステム(ACC)」P. 7-52
  →「衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM)」P. 7-62

4. セレクトポジションをⓃにします。
5. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
   →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-45

⚠警告

- **急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。**
- **長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。**

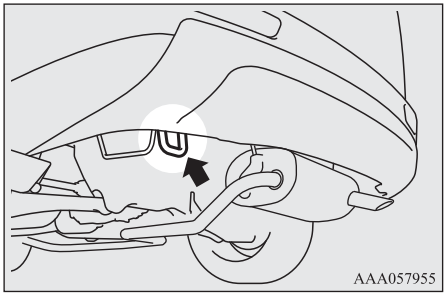
⚠注意

- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- 安全のためにけん引するときの速度は 30 km/h 以下，けん引する距離は 30km 以内にしてください。この速度，距離を超えると車両の故障の原因になります。

故障車をけん引するとき

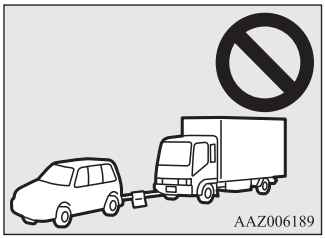
J01404100644

やむを得ず故障車をけん引するときは，けん引フックにけん引ロープをかけてけん引してください。その他は「他車にけん引してもらうとき」と同じ要領で行ってください。



⚠注意

- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損することがあります。
- 自車より重い故障車をけん引しないでください。
  車両重量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。



ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300137

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

ヒューズが切れたときは！

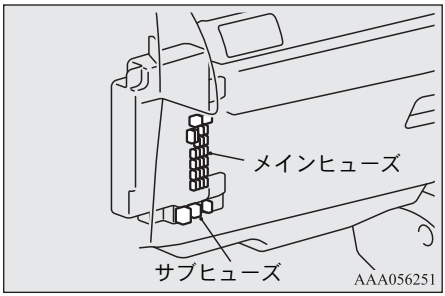
J01401501211

各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

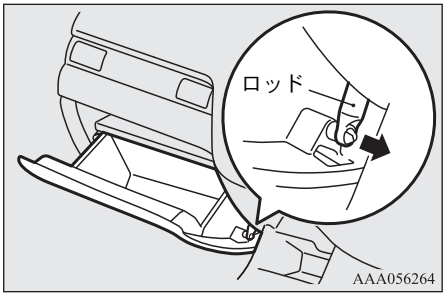
ヒューズボックスの位置

◆ 室内

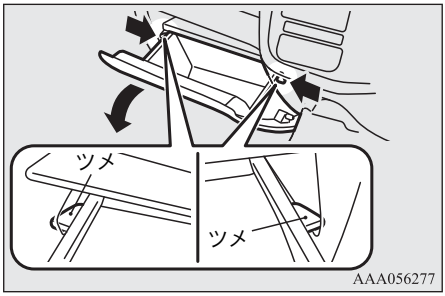
グローブボックスの裏側にあります。メインヒューズの点検・交換はグローブボックスを外して行います。



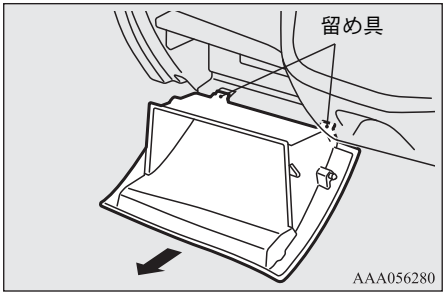
1. グローブボックスを開き，グローブボックス右側のロッドを外します。



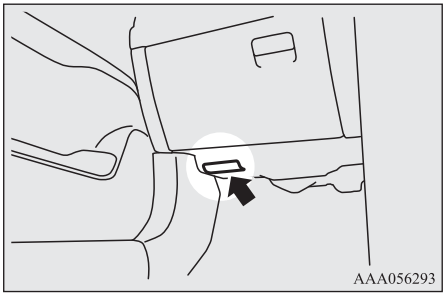
2. グローブボックスの側面を押しながら，左右のツメを外し，グローブボックスを下げます。



3. グローブボックスの留め具を外して，グローブボックスを取り外します。
グローブボックスを戻すときは，逆の手順で取り付けます。

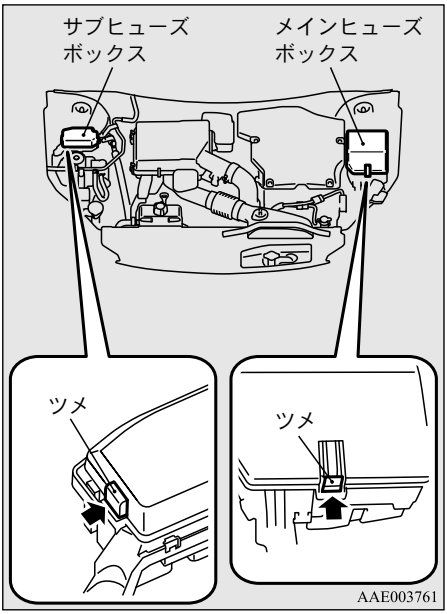


4. サブヒューズの点検•交換は，グローブボックス下側の穴から行います。



◆ エンジンルーム内

ツメを押してロックを外し，カバーを持ち上げて取り外します。



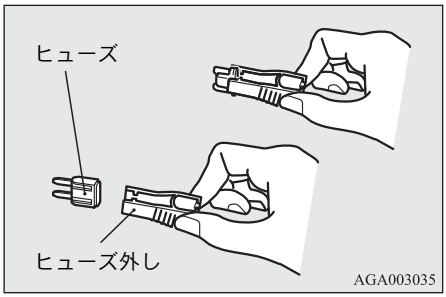
ヒューズの交換

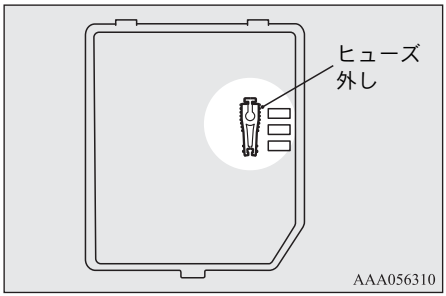
1. パワースイッチの電源モードを OFF の状態にします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
   →「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 13-35

アドバイス

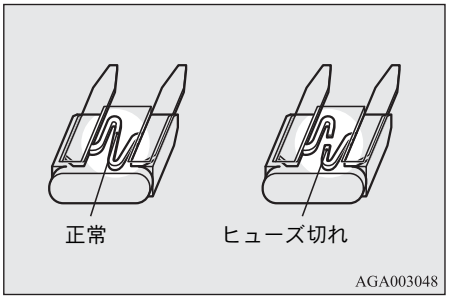
- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，室内はグローブボックスの裏側に，エンジンルーム内はヒューズボックスカバーの内側に記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは，エンジンルーム内のメインヒューズボックスカバーの内側にあります。





4. ヒューズを点検し，切れているときは予備のヒューズと交換します。



⚠警告

- **取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。**

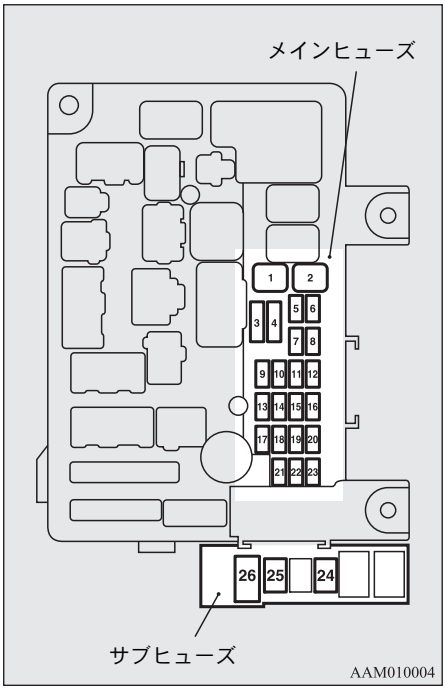
アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403701581

◆ 室内



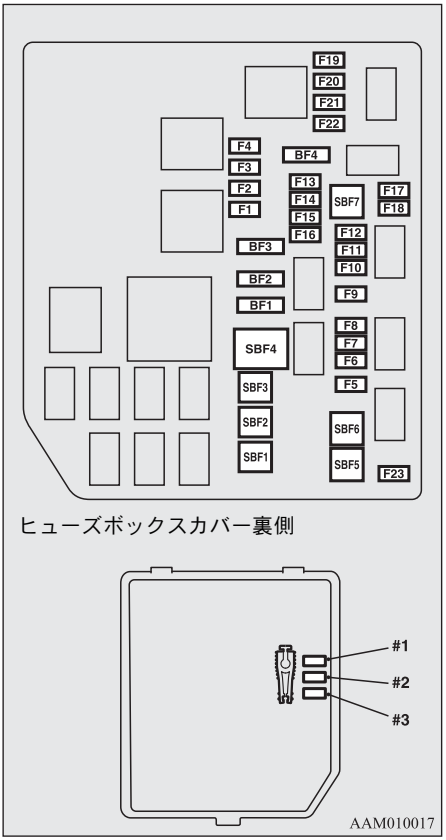
NO.	表示	装備	容量
1		パワーウインドウ	30A
2		デフォッガー	30A
3		ヒーター	30A
4		フロントワイパー	30A
5		ドアロック	20A
6		リヤフォグランプ	10A
7		アクセサリーソケット	15A
8		リヤワイパー	15A
9		サンルーフ	20A

NO.	表示	装備	容量
10		イグニッション スイッチ	10A
11		オプション	10A
12		非常点滅灯	15A
13		4WD	10A
14	STOP	制動灯 (ブレーキランプ)	15A
15		メーター	10A
16		SRSエアバッグ	7.5A
17		ラジオ	15A
18		コントロール ユニットリレー	7.5A
19		室内灯 (ルームランプ)	15A
20		後退灯(バック アップランプ)	7.5A
21		ヒーテッド ドアミラー	7.5A
22		ドアミラー	10A
23		シガレット ライター ／アクセサリー ソケット	15A
24		充電	7.5A
25		運転席 パワーシート	30A
26		シートヒーター	30A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

◆ エンジンルーム内

メインヒューズボックス



NO.	表示	装備	容量
SBF1		エアコン コンデンサー ファンモーター	30A
SBF2	—	—	—
SBF3	—	—	—
SBF4		ラジエーター ファン	40A
SBF5	ABS	ABS	40A
SBF6	—	—	—

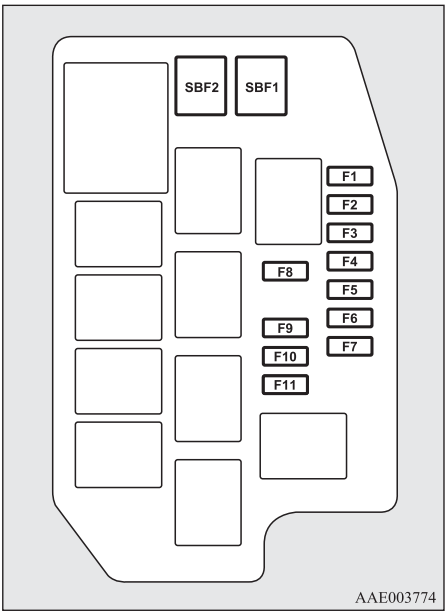
NO.	表示	装備	容量
SBF7	ABS	ABS	30A
BF1	P/GATE	パワーゲート	30A
BF2		オーディオアンプ	30A
BF3	IOD	IOD	30A
BF4	—	—	—
F1	—	—	—
F2		ワイパーディアイサー	15A
F3	—	—	—
F4		デイタイムランニングライト	10A
F5		フロントフォグランプ	15A
F6	—	—	—
F7		ヘッドランプウォッシャー	20A
F8		セキュリティーホーン	20A
F9		ホーン	10A
F10		ETV	15A
F11	—	—	—
F12		エンジン	7.5A
F13		ENG/POWER	20A
F14		フューエルポンプ	15A
F15		イグニッションコイル	10A
F16	—	—	—
F17		ヘッドライト（上向き）（左）	10A
F18		ヘッドライト（上向き）（右）	10A

NO.	表示	装備		容量
F19		ヘッドライト（下向き）（左）	ディスチャージ	20A
F20		ヘッドライト（下向き）（右）	ディスチャージ	20A
F21		ヘッドライト（下向き）（左）	ハロゲン	10A
F22		ヘッドライト（下向き）（右）	ハロゲン	10A
F23	—	—		—
#1	—	スペアヒューズ		10A
#2	—	スペアヒューズ		15A
#3	—	スペアヒューズ		20A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

7.5A，25A，30Aのスペアヒューズはありません。ヒューズが切れたときは，つぎのヒューズで代用してください。
7.5A:10Aスペアヒューズ
25A:20Aスペアヒューズ
30A:30Aオーディオアンプヒューズ
代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズと交換してください。

サブヒューズボックス



NO.	表示	装備	容量
SBF1		電気式シフトコントロール	30A
SBF2		バキュームポンプ（回生ブレーキ）	30A
F1		ウォーターポンプ（モーター）	20A
F2	—	—	—
F3	—	—	—
F4		フューエルリッド（燃料補給口）	7.5A
F5		ソレノイドバルブ（エアコン）	7.5A
F6		ウォーターポンプ（エアコン）	7.5A
F7		EV	10A
F8	—	—	—
F9		駆動用バッテリーファンモーター	15A
F10		イグニッションコントロール	15A
F11		イグニッションコントロール	7.5A

バルブ（電球）が切れたときは！

J01401600970

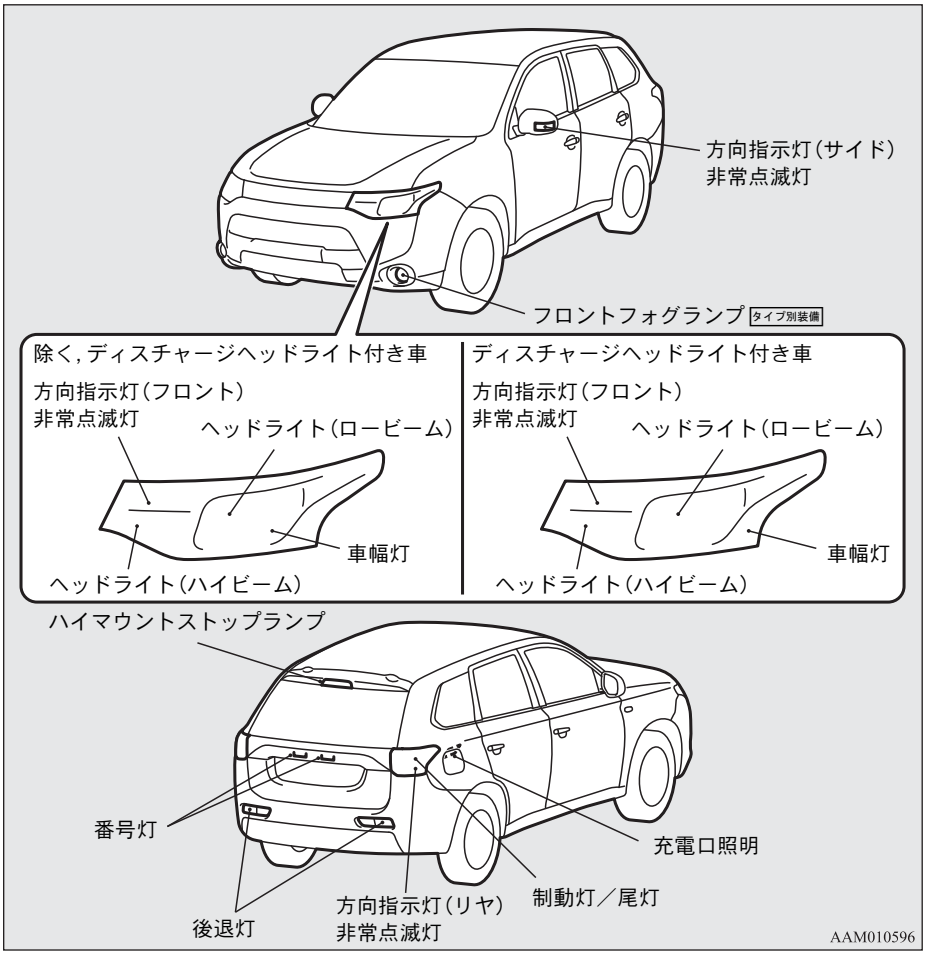
ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し，切れているときは各バルブの交換要領にしたがって交換してください。

バルブ（電球）の位置•W（ワット）数

J01406200102

◆ 車外照明

J01406800599



ヘッドライト	除く, ディスチャージヘッドライト付き車	ハイビーム[ハロゲン球]	60 W（HB3）
		ロービーム[ハロゲン球]	55 W（H7）
	ディスチャージヘッドライト付き車	ハイビーム[ハロゲン球]	60 W（HB3）
		ロービーム[ディスチャージ球]	35 W
車幅灯			5 W（W5W）
フロントフォグランプ タイプ別装備			55 W（H11）
制動灯／尾灯（バルブタイプ）			21/5 W (P21/5W)
後退灯			21 W (W21W)
番号灯			5 W（W5W）
方向指示灯 非常点滅灯		フロント	21 W（PY21W）
		リヤ	21 W（PY21W）
充電口照明			5 W（W5W）

●（ ）内はバルブ（電球）の型式を示しています。

⚠警告

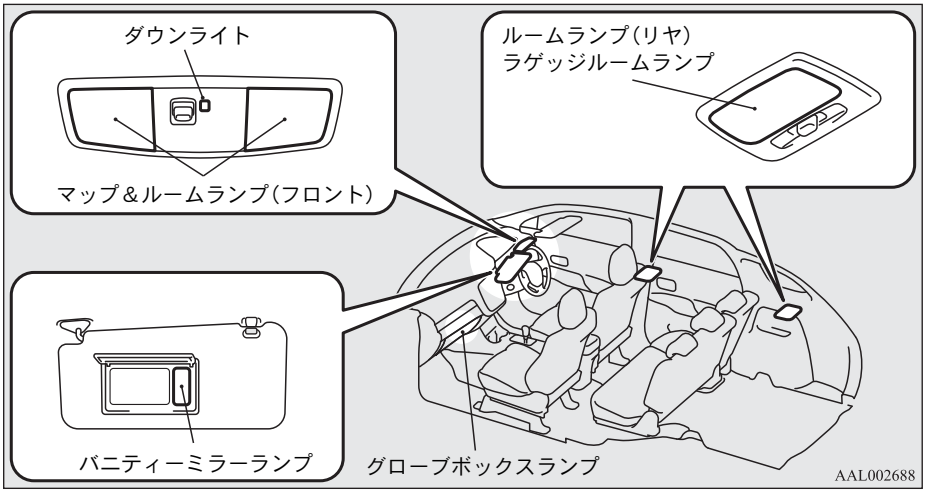
●ディスチャージヘッドライトの修理･バルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

アドバイス

● 以下のバルブの修理・交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 方向指示灯／非常点滅灯（サイド）
- 制動灯／尾灯（LEDタイプ）
- ハイマウントストップランプ

◆ 車内照明

J01406300406



マップ＆ルームランプ(フロント)	8 W
ルームランプ(リヤ)	8 W
ラゲッジルームランプ	8 W
グローブボックスランプ	1.4 W
バニティーミラーランプ	2 W

アドバイス

● ダウンライトの修理•交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。

バルブ（電球）の交換

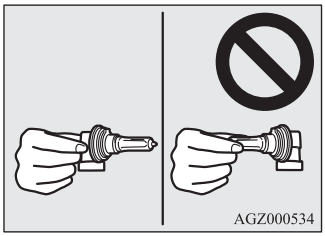
J01401700900

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプスイッチを OFF にして，パワースイッチの電源モードをOFFにします。
2. 該当するランプのW（ワット）数を確認します。
   →「バルブ（電球）の位置 •W（ワット）数」P. 13-39
3. 各ランプの交換要領にしたがってバルブを交換します。

⚠注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
  バルブの表面が十分冷えてから交換してください。
- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて，油をふき取ってください。



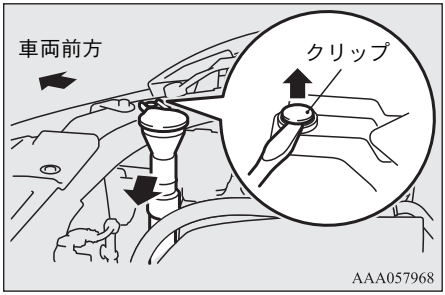
アドバイス

- バルブを交換するときは，同じ W（ワット）数，同じバルブ色のものを使用してください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
  これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
  ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
  ただし，ランプ内に水がたまっているときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

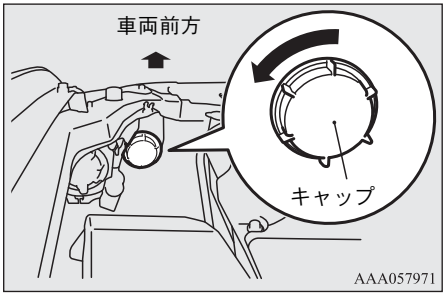
◆ ヘッドライト（ハイビーム）

J01401901824

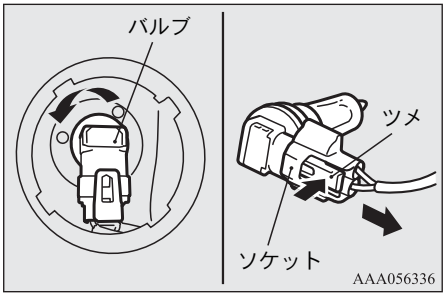
1. 運転席側のバルブを交換する場合は，ウォッシャータンクを固定しているクリップを外して，ウォッシャータンクを移動させます。



2. キャップを反時計回りに回して外します。



3. バルブを反時計回りに回して外し，ツメを押しながら，ソケットを引き抜きます。



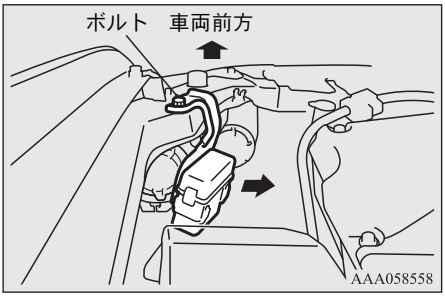
4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ ヘッドライト（ロービーム）

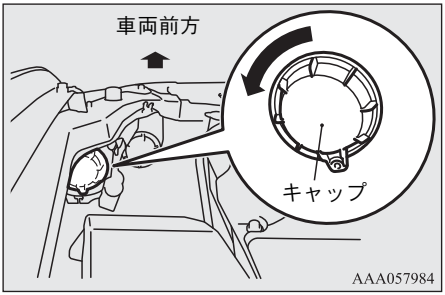
J01401901837

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

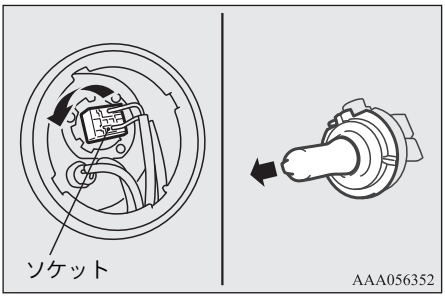
1. 助手席側のバルブを交換する場合は，リレーボックスを固定しているボルトを外し，リレーボックスを移動させます。



2. キャップを反時計回りに回して外します。



3. ソケットを反時計回りに回して外し，ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

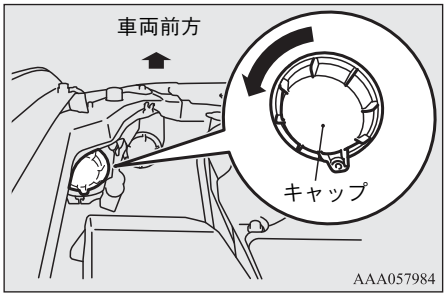
◆ 車幅灯

J01402000896

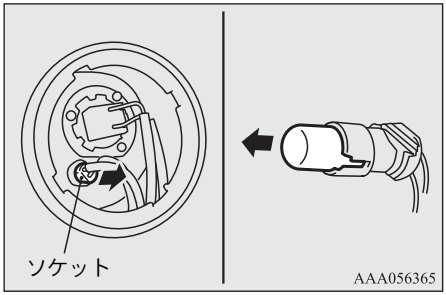
助手席側のバルブを交換する場合は，リレーボックスを固定しているボルトを外し，リレーボックスを移動させます。
→「ヘッドライト（ロービーム）：手順1」P. 13-44

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

1. キャップを反時計回りに回して外します。



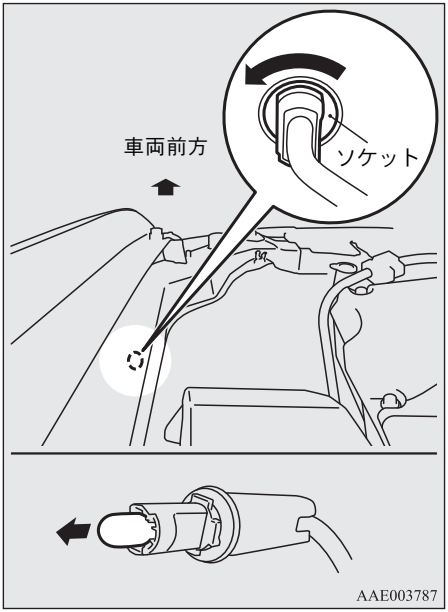
2. ソケットを引き抜き，ソケットからバルブを引き抜きます。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

ディスチャージヘッドライト付き車

1. ソケットを反時計回りに回して外し，ソケットからバルブを引き抜きます。

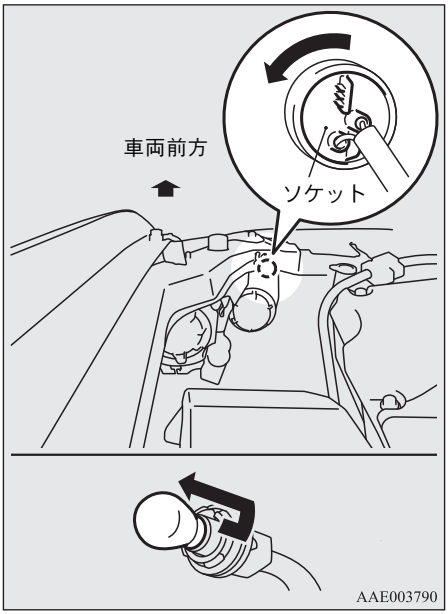


2. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ 方向指示灯（フロント）

J01402100813

1. ソケットを反時計回りに回して外し，バルブを押し込みながら反時計回りに回して外します。



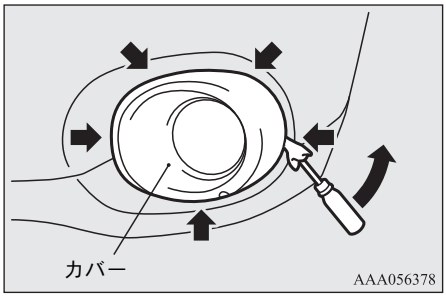
2. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆フロントフォグランプ

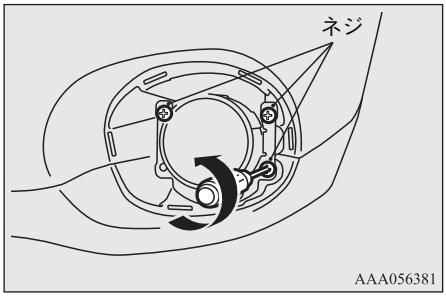
タイプ別装備

J01403200895

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを矢印の部分に差し込み，カバーをこじて外します。

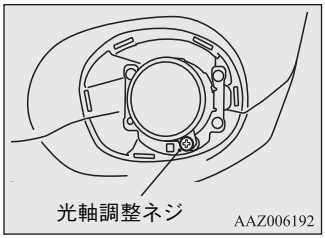


2. ネジを外し，ランプ本体を 取り外します。

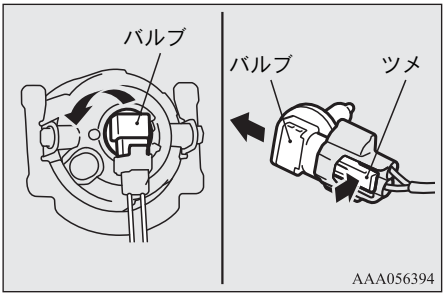


アドバイス

● ネジを外すときに，誤って光軸調整ネジを動かさないように注意してください。



3. バルブを反時計回りに回して外し，ツメを押しながらバルブを引き抜きます。

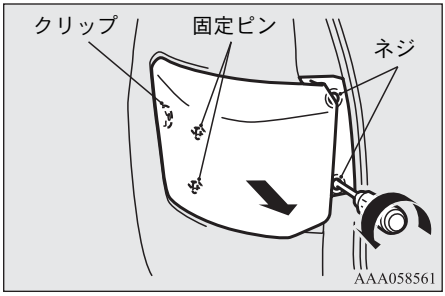


4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

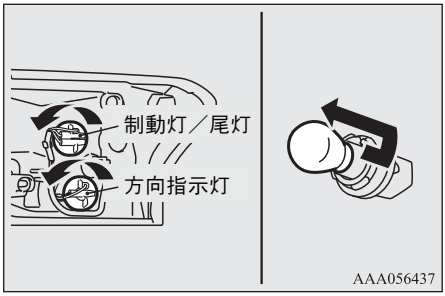
◆ リヤコンビネーションランプ

J01403000792

1. テールゲートを開きます。
   →「テールゲート」P. 4-21
2. ネジを外した後，ランプユニットを手前に引いて，ランプ裏側にある固定ピンとクリップを外します。



3. ソケットを反時計回りに回して外し，バルブを押し込みながら反時計回りに回して外します。



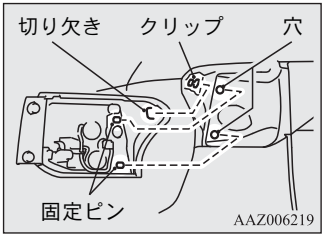
アドバイス

● LED タイプの制動灯／尾灯の修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

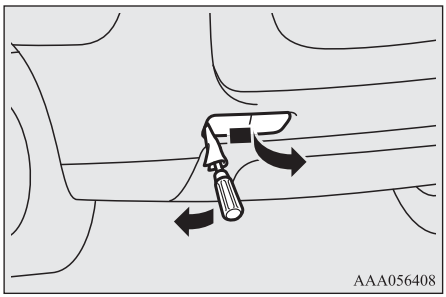
● ランプ本体を取り付ける際は，ランプ本体の固定ピンを車体側の穴に，切り欠きを車体側のクリップ位置に合わせて取り付けます。



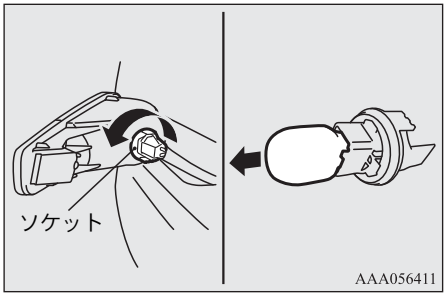
◆ 後退灯

J01402500253

1. テールゲートを開きます。
   →「テールゲート」P. 4-21
2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込み，ランプを車体中央へ押しながら外します。



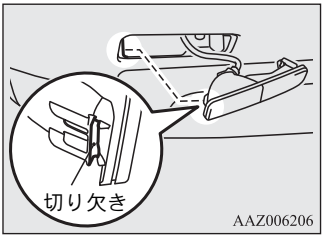
3. ソケットを反時計回りに回して外し，ソケットからバルブを外します。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

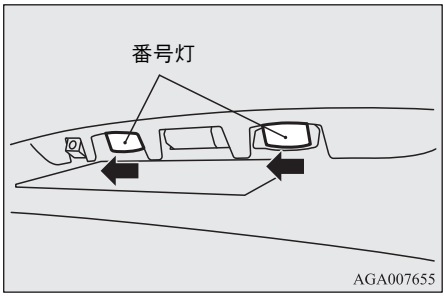
● ランプ本体を取り付けるときは，切り欠きをバンパーの穴に合わせた後，ランプを押して取り付けます。



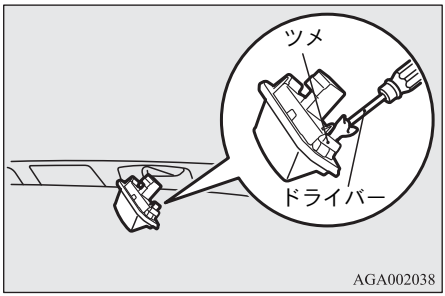
◆ 番号灯

J01402600717

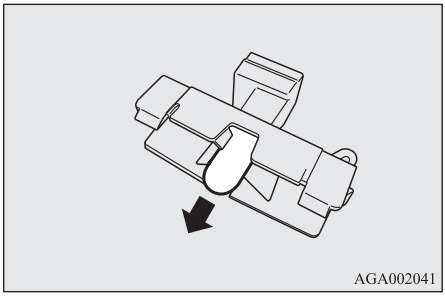
1. ランプ本体を車体左側へ押しながら外します。



2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを使用して，ツメをこじてレンズを外します。



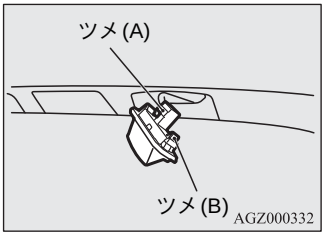
3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

● ランプ本体を取り付けるときは，ツメ（A）を先に入れ，ツメ（B）を後で合わせて取り付けます。



MEMO

サービスデータ

メンテナンスデータ 14- 2
タイヤ, ホイール 14- 7
充電システム仕様 14- 8
カスタマイズ（機能の設定変更） 14- 9

メンテナンスデータ

J01600101485

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量などについては車載の「自動車検査証」をご参照ください。

燃料の量と種類

J01600500352

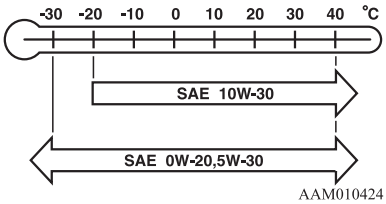
容量	使用銘柄
約45L	無鉛レギュラーガソリン

⚠注意

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。
- 軽油や有鉛ガソリン，粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，三菱自動車純正以外のガソリン添加剤（含む，水分除去剤）を使用しないでください。排気ガス浄化装置や燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
- お車の使用状況によっては燃料タンク内の燃料が消費されず長期間滞留し，燃料の品質が低下することがあります。エンジンや燃料系の部品に影響をおよぼす可能性があるため，つぎのことを守ってください。
  - 3ヶ月に一度はバッテリーチャージスイッチを押してエンジンを始動する。
    →「バッテリーチャージスイッチ」P. 7-35
  - 6ヶ月ごとに20L以上（6ヶ月間の給油量が合計20L以上になるように）燃料補給を行う。
- お車をお使いにならなかった等，燃料の残量が多く給油できないときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

オイル類の量と種類

J01601200747

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">容量</th><th>使用銘柄</th></tr>
<tr><td rowspan="6">エンジンオイル</td><td rowspan="6">2000車</td><td rowspan="6">約4.6L
（オイルフィルター内約0.3Lを含む）</td><td>
<table>
<tr><th>三菱自動車
純正銘柄</th><th>API分類</th><th>ILSAC規格</th><th>SAE
粘度番号</th></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン
SMエコ</td><td rowspan="2">SM</td><td rowspan="3">GF-4</td><td>0W—20</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ダイヤクイーン
SM</td><td>5W—30</td></tr>
<tr><td>SM/CF</td><td>10W—30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン
SLスーパー</td><td>SL相当</td><td>—</td><td>10W—30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン
SJ</td><td>SJ相当
/CF</td><td>—</td><td>10W—30</td></tr>
</table>
● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。


</td></tr>
</table>

アドバイス

● 0W-20は最も省燃費性に優れたオイルです。

オイル類の量と種類

J01600600832

項目		容量	使用銘柄
トランスアクスルオイル	フロント	約3.46L	三菱自動車純正ダイヤクイーン ATF SP III
	リヤ	約0.85L	
ブレーキ液		所要	三菱自動車純正ダイヤクイーン ブレーキフルードスーパー4 (DOT4)

冷却水の量と種類

J01600700673

項目		容量	使用銘柄
エンジン冷却水 (コンデンスタンク内約0.65Lを含む)	除く, 電気温水式ヒーター付き車	約7.5L	三菱自動車純正ダイヤクイーンスーパーロングライフクーラントプレミアム
	電気温水式ヒーター付き車	約9.0L	
モーター冷却水 (コンデンスタンク内約1.07Lを含む)		約6.5L	

ウォッシャー液の量と種類

J01600800414

項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約4.5L	三菱自動車純正ウォッシャー液

補機用バッテリーの種類

J01601400736

型式
S46B24L(S)

⚠警告

- **補機用バッテリーを接続するときは，＋端子と－端子を間違えないように，＋端子から先に接続してください。－端子から接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，補機用バッテリーが爆発するおそれがあります。**
- **駆動用バッテリー充電中に補機用バッテリーを取り外さないでください。**
  補機用バッテリーは，駆動用バッテリー充電中に自動的に充電されているため，取り外すと感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- お客様のお車には専用の補機用バッテリーが搭載されています。このため補機用バッテリーの型式が同じでも，お車に正しく取り付けられないことがあります。補機用バッテリーを交換するときは，三菱自動車販売会社に依頼してください。

アドバイス

- 補機用バッテリーを外した際は，エンジンを強制運転するための制御タイマーがリセットされます。リセット後にエンジンが始動しない状態が続くと燃料噴射装置が目詰まりを起こす可能性があるため，バッテリチャージスイッチを押してエンジンを始動させるようにしてください。ただし，駆動用バッテリーが満充電付近の場合はバッテリーチャージスイッチを押しても切り換わらない場合があります。その場合は，駆動用バッテリー残量が減ってからもう一度バッテリーチャージスイッチを押してください。
  →「バッテリーチャージスイッチ」P. 7-35

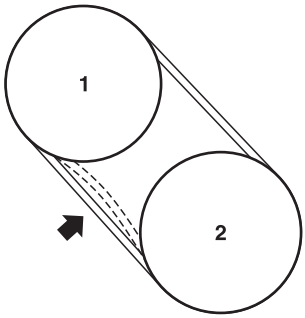
点火プラグ

J01600900620

点火プラグの点検，交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

整備基準値

J01601000673

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">サービスデータ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ブレーキペダル</td><td>遊び</td><td>3~8mm</td></tr>
<tr><td>踏み込んだときの床板とのすきま
(踏力約500N{約50kgf})</td><td>65mm以上</td></tr>
<tr><td>駐車ブレーキ</td><td colspan="2">引きしろ(操作力約200N{約20kgf})　6~7ノッチ</td></tr>
<tr><td>ベルトのたわみ量
(ベルトの中央部を約100N {約10 kgf}の力で押す。)</td><td colspan="2"> 

1. ウォーターポンププーリー
2. クランクシャフトプーリー
(参考値)
<table>
<tr><th>新品ベルト
装着時</th><th>中古ベルト
組込時および
使用ベルト
張り直し時</th><th>使用中ベルト張り
点検時</th></tr>
<tr><td>20.5mm以下</td><td>20.5mm以下</td><td>20.5mm以下</td></tr>
</table>
● ベルトのたわみ量と交換については, 三菱自動車販売会社にお問い合わせください。</td></tr>
</table>

タイヤ，ホイール

J01600201806

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。
- 4輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。
- タイヤ，ホイールを交換する際は三菱自動車販売会社へご相談ください。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- 必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。

タイヤ，ホイールのサイズ

J01602100017

タイヤ	ホイール
215/70R16 100H	16×6 1/2JJ(38mm)〔114.3mm〕5穴
225/55R18 98H	18×7J(38mm)〔114.3mm〕5穴

( ) 内は，オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）
〔 〕内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）

冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。
お客様のお車との組み合わせは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

タイヤの空気圧

J01602200021

タイヤサイズ		空気圧(kPa {kgf/cm²})
標準タイヤ	215/70R16 100H 225/55R18 98H	240 {2.4}

充電システム仕様

J01602000074

普通充電システム	定格電圧	AC 200V（単相）	AC 100V（単相）
	定格周波数	50Hz/60Hz	
	最大定格電流	15A*1	10A*1
	最大消費電力	3.0kVA*2	1.0kVA*2
	純正充電ケーブル内蔵コントロールボックス漏電検知電流	20mA	
	充電モード	IEC61851-1:2001に基づく Mode 2/Case B*1 Mode 3/Case C*2	
急速充電システム	準拠規格	CHAdeMO	
	最大入力電流	50A	
共通	IP等級	IP44:充電ガンが接続されている状態のとき IP55:充電リッドを閉じて走行している状態のとき	

*1: 純正コントロールボックス付き充電ケーブル使用時

*2: 公共用および家庭用に市販された充電ケーブル付き普通充電器使用時。
普通充電器の一部は, アウトランダー　PHEVに対応していないことがあります。

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600401521

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム	キーレスオペレーションシステムでできる操作 →P. 4-9	全機能	○
		ドアの施錠・解錠機能のみ	
		エンジンスタート機能のみ	
		全機能を働かなくする	
	施錠後のテールゲートOPENスイッチによる解錠禁止時間 →P. 4-12	約3秒	○
		約5秒	
		無し	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能で解錠されるドアおよびテールゲート →P. 4-6	すべてのドアおよびテールゲート	○
		運転席のみ	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能で解錠した後, 自動的に施錠されるまでの時間 →P. 4-4, 4-12	約30秒	○
		時間を長くする	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能で施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 4-4, 4-12	施錠時:1回点滅 解錠時:2回点滅	○
		施錠時:1回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:2回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:1回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:1回点滅	
		点滅しない	
	リモコンスイッチでできるドアミラーの格納・復帰操作 →P. 4-4	作動する	○
		作動しない	
	キーレスオペレーション機能で施錠・解錠した時の作動確認ブザーの有無 →P. 4-12	有り	○
		無し	
	リモコンスイッチで施錠・解錠した時の作動確認ブザーの有無 →P. 4-12	有り	
		無し	○
	ドア閉時のキーレスオペレーションキーの持ち出し監視機能の有無 →P. 4-14	有り	
		無し	○
	車外ブザーの音量	大	
		中	○
		小	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
セキュリティーアラーム[*1]	システムの設定 →P. 4-33	警報作動する	
		警報作動しない	○
	車内警報時間 →P. 4-37	標準	○
		時間を短くする	
センタードアロック			
	パワースイッチを使って解錠電源モードをOFFにする→P. 4-20	解錠する	
		解錠しない	○
三菱リモートコントロール[*3]	リモート操作でヘッドランプを点灯させる時間	機能を働かなくする	
		15秒	
		30秒	○
		45秒	
	リモート操作で車幅灯を点灯させる時間	機能を働かなくする	
		15秒	
		30秒	○
		45秒	
	リモート操作でホーンが鳴る回数	作動しない	
		1回	
		2回	○
		3回	

[*1] :お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「システム作動の設定変更のしかた」P. 4-34

[*3] 三菱リモートコントロールの操作方法の詳しい取扱説明については下記 URL より参照ください。
http://www.mitsubishi-motors.co.jp/special/app/outlander-phev/index.html

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ヘッドライト	自動点灯のタイミング（オートライトコントロールセンサーの感度調整） →P. 6-38	標準	○
		早くする	
		遅くする	
	ヘッドライトオートカット機能（自動消灯） →P. 6-40	作動する	○
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置 →P. 6-40	≣Dのみ	○
		≣DOG≣と≣D	
	ウェルカムライトとして点灯させるライト →P. 6-41	車幅灯点灯	○
		車幅灯およびヘッドライト（ロービーム）点灯	
		点灯しない	
	カミングホームライトとしてヘッドライトが点灯する時間 →P. 6-42	約15秒	
		約30秒	○
		約60秒	
		約180秒	
		機能を働かなくする	
方向指示灯	車線変更時の3回点滅機能 →P. 6-44	作動する	○
		作動しない	
	車線変更時の3回点滅機能が作動するまでのレバー操作時間 →P. 6-44	短い	○
		長い	
	方向指示灯が作動する電源モードの状態 →P. 6-44	ON	○
		ONまたはACC	

装備	調整機能	設定項目		出荷時の設定
フロントワイパー	間けつ作動（除く, レインセンサー付き車） →P. 6-47	車速感応		○
		車速感応無し		
		約4秒		
	自動作動（レインセンサー付き車） →P. 6-47	雨滴感応		○
		車速感応		
		無し		
		約4秒		
リヤワイパー	間けつ作動時間 →P. 6-51	約8秒		○
		時間を短くする[*4]		
		時間を長くする[*4]		
		連続作動にする		
	セレクターレバーをⓇに入れたときの自動作動モードの作動条件 →P. 6-51	フロントワイパーまたはリヤワイパーが作動中		○
		リヤワイパーがINT位置で作動中のみ		
フロントウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動[*5] →P. 6-50	連動する	ワイパーが連動作動し, さらに約6秒後にワイパーがもう1回作動する	○
			ワイパー連動作動のみ	
		連動しない		
	インテリジェントウォッシャー機能 →P. 6-50	有り		○
		無し		
リヤウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動[*5] →P. 6-51	連動する		○
		連動しない		

[*4] :連続作動モードあり
→「リヤワイパー／ウォッシャースイッチ」P. 6-51

[*5] :フロントウォッシャー・リヤウォッシャーの「連動する」「連動しない」の設定変更はそれぞれ単独で変更されず同時に変更されます。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ドアミラー	自動格納・復帰の条件 →P. 7-12	キーレスオペレーションシステム機能に連動（LOCKで格納, UNLOCKで復帰）	○
		電源モードに連動（運転席ドアを閉めてONで復帰, OFFで運転席ドアを開くと格納）	
		車速約30km/h以上で復帰	
		自動格納・復帰しない	
電源モード	電源モードがACCのときに自動的に電源をカットする機能 →P. 7-15, 7-17	30分後にカットする	○
		60分後にカットする	
		電源をカットしない	
エレクトリックテールゲート	テールゲートOPENスイッチ操作によりテールゲートが自動的に開く機能 →P. 4-24	作動する	
		作動しない	○
マップランプ＆ルームランプ（フロント） ルームランプ（リヤ）	ドアを閉じたときに消灯するまでの時間（遅延消灯） →P. 8-7	約15秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		遅延消灯機能を働かなくする	
室内灯	点灯し続けたとき, 自動的に消灯するまでの時間（自動消灯） →P. 8-9	約30分	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		自動消灯機能を働かなくする	
充電口照明	点灯時間	機能を働かなくする	
		1分	
		3分	○
		5分	
		10分	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
エアコン	内外気切り換えの自動制御 →P. 9-7	許可	○
		拒否	
	エアコンスイッチの自動制御 →P. 9-8	許可	○
		拒否	
	設定温度調整 →P. 9-6	設定温度表示より上げる	
		設定温度表示通り	○
		設定温度表示より下げる	
	ECOモードのときのエアコンのECO制御 →P. 6-45	有り	○
		無し	
	吹き出し口が のときの足元とウィンドウガラスへの風量割合 →P. 9-3	標準	○
		足元に多く送風	
		ウィンドウガラスに多く送風	
	吹き出し口が のときの足元と上半身への風量割合 →P. 9-3	標準	○
		足元に多く送風	
		上半身に多く送風	
リヤウィンドウデフォッガー・ヒーテッドドアミラー	パワースイッチの電源モードがONのとき自動的にウィンドウデフォッガーとヒーテッドドアミラーをONにする機能 →P. 6-52, 7-14	作動する	
		作動しない	○

MEMO

Numerics

100V AC電源(1500W) 8-4

A

ABS(アンチロックブレーキシステム) 7-41
ABS警告灯 7-42
ACC(レーダークルーズコントロールシステム) 7-52
ASC OFF スイッチ(アクティブスタビリティコントロールオフスイッチ) 7-45
ASC OFF表示 7-46
ASC警告表示 7-46
ASC作動表示 7-46
ASC(アクティブスタビリティコントロール) 7-44
AYC 7-30

B

Bluetooth®2.0インターフェース 8-25

E

ECOモードスイッチ 6-45
ETC 8-16
ETCアンテナ 8-17
ETC車載器 8-17

F

FCM(衝突被害軽減ブレーキシステム) 7-62

I

INFO(マルチインフォメーションディスプレイスイッチ) 6-5
INT(ワイパー) 6-47, 6-51
ISO FIX対応チャイルドシート 5-21

L

LDW(車線逸脱警報システム) 7-67

M

MIST(ワイパー) 6-47

R

READY(走行可能)表示灯 6-35

S

S-AWC 7-30
SRSエアバッグ 5-28
SRSエアバッグ警告 5-19, 5-34
SRSカーテンエアバッグ 5-28
SRSサイドエアバッグ 5-28
SRSニーエアバッグ 5-31

U

USB入力端子 10-2

W

W(ワット)数 13-39

ア

アームレスト(ひじ掛け) 5-6
アクセサリーソケット 8-3
アクティブスタビリティコントロール (ASC) 7-44
アシストグリップ 8-13
アルミホイール 11-13
アンチロックブレーキシステム (ABS) 7-41
ABS警告灯 7-42

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

アンテナ 10-4

イ

ETC 8-16
- ETCアンテナ 8-17
- ETC車載器 8-17

ISO FIX対応チャイルドシート 5-21
イモビライザー(盗難防止装置) 4-3
インテリアランプオートカット機能(自動消灯) 8-9
インフォメーション画面 6-6

ウ

ウインカー(方向指示レバー) 6-44
ウインドウガラスのお手入れ 11-12
ウォッシャー
- ウォッシャー液の点検・補給 11-7
- フロントウォッシャースイッチ 6-50
- リヤウォッシャースイッチ 6-51

運転のしかた 7-26

エ

エアコン
- ウインドウガラスの曇り, 霜を取りたいときは 9-11
- エアコンの上手な使い方 9-12
- 急速暖房したいときは 9-10
- クリーンエアフィルター 9-13
- 左右独立温度コントロール式フルオートエアコン 9-4
- 吹き出し口 9-2

エアバッグ
- SRSエアバッグ 5-28
- SRSエアバッグ警告 5-19
- SRSカーテンエアバッグ 5-28
- SRSサイドエアバッグ 5-28

ABS 7-41
ASC OFF表示 7-46
ASC警告表示 7-46
ASC作動表示 7-46
ACC電源オートカット機能 7-17
AYC 7-30
ASC 7-44
ECOモードスイッチ 6-45
S-AWC 7-30
エマージェンシーキー 4-17
エンジンオイル
- エンジンオイルの補給 11-6
- エンジンオイル量の点検・補給 M

エンジン型式 S
エンジン警告灯 6-36
エンジンフード(ボンネット) 11-5

オ

オイル 14-3
オートライトコントロール 6-39
オーバーヒート 13-27
お手入れ
- アルミホイール 11-13
- 洗車 11-11
- ワックス 11-12

主な特長 2-2

カ

カードホルダー 8-2
回生ブレーキ 2-2, 7-4
回生レベルセレクター(パドル式) 7-25
外装品のお手入れ 11-11
カスタマイズ(機能の設定変更) 14-9
カップホルダー 8-12

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

寒冷時の取り扱い 12-2

キ

キー 4-2
エマジェンシーキー 4-17
キーナンバープレート 4-3
キーレスエントリー 4-4
キーレスエントリーシステム
電池交換のしかた 4-7
キーレスオペレーションシステム 4-9
電池交換のしかた 4-7
機能の設定変更(カスタマイズ) 14-9
急速充電のしかた 3-16
給油
フューエルリッド(燃料補給口) 4-43
給油するときは 4-44
緊急制動信号システム 7-38

ク

空気圧 11-9, 14-7
区間距離計(トリップメーター) 6-11
曇り取り
ウインドウガラスの曇り取り 9-11
リヤウインドウデフォッガースイッチ 6-52
クラクション(ホーンスイッチ) 6-53
クリープ現象 7-27
クリーンエアフィルター 9-13, 11-9
クルーズコントロール(自動定速走行装置) 7-47
グローブボックス 8-10

ケ

警告
ABS警告 7-42
警告灯 6-23, 6-35
ABS警告灯 7-42
SRSエアバッグ警告灯 5-19
エンジン警告灯 6-36
充電警告灯 6-36
プリテンショナー警告灯 5-19
ブレーキ警告灯 6-35
警告表示
ASC警告表示 7-46
燃料残量警告表示 6-10
半ドア警告表示 6-10
ブレーキ警告表示 6-37
油圧警告表示 6-38
けん引 13-29

コ

交換
キーの電池 4-7
クリーンエアフィルター 11-9
タイヤ 13-20
バルブ(電球) 13-42
ヒューズ 13-33
工具 13-9
後退灯
バルブ(電球)の交換 13-48
バルブ(電球)のワット数 13-39
コートフック 8-13
極寒時の注意事項と対処方法 2-12
故障したときは! 13-8
小物入れ
グローブボックス 8-10
フロアコンソールボックス 8-10
ラゲッジフロアボックス 8-11
こんなことでお困りのときは! 13-5

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

サ

サービスデータ 14-2
サービスリマインダー 6-12
サイドアンダーミラー 7-15
サイドビューカメラ 7-74
左右独立温度コントロール式フルオートエアコン 9-4
サンバイザー 8-2
サンルーフ 4-41
サンルーフのお手入れ 11-13

シ

シート
シートアレンジ 5-2
チャイルドシート 5-19
荷室の作り方 5-8
フラットシートの作り方 5-10
フロントシート 5-3
フロントシートヒーター 5-5
ヘッドレスト 5-6
シートベルト 5-11
3点式シートベルト 5-13
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト 5-18
リヤシートベルトの格納のしかた 5-17
室内灯 8-7
ラゲッジルームランプ 8-8
ルームランプ(フロント) 8-7
ルームランプ(リヤ) 8-7
自動定速走行装置(クルーズコントロール) 7-47
車線逸脱警報システム(LDW) 7-67
ジャッキ 13-9
ジャッキアップ 13-10
ジャッキバー 13-9
ジャッキハンドル(ホイールナットレンチ) 13-9
車幅灯 6-38
バルブ(電球)の交換 13-44
バルブ(電球)のワット数 13-39
車幅灯表示灯 6-34
車両重量 S
車両寸法 S
車両接近通報装置 7-37
充電 3-2, 3-3
急速充電のしかた 3-16
普通充電ケーブル 3-6
普通充電のしかた 3-4
充電警告灯 6-36
充電トラブルシューティングガイド 3-20
修理の連絡先 M
樹脂部品のお手入れ 11-13
衝突被害軽減ブレーキシステム(FCM) 7-62

ス

スイッチ
パワーウインドウスイッチ 4-39
ホーン(クラクション)スイッチ 6-53
ロックスイッチ(パワーウインドウ) 4-39
スピードメーター 6-2

セ

制動灯
バルブ(電球)の交換 13-47
バルブ(電球)のワット数 13-39
整備基準値 14-6
セキュリティーアラーム 4-33

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

セレクターレバー(ジョイスティックタイプ) 7-20
セレクトポジション表示灯 7-22
洗車 11-11
　外装品のお手入れ 11-11
　内装品のお手入れ 11-10
センタードアロック 4-20

タ

タイヤ
　空気圧 14-7
　タイヤチェーン 12-4
　タイヤローテーション 11-8
　タイヤ, ホイールのサイズ 14-7
タイヤ交換 13-20
　冬用タイヤ 12-2, 14-7
タイヤパンク応急用修理キット 13-13
暖房 9-14

チ

チェーン(タイヤチェーン) 12-4
チャイルドシート 5-19
　助手席へのチャイルドシート取り付け時の注意 5-20
チャイルドプロテクション(後席ドア安全施錠装置) 4-21
駐車ブレーキ
　駐車ブレーキ 7-10
　ブレーキ警告灯 6-35
チルトステアリング 7-11

テ

定期点検 M
テールゲート 4-21
テールゲートイージークローザー 4-32
テールランプ(尾灯)
　バルブ(電球)の交換 13-47
　バルブ(電球)のワット数 13-39
デフロスタースイッチ 9-9
電球(バルブ) 13-39
電池交換のしかた 4-7
電動パーキングスイッチ 7-24

ト

ドア 4-18
　施錠・解錠 4-18
　センタードアロック 4-20
　チャイルドプロテクション 4-21
　テールゲート 4-21
ドアミラー 7-12
ドアミラー調整スイッチ 7-12
盗難防止装置(イモビライザー) 4-3
トリップメーター(区間距離計) 6-11

ナ

内装品のお手入れ 11-10

ニ

荷室の作り方 5-8
日常点検 M

ネ

燃料
　給油するときは 4-44
　補給口(フューエルリッド) 4-43
燃料残量警告表示 6-10
燃料(ガソリン)の補給について 2-4

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ハ

パーキングブレーキ(駐車ブレーキ) 7-10
排気量 S
ハイドロプレーニング現象 7-3
ハイマウントストップランプ
　バルブ(電球)のワット数 13-39
ハザードランプスイッチ(非常点滅灯スイッチ) 6-45
ハザードランプ(非常点滅灯)
　バルブ(電球)の交換 13-45, 13-47
　バルブ(電球)のワット数 13-39
発炎筒 13-8
バックミラー(ルームミラー) 7-11
バックランプ(後退灯)
　バルブ(電球)の交換 13-48
　バルブ(電球)のワット数 13-39
バッテリー
　駆動用バッテリー 3-3
バッテリー液量の点検・補給 M
バッテリーセーブスイッチ 7-34
バッテリーチャージスイッチ 7-35
バッテリーについて 3-3
パドル(回生レベルセレクター) 7-25
バニティーミラー 8-2
バルブ(電球)
　交換 13-42
　ワット数 13-39
パワーウインドウ 4-39
　セーフティー機構 4-40
　タイマー機構 4-39
　ロックスイッチ 4-39
パワースイッチ 7-15
パワーメーター 6-2
パンク応急用修理キット 13-13
パンク(タイヤ交換) 13-20
番号灯
　バルブ(電球)の交換 13-49
　バルブ(電球)のワット数 13-39
ハンズフリー(Bluetooth® 2.0インターフェース) 8-25
半ドア警告表示 6-10
ハンドル
　電動パワーステアリング(EPS) 7-43
ハンドルの上下調整(チルトステアリング) 7-11

ヒ

ヒーター
　左右独立温度コントロール式フルオートエアコン 9-4
ヒーテッドドアミラー 7-14
ひじ掛け(アームレスト) 5-6
非常点滅灯 6-34
　バルブ(電球)の交換 13-45, 13-47
　バルブ(電球)のワット数 13-39
非常点滅灯スイッチ 6-45
非常点滅表示灯 6-34
尾灯
　バルブ(電球)の交換 13-47
　バルブ(電球)のワット数 13-39
ヒューズ 13-33
表示
　ASC OFF表示 7-46
　ASC警告表示 7-46
　ASC作動表示 7-46
表示灯 6-23, 6-34
　クルーズコントロール表示灯 7-48
　車幅灯表示灯 6-34

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

充電ランプ 6-35
セレクトポジション表示灯 7-22
非常点滅表示灯 6-34
フロントフォグランプ表示灯 6-34
ヘッドライト上向き表示灯 6-34
方向指示表示灯 6-34
READY(走行可能)表示灯 6-35
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧 6-23
日よけ(サンバイザー) 8-2
ヒルスタートアシスト 7-39

フ

フォグランプ
バルブ(電球)の交換 13-46
フロントフォグランプスイッチ 6-46
フロントフォグランプ表示灯 6-34
普通充電ケーブル 3-6
普通充電のしかた 3-4
フューエルリッド(燃料補給口) 4-43
冬用タイヤ 12-2, 14-7
プラグインハイブリッドシステム
主な特長 2-2
起動のしかた 7-18
駆動用バッテリー 2-5
航続可能距離 2-6
極寒時の注意事項と対処方法 2-12
車両接近通報装置 2-6
万一, 事故が起きたときは 2-7
フラットシートの作り方 5-10
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト 5-18
プリテンショナー警告灯 5-19
Bluetooth® 2.0インターフェース 8-25
ブレーキ
アンチロックブレーキシステム(ABS) 7-41
制動灯(尾灯) 13-47
ブレーキ液量の点検・補給 M
ブレーキ警告灯 6-35, 6-37
ブレーキパッドの摩耗 13-32
ブレーキアシスト 7-40
ブレーキ警告表示 6-37
ブレーキランプ(制動灯)
バルブ(電球)の交換 13-47
バルブ(電球)のワット数 13-39
プレ空調 9-13
フロアコンソールボックス 8-10
フロアマット 8-14
フロントウォッシャースイッチ 6-50
フロントシート 5-3
フロントシートヒーター 5-5
フロントフォグランプ
バルブ(電球)の交換 13-46
バルブ(電球)のワット数 13-39
フロントフォグランプスイッチ 6-46
フロントフォグランプ表示灯 6-34
フロントワイパースイッチ 6-47

ヘ

ヘッドライト 6-38
バルブ(電球)の交換 13-43, 13-44
バルブ(電球)のワット数 13-39
ヘッドライト上向き表示灯 6-34
ヘッドライトオートレベリング 6-43
ヘッドライトレベリングスイッチ 6-43
ヘッドレスト 5-6

ホ

ホイール

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

タイヤ, ホイールのサイズ 14-7
ホイールカバー 13-23
方向指示灯
バルブ(電球)の交換 13-45, 13-47
バルブ(電球)のワット数 13-39
方向指示表示灯 6-34
方向指示レバー 6-44
ホーンスイッチ 6-53
補機用バッテリー上がり 13-24
補機用バッテリーについて 11-7
ポジションランプ(車幅灯) 6-38
バルブ(電球)の交換 13-44
バルブ(電球)のワット数 13-39
ボトルホルダー 8-12
ボンネット(エンジンフード) 11-5

マ

マップランプ 8-8
バルブ(電球)のワット数 13-39
マルチインフォメーションディスプレイ 6-3
マルチインフォメーションディスプレイスイッチ 6-5
万一, 事故が起きたときは 2-7

ミ

三菱リモートコントロール 3-23
ミラー
サイドアンダーミラー 7-15
ドアミラー 7-12
ドアミラー調整スイッチ 7-12
バニティーミラー 8-2
ヒーテッドドアミラー 7-14
ルームミラー 7-11

メ

メーター
スピードメーター 6-2
トリップメーター 6-11
パワーメーター 6-2
メーター照度調整 6-3
メンテナンスデータ 14-2

ユ

油圧警告表示 6-38
USB入力端子 10-2

ヨ

4WD車取り扱い上の注意 7-33
4WD車の上手な運転 7-33

ラ

ライセンスランプ(番号灯)
バルブ(電球)の交換 13-49
バルブ(電球)のワット数 13-39
ライトスイッチ 6-38
ラゲッジフック 8-14
ラゲッジフロアボックス 8-11
ラゲッジルームランプ 8-8
バルブ(電球)のワット数 13-39
ランプ
バルブ(電球)の交換 13-42
フロントフォグランプ 6-46
ラゲッジルームランプ 8-8
ワット数 13-39

リ

リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチ 6-52

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

リヤコンビネーションランプ 13-47
リヤシート 5-6
リヤビューカメラ 7-70
リヤワイパー／ウォッシャースイッチ 6-51
リンクシステム 8-25

ル

ルームミラー 7-11
ルームランプ（室内灯）
マップ＆ルームランプ（フロント） 8-7
ラゲッジルームランプ 8-8

レ

冷却水 12-2, 14-4
冷却水量の点検・補給 M
レーダークルーズコントロールシステム (ACC) 7-52
READY（走行可能）表示灯 6-35

ワ

ワイパー 6-46
フロントワイパースイッチ 6-47
リヤワイパースイッチ 6-51
ワイパーウォッシャースイッチ 6-50, 6-51
ワイパースイッチ 6-47
ワックスを使ったお手入れ 11-12
ワット数（バルブ） 13-39

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

MEMO

純正品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正品をご使用ください。
- 純正品は，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。
  また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正品や油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。
- 純正品には右のマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

●続発事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，駐車ブレーキを確実にかけ，パワースイッチを押してプラグインハイブリッドEVシステムを停止します。

●負傷者の救護

- 医師，救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
  この場合，とくに頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。
  後になってから後遺症が出るおそれがあります。

●警察への届け出

事故が発生した場所，状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

●相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

●ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。